

## 基本計画書

基本計画									
事項	記入欄						備考		
計画の区分	大学の収容定員に係る学則変更								
フリガナ設置者	カッポホジツン オテマエカクエン 学校法人 大手前学園								
フリガナ大学の名称	オテマエカク 大手前大学 (Otemae University)								
大学本部の位置	兵庫県西宮市御茶家所町6番42号								
大学の目的	大手前学園の建学の精神である“STUDY FOR LIFE（生涯にわたる、人生のための学び）”に基づき、豊かな教養と専門的学術、旺盛な自己開発精神、優れた国際感覚及び問題解決能力を備えた人材を育成し、地域の教育・研究及び生涯学習の中心として、地域社会・国際社会に貢献することを目的とする。								
新設学部等の目的	<p>本学では、地域に軸足を置きつつ、企業や団体における課題解決を通じて、社会の幸福と持続可能な発展に貢献できる人材を養成するため、令和5年4月に経営学部経営学科（入学定員170人、2年次編入学定員2人、3年次編入学定員7人）を設置する。これに伴い、国際日本学部、建築&amp;芸術学部、現代社会学部の入学定員を60人減じ、大学全体として入学定員を110人増加、編入学定員を9人増加し、収容定員を3,080人から3,540人に変更する。</p> <p>新設する経営学部では、国内外における経営現象を教育研究の対象とし、豊かな教養、経営学の専門知識を付与するとともに、それらの知識を活用しながら実際に問題解決に取り組む実践力、さらには実践と内省を繰り返して、自分らしいキャリアを歩む力を修得させることを教育研究上の目的とする。</p>								
新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	開設時期及び開設年次	所在地	
	国際日本学部 [Faculty of Intercultural Japanese Studies]	年	人	年次 人	人		年 月 第 年次		
	国際日本学科 [Department of Intercultural Japanese Studies]	4	160 (190)	2年次 4 3年次 2	656 (776)	学士(学術) 【Bachelor of Arts】	令和5年4月 第1年次	兵庫県西宮市御茶家所町6番42号	
	建築&芸術学部 [Faculty of Architecture & Arts]								
建築&芸術学科 [Department of Architecture & Arts]	4	170 (180)	2年次 4 3年次 2	696 (736)	学士(学術) 【Bachelor of Arts】	令和5年4月 第1年次	同上		
現代社会学部 [Faculty of Modern Social Studies]									
現代社会学科 [Department of Modern Social Studies]	4	200 (220)	2年次 4 3年次 2	816 (896)	学士(学術) 【Bachelor of Arts】	令和5年4月 第1年次	同上		

新設学部等の概要	健康栄養学部 [Faculty of Health and Nutrition]  管理栄養学科 [Department of Health and Nutrition]	4	80	3年次 16	352	学士(栄養学) 【Bachelor of Nutrition】	平成28年4月 第1年次	大阪府大阪市中央区 大手前2丁目1番88号	
	国際看護学部 [Faculty of Global Nursing]  看護学科 [Department of Nursing]	4	80	—	320	学士(看護学) 【Bachelor of Nursing】	平成31年4月 第1年次	同上	
	経営学部 [Faculty of Business Administration]  経営学科 [Department of Business Administration]	4	170 (0)	2年次 2 (0) 3年次 7 (0)	700 (0)	学士(経営学) 【Bachelor of Business Administration】	令和5年4月 第1年次 令和6年4月 第2年次 令和7年4月 第3年次	兵庫県西宮市御茶家 所町6番42号	※令和4年4月 届出予定
	計		860 (750)	2年次 14 (12) 3年次 29 (22)	3,540 (3,080)				
	現代社会学部 [Faculty of Modern Social Studies]  現代社会学科 [Department of Modern Social Studies]  通信教育課程 [Distance Education Course]	4	500	3年次 500	3,000	学士(学術) 【Bachelor of Arts】	平成22年4月 第1年次	同上	
	計		500	3年次 500	3,000				
同一設置者内における 変更状況 (定員の移行, 名称の変更等)	<p>○学部の設置 (令和4年4月届出予定) 経営学部 経営学科 (170) (2年次編入学定員) (2) (3年次編入学定員) (7)</p> <p>○入学定員の変更 国際日本学部 国際日本学科 [定員減] (△30) (令和5年4月) 建築&amp;芸術学部 建築&amp;芸術学科 [定員減] (△10) (令和5年4月) 現代社会学部 現代社会学科 [定員減] (△20) (令和5年4月)</p> <p>○研究科の設置 (令和4年3月認可申請) 国際看護学研究科 看護学専攻(修士課程) (12)</p>								

教育課程	新設学部等の名称	開設する授業科目の総数				卒業要件単位数				
		講義	演習	実験・実習	計					
	—	— 科目	— 科目	— 科目	— 科目	— 単位				
教員組織の概要	学部等の名称		専任教員等					兼任 教員等		
			教授	准教授	講師	助教	計		助手	
	新設	国際日本学部 国際日本学科		12 (12)	7 (7)	4 (4)	0 (0)	23 (23)	0 (0)	64 (64)
		建築&芸術学部 建築&芸術学科		17 (17)	5 (5)	1 (1)	0 (0)	23 (23)	0 (0)	76 (76)
		現代社会学部 現代社会学科		10 (10)	9 (9)	1 (1)	0 (0)	20 (20)	0 (0)	41 (41)
		健康栄養学部 管理栄養学科		10 (10)	4 (4)	4 (4)	2 (2)	20 (20)	0 (0)	24 (24)
		国際看護学部 看護学科		8 (8)	5 (5)	9 (9)	10 (10)	32 (32)	3 (3)	33 (33)
		経営学部 経営学科		8 (8)	5 (5)	1 (1)	1 (1)	15 (15)	0 (0)	51 (36)
		現代社会学部 現代社会学科 通信教育課程		7 (7)	6 (6)	0 (0)	0 (0)	13 (13)	0 (0)	71 (71)
		計		65 (65)	35 (35)	20 (20)	13 (13)	133 (133)	3 (3)	— (—)
	既設分	該当なし		— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)
		計		— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)
	合計		65 (65)	35 (35)	20 (20)	13 (13)	133 (133)	3 (3)	— (—)	
	教員以外の職員の概要	職 種		専 任		兼 任		計		
事 務 職 員		88 (91)		12 (12)		100 (103)				
技 術 職 員		10 (9)		5 (5)		15 (14)				
図 書 館 専 門 職 員		1 (1)		4 (3)		5 (4)				
そ の 他 の 職 員		0 (0)		0 (0)		0 (0)				
計		99 (101)		21 (20)		120 (121)				
校 地 等	区 分		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用		計			
	校 舎 敷 地		10,246.76㎡	26,124.38㎡	0 ㎡		36,371.14㎡			
	運 動 場 用 地		0 ㎡	20,609.47㎡	0 ㎡		20,609.47㎡			
	小 計		10,246.76㎡	46,733.85㎡	0 ㎡		56,980.61㎡			
	そ の 他		416.56㎡	3,279.62㎡	0 ㎡		3,696.18㎡			
合 計		10,663.32㎡	50,013.47㎡	0 ㎡		60,676.79㎡				
校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用		計				
		25,451.18㎡ (25,451.18㎡)	14,232.83㎡ (13,045.83㎡)	2,832.59㎡ (2,832.59㎡)		42,516.60㎡ (41,329.60㎡)				
教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設		語学学習施設				
	66室	28室	50室	7室 (補助職員 0人)		0 室 (補助職員 0人)				
専任教員研究室		新設学部等の名称		室 数		共同研究室5室を 含む				
		大学全体		132 室						

専任教員(13人)は  
通学の現代社会学  
部と兼ねる

大学全体

大手前短期大学  
(必要面積5,400  
㎡)と共用

大手前短期大学  
(必要面積5,100  
㎡)と共用

大学全体

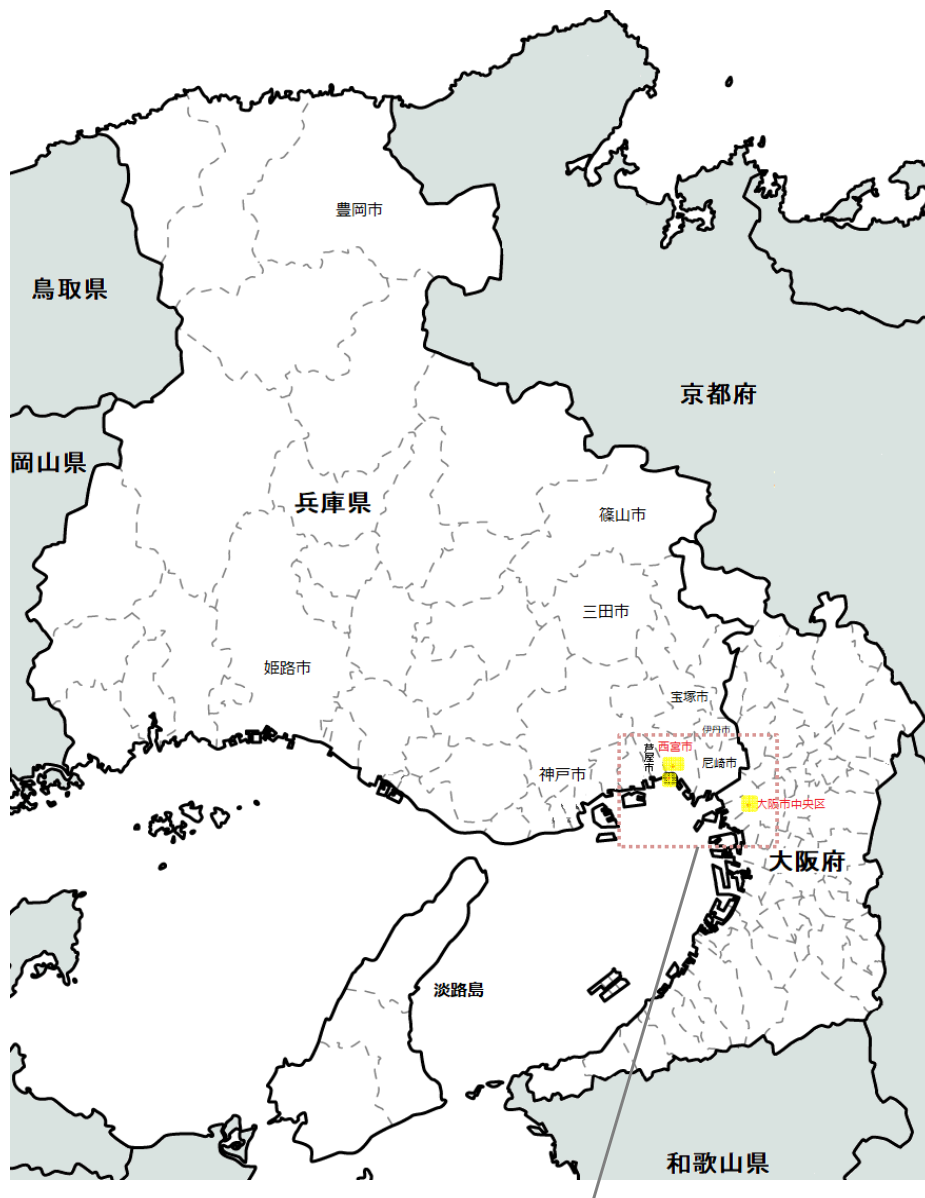
図書・設備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	大手前短期大学 と共用		
	大学全体	361,718 [59,519] (343,941 [58,114])	12,607 [9,293] (12,607 [9,293])	10,518 [9,049] (10,518 [9,049])	9,617 (8,735)	3,789 (3,789)	71 (71)			
	計	361,718 [59,519] (343,941 [58,114])	12,607 [9,293] (12,607 [9,293])	10,518 [9,049] (10,518 [9,049])	9,617 (8,735)	3,789 (3,789)	71 (71)			
図書館		面積 3,620.52㎡		閲覧座席数 348		収納可能冊数 220,566		大学全体		
体育館		面積 1,290.79㎡		体育館以外のスポーツ施設の概要 陸上トラック・テニスコート・弓道場・ゴルフ練習場・ジム						
経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区分	開設前年度	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	大学全体 図書購入費には、 電子ジャーナル・ データベースの整 備費（運用コスト 含む）を含む。
		教員1人当り研究費等		300千円	300千円	300千円	300千円	－千円	－千円	
		共同研究費等		9,600千円	9,600千円	9,600千円	9,600千円	－千円	－千円	
		図書購入費	40,551千円	31,500千円	33,000千円	34,500千円	36,000千円	－千円	－千円	
		設備購入費	220,061千円	200,000千円	100,000千円	100,000千円	100,000千円	－千円	－千円	
	学生1人当り納付金		第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		国際日本学部 国際日本学科	1,290千円	1,050千円	1,050千円	1,050千円	－千円	－千円		
		建築&芸術学部 建築&芸術学科	1,390千円	1,150千円	1,150千円	1,150千円	－千円	－千円		
		現代社会学部 現代社会学科	1,290千円	1,050千円	1,050千円	1,050千円	－千円	－千円		
		健康栄養学部 管理栄養学科	1,520千円	1,250千円	1,250千円	1,250千円	－千円	－千円		
国際看護学部 看護学科		1,890千円	1,620千円	1,620千円	1,620千円	－千円	－千円			
経営学部 経営学科		1,290千円	1,050千円	1,050千円	1,050千円	－千円	－千円			
現代社会学部 現代社会学科 通信教育課程		346千円	326千円	326千円	326千円	－千円	－千円			
学生納付金以外の維持方法の概要			私立大学等経常費補助金、手数料収入等							
既設大学等の状況	大学の名称	大手前大学								
	学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	定員 超過率	開設 年度	所在地	※令和4年4月 名称変更【旧名 称】総合文化学 部総合文化学科
	国際日本学部 国際日本学科	年	人	年次 人	人		倍			
	建築&芸術学部 建築&芸術学科	4	190	2年次 4 3年次 2	776	学士(学術)	1.08	平成19 年度	兵庫県西宮市御茶 家所町6番42号	
現代社会学部 現代社会学科	4	180	2年次 4 3年次 2	736	学士(学術)	1.12	平成19 年度	同上		
	4	220	2年次 4 3年次 2	896	学士(学術)	1.14	平成19 年度	同上		

既設大学等の状況	健康栄養学部 管理栄養学科	4	80	3年次 16	352	学士(栄養学)	0.96	平成28 年度	大阪府大阪市中央 区大手前2丁目1番 88号	
	国際看護学部 看護学科	4	80	—	320	学士(看護学)	1.05	平成31 年度	同上	
	現代社会学部 現代社会学科 通信教育課程	4	500	3年次 500	3,000	学士(学術)	0.24	平成22 年度	兵庫県西宮市御茶 家所町6番42号	
	大 学 の 名 称	大手前大学大学院								
	学 部 等 の 名 称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	定 員 超過率	開設 年度	所 在 地	
	比較文化研究科 比較文化専攻 (博士前期課程)	2	10	—	20	修士(学術) 又は(文学)	0.45	平成8 年度	兵庫県西宮市御茶 家所町6番42号	
	比較文化研究科 比較文化専攻 (博士後期課程)	3	3	—	9	博士(学術) 又は(文学)	0.33	平成10 年度	同上	
	大 学 の 名 称	大手前短期大学								
	学 部 等 の 名 称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	定 員 超過率	開設 年度	所 在 地	
	ライフデザイン総合学科	2	150	—	300	短期大学士 (ライフデザイン)	1.06	平成16 年度	兵庫県西宮市御茶 家所町6番42号	
歯科衛生学科	3	80	—	220	短期大学士 (歯科衛生学)	1.09	令和2 年度	同上		
	※令和4年度入学 定員増(10人)									
附属施設の概要	該当なし									

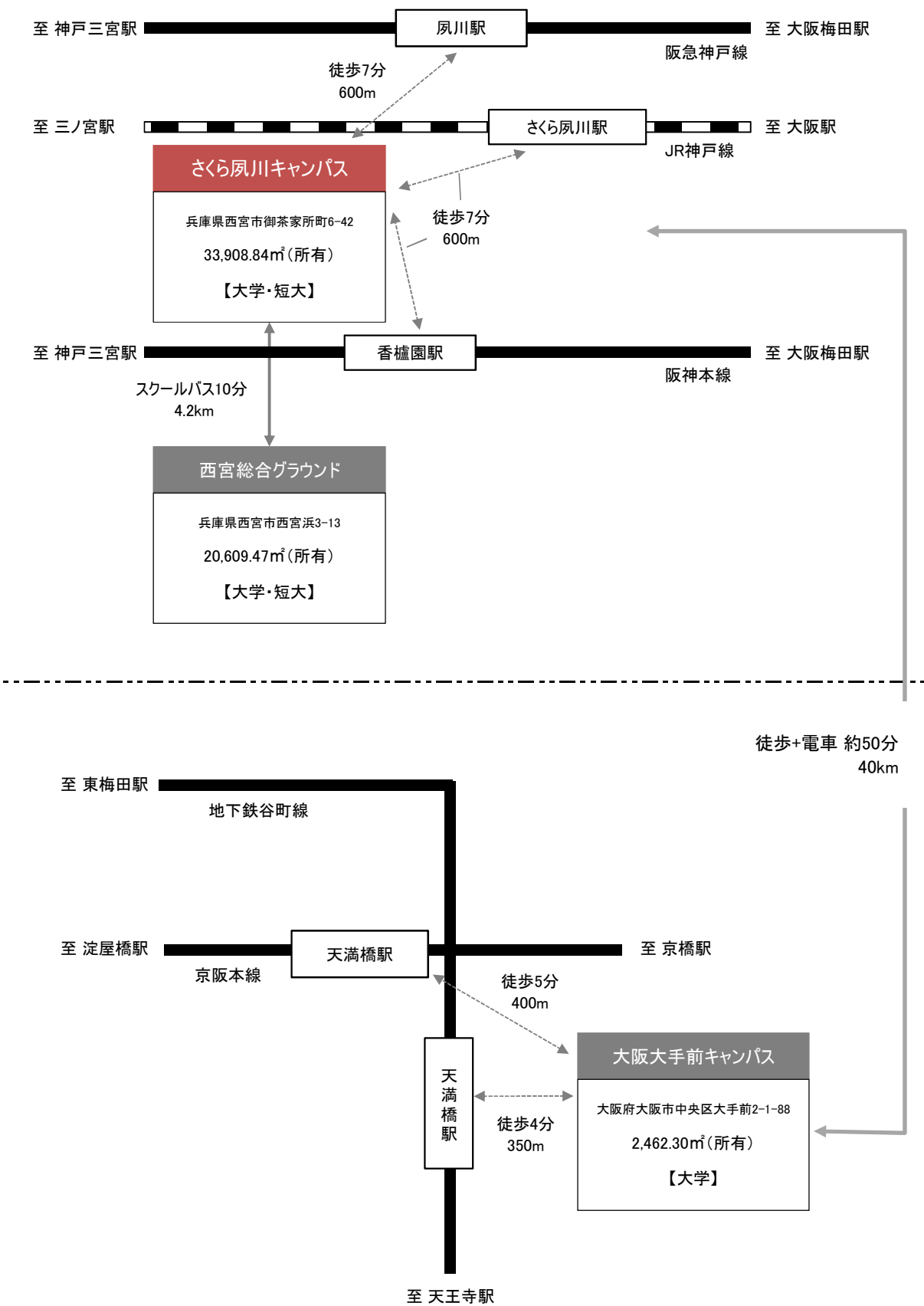
学校法人大手前学園 設置認可等に関する組織の移行表

令和4年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	令和5年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	変更の事由
<b>大手前大学</b>				<b>大手前大学</b>				
国際日本学部 国際日本学科	190	2年次 4 3年次 2	776	国際日本学部 国際日本学科	<u>160</u>	2年次 4 3年次 2	<u>656</u>	定員変更(△30)
建築&芸術学部 建築&芸術学科	180	2年次 4 3年次 2	736	建築&芸術学部 建築&芸術学科	<u>170</u>	2年次 4 3年次 2	<u>696</u>	定員変更(△10)
現代社会学部 現代社会学科	220	2年次 4 3年次 2	896	現代社会学部 現代社会学科	<u>200</u>	2年次 4 3年次 2	<u>816</u>	定員変更(△20)
健康栄養学部 管理栄養学科	80	3年次 16	352	健康栄養学部 管理栄養学科	80	3年次 16	352	
国際看護学部 看護学科	80	-	320	国際看護学部 看護学科	80	-	320	
				経営学部 経営学科	<u>170</u>	2年次 <u>2</u> 3年次 <u>7</u>	<u>700</u>	学部の新設置(届出)
計	750	2年次 12 3年次 22	3,080	計	<u>860</u>	2年次 <u>14</u> 3年次 <u>29</u>	<u>3,540</u>	
現代社会学部 現代社会学科 (通信教育課程)	500	3年次 500	3,000	現代社会学部 現代社会学科 (通信教育課程)	500	3年次 500	3,000	
計	500	3年次 500	3,000	計	500	3年次 500	3,000	
<b>大手前大学大学院</b>				<b>大手前大学大学院</b>				
比較文化研究科 比較文化専攻(M)	10	-	20	比較文化研究科 比較文化専攻(M)	10	-	20	
比較文化研究科 比較文化専攻(D)	3	-	9	比較文化研究科 比較文化専攻(D)	3	-	9	
				国際看護学研究科 看護学専攻(M)	<u>12</u>	-	<u>24</u>	研究科の新設置(認可申請)
計	13	-	29	計	<u>25</u>	-	<u>53</u>	
<b>大手前短期大学</b>				<b>大手前短期大学</b>				
ライフデザイン総合学科	150	-	300	ライフデザイン総合学科	150	-	300	
歯科衛生学科(3年制)	80	-	240	歯科衛生学科(3年制)	80	-	240	
計	230	-	540	計	230	-	540	

(1) 都道府県内における位置関係の図面

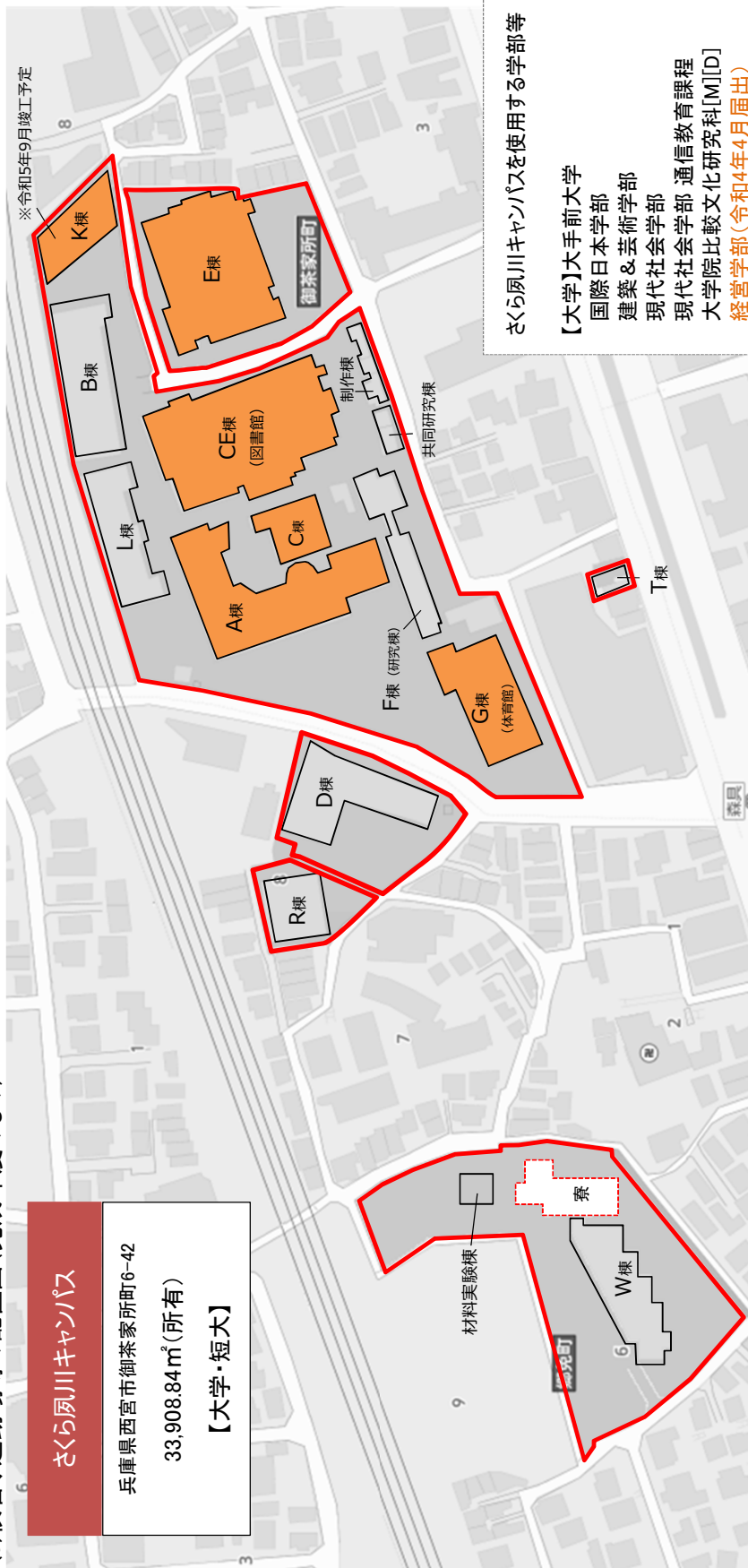


(2)最寄駅からの距離や交通機関がわかる図面





(3)校舎、運動場等の配置図(完成年度のもの)



**さくら夙川キャンパス**  
 兵庫県西宮市御茶家所町6-42  
 33,908.84㎡(所有)  
**【大学・短大】**

さくら夙川キャンパスを使用する学部等

**【大学】**大手前大学  
 国際日本学部  
 建築&芸術学部  
 現代社会学部  
 現代社会学部 通信教育課程  
 大学院比較文化研究科[M][D]  
経営学部(令和4年4月届出)

**【短大】**大手前短期大学  
 ライフデザイン総合学科  
 歯科衛生学科

- 設置基準算入校地
- 設置基準不算入校地
- 当該申請に係る学部が使用する校舎等

建物名	階	校舎面積算入	校舎面積不算入	備考
A棟	1F~4F	5,701.88㎡	-	校舎
B棟	1F~3F	3,384.90㎡	-	校舎
C棟	1F~3F	1,012.01㎡	-	校舎
CE棟	B1F~2F	3,944.99㎡	-	図書館
D棟	B1F~3F	1,736.93㎡	-	校舎
E棟	1F~4F	5,187.13㎡	-	校舎
F棟	B1F~4F	2,173.12㎡	-	研究棟
G棟	1F~2F	-	1,676.42㎡	体育館
K棟	1F~4F	1,187.00㎡	-	校舎(※令和5年9月竣工予定)
L棟	1F~3F	2,226.00㎡	-	校舎
R棟	1F~3F	1,258.35㎡	-	校舎
T棟	1F~3F	201.48㎡	-	通信教育部事務棟
W棟	1F~5F	2,384.45㎡	-	校舎
その他	1F~2F	489.60㎡	-	共同研究棟・制作棟・材料実験棟
計	-	30,887.84㎡	1,676.42㎡	

# 大手前大学学則（案）

（2023年4月1日改正）

## 第1章 総則

（目的）

**第1条** 本学は、建学の精神である“STUDY FOR LIFE（生涯にわたる、人生のための学び）”に基づき、豊かな教養と専門的学術、旺盛な自己開発精神、優れた国際感覚及び問題解決能力を備えた人材を育成し、地域の教育・研究及び生涯学習の中心として、地域社会・国際社会に貢献することを目的とする。

（自己評価）

**第2条** 本学は、前条の目的及び社会的使命を達成するため、教育研究活動等の状況について自ら点検及び評価を行うものとする。

## 第2章 学部及び学科

（学部・学科）

**第3条** 本学に次の学部及び学科を置く。

国際日本学部	国際日本学科
建築&芸術学部	建築&芸術学科
現代社会学部	現代社会学科
健康栄養学部	管理栄養学科
国際看護学部	看護学科
経営学部	経営学科

（通信教育部）

**第3条の2** 本学に通信教育部を置く。

2 通信教育部に関する規程は、別に定める。

（人材養成等教育研究上の目的）

**第3条の3** 本学は学士課程としてリベラルアーツ教育を全学で行うとともに、第3条に定める学部、学科においては、以下を目的として教育研究活動等を行う。

- (1) 国際日本学部国際日本学科は、人類が創造してきた文化的行為を教育研究の対象とし、学修活動の中で、文化についての深い洞察力と高い教養を身につけ、異文化に対しても広い視野をもって尊重し理解することのできる教養豊かな人材養成を目的とする。
- (2) 建築&芸術学部建築&芸術学科は、芸術、建築、マンガ・アニメーション、メディア表現を教育研究の対象とし、学修活動の中で、創造力と表現力を修得し、文化的に人間生活を考える素養を備えた感性豊かな人材養成を目的とする。
- (3) 現代社会学部現代社会学科は、国内外の社会現象を教育研究の対象とし、学修活動の中で、

現代社会の諸問題を発見・理解できる力を身につけ、社会人基礎力を備えた幅広く社会で活躍できる人材養成を目的とする。

- (4) 健康栄養学部管理栄養学科は、複雑多様化した健康課題を教育研究の対象とし、学修活動の中で、コミュニケーション能力、企画力、及び実行力を身につけ、幅広い教養、高度な専門知識・技能、豊かな人間性を兼ね備えた、国民の健康向上に貢献できる人材養成を目的とする。
- (5) 国際看護学部看護学科は、国際化する社会で暮らす多様な人々への看護に関する課題を教育研究の対象とし、グローバルな視野に立った教養を基礎とする知識・技能・態度を身につけ、全ての人々が人らしく生きるための支援を実践できる人材養成を目的とする。
- (6) 経営学部経営学科は、国内外における経営現象を教育研究の対象とし、学修活動の中で、豊かな教養、経営学の専門知識を身につけ、地域に軸足を置きつつ、企業や団体における課題解決を通じて、社会の幸福と持続可能な発展に貢献できる人材養成を目的とする。

### 第3章 定員及び修業年限

(定員)

**第4条** 本学学生の定員は、次表のとおりとする。

学部	学科	入学定員	編入学定員		収容定員
			2年次	3年次	
国際日本学部	国際日本学科	160人	4人	2人	656人
建築&芸術学部	建築&芸術学科	170人	4人	2人	696人
現代社会学部	現代社会学科	200人	4人	2人	816人
健康栄養学部	管理栄養学科	80人	—	16人	352人
国際看護学部	看護学科	80人	—	—	320人
経営学部	経営学科	170人	2人	7人	700人
合計		860人	14人	29人	3,540人

(修業年限)

**第5条** 本学の修業年限は、4年とする。ただし、在学期間は、8年を超えることはできない。

**第5条の2** 前条の規定にかかわらず、第56条に定める本学の科目等履修生として本学において一定の単位を修得した者（第26条の規定により本学に入学できる者となった後、修得したものに限る。）が本学に入学する場合において、当該単位の修得により本学の教育課程の一部を履修したと認められるときは、修得した単位数その他の事項を勘案して、1年又は2年を修業年限に通算することができる。

2 前項の期間を修業年限に通算した者の在学期間は、通算した年数と合わせて8年を超えることができない。

### 第4章 学年、学期及び休業日

(学年)

**第6条** 学年は、4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

(学期)

**第 7 条** 学年を次の2期に分ける。

春学期 4月1日から9月20日まで

秋学期 9月21日から翌年3月31日まで

(休業日)

**第 8 条** 休業日は、次のとおりとする。

- (1) 日曜日
- (2) 国民の祝日に関する法律に定める休日
- (3) 大手前学園開学記念日 (10月26日)
- (4) 夏期休業日 (8月1日から9月20日まで)
- (5) 冬期休業日 (12月24日から翌年1月7日まで)
- (6) 春期休業日 (3月21日から3月31日まで)

2 前項に定める休業日を臨時に変更し、また、臨時の休業日を定めることができる。

## 第 5 章 教育課程及び履修方法

(教育課程)

**第 9 条** 各学部学科における教育課程の区分は、次表のとおりとする。

学 部	学 科	授業科目区分	
国際日本学部	国際日本学科	総合科目	専攻科目
建築&芸術学部	建築&芸術学科	総合科目	専攻科目
現代社会学部	現代社会学科	総合科目	専攻科目
健康栄養学部	管理栄養学科	総合科目	専攻科目
国際看護学部	看護学科	総合科目	専攻科目
経営学部	経営学科	総合科目	専攻科目

**第 9 条の 2** 前条の授業科目及び単位数等は、別表1のとおりとする。

2 授業科目はこれを分けて、必修科目、選択科目及び自由科目とする。

**第 9 条の 3** 別表1の授業科目について、専ら英語を用いて授業を行うクラスを置くことがある。

2 前項のクラスにおいて履修したものについては、専ら日本語を用いて授業を行うクラスにおける履修とは別に単位を与えることができる。

(授業の方法)

**第 10 条** 授業は、講義、演習、実験、実習若しくは実技のいずれかにより又はこれらの併用により行うものとする。

2 前項の授業を、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることがある。

3 前項の授業の方法により修得する単位数は 60 単位を超えないものとする。

4 第 2 項の授業を行う授業科目については、別に定める。

(授業内容等の改善のための組織的な研修等)

**第 10 条の 2** 本学は、授業の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究を定期的  
に実施するものとする。

(単位算定の基準)

**第 11 条** 各授業科目の単位数は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構  
成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学  
修等を考慮して、次の基準により計算するものとする。

- (1) 講義及び演習については、15 時間の授業をもって 1 単位とする。ただし、授業科目によっ  
ては、30 時間の授業をもって 1 単位とする。
- (2) 実験、実習及び実技については、30 時間の授業をもって 1 単位とする。ただし、授業科目  
によっては、45 時間の授業をもって 1 単位とする。
- (3) 1 つの授業科目について、複数の授業の方法の組み合わせによって行われる場合は、前 2 号  
に規定する基準を考慮して別に定める時間数をもって 1 単位とする。

2 前項の規定にかかわらず、卒業論文、卒業制作、卒業研究等の授業科目については、これに必  
要な学修等の成果を考慮して単位数を定める。

(履修方法)

**第 12 条** 各授業科目の履修については、次表のとおりとする。

学 部	学 科	総合科目	専攻科目
国際日本学部	国際日本学科	10 単位以上	44 単位以上
建築&芸術学部	建築&芸術学科	10 単位以上	44 単位以上
現代社会学部	現代社会学科	10 単位以上	44 単位以上
健康栄養学部	管理栄養学科	10 単位以上	96 単位以上
国際看護学部	看護学科	22 単位以上	100 単位以上
経営学部	経営学科	10 単位以上	74 単位以上
合計修得単位数		124 単位以上	

2 前項の単位に加え、主専攻（メジャー）1つ以上を修めなければならない。

(通信教育課程の授業科目の履修)

**第 12 条の 2** 学生は、教育上有益と認めるときは、通信教育課程の授業科目を履修することが  
できる。

- 2 通学課程の学生が履修できる通信教育課程の授業科目は、面接授業及びメディアを利用した授  
業とし、メディアを利用した授業を履修したときは、第 10 条第 2 項の授業の方法により履修し  
たものとみなす。
- 3 前項の規定により履修した授業科目の単位については、30 単位を限度として、通学課程にお  
いて修得したものとみなすことができる。

(既修得単位の認定)

**第 13 条** 本学に入学する前に、大学、専門職大学又は短期大学（外国の大学、短期大学を含む。）  
において修得した単位（科目等履修生により修得した単位を含む。）について教育上有益と認め

るときは、本学に入学した後の本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

- 2 前項により与えることができる単位数は、編入学及び転入学の場合を除き、本学において修得した単位以外のものについては、次条第1項（同条第2項において準用する場合を含む。）及び第14条の2第1項により本学において修得したものとみなす単位数と合わせて60単位を超えないものとする。

（他の大学、専門職大学又は短期大学における授業科目の履修等）

**第14条** 教育上有益と認めるときは、学生が本学の定めるところにより他の大学、専門職大学又は短期大学において授業科目を履修し、修得した単位を、前条第1項及び次条第1項により修得した単位数と合わせて60単位を超えない範囲で、本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

- 2 前項の規定は、学生が外国の大学又は短期大学に留学する場合、外国の大学又は短期大学が行う通信教育における授業科目を我が国において履修する場合及び外国の大学又は短期大学の教育課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が指定するものの当該教育課程における授業科目を我が国において履修する場合に準用する。

（大学以外の教育施設等における学修）

**第14条の2** 教育上有益と認めるときは、学生が行う短期大学又は高等専門学校の専攻科における学修その他文部科学大臣が定める学修を、本学における授業科目の履修とみなし、本学の定めるところにより、単位を与えることができる。

- 2 前項により与えることのできる単位数は、第13条第1項及び前条第1項（同条第2項において準用する場合を含む。）により本学において修得したものとみなす単位数と合わせて60単位を超えないものとする。

（長期にわたる教育課程の履修）

**第15条** 学生が、事情により第5条に規定する修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し、卒業することを希望する旨申し出たときは、その計画的な履修を認めることができる。

（資格取得）

**第16条** 教育職員免許状を得ようとする者は、第23条に規定する卒業の要件を充足し、かつ、教育職員免許法及び同法施行規則に定める科目の単位を修得しなければならない。

- 2 本学において取得できる教育職員免許状の種類は、次のとおりとする。

学 部	学 科	取得できる教育職員免許状
国際日本学部	国際日本学科	中学校教諭一種免許状（社会） 高等学校教諭一種免許状（地理歴史） 中学校教諭一種免許状（国語） 高等学校教諭一種免許状（国語） 中学校教諭一種免許状（英語）

		高等学校教諭一種免許状（英語）
建築&芸術学部	建築&芸術学科	中学校教諭一種免許状（美術） 高等学校教諭一種免許状（美術） 高等学校教諭一種免許状（工芸）
健康栄養学部	管理栄養学科	栄養教諭一種免許状

**第 17 条** 博物館学芸員の資格を得ようとする者は、第23条に規定する卒業の要件を充足し、かつ、博物館法及び同法施行規則に定める科目の単位を修得しなければならない。

**第 18 条** 図書館司書の資格を得ようとする者は、第23条に規定する卒業の要件を充足し、かつ、図書館法及び同法施行規則に定める科目の単位を修得しなければならない。

**第 18 条の 2** 一級建築士国家試験の受験資格を得ようとする者は、第23条に規定する卒業の要件を充足し、かつ、国土交通大臣の指定する建築に関する科目の単位を修得しなければならない。

2 本学を卒業後所定の実務の経験を経て1級建築施工管理技術検定又は2級建築施工管理技術検定の受験資格を得ようとする者は、第23条に規定する卒業の要件を充足し、かつ、建設業法及び同法施行規則に定める科目の単位を修得しなければならない。

**第 18 条の 3** 栄養士の免許を得ようとする者は、第23条に規定する卒業の要件を充足し、かつ、栄養士法及び同法施行規則に定める科目の単位を修得しなければならない。

2 管理栄養士国家試験の受験資格を得ようとする者は、前項の規定により栄養士の免許を受ける要件を満たすとともに、管理栄養士学校指定規則に定める科目の単位を修得しなければならない。

**第 18 条の 4** 看護師国家試験の受験資格を得ようとする者は、第23条に規定する卒業の要件を充足し、かつ、保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める科目の単位を修得しなければならない。

（履修登録）

**第 19 条** 学生は、毎学期の始めに、当該学期において履修しようとする授業科目を届け出て承認を得なければならない。

2 休学中の者並びに授業料及びその他の学納金を納付していない者は、授業科目を履修することができない。

## 第 6 章 成績評価

（成績評価）

**第 20 条** 学年末又は学期末において、所定の履修科目について、試験の上成績評価を行う。ただし、第11条第2項の授業科目については、大学の定める適切な方法により学修の成果を評価して単位を与えることができる。

**第 21 条** 履修科目の成績評価は、A、B、C、D及びFの5段階に分け、A、B、C、Dの評価を受けた科目については、所定の単位を与える。Fの評価を受けた科目については、単位を与えない。

2 前項の成績評価における各評語の意義については、別に定める。

3 第1項の成績評価によりGPAを算出し、成績管理に適用する。健康栄養学部、国際看護学部

については卒業判定にもこれを適用する。

## 第 22 条 削除

### 第 7 章 卒業及び学位

(卒業)

**第 23 条** 本学の卒業要件は以下のとおりとする。

[国際日本学部]

本学に 4 年以上在学し、所定の 124 単位以上を修得した者は、教授会の議を経て卒業を認定する。

[建築&芸術学部]

本学に 4 年以上在学し、所定の 124 単位以上を修得した者は、教授会の議を経て卒業を認定する。

[現代社会学部]

本学に 4 年以上在学し、所定の 124 単位以上を修得した者は、教授会の議を経て卒業を認定する。

[健康栄養学部]

本学に 4 年以上在学し、所定の 124 単位以上を修得して入学時からの通算 G P A 1.5 以上の者は、教授会の議を経て卒業を認定する。

[国際看護学部]

本学に 4 年以上在学し、所定の 124 単位以上を修得して入学時からの通算 G P A 1.5 以上の者は、教授会の議を経て卒業を認定する。

[経営学部]

本学に 4 年以上在学し、所定の 124 単位以上を修得した者は、教授会の議を経て卒業を認定する。

2 本学に 3 年以上在学し、前項に定める単位を優秀な成績で修得した者は、別に定めるところにより、卒業を認めることができる。

(学位)

**第 24 条** 本学を卒業した者に対し、学士の学位を授与する。

2 前項に定める学位の種類は、次のとおりとする。

- |             |         |          |
|-------------|---------|----------|
| (1) 国際日本学部  | 国際日本学科  | 学士 (学術)  |
| (2) 建築&芸術学部 | 建築&芸術学科 | 学士 (学術)  |
| (3) 現代社会学部  | 現代社会学科  | 学士 (学術)  |
| (4) 健康栄養学部  | 管理栄養学科  | 学士 (栄養学) |
| (5) 国際看護学部  | 看護学科    | 学士 (看護学) |
| (6) 経営学部    | 経営学科    | 学士 (経営学) |

### 第 8 章 入学、転部、留学、休学、退学及び除籍等

**第 25 条** 入学の時期は春学期の始めとする。ただし、特別な場合は秋学期からの入学を認めることができる。

(入学資格)

**第 26 条** 本学に入学できる者は、次の各号の一に該当する者とする。



- (1) 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者
- (3) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
- (4) 文部科学大臣が高等学校の課程に相当するものとして指定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- (5) 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (6) 文部科学大臣の指定した者
- (7) 高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧大学入学資格検定に合格した者を含む。）
- (8) 本学において高等学校を卒業したものと同等以上の学力があると認められた者で18歳に達した者

（入学試験）

**第27条** 前条の資格を有する者で、本学に入学を志願する者に対して入学試験を行う。

（出願手続）

**第28条** 入学志願者は、第44条に定める入学検定料を添えて、所定の期日までに定められた書類を提出しなければならない。

（入学者選考）

**第29条** 入学者の選考については、別に定めるところによる。

（入学手続）

**第30条** 入学の許可は、誓約書、保証書、その他本学所定の書類の提出及び入学金、授業料その他の学納金の納付等の手続を経た者に対して行う。

（保証人）

**第31条** 保証人は、保護者又は独立の生計を営む者で、確実に保証人としての責務を果たすことのできる者でなければならない。

**第32条** 保証人は、保証する学生の在学中その一身に関する一切の責務を果たさなければならない。

**第33条** 保証人が死亡し、又はその他の事由で責務を果たすことのできない場合は、直ちに新たな保証人を定めて届け出なければならない。

**第34条** 保証人が住所、氏名等を変更したときは、直ちにその旨を届け出なければならない。

（編入学又は転入学）

**第35条** 第2年次又は第3年次に編入学を志願する者については、選考の上、同年次に編入学を許可することができる。

2 前項により第2年次に編入学できる者は、次の各号の一に該当する者とする。

- (1) 大学、専門職大学（外国の大学を含む。以下同じ。）を卒業した者

- (2) 短期大学（外国の短期大学を含む。）を卒業した者
- (3) 高等専門学校を卒業した者
- (4) 高等学校若しくは中等教育学校の後期課程の専攻科（修業年限が2年以上であることその他文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る。）を修了した者で第26条の入学資格を有するもの
- (5) 専修学校の専門課程のうち、文部科学大臣の定める基準を満たすものを修了した者で第26条の入学資格を有するもの

3 第1項により第3年次に編入学できる者は、次の各号の一に該当する者とする。

- (1) 大学、専門職大学を卒業した者
- (2) 前項第2号以下の一に該当する者

**第35条の2** 他大学又は専門職大学に1年以上在学し、所定の単位を修得して退学した者が、転入学を志願するときは、選考の上、同年次に転入学を許可することができる。

**第36条** 前2条により編入学又は転入学を許可された者の在学すべき期間は、前2条各号に掲げる学校及び課程における修業年限に相当する年数又は在籍していた年数以下の期間（2年以内に限る。）を控除した期間とする。

2 編入学又は転入学を許可された者の在学期間は、前項の規定により控除した年数と合わせて8年を超えることができない。

（転部）

**第37条** 本学学生が他学部への転部を志望するときは、選考の上、相当年次への転部を許可することができる。

（転籍）

**第37条の2** 本学の通信教育課程の学生が通学課程に転籍を願い出たときは、審査の上、相当年次への転籍を許可することができる。

2 本学の通信教育課程に転籍を願い出た者がいるときは、審査の上、相当年次への転籍を許可することができる。

（留学）

**第38条** 外国の大学又は短期大学の授業科目を履修しようとする者は、本学と当該外国の大学又は短期大学との協議に基づき、許可を得て留学することができる。

2 前項に規定する留学期間は、2か年以内とし、その期間を第5条の修業年限及び在学期間に算入することができる。

3 留学により修得した単位については、第14条に定める範囲内で、本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

4 留学に関し必要な事項は、別に定める。

（休学）

**第39条** 傷病その他やむを得ない事由により、3か月以上修学できないときは、その事実を証明する書類を添えて、保証人連署の上、休学願を提出し、許可を得て休学することができる。

2 休学の期間は、1学期又は1年とする。ただし、特別の事情がある場合は、引き続き1年以内

の期間の休学を許可することができる。

3 休学の期間は、通算して2年を超えることができない。

4 休学の期間は、第5条に定める在学期間に算入しない。

(復学)

**第40条** 休学の事由が消滅し復学しようとする者は、復学願を提出し、許可を得て復学することができる。

(退学)

**第41条** 傷病その他やむを得ない事由により退学しようとする者は、保証人連署の退学願を提出し、許可を得なければならない。

(再入学)

**第42条** 所定の手続を経て退学した者及び次条(第3号を除く。)により除籍された者が、再入学を希望するときは、所定の書類を提出し、許可を得て再入学することができる。

2 再入学に関し必要な事項は別に定める。

(除籍)

**第43条** 次の各号の一に該当する者は、除籍する。

(1) 休学期間が通算2年を経過して、なお復学又は退学しない者

(2) 休学期間を終了して、復学、退学又は休学の延長をしない者

(3) 第5条に定める在学期間を満了しても卒業せず、なお退学の願出をしない者

(4) 授業料及びその他の学納金を納付しない者

(5) 長期にわたり所在不明の者

## 第9章 入学検定料、入学金及び授業料その他の学納金

(入学検定料)

**第44条** 入学志願者は、入学検定料を所定の期日までに納付しなければならない。

(入学金、授業料その他の学納金)

**第45条** 入学試験で合格と判定された者は、入学金、授業料その他の学納金を所定の期日までに納付しなければならない。

**第46条** 前2条に定める入学金、授業料その他の学納金の額は、別表2のとおりとする。

2 前項及び次条に定める学納金について必要な事項については、別に定める。

**第47条** 既に納付した入学検定料、入学金、授業料その他の学納金は、原則として返還しない

**第48条** 休学期間中は、在籍料として別表2で定める額を徴収し、これ以外の学納金は徴収しない。ただし、学期の途中において休学する場合は、当該学期の授業料その他の学納金は納付しなければならない。

2 外国からの留学生の兵役等当該国の法律による休学の場合の学納金については、別に定める。

## 第 10 章 賞罰

(表彰)

**第 49 条** 本学学生で特に優秀なものに対して褒賞することができる。

(懲戒)

**第 50 条** 本学学生が学則その他本学の定める諸規則を守らず、学生の本分に反する行為があったときは、教授会の議を経て懲戒処分を行うことがある。

2 懲戒の種類は、退学、停学及び訓告とし、処分の手続については別に定める。

3 前項の退学は、次の各号の一に該当する学生に対して行う。

- (1) 性行不良で改善の見込みがないと認められる者
- (2) 学力劣等で成業の見込みがないと認められる者
- (3) 正当な理由なしに出席が常でない者
- (4) 本学の秩序を乱し、学生としての本分に反した者

## 第 11 章 委託生、科目等履修生、特別聴講学生、聴講生、外国人特別留学生及び研究生

(委託生)

**第 51 条** 公共機関若しくは、その他の機関から委託された場合は、本学学生の学修に支障がない限り選考の上、委託生として受け入れることができる。

**第 52 条** 委託生は、第26条に規定する入学資格を有する者でなければならない。

**第 53 条** 委託生は、履修した授業科目の試験を受験しなければならない。

2 前項により試験を受けた者には、証明書を交付することができる。

**第 54 条** 委託生が、修得した授業科目の単位並びに修学した年数は、第9条の2に規定する単位及び第5条に規定する在学年数に換算することができない。

**第 55 条** 委託生の学納金等については、別に定める。

(科目等履修生)

**第 56 条** 本学において、特定の授業科目についての履修を志願する者がいるときは、教育研究に支障のない場合に限り、選考の上、科目等履修生として入学を許可することができる。

2 科目等履修生に関し必要な事項は、別に定める。

(特別聴講学生)

**第 56 条の 2** 他の大学、専門職大学又は短期大学の学生で、本学において特定の授業科目についての履修を志願する者がいるときは、当該大学又は短期大学との協議に基づき、特別聴講学生として授業の履修を許可することがある。

2 科目等履修生に関する規定は、特別聴講学生に準用する。

(聴講生)

**第 57 条** 本学において、特定の授業科目について聴講を希望する者がいるときは、教育研究に支障のない場合に限り、選考の上、聴講生として授業の聴講を許可することができる。

2 聴講生に関し必要な事項は、別に定める。

(外国人特別留学生)

**第 58 条** 外国の大学に在学する学生が、本学の授業科目を履修又は聴講し、若しくは研究指導を受けるために入学を願い出たときは、第29条及び第30条の規定にかかわらず、選考の上、外国人特別留学生として入学を許可することができる。

2 外国人特別留学生に関し必要な事項は、別に定める。

(研究生)

**第 59 条** 本学において、特定の専門事項について研究することを志願する者があるときは、教育研究に支障のない場合に限り、選考のうえ研究生として入学を許可することができる。

2 研究生を志願することのできる者は、大学を卒業した者又はこれと同等以上の学力があると認められた者とする。

3 研究期間は、1年とする。ただし、特別の理由がある場合は、その期間を更新することができる。

## 第 12 章 職員組織

(職員)

**第 60 条** 本学に次の職員を置く。

(1) 学長、副学長、学部長、大学院研究科長、図書館長、教務部長、学生部長、アドミッションズオフィス部長、キャリアセンター部長、通信教育部長、学科主任、研究所長、アートセンター館長

(2) 教授、准教授、講師、助教、助手（教育）、教務職員

(3) 事務職員、業務職員、その他必要な職員

2 学長は、校務をつかさどり、所属職員を統督する。

3 副学長は、学長を助け、命を受けて校務をつかさどる。

(研修の機会等)

**第 60 条の 2** 本学は、教育研究活動等の適切かつ効果的な運営を図るため、職員に必要な知識及び技能を習得させ、並びにその能力及び資質を向上させるための研修（第10条の2に規定する研修に該当するものを除く。）の機会を設けることその他必要な取組を定期的実施するものとする。

## 第 13 章 教授会

(構成)

**第 61 条** 本学に教授会を置く。

2 教授会は、学長、副学長、学部長、教授、准教授、講師をもって構成する。

3 教授会には、助教及び助手（教育）を加えることができる。

4 理事長は、教授会に出席して、意見を述べるすることができる。

(招集)

**第 62 条** 教授会は、学長が招集する。

(教授会の任務)

**第 63 条** 教授会は、学長が次に掲げる事項について決定を行うに当たり意見を述べるものとする。

- (1) 学生の入学、卒業及び課程の修了
  - (2) 学位の授与
  - (3) 前 2 号に掲げるもののほか、教育研究に関する重要な事項で、教授会の意見を聴くことが必要なものとして学長が定めるもの
- 2 教授会は、前項に規定するもののほか、学長がつかさどる教育研究に関する事項について審議し、及び学長の求めに応じ、意見を述べることができる。
- 3 教授会の運営に関し必要な事項は、別に定める。

## 第 14 章 教学運営評議会

(構成)

**第 64 条** 本学に教学運営評議会を置く。

- 2 教学運営評議会は、学長、副学長、学部長、大学院研究科長、図書館長、教務部長、学生部長、アドミッションズオフィス部長、キャリアセンター部長、通信教育部長及び学長が指名する教職員若干名をもって構成し、学長が議長となる。
- 3 理事長は、教学運営評議会に出席して、意見を述べるができる。

(教学運営評議会の任務)

**第 65 条** 教学運営評議会は、学長の諮問に応じて次の事項を審議する。

- (1) 大学（大学院を含む。以下同じ。）の重要な制度及び規則の制定、改廃に関する事項
  - (2) 大学の重要な施設の設置廃止に関する事項
  - (3) 大学及び教員の人事に関する事項
  - (4) 学部、通信教育部及び研究科の教育課程に関する事項
  - (5) 大学の将来計画に関する事項
  - (6) 大学評価及び自己点検評価に関する事項
  - (7) 各学部その他の連絡調整に関する事項
  - (8) その他大学全般の運営に関する重要事項
- 2 教学運営評議会の運営に関し必要な事項は、別に定める。

## 第 15 章 付属施設

(図書館)

**第 66 条** 本学に図書館を設置し、教育研究のために資する。

- 2 図書館の運営に関し必要な事項は、別に定める。

(研究所)

**第 67 条** 本学に学術研究の進展向上を図るため、次の研究所を置く。

- (1) 交流文化研究所

(2) 史学研究所

(3) 国際看護研究所 (Otemae University Institute of Global Nursing)

2 研究所の運営に関し必要な事項は、別に定める。

(アートセンター)

**第 68 条** 本学に情操教育と地域文化への貢献を目的としてアートセンターを設置し、大手前アートセンターと称する。

2 大手前アートセンターの運営に関し必要な事項は別に定める。

(健康相談室)

**第 69 条** 本学の各キャンパスに学生、教職員の保健管理を行うために健康相談室を置く。

(学生宿舎)

**第 70 条** 本学に学生のための厚生施設として、学生宿舎を置く。

2 学生宿舎に関し必要な事項は別に定める。

附 則

本学則は、昭和 41 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

以下省略

附 則

1 本改正規則は、平成 18 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

1 本改正規則は、平成 19 年 4 月 1 日から施行する。

ただし、平成 18 年度以前の入学者については、なお従前の例による。

2 人文科学部の各学科の入学定員メディア・芸術学科 100 人、交流文化学科 150 人、史学科 175 人は、平成 19 年 4 月 1 日より募集停止をし、在学生在がいなくなることをもって廃止となる。

社会文化学部の各学科の入学定員人間環境学科 130 人、キャリアデザイン学科 115 人は、平成 19 年 4 月 1 日より募集停止し、在学生在がいなくなることをもって廃止となる。

附 則

1 本改正規則は、平成 20 年 4 月 1 日から施行する。

2 平成 18 年度以前の入学者については、なお従前の例による。

附 則

1 本改正規則は、平成 20 年 4 月 1 日から施行する。

なお、本学則改正による入学定員及び編入学定員の変更に伴う平成 20 年度から 23 年度までの年次進行による収容定員は、以下のとおり。

	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度
総合文化学部	476 人	706 人	936 人	906 人
メディア・芸術学部	406	616	826	826
現代社会学部	476	737	998	1,028
計	1,358	2,059	2,760	2,760

2 平成 18 年度以前の入学者については、なお従前の例による。  
ただし、第 7 条、第 10 条の 2、第 11 条、第 26 条、第 35 条、第 55 条、第 58 条、第 67 条、第 67 条の 2 を除く。

3 本学則改正による在籍料の変更（第 48 条）に伴い、平成 19 年度以前の入学者についても、規定の相当額を準用する。

附 則

1 本改正規則は、平成 21 年 4 月 1 日から施行する。

ただし、第 9 条の 2 に定める別表 1 に係る変更は、平成 20 年度以前の入学者については、なお従前の例による。

附 則

1 本改正規則は、平成 22 年 4 月 1 日から施行する。

ただし、第 9 条の 2 に定める別表 1 に係わる変更は、平成 21 年度以前の入学者については、なお従前の例による。

附 則

1 本改正規則は、平成 23 年 4 月 1 日から施行する。ただし、第 9 条の 2 に定める別表 1 に係る変更は、平成 22 年度以前の入学者については、なお従前の例による。

2 前項ただし書の規定にかかわらず、教育上有益と認める場合には、別表 1 に掲げる授業科目を平成 22 年度以前の入学者に履修させることができる。

附 則

1 本改正規則は、平成 24 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

1 本改正規則は、平成 25 年 4 月 1 日から施行する。

2 平成 22 年度以前に入学した学生については、なお従前の例による。

附 則

1 本改正学則は、平成 26 年 4 月 1 日から施行する。ただし、別表 1 及び別表 2 の規定は、平成 25 年度以前の入学者については、なお従前の例による。

2 前項ただし書の規定にかかわらず、教育上有益と認めるときには、別表 1 に掲げる授業科目を平成 25 年度以前の入学者に履修させることができる。

附 則

1 本改正学則は、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

1 本改正学則は、平成 28 年 4 月 1 日から施行する。ただし、別表 1 及び別表 2 の規定は、平成 27 年度以前の入学者については、なお従前の例による。

2 前項ただし書の規定にかかわらず、教育上有益と認めるときは、別表 1 に掲げる授業科目を平成 27 年度以前の入学者に履修させることができる。

3 第 1 項の規定にかかわらず、2 年次編入学の定員は平成 29 年度から、3 年次編入学の定員は平成 30 年度から適用する。

附 則

1 本改正学則は、平成 29 年 4 月 1 日から施行する。ただし、別表 1 及び別表 2 の規定は、平成



28年度以前の入学者については、なお従前の例による。

- 2 前項ただし書の規定にかかわらず、教育上有益と認めるときは、別表1に掲げる授業科目を平成28年度以前の入学者に履修させることができる。
- 3 第23条第1項に規定する卒業要件のうち、GPAに係るもののみを満たしていない者があるときは、当分の間、教授会の議を経て卒業を認めることがある。

附 則

- 1 本改正学則は、平成30年4月1日から施行する。

附 則

- 1 本改正学則は、平成31年4月1日から施行する。
- 2 第23条については、平成30年度以前の入学生にも適用する。ただし、健康栄養学部、国際看護学部については、第23条に規定する卒業要件のうち、GPAに係るもののみを満たしていない者があるときは、当分の間、教授会の議を経て卒業を認めることができる。

附 則

- 1 本改正学則は、2020年4月1日から施行する。ただし、別表1及び別表2の規定は、2019年度以前の入学者については、なお従前の例による。

附 則

- 1 本改正学則は、2021年4月1日から施行する。ただし、別表1及び別表2の規定は、2020年度以前の入学者については、なお従前の例による。
- 2 2021年3月31日にメディア・芸術学部メディア・芸術学科に在籍する者は、2021年4月1日から建築&芸術学部建築&芸術学科の在籍とする。

附 則

- 1 本改正学則は、2022年4月1日から施行する。ただし、別表1の規定は、2021年度以前の入学者については、なお従前の例による。
- 2 2022年3月31日に総合文化学部総合文化学科に在籍する者は、2022年4月1日から国際日本学部国際日本学科の在籍とする。
- 3 第1項の但し書きの規定にかかわらず、教育上有益と認めるときは、別表1に掲げる授業科目を2021年度以前の入学者に履修させることができる。

附 則

- 1 本改正学則は、2023年4月1日から施行する。ただし、別表1の規定は、2022年度以前の入学者については、なお従前の例による。

[別表1] 授業科目及び単位数

国際日本学部 国際日本学科

科目区分	授業科目	単位数			備考
		必修	選択	自由	
総合科目	ベーシック科目	キャリアデザインⅠ	2		必修科目について、特に必要があるとする場合には、履修を免除することがある。
		キャリアデザインⅡ	2		
		キャリアデザインⅢ	2		
		キャリアデザインⅣ	2		
		哲学		2	
		史学		2	
		数学		2	
		生命科学		2	
外国語科目	英語Ⅰ	1		※ ただし、外国人留学生は、「英語Ⅰ」に代えて「日本語総合AⅠ」、「日本語総合AⅡ」、「日本語総合BⅠ」、「日本語総合BⅡ」を必修とする。	
	英語Ⅱ		1		
	ドイツ語Ⅰ		1		
	ドイツ語Ⅱ		1		
	フランス語Ⅰ		1		
	フランス語Ⅱ		1		
	中国語Ⅰ		1		
	中国語Ⅱ		1		
	韓国語Ⅰ		1		
	韓国語Ⅱ		1		
	スペイン語Ⅰ		1		
	スペイン語Ⅱ		1		
	日本語総合AⅠ		1		
	日本語総合AⅡ		1		
	日本語総合BⅠ		1		
	日本語総合BⅡ		1		
	日本語聴解・会話Ⅰ		1		
	日本語聴解・会話Ⅱ		1		
	日本語会話(中級)Ⅰ		1		
	日本語会話(中級)Ⅱ		1		
	日本語会話(上級)Ⅰ		1		
	日本語会話(上級)Ⅱ		1		
	日本語読解(中級)Ⅰ		1		
	日本語読解(中級)Ⅱ		1		
	日本語読解(上級)Ⅰ		1		
	日本語読解(上級)Ⅱ		1		
	日本語作文(中級)Ⅰ		1		
	日本語作文(中級)Ⅱ		1		
	日本語作文(上級)Ⅰ		1		
	日本語作文(上級)Ⅱ		1		
	日本語語彙・文法Ⅰ		1		
	日本語語彙・文法Ⅱ		1		
Basic Japanese Conversation		1			
目レ情 ゼ報 ン機 器 テ ー の シ 活 ヨ 用 ン と 科 ブ	情報活用Ⅰ	1			
	情報活用Ⅱ		1		
	表計算演習		2		
	AI・データサイエンスの扉		2		
	情報機器プレゼンテーション		2		
	プレゼンテーション概論		2		
	プレゼンテーション演習基礎		2		
日本語プレゼンテーション		2			
ス ポ ー ツ ・ 健 康 科 目	保健体育		2		
	バレーボール		1		
	バスケットボール		1		
	バドミントン		1		
	フットサル		1		
	軽スポーツ		1		
	レクリエーション&スポーツ		1		
	フィットネス&スポーツ		1		
	コミュニケーション・スポーツ		1		
	ダンス		1		
	ヨーガ&ピラティス実習		1		
	健康ボディケア実習		1		
ボディワーク&コミュニケーション実習		1			

[別表1] 授業科目及び単位数

	キャリアアップ科目	PBL特別演習Ⅰ	4	
		PBL特別演習Ⅱ	4	
		PBL特別演習Ⅲ	4	
		PBL特別演習Ⅳ	4	
		Global Career Seminar A 100	2	
		Global Career Seminar B 200	2	
		Global Career Seminar C 300	2	
		Global Career Seminar D 400	2	
		地域貢献PBL	2	履修ごとに2単位
		インターンシップ	2	履修ごとに2単位
		サービスマーケティング	2	
		職業選択演習	2	履修ごとに2単位
		留学生のためのビジネスマナー・作文	2	
専攻科目	日本研究	日本文化・阪神文化	2	
		アジアの文化に親しむ	2	
		比較文化の基礎	2	
		ジャパノロジー入門	2	
		日本語学入門	2	
		日本語表現法	2	
		日本語音声学・音韻論	2	
		日本語学研究	2	
		日本語学演習	2	
		日本文学入門	2	
		日本文学講読	2	
		日本の名作を読む	2	
		世界の中の日本文学	2	
		日本美術工芸史	2	
		日本文学研究	2	
		日本文化史	2	
		日本文化研究	2	
		日本人の心とことば	2	
		日本文学演習	2	
		日本語教育概論Ⅰ	2	
		日本語教育概論Ⅱ	2	
		日本語教育における社会と文化	2	
		日本語教授法	2	
		外国人に教える日本語	2	
		社会言語学概論	2	
		多文化社会コミュニケーション論	2	
		日本語教育における言語と心理	2	
		日本語教材論	2	
		言語学概論	2	
		第二言語習得	2	
		日本語教育特講	1	
		日本語語用論	2	
		日本語教育実習	1	
		日本語・日本語教育実践演習	2	
		書道実技Ⅰ	1	
		書道実技Ⅱ	1	
		漢文学入門	2	
		中国の社会と文化	2	
		韓国の社会と文化	2	
		K-POPで学ぶ韓国言語文化	2	
		映画とドラマで学ぶ韓国言語文化	2	
		アジア再発見	2	
		東南アジアと南アジアの文化	2	
		アジア文化・文学研究	2	
		地域づくりと政策	2	
		多文化共生の地域特論	2	
		地域環境評価演習	2	
		カフェ文化論	2	
		フードシステムを考える	2	
		食文化産業	2	
		スイーツ文化論	2	
		中国語演習Ⅰ	2	

[別表1] 授業科目及び単位数

	中国語演習Ⅱ	2	
	韓国語演習Ⅰ	2	
	韓国語演習Ⅱ	2	
国際 コミュニケーション	国際文化とクールジャパン	2	履修ごとに2単位
	ヨーロッパの暮らしと楽しみ	2	
	ヨーロッパの地域と文化	2	
	イギリスと演劇	2	
	英米の社会と文化	2	
	英語の音声	2	
	英語の特性	2	
	英語コミュニケーション	2	
	英語プレゼンテーション	2	
	英米文化と翻訳	2	
	イギリスの歴史と文学	2	
	アメリカの歴史と文学	2	
	アメリカ:多様性のなかの英語教育	2	
	日本社会の多様化と英語	2	
	ヨーロッパ文化研究	2	
	クロスカルチュラル・スタディーズ	2	
	英語演習Ⅰ	2	
	英語演習Ⅱ	2	
	英語演習Ⅲ	2	
	英語演習Ⅳ	2	
	ドイツ語演習Ⅰ	2	
	ドイツ語演習Ⅱ	2	
	フランス語演習Ⅰ	2	
	フランス語演習Ⅱ	2	
	スペイン語演習Ⅰ	2	
	スペイン語演習Ⅱ	2	
	国境を超える発想	2	
	異文化コミュニケーション	2	
	日本のマイノリティ	2	
	国際NGOの活動	2	
	国際社会を知る	2	
	海外で学ぶ・働く・暮らす	2	
	海外ボランティア演習	2	
	地域からみる国際問題	2	
	海外援助技術論	2	
	マイノリティから見た世界	2	
	データで読み解く国際社会	2	
	日本で学ぶ・働く・暮らす	2	
	市民活動と通訳・翻訳	2	
	Basic CommunicationⅠ	1	
	Basic CommunicationⅡ	1	
	Listening & SpeakingⅠ	1	
	Listening & SpeakingⅡ	1	
	Basic ReadingⅠ	1	
	Basic ReadingⅡ	1	
	Basic WritingⅠ	1	
	Basic WritingⅡ	1	
	GrammarⅠ	1	
	GrammarⅡ	1	
	Academic English StudiesⅠ	1	
Academic English StudiesⅡ	1		
Basic Listening PracticeⅠ	2		
Basic Listening PracticeⅡ	2		
Basic Writing PracticeⅠ	2		
Basic Writing PracticeⅡ	2		
Basic Four SkillsⅠ	2		
Basic Four SkillsⅡ	2		
Basic Speaking SkillsⅠ	2		
Basic Speaking SkillsⅡ	2		
Basic VocabularyⅠ	2		
Basic VocabularyⅡ	2		
Intermediate ReadingⅠ	2		

[別表1] 授業科目及び単位数

	Intermediate TEFL Skills I	2	
	Intermediate TEFL Skills II	2	
	Intermediate Presentation I	2	
	Intermediate Presentation II	2	
	Intermediate Media Studies I	2	
	Intermediate Media Studies II	2	
	Intermediate Four Skills English I	2	
	Intermediate Four Skills English II	2	
	Intermediate Reading II	2	
	Advanced Reading I	2	
	Advanced Reading II	2	
	Advanced Writing I	2	
	Advanced Writing II	2	
	Advanced Presentation I	2	
	Advanced Presentation II	2	
	Advanced Vocabulary & Note-taking I	2	
	Advanced Vocabulary & Note-taking II	2	
	Advanced Discussion I	2	
	Advanced Discussion II	2	
史学	日本史の扉	2	
	日本中世史講義	2	
	日本近世史講義	2	
	日本近代史講義	2	
	多文化共生のための歴史：講義	2	
	宗教文化史	2	
	日本中世史基礎演習	2	
	日本近世史基礎演習	2	
	日本近代史基礎演習	2	
	多文化共生のための歴史：基礎演習	2	
	古文書学入門	2	
	古文書演習入門	2	
	古文書演習応用	2	
	戦国時代論	2	
	江戸時代論	2	
	二つの大戦と日本社会	2	
	日本史特殊講義	2	
	日本史特殊研究	2	
	日本史総合講義	2	
	日本史総合研究	2	
	東洋史の扉	2	
	東洋史入門	2	履修ごとに2単位
	東洋古代中世史講義	2	
	東洋近世近代史講義	2	
	アジア史論	2	
	東洋交流文化史	2	
	東洋史研究	2	履修ごとに2単位
	西洋史の扉	2	
	西洋史入門	2	
	西洋史講義	2	
	ヨーロッパ史論	2	
	西洋史研究	2	履修ごとに2単位
	東洋史基礎演習	2	
	西洋史基礎演習	2	
	西洋史研究の歩み	2	
	東洋史総合講義	2	
	西洋史総合講義	2	
	考古学の扉	2	
	考古学入門	2	
	日本古代史入門	2	
	日本古代史講義	2	
	歴史遺産学	2	
	考古学研究法	2	
	風土記と考古学（日本古代史）	2	
	文化財科学	2	
	考古学からみる信仰と祭りの日本史	2	

[別表1] 授業科目及び単位数

	考古学実習		2	履修ごとに2単位
	古墳研究		2	
	地域文化財実習		2	履修ごとに2単位
	考古学総合講義		2	
	考古学総合研究		2	履修ごとに2単位
	地理学の扉		2	
	地域研究のすすめ		2	
	現代の都市問題（人文地理学）		2	
	都市災害と防災（自然地理学）		2	
	アジアの都市づくり（地誌学）		2	
	日本近代の都市		2	
	G I S 入門		2	
	G I S 応用		2	
	まちづくり入門		2	
	地域環境とエコロジー		2	履修ごとに2単位
	地域研究の方法		2	履修ごとに2単位
	まちづくり研究の方法		2	履修ごとに2単位
	野外調査研究の方法		2	履修ごとに2単位
	地理学総合講義（環境研究）		2	
	地理学総合研究（災害・防災研究）		2	
総合研究	研究・制作Ⅰ		2	} いずれか1科目必修
	研究・制作Ⅱ		2	
	研究・制作Ⅲ		2	
	研究・制作Ⅳ		2	
	ゼミナールⅠ	2		
	ゼミナールⅡ	2		
	卒業研究		4	
卒業制作		4		
資格課程科目	教職論		2	
	教育原理		2	
	発達心理学		2	
	教育・学校心理学		2	
	学校制度		2	
	教育課程論		2	
	国語科教育法Ⅰ		2	
	国語科教育法Ⅱ		2	
	国語科教育法Ⅲ		2	
	国語科教育法Ⅳ		2	
	社会科教育法Ⅰ		2	
	社会科教育法Ⅱ		2	
	社会科教育法Ⅲ		2	
	社会科教育法Ⅳ		2	
	地理歴史科教育法Ⅰ		2	
	地理歴史科教育法Ⅱ		2	
	英語科教育法Ⅰ		2	
	英語科教育法Ⅱ		2	
	英語科教育法Ⅲ		2	
	英語科教育法Ⅳ		2	
	道徳教育指導論		2	
	特別活動論		2	
	教育の方法及び技術（情報通信技術の活用含む）		2	
	生徒・進路指導論		2	
	教育相談		2	
	教育実習A		2	
	教育実習B		2	
	教育実習指導Ⅰ		1	
	教育実習指導Ⅱ		1	
	特別支援教育概論		1	
	総合的な学習の時間指導法		1	
	教職実践演習（中・高）		2	
介護等体験事前事後学習		2		
図書館概論		2		
図書館サービス概論		2		
図書・図書館史		2		
図書館情報資源概論		2		

[別表1] 授業科目及び単位数

	情報資源組織論		2		
	生涯学習概論		2		
	図書館制度・経営論		2		
	情報資源組織演習Ⅰ		1		
	情報資源組織演習Ⅱ		1		
	図書館情報資源特論		2		
	図書館情報技術論		2		
	児童サービス論		1		
	情報サービス論		2		
	情報サービス演習Ⅰ		1		
	情報サービス演習Ⅱ		1		
	図書館基礎特論		2		
	視聴覚メディア論		2		
	博物館概論		2		
	博物館経営論		2		
	博物館資料論		2		
	博物館情報・メディア論		2		
	博物館資料保存論		2		
	博物館展示論		2		
	博物館教育論		2		
	博物館実習		3		
目 の 他 の 科	Japanese Ethnicity and Culture(GJS)200		2		履修ごとに2単位 履修ごとに2単位
	哲学と社会		2		
	倫理学		2		
	国際日本特別講義		2		
	国際日本特別演習		2		
国際日本学部 卒業要件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合科目から必修科目を含め10単位以上</li> <li>・専攻科目から主専攻1つ以上</li> <li>・「ゼミナールⅠ」及び「ゼミナールⅡ」並びに「卒業研究」若しくは「卒業制作」計8単位</li> <li>・上記要件を満たした上で、総合計124単位以上</li> </ul>				

建築&芸術学部 建築&芸術学科

科目区分	授業科目	単位数			備考
		必修	選択	自由	
総合科目	キャリアデザインⅠ	2			必修科目について、特に必要 があると認める場合には、履 修を免除することがある。
	キャリアデザインⅡ	2			
	キャリアデザインⅢ	2			
	キャリアデザインⅣ	2			
	哲学		2		
	史学		2		
	数学		2		
	生命科学		2		
外国語科目	英語Ⅰ	1			※ ただし、外国人留学生は、 「英語Ⅰ」に代えて「日本語 総合AⅠ」、「日本語総合A Ⅱ」、「日本語総合BⅠ」、「日 本語総合BⅡ」を必修とする。
	英語Ⅱ		1		
	ドイツ語Ⅰ		1		
	ドイツ語Ⅱ		1		
	フランス語Ⅰ		1		
	フランス語Ⅱ		1		
	中国語Ⅰ		1		
	中国語Ⅱ		1		
	韓国語Ⅰ		1		
	韓国語Ⅱ		1		
	スペイン語Ⅰ		1		
	スペイン語Ⅱ		1		
	日本語総合AⅠ		1		
	日本語総合AⅡ		1		
	日本語総合BⅠ		1		
	日本語総合BⅡ		1		
	日本語聴解・会話Ⅰ		1		
日本語聴解・会話Ⅱ		1			
日本語会話(中級)Ⅰ		1			
日本語会話(中級)Ⅱ		1			
日本語会話(上級)Ⅰ		1			
日本語会話(上級)Ⅱ		1			
日本語読解(中級)Ⅰ		1			

[別表1] 授業科目及び単位数

	日本語読解 (中級) II		1		
	日本語読解 (上級) I		1		
	日本語読解 (上級) II		1		
	日本語作文 (中級) I		1		
	日本語作文 (中級) II		1		
	日本語作文 (上級) I		1		
	日本語作文 (上級) II		1		
	日本語語彙・文法 I		1		
	日本語語彙・文法 II		1		
	Basic Japanese Conversation		1		
目レ情 ゼ報 ン機 テ器 の シ活 ヨ用 ンと 科ブ	情報活用 I	1	1		
	情報活用 II		1		
	表計算演習		2		
	AI・データサイエンスの扉		2		
	情報機器プレゼンテーション		2		
	プレゼンテーション概論		2		
	プレゼンテーション演習基礎		2		
	日本語プレゼンテーション		2		
ス ポ ー ツ ・ 健 康 科 目	保健体育		2		
	バレーボール		1		
	バスケットボール		1		
	バドミントン		1		
	フットサル		1		
	軽スポーツ		1		
	レクリエーション&スポーツ		1		
	フィットネス&スポーツ		1		
	コミュニケーション・スポーツ		1		
	ダンス		1		
	ヨーガ&ピラティス実習		1		
	健康ボディケア実習		1		
	ボディワーク&コミュニケーション実習		1		
キ ャ リ ア ア ッ プ 科 目	P B L 特別演習 I		4		
	P B L 特別演習 II		4		
	P B L 特別演習 III		4		
	P B L 特別演習 IV		4		
	Global Career Seminar A 100		2		
	Global Career Seminar B 200		2		
	Global Career Seminar C 300		2		
	Global Career Seminar D 400		2		
	地域貢献 P B L		2		履修ごとに2単位
	インターンシップ		2		履修ごとに2単位
	サービスラーニング		2		
	職業選択演習		2		
	留学生のためのビジネスマナー・作文		2		履修ごとに2単位
専 攻 科 目	デザイン・造形美術入門 I		2		
	デザイン・造形美術入門 II		2		
	C G 基礎演習		2		
	デッサン演習 I		2		
	デッサン演習 II		2		
	絵画基礎 I		2		
	絵画基礎 II		2		
	具象絵画表現 I		2		
	具象絵画表現 II		2		
	現代絵画表現 I		2		
	現代絵画表現 II		2		
	表現技法 I		2		
	表現技法 II		2		
	立体造形基礎 I		2		
	立体造形基礎 II		2		
	立体造形技法 I		2		
	立体造形技法 II		2		
	彫刻表現 I		2		
	彫刻表現 II		2		
	アート体験		2		
	フィギュア制作		2		



[別表1] 授業科目及び単位数

	染色工芸基礎Ⅰ	2
	染色工芸基礎Ⅱ	2
	染色工芸技法Ⅰ	2
	染色工芸技法Ⅱ	2
	染色工芸表現Ⅰ	2
	染色工芸表現Ⅱ	2
	ファイバーワークⅠ	2
	ファイバーワークⅡ	2
	デザイン基礎Ⅰ	2
	デザイン基礎Ⅱ	2
	ビジュアルデザイン表現Ⅰ	2
	ビジュアルデザイン表現Ⅱ	2
	ビジュアルデザイン技法研究Ⅰ	2
	ビジュアルデザイン技法研究Ⅱ	2
	ビジュアルデザイン展開Ⅰ	2
	ビジュアルデザイン展開Ⅱ	2
	日本美術史	2
	西洋美術史	2
	東洋美術史	2
	美術館と社会	2
	芸術学	2
	デザイン論	2
	工芸論	2
	現代芸術論	2
	美を考える	2
マンガ・アニメーション	マンガ・映像表現基礎Ⅰ	2
	マンガ・映像表現基礎Ⅱ	2
	マンガ制作入門Ⅰ	2
	マンガ制作入門Ⅱ	2
	マンガ概論Ⅰ	2
	マンガ概論Ⅱ	2
	マンガ表現Ⅰ	2
	マンガ表現Ⅱ	2
	マンガ技法Ⅰ	2
	マンガ技法Ⅱ	2
	デジタルイラストレーションⅠ	2
	デジタルイラストレーションⅡ	2
	コミックメディア研究Ⅰ	2
	コミックメディア研究Ⅱ	2
	マンガ原作論Ⅰ	2
	マンガ原作論Ⅱ	2
	コミック・イラストレーションⅠ	2
	コミック・イラストレーションⅡ	2
	マンガ制作デジタルⅠ	2
	マンガ制作デジタルⅡ	2
	マンガ表現研究Ⅰ	2
	マンガ表現研究Ⅱ	2
	マンガ演習Ⅰ	2
	マンガ演習Ⅱ	2
	映像アニメーション入門Ⅰ	2
	映像アニメーション入門Ⅱ	2
	アニメーション技術入門(描画)	2
	アニメーション技術入門(3DCG)	2
	映像・アニメーション概論Ⅰ	2
	映像・アニメーション概論Ⅱ	2
	映像実習Ⅰ	2
	映像実習Ⅱ	2
	描画アニメーション制作Ⅰ	2
	描画アニメーション制作Ⅱ	2
	サウンドデザインⅠ	2
	サウンドデザインⅡ	2
	3DCGアニメーション基礎Ⅰ	2
	3DCGアニメーション基礎Ⅱ	2
	アニメーション演習Ⅰ	2
	アニメーション演習Ⅱ	2

[別表1] 授業科目及び単位数

	3DCGアニメーション演習 I		2	
	3DCGアニメーション演習 II		2	
	撮影実習 I		2	
	撮影実習 II		2	
	プロジェクト・プロデュース論 I		2	
	プロジェクト・プロデュース論 II		2	
メディア	映画・演劇入門 I		2	履修ごとに2単位
	映画・演劇入門 II		2	
	映画の基礎		2	
	映画と原作		2	
	映画の歴史		2	
	映画作品ワークショップ		2	
	演劇の基礎		2	
	演技の基礎		2	
	演劇の歴史		2	
	パフォーマンス・ワークショップ		2	
	ポピュラー音楽の基礎		2	
	音楽と文化		2	
	物語と音楽		2	
	音楽文化ワークショップ		2	
	戯曲と演出		2	
建築・インテリア	建築・インテリア総論		2	履修ごとに2単位 履修ごとに2単位
	基礎製図演習 I		2	
	基礎製図演習 II		2	
	基礎CAD演習		2	
	建築計画 I		2	
	建築計画 II		2	
	建築計画 III		2	
	設計製図演習 I		2	
	設計製図演習 II		2	
	設計製図演習 III		2	
	設計製図演習 IV		2	
	建築・インテリア環境論		2	
	温熱・風の環境		2	
	光・色・音の環境		2	
	建築の安全と設備		2	
	建築設備		2	
	建築構造概論		2	
	構造力学の基礎		2	
	建築材料学		2	
	住居学		2	
	日本建築史		2	
	東洋建築史・西洋建築史		2	
	インテリアデザインの基礎		2	
	建築・インテリアパース演習		2	
	建築模型演習		2	
	CAD演習 I		2	
	CAD演習 II		2	
	CAD演習 III		2	
	都市計画・都市防災論		2	
	住まいの歴史		2	
	インテリア計画		2	
	インテリアCAD		2	
	建築構造力学 I		2	
	建築構造力学 II		2	
	建築構造 I		2	
	建築構造 II		2	
	建築施工 (含積算)		2	
	建築材料実験		2	
	建築法規		2	
	空間デザイン演習 I		2	
空間デザイン演習 II		2		
空間デザイン論		2		
総合	研究・制作 I		2	
	研究・制作 II		2	

[別表1] 授業科目及び単位数

研究	研究・制作Ⅲ		2	} いずれか1科目必修
	研究・制作Ⅳ		2	
資格課程科目	ゼミナールⅠ	2		
	ゼミナールⅡ	2		
	卒業研究		4	
	卒業制作		4	
	教職論		2	
資格課程科目	教育原理		2	
	発達心理学		2	
	教育・学校心理学		2	
	学校制度		2	
	教育課程論		2	
	美術科教育法Ⅰ		2	
	美術科教育法Ⅱ		2	
	美術科教育法Ⅲ		2	
	美術科教育法Ⅳ		2	
	工芸科教育法Ⅰ		2	
	工芸科教育法Ⅱ		2	
	道徳教育指導論		2	
	特別活動論		2	
	教育の方法及び技術（情報通信技術の活用含む）		2	
	生徒・進路指導論		2	
	教育相談		2	
	教育実習A		2	
	教育実習B		2	
	教育実習指導Ⅰ		1	
	教育実習指導Ⅱ		1	
	教職実践演習（中・高）		2	
特別支援教育概論		1		
総合的な学習の時間指導法		1		
介護等体験事前事後学習		2		
その他の科目	ドローン入門		2	履修ごとに2単位 履修ごとに2単位
	ドローンプログラミング基礎		2	
	ドローン関係法規		2	
	ドローン映像演習		2	
	建築&芸術特別講義		2	
	建築&芸術特別演習		2	
建築&芸術学部 卒業要件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合科目から必修科目を含め10単位以上</li> <li>・専攻科目から主専攻1つ以上</li> <li>・「ゼミナールⅠ」及び「ゼミナールⅡ」並びに「卒業研究」若しくは「卒業制作」計8単位</li> <li>・上記要件を満たした上で、総合計124単位以上</li> </ul>			

現代社会学部 現代社会学科

科目区分	授業科目	単位数			備考
		必修	選択	自由	
総合科目	キャリアデザインⅠ	2			必修科目について、特に必要があると認める場合には、履修を免除することがある。
	キャリアデザインⅡ	2			
	キャリアデザインⅢ	2			
	キャリアデザインⅣ	2			
	哲学		2		
	史学		2		
	数学		2		
	生命科学		2		
外国語科目	英語Ⅰ	1			※ ただし、外国人留学生は、「英語Ⅰ」に代えて「日本語総合AⅠ」、「日本語総合AⅡ」、「日本語総合BⅠ」、「日本語総合BⅡ」を必修とする。
	英語Ⅱ		1		
	ドイツ語Ⅰ		1		
	ドイツ語Ⅱ		1		
	フランス語Ⅰ		1		
	フランス語Ⅱ		1		
	中国語Ⅰ		1		
	中国語Ⅱ		1		
	韓国語Ⅰ		1		
	韓国語Ⅱ		1		
	スペイン語Ⅰ		1		
	スペイン語Ⅱ		1		

[別表1] 授業科目及び単位数

	日本語総合A I		1	
	日本語総合A II		1	
	日本語総合B I		1	
	日本語総合B II		1	
	日本語聴解・会話 I		1	
	日本語聴解・会話 II		1	
	日本語会話 (中級) I		1	
	日本語会話 (中級) II		1	
	日本語会話 (上級) I		1	
	日本語会話 (上級) II		1	
	日本語読解 (中級) I		1	
	日本語読解 (中級) II		1	
	日本語読解 (上級) I		1	
	日本語読解 (上級) II		1	
	日本語作文 (中級) I		1	
	日本語作文 (中級) II		1	
	日本語作文 (上級) I		1	
	日本語作文 (上級) II		1	
	日本語語彙・文法 I		1	
	日本語語彙・文法 II		1	
	Basic Japanese Conversation		1	
目レ情 ゼ報 ン機 テ器 ーの シ活 ョ用 ンと 科ブ	情報活用 I 情報活用 II 表計算演習 AI・データサイエンスの扉 情報機器プレゼンテーション プレゼンテーション概論 プレゼンテーション演習基礎 日本語プレゼンテーション	1	1 2 2 2 2 2 2	
ス ポ ー ツ ・ 健 康 科 目	保健体育 バレーボール バスケットボール バドミントン フットサル 軽スポーツ レクリエーション&スポーツ フィットネス&スポーツ コミュニケーション・スポーツ ダンス ヨーガ&ピラティス実習 健康ボディケア実習 ボディワーク&コミュニケーション実習		2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	
キ ヤ リ ア ア ッ プ 科 目	P B L 特別演習 I P B L 特別演習 II P B L 特別演習 III P B L 特別演習 IV Global Career Seminar A 100 Global Career Seminar B 200 Global Career Seminar C 300 Global Career Seminar D 400 地域貢献 P B L インターンシップ サービスラーニング 職業選択演習 留学生のためのビジネスマナー・作文		4 4 4 4 2 2 2 2 2 2 2 2 2	履修ごとに2単位 履修ごとに2単位 履修ごとに2単位
専 攻 科 目	観光・地域マネジメント 働くことを考える 観光の道しるべ 世界遺産を学ぶ 西宮まち・ひと・しごとリレー講義 SDGs de 地域課題を考える アンケート作成入門 観光学 旅行・観光関連法規 観光英語 ホスピタリティ・マネジメント		2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	

[別表1] 授業科目及び単位数

	国内旅行地理	2	
	国内旅行実務	2	
	まちづくり論	2	
	地域ツーリズム演習Ⅰ（伊丹と灘の酒文化）	2	
	地域ツーリズム演習Ⅱ（産業観光論）	2	
	パブリックマネジメント	2	
	地域学入門	2	
	政策学入門	2	
	阪神間ツーリズム学	2	
	ソーシャルキャピタル論	2	
	ソーシャルファイナンス論	2	
	ソーシャルビジネス論	2	
	ソーシャルイノベーション論	2	
	コンテンツツーリズム論	2	
	イベント・コンベンション概論	2	
	エアラインビジネス論	2	
	観光事業論	2	
	旅行ビジネス論	2	
	ホテルビジネス論	2	
	観光地誌学	2	
	観光社会学	2	
	地域ブランド論	2	
	観光モビリティ論	2	
	コミュニティデザイン論	2	
心理学	自分探しの心理学	2	
	映画で学ぶこころの世界	2	
	公認心理師の職責	2	
	心理学概論	2	
	臨床心理学概論	2	
	心理学研究法Ⅰ	2	
	心理学研究法Ⅱ	2	
	心理学統計法Ⅰ	2	
	心理学統計法Ⅱ	2	
	心理学実験Ⅰ	2	
	心理学実験Ⅱ	2	
	知覚・認知心理学	2	
	学習・言語心理学	2	
	感情・人格心理学	2	
	神経・生理心理学	2	
	社会・集団・家族心理学	2	
	発達心理学	2	
	障害者・障害児心理学	2	
	心理的アセスメント	2	
	心理学的支援法	2	
	青年心理学	2	
	健康・医療心理学	2	
	福祉心理学	2	
	教育・学校心理学	2	
	司法・犯罪心理学	2	
	産業・組織心理学	2	
	精神分析学	2	
	カウンセリング心理学	2	
	人間関係論	2	
	文化心理学	2	
	人体の構造と機能及び疾病	2	
	精神疾患とその治療	2	
	関係行政論	2	
	心理演習	2	
	心理実習	2	
	心理学特殊講義	2	
情報・コンピ	IT入門	2	
	データ構造とアルゴリズム	2	
	Web技術	2	
	プログラミング演習Ⅰ	2	
	プログラミング演習Ⅱ	2	

[別表1] 授業科目及び単位数

ユ ー タ	マルチメディア技術	2	
	情報システム論Ⅰ	2	
	情報システム論Ⅱ	2	
	情報システム論Ⅲ	2	
	情報システム論Ⅳ	2	
	情報システム論Ⅴ	2	
	ネットワーク技術	2	
	情報数学	2	
	人工知能基礎論	2	
	人工知能応用論	2	
	データベース技術Ⅰ	2	
	データベース技術Ⅱ	2	
	アプリケーション開発Ⅰ	2	
	アプリケーション開発Ⅱ	2	
	ゲーム開発	2	
	モバイルアプリ開発	2	
	バーチャルリアリティ技術	2	
	IoTとクラウドコンピューティング	2	
	システム設計	2	
	プロジェクトマネジメント	2	
情報実践特講Ⅰ	2		
情報実践特講Ⅱ	2		
メ デ ィ ア ・ 社 会 学	社会学入門	2	
	文化社会学	2	
	情報社会学	2	
	家族社会学	2	
	地域社会学	2	
	社会学特論	2	
	国際社会学	2	
	社会調査法入門	2	
	データサイエンス・リテラシー	2	
	社会統計法Ⅰ	2	
	社会統計法Ⅱ	2	
	質的調査法	2	
	情報メディアと社会	2	
	ポピュラーカルチャー研究	2	
	メディア・コンテンツ産業論	2	
	メディア・コンテンツと地域	2	
	イメージと物語	2	
	モビリティ・スタディーズ	2	
	メディア・社会デザイン演習Ⅰ	2	
	メディア・社会デザイン演習Ⅱ	2	
	メディア学入門	2	
	メディアコミュニケーション論	2	
	放送メディア論	2	
出版メディア論	2		
ジャーナリズム論	2		
デジタルメディア論	2		
情報メディア史	2		
ドキュメンタリー論	2		
メディア特論	2		
ス ポ ー ツ マ ネ ジ メ ン ト	スポーツ強化演習Ⅰ	6	
	スポーツ強化演習Ⅱ	6	
	スポーツ強化演習Ⅲ	6	
	スポーツ強化演習Ⅳ	6	
	スポーツ強化演習Ⅴ	6	
	スポーツ強化演習Ⅵ	6	
	経営理念事例研究	2	
	経営戦略事例研究	2	
	経営組織事例研究	2	
	ビジネスネゴシエーション事例研究	2	
総 合 研 究	研究・制作Ⅰ	2	
	研究・制作Ⅱ	2	
	研究・制作Ⅲ	2	
	研究・制作Ⅳ	2	

[別表1] 授業科目及び単位数

	ゼミナールⅠ	2		} いずれか1科目必修
	ゼミナールⅡ	2		
	卒業研究		4	
	卒業制作		4	
その他の科目	法学		2	履修ごとに2単位
	日本国憲法		2	
	民法Ⅰ		2	
	民法Ⅱ		2	
	行政法		2	
	社会科学		2	
	行政と社会の扉		2	
	社会を知る		2	
	経済学A		2	
	経済学B		2	
	数学応用Ⅰ		2	
	数学応用Ⅱ		2	
	行政実務特修Ⅰ		2	
	行政実務特修Ⅱ		2	
	公務サービス実務リレー講義		2	
	ニュースを読む		2	
	キャリア・マネジメント・ベーシック		2	
キャリア・マネジメント・インテンシブ		2		
キャリア・マネジメント・アドバンス		2		
現代社会特別講義		2	履修ごとに2単位	
現代社会特別演習		2	履修ごとに2単位	
現代社会学部 卒業要件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合科目から必修科目を含め10単位以上</li> <li>・専攻科目から主専攻1つ以上</li> <li>・「ゼミナールⅠ」及び「ゼミナールⅡ」並びに「卒業研究」若しくは「卒業制作」計8単位</li> <li>・上記要件を満たした上で、総合計124単位以上</li> </ul>			

健康栄養学部 管理栄養学科

科目区分	授業科目	単位数			備考
		必修	選択	自由	
総合科目	キャリアデザインⅠ	2			必修科目について、特に必要 があると認める場合には、履 修を免除することがある。
	キャリアデザインⅡ	2			
	キャリアデザインⅢ	2			
	キャリアデザインⅣ	2			
	情報活用Ⅰ	1			
	情報活用Ⅱ		1		
	AI・データサイエンスの扉		2		
	哲学		2		
	史学		2		
	法学		2		
	社会科学		2		
	数学		2		
	生命科学		2		
	外国語科目	英語Ⅰ	1		
英語Ⅱ			1		
ドイツ語Ⅰ			1		
ドイツ語Ⅱ			1		
フランス語Ⅰ			1		
フランス語Ⅱ			1		
中国語Ⅰ			1		
中国語Ⅱ			1		
韓国語Ⅰ			1		
韓国語Ⅱ			1		
スポーツ・健康科目	保健体育		2		
	バレーボール		1		
	バスケットボール		1		
	フットサル		1		
	軽スポーツ		1		
	ダンス		1		
	ヨーガ&ピラティス実習		1		
	健康ボディケア実習		1		
	ボディワーク&コミュニケーション実習		1		

[別表1] 授業科目及び単位数

		コミュニケーションスポーツ		1		
共通 専門 科目		日本文化・阪神文化		2		
		アジアの文化に親しむ		2		
		ヨーロッパ・アメリカの文化に親しむ		2		
		異文化コミュニケーション		2		
		国境を超える発想		2		
		日本史の扉		2		
		東洋史の扉		2		
		西洋史の扉		2		
		考古学の扉		2		
		地理学の扉		2		
		情報メディアと社会Ⅰ		2		
		情報メディアと社会Ⅱ		2		
		マスメディア入門		2		
		映画・演劇入門Ⅰ		2		
		映画・演劇入門Ⅱ		2		
		日本国憲法		2		
		働くことを考える		2		
		企業経営を考える		2		
		観光の道しるべ		2		
		世界遺産を学ぶ		2		
		自分探しの心理学		2		
		映画で学ぶこころの世界		2		
		建築・インテリア総論		2		
		IT入門		2		
情報と社会		2				
情報倫理		2				
職業選択演習		2				
					履修ごとに2単位	
専攻 科目	基礎 導入 分野	管理栄養士入門	2			
		栄養学・食品学を学ぶための化学		2		
		栄養学・食品学を学ぶための生物学		2		
		細胞生物学		2		
		食の安全・福祉の法律概論	2			
			栄養学・食品学を学ぶための統計学		2	
	専門 基礎 分野	健康 環境 と・ 社会	健康管理概論	2		
			公衆衛生学Ⅰ	2		
			公衆衛生学Ⅱ	2		
		疾 病 の 成 り 立 ち 機 能 及 び	運動生理学	2		
			生化学Ⅰ	2		
			生化学Ⅱ	2		
			生化学実験Ⅰ	1		
生化学実験Ⅱ			1			
病理学			2			
微生物学			2			
解剖生理学Ⅰ			2			
解剖生理学Ⅱ			2			
解剖生理学実験Ⅰ			1			
解剖生理学実験Ⅱ	1					
食 べ 物 と 健 康	食品学総論	2				
	食品学各論	2				
	化学基礎実験	1				
	食品学実験	1				
	食品加工学	2				
	食品加工学実習	1				
	食品衛生学	2				
	食品衛生学実験	1				
	調理学	2				
	調理学実習Ⅰ	1				
調理学実習Ⅱ	1					
専門 分野	養 基 礎 栄 学	基礎栄養学Ⅰ	2			
		基礎栄養学Ⅱ	2			
		基礎栄養学実験	1			
	学 応 用 栄 学	食事摂取基準論	2			
		応用栄養学	2			
		運動栄養学	2			



[別表1] 授業科目及び単位数

	応用栄養学実習	1		
栄養教育論	栄養教育論Ⅰ	2		
	栄養教育論Ⅱ	2		
	栄養教育論Ⅲ	2		
	栄養教育論実習Ⅰ	1		
	栄養教育論実習Ⅱ	1		
臨床栄養学	臨床栄養学Ⅰ	2		
	臨床栄養学Ⅱ	2		
	臨床栄養学Ⅲ	2		
	臨床栄養学Ⅳ	2		
	臨床栄養学実習Ⅰ	1		
	臨床栄養学実習Ⅱ	1		
養学 公衆栄	公衆栄養学Ⅰ	2		
	公衆栄養学Ⅱ	2		
	公衆栄養学実習	1		
管給 理食 論経 営	給食経営管理論Ⅰ	2		
	給食経営管理論Ⅱ	2		
	給食経営管理実習Ⅰ	1		
	給食経営管理実習Ⅱ	1		
習総 合演	総合演習Ⅰ	1		
	総合演習Ⅱ	1		
	総合演習Ⅲ	1		
習臨 地実	臨地校外実習Ⅰ（給食の運営・給食経営管理論）	1		
	臨地校外実習Ⅱ（公衆栄養学）	1		
	臨地校外実習Ⅲ（臨床栄養学）	2		
発 展 分 野	外書講読Ⅰ		1	
	外書講読Ⅱ		1	
	機器分析論		1	
	管理栄養士特論		1	
	症例実務演習		1	
	薬理学		1	
	商品開発論		1	
	調理学実習Ⅲ		1	
	スポーツ栄養論		1	
	NR・SA特講		2	
	フードスペシャリスト論		2	
	フードマネジメント論		2	
	フードコーディネイト論		2	
	登録販売者対策		2	
	応用セミナーⅠ	1		
	応用セミナーⅡ	1		
	応用セミナーⅢ	1		
	応用セミナーⅣ	1		
	特別演習Ⅰ		2	
	特別演習Ⅱ		2	
	特別演習Ⅲ		2	
	特別演習Ⅳ		2	
	管理栄養士特講Ⅰ		2	
管理栄養士特講Ⅱ		2		
卒業研究		4		
栄 養 教 諭 養 成 科 目	教職論		2	
	教育原理		2	
	日本国憲法		2	
	教育・学校心理学		2	
	学校制度		2	
	教育課程論		2	
	教育の方法及び技術（情報通信技術の活用含む）		2	
	生徒指導論		2	
	教育相談		2	
	栄養教育実習指導		1	
	栄養教育実習		1	
	特別支援教育概論		1	
	道徳・総合的な学習の時間・特別活動論		2	
	教職実践演習（栄養教諭）		2	
	栄養教諭論Ⅰ		2	

} 4単位必修

[別表1] 授業科目及び単位数

	栄養教諭論Ⅱ		2	
健康栄養学部 卒業要件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合科目から必修科目を含め10単位以上</li> <li>・専攻科目から必修科目96単位を含む100単位以上</li> <li>・上記要件を満たした上で、総合計124単位以上（他学部の専攻科目等を含む。）</li> <li>・入学時からの通算GPA1.5以上</li> </ul>			

国際看護学部 看護学科

科目区分			授業科目	単位数			備考	
				必修	選択	自由		
総合科目	基礎分野	リベラルアーツ	キャリアプランニングⅠ	1			必修科目について、特に必要があるとする場合には、履修を免除することがある。	
			キャリアプランニングⅡ	1				
			生命・医療倫理	1				
			哲学入門		1			
			法学の基礎		1			
		国際社会学		1				
		グローバル社会と言葉	Practical English I for Nurses	1				※
			Practical English II for Nurses	1				
			Academic Writing & Debate	1				
			Student-friendly English for nursing		1			
English for healthcare careers			1					
社会と文化	看護のための中国語		1		いずれか1単位			
	看護のための韓国語		1					
グローバル文化	Basic Communication in Global Context		1		いずれか1単位			
	Listening & Speaking in a Global Society		1					
科学と情報	大阪・神戸における多様な共生社会と文化	1			※ 「リベラルアーツ」区分および「グローバル社会と文化」区分の選択科目から合計3単位以上			
	医療人類学	2						
	情報倫理		1					
	国際政治・経済		1					
スポーツと保健	化学	2						
	生物学・細胞生物学	2						
専攻科目	専門基礎分野	人間の体の構造と機能	解剖生理学	2				
			病態生理学	2				
			生化学	1				
			薬理学	2				
			微生物学・医動物	1				
		疾病の促進の成り立ちと回復	臨床栄養学	2				
			病態学Ⅰ（呼吸器・循環器）	1				
			病態学Ⅱ（栄養代謝）	1				
			病態学Ⅲ（造血・免疫）	1				
			病態学Ⅳ（脳・神経・感覚）	1				
障と健康支援	病態学Ⅴ（運動）	1						
	病態学Ⅵ（内部環境調節・性・生殖）	1						
	疾病と治療	1						
シニと他者理解	公衆衛生	2						
	社会福祉と社会保障	2						
	医療関係法規	2						
基礎看護学	看護のためのコミュニケーション論	2						
	カウンセリングスキル	2						
	感覚多様性探求	2						
専門分野	基礎看護学	看護学概論	1					
		グローバルヘルスと看護	1					
		基礎看護方法論Ⅰ（含医療安全）	2					
		基礎看護方法論Ⅱ（含看護管理）	1					
		基礎看護技術Ⅰ	1					
		基礎看護技術Ⅱ	1					
		基礎看護技術Ⅲ	1					
		基礎看護技術Ⅳ	1					
		看護過程	1					
		基礎看護学実習Ⅰ	1					
基礎看護学実習Ⅱ	1							

[別表1] 授業科目及び単位数

		基礎看護学実習Ⅲ	2		
	成人看護学	成人看護学概論	2		
		急性看護援助論Ⅰ	1		
		急性看護援助論Ⅱ	1		
		急性看護学実習	2		
		がんの多様性と看護	1		
		慢性看護援助論Ⅰ	1		
		慢性看護援助論Ⅱ	1		
		慢性看護学実習	2		
		生涯発達看護学	母性健康看護学概論	1	
	多様性とウィメンズヘルス		1		
	母性看護援助論Ⅰ		1		
	母性看護援助論Ⅱ		1		
	母性看護学実習		2		
	小児看護学	小児看護学概論	1		
		多様性と子ども	1		
		小児看護援助論Ⅰ	1		
		小児看護援助論Ⅱ	1		
		小児看護学実習	2		
	高齢者看護学	高齢者看護学概論	1		
		多様性と高齢者	1		
		高齢者看護援助論Ⅰ	1		
		高齢者看護援助論Ⅱ	1		
		高齢者看護学実習	2		
	国際地域看護学	精神看護学概論	1		
		多様性とメンタルヘルス	1		
		精神看護援助論Ⅰ	1		
		精神看護援助論Ⅱ	1		
		精神看護学実習	2		
	地域・在宅看護学	地域・在宅看護学概論	1		
		多様性と地域・在宅看護	1		
		地域・在宅看護援助論Ⅰ	1		
		地域・在宅看護援助論Ⅱ	1		
		地域連携継続看護演習Ⅰ	1		
		地域連携継続看護演習Ⅱ	1		
		地域・在宅看護学実習	2		
		国際看護学	1	1	
	国際看護学	国際看護学概論	1		
		国際看護演習Ⅰ	1		
		国際看護演習Ⅱ	1		
		国際看護演習Ⅲ	1		
		国際看護演習Ⅳ	1		
		国際看護学実習Ⅰ	1		
		国際看護学実習Ⅱ	1		
	国際看護学実習Ⅲ	1			
	統合分野	看護探学	1		
		外国人診療	1		
		災害看護	1		
		看護研究Ⅰ	1		
		看護研究Ⅱ	3		
	統合看護学実習	2			
国際看護学部 卒業要件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合科目から必修科目を含め22単位以上</li> <li>・専攻科目の「専門基礎分野」区分から必修科目29単位、「専門分野」区分から必修科目71単位の計100単位以上</li> <li>・上記要件を満たした上で、総合計124単位以上</li> <li>・入学時からの通算GPA1.5以上</li> </ul>				

経営学部 経営学科

科目区分	授業科目	単位数			備考
		必修	選択	自由	
総合科目	キャリアデザインⅠ	2			必修科目について、特に必要があると認める場合には、履修を免除することがある。
	キャリアデザインⅡ	2			
	キャリアデザインⅢ	2			
	キャリアデザインⅣ	2			
	哲学		2		
	史学		2		
	数学		2		

[別表1] 授業科目及び単位数

		生命科学		2	
外国語科目		英語Ⅰ	1		
		英語Ⅱ		1	
		ドイツ語Ⅰ		1	
		ドイツ語Ⅱ		1	
		フランス語Ⅰ		1	
		フランス語Ⅱ		1	
		中国語Ⅰ		1	
		中国語Ⅱ		1	
		韓国語Ⅰ		1	
		韓国語Ⅱ		1	
		スペイン語Ⅰ		1	
		スペイン語Ⅱ		1	
情報機器の活用とプレゼンテーション科目		情報活用Ⅰ	1		
		情報活用Ⅱ		1	
		文書作成演習		2	
		表計算演習		2	
		情報機器プレゼンテーション		2	
		プレゼンテーション概論		2	
		プレゼンテーション演習基礎		2	
		日本語表現法		2	
		日本語プレゼンテーション		2	
スポーツ・健康科目		保健体育		2	
		バレーボール		1	
		バスケットボール		1	
		バドミントン		1	
		フットサル		1	
		軽スポーツ		1	
		レクリエーション&スポーツ		1	
		フィットネス&スポーツ		1	
		コミュニケーション・スポーツ		1	
		ダンス		1	
		ヨーガ&ピラティス実習		1	
	健康ボディケア実習		1		
	ボディワーク&コミュニケーション実習		1		
キャリアアップ科目		PBL特別演習Ⅰ		4	
		PBL特別演習Ⅱ		4	
		PBL特別演習Ⅲ		4	
		PBL特別演習Ⅳ		4	
		Global Career Seminar A 100		2	
		Global Career Seminar B 200		2	
		Global Career Seminar C 300		2	
		Global Career Seminar D 400		2	
		地域貢献PBL		2	
		インターンシップ		2	
		サービ斯拉ーニング		2	
	職業選択演習		2		
法と社会科目		哲学と社会		2	
		倫理学		2	
		法学		2	
		日本国憲法		2	
		民法Ⅰ		2	
		民法Ⅱ		2	
		行政法		2	
		社会科学		2	
		社会を知る		2	
専攻科目	専門分野	経営		2	
		経営学の扉		2	
		経営学入門		2	
		経営戦略論Ⅰ		2	
		経営戦略論Ⅱ		2	
		組織行動論		2	
		人的資源管理論		2	
		経営組織論		2	
		マネジメント史		2	
		アントレプレナーシップ入門		2	

[別表1] 授業科目及び単位数

	ベンチャー経営論		2	
	環境経営論		2	
	生産管理論		2	
	国際経営論		2	
	スイーツビジネス		2	
	地域産業論		2	
会計	会計学入門	2		
	商業簿記Ⅰ		2	
	商業簿記Ⅱ		2	
	商業簿記Ⅲ		2	
	工業簿記		2	
	パソコン会計		2	
	財務会計論		2	
	管理会計論		2	
	ファイナンス入門		2	
	会計学応用演習		2	
	税務会計論		2	
	証券投資論		2	
	証券投資演習		2	
マーケティング	マーケティング入門	2		
	マーケティング戦略論		2	
	マーケティングリサーチⅠ		2	
	マーケティングリサーチⅡ		2	
	消費者行動論		2	
	食のマーケティング		2	
	ファッションマーケティング		2	
	サービス経営		2	
	商品企画論		2	
	ブランド論		2	
	流通マーケティング		2	
	デジタルマーケティングⅠ		2	
	デジタルマーケティングⅡ		2	
	クリエイティブマーケティング演習Ⅰ		2	
	クリエイティブマーケティング演習Ⅱ		2	
デジタルビジネス	デジタル社会とテクノロジー	2		
	コンピュータ技術		2	
	経営と情報システム		2	
	ビジネス情報処理Ⅰ		2	
	ビジネス情報処理Ⅱ		2	
	課題解決のためのデジタル活用Ⅰ		2	
	課題解決のためのデジタル活用Ⅱ		2	
	デジタル経営論		2	
	社会におけるデータ・AI利活用		2	
	ビジネスの数字を読む		2	
	データの分析と活用Ⅰ		2	
	データの分析と活用Ⅱ		2	
	データサイエンスⅠ		2	
	データサイエンスⅡ		2	
いきいきキャリア	働くことを考えるⅠ	2		
	働くことを考えるⅡ		2	
	名著・名作から人生を考える		2	
	キャリア形成と社会		2	
	キャリアトランジション論		2	
	キャリアの心理学		2	
	仕事と職場の心理学		2	
	キャリアカウンセリングⅠ		2	
	キャリアカウンセリングⅡ		2	
	企業内キャリア開発		2	
	ライフコースの心理学		2	
	キャリアモデル事例研究		2	
	働くことの哲学		2	
専門共通	ロジカルシンキング		2	
	ビジネス法の基礎		2	
	経済学入門		2	
	ミクロ経済学		2	

[別表1] 授業科目及び単位数

	経営現場で起こる諸問題		2	
	日本経営史		2	
	Business English		2	
	Cross Cultural Communication		2	
目人 間 力 科	人間関係トレーニング		2	
	リーダーシップと問題解決		2	
	職場コミュニケーション		2	
	デザイン思考		2	
実 践 科 目	フィールドスタディⅠ		2	
	フィールドスタディⅡ		2	
	フィールドスタディⅢ		2	
	実践演習（経営Ⅰ）		2	
	実践演習（経営Ⅱ）		2	
	実践演習（会計Ⅰ）		2	
	実践演習（会計Ⅱ）		2	
	実践演習（マーケティングⅠ）		2	
	実践演習（マーケティングⅡ）		2	
	実践演習（デジタルⅠ）		2	
	実践演習（デジタルⅡ）		2	
	実践演習（キャリアⅠ）		2	
	実践演習（キャリアⅡ）		2	
究 総 合 研	ゼミナールⅠ	2		
	ゼミナールⅡ	2		
	卒業研究	4		
経営学部 卒業要件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合科目から必修科目を含め10単位以上</li> <li>・専攻科目から必修科目20単位を含め74単位以上</li> <li>このうち、主専攻として選んだ専門分野1つから16単位以上を含む</li> <li>・上記要件を満たした上で、合計124単位以上</li> </ul>			

[別表2] 入学金、授業料及びその他の学納金

種別	国際日本学部		建築&芸術学部		現代社会学部		健康栄養学部		国際看護学部		経営学部	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期
入学金	240,000円	-	240,000円	-	240,000円	-	270,000円	-	270,000円	-	240,000円	-
授業料	405,000円	405,000円	405,000円	405,000円	405,000円	405,000円	430,000円	430,000円	500,000円	500,000円	405,000円	405,000円
施設設備費	120,000円	120,000円	120,000円	120,000円	120,000円	120,000円	120,000円	120,000円	-	-	120,000円	120,000円
教育充実費	-	-	50,000円	50,000円	-	-	75,000円	75,000円	-	-	-	-
教育施設充実費	-	-	-	-	-	-	-	-	310,000円	310,000円	-	-
合計	765,000円 (入学時納入額)	525,000円	815,000円 (入学時納入額)	575,000円	765,000円 (入学時納入額)	525,000円	895,000円 (入学時納入額)	625,000円	1,080,000円 (入学時納入額)	810,000円	765,000円 (入学時納入額)	525,000円
年額	1,290,000円		1,390,000円		1,290,000円		1,520,000円		1,890,000円		1,290,000円	

休学中の在籍料

種別	国際日本学部		建築&芸術学部		現代社会学部		健康栄養学部		国際看護学部		経営学部	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期
在籍料	60,000円	60,000円	60,000円	60,000円	60,000円	60,000円	60,000円	60,000円	100,000円	100,000円	60,000円	60,000円

## 変更事項を記載した書類

### 1. 学則変更の事由

- ・ 経営学部経営学科を設置するため
- ・ 経営学部経営学科を設置することに伴い、既設の国際日本学部、建築&芸術学部、現代社会学部の入学定員及び収容定員を変更するため

### 2. 変更点

- ・ 経営学部経営学科を置く旨の条文を新設したこと。(第3条)
- ・ 経営学部経営学科の人材養成等教育研究上の目的を加えたこと。(第3条の3)
- ・ 国際日本学部、建築&芸術学部、現代社会学部の入学定員及び収容定員を変更したこと。(第4条)
- ・ 経営学部経営学科の入学定員、編入学定員及び収容定員を加えたこと。(第4条)
- ・ 経営学部経営学科の教育課程を加えたこと。(第9条)
- ・ 経営学部経営学科の履修方法を加えたこと。(第12条)
- ・ 経営学部経営学科の卒業要件を加えたこと。(第23条)
- ・ 経営学部経営学科の学位を加えたこと。(第24条)
- ・ 施行日を明示するために附則を加えたこと。(附則)

### 3. 変更の時期

- ・ 令和5(2023)年4月1日



大手前大学学則(案) 変更部分の新旧対照表

\_\_ は、改正箇所

2023 年度 (新)	2022 年度 (旧)																																																																																																				
<p>(学部・学科)</p> <p><b>第 3 条</b> 本学に次の学部及び学科を置く。</p> <p>国際日本学部 国際日本学科            建築&amp;芸術学部 建築&amp;芸術学科            現代社会学部 現代社会学科            健康栄養学部 管理栄養学科            国際看護学部 看護学科  <u>経営学部 経営学科</u></p>	<p>(学部・学科)</p> <p><b>第 3 条</b> 本学に次の学部及び学科を置く。</p> <p>国際日本学部 国際日本学科            建築&amp;芸術学部 建築&amp;芸術学科            現代社会学部 現代社会学科            健康栄養学部 管理栄養学科            国際看護学部 看護学科  <u>〔新設〕</u></p>																																																																																																				
<p>(人材養成等教育研究上の目的)</p> <p><b>第 3 条の 3</b> 本学は学士課程としてリベラルアーツ教育を全学で行うとともに、第 3 条に定める学部、学科においては、以下を目的として教育研究活動等を行う。</p> <p>(1)～(5) (略)</p> <p><u>(6) 経営学部経営学科は、国内外における経営現象を教育研究の対象とし、学修活動の中で、豊かな教養、経営学の専門知識を身につけ、地域に軸足を置きつつ、企業や団体における課題解決を通じて、社会の幸福と持続可能な発展に貢献できる人材養成を目的とする。</u></p>	<p>(人材養成等教育研究上の目的)</p> <p><b>第 3 条の 3</b> 本学は学士課程としてリベラルアーツ教育を全学で行うとともに、第 3 条に定める学部、学科においては、以下を目的として教育研究活動等を行う。</p> <p>(1)～(5) (略)</p> <p><u>〔新設〕</u></p>																																																																																																				
<p>(定員)</p> <p><b>第 4 条</b> 本学学生の定員は、次表のとおりとする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">学部</th> <th rowspan="2">学科</th> <th rowspan="2">入学定員</th> <th colspan="2">編入学定員</th> <th rowspan="2">収容定員</th> </tr> <tr> <th>2年次</th> <th>3年次</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国際日本学部</td> <td>国際日本学科</td> <td><u>160人</u></td> <td>4人</td> <td>2人</td> <td><u>656人</u></td> </tr> <tr> <td>建築&amp;芸術学部</td> <td>建築&amp;芸術学科</td> <td><u>170人</u></td> <td>4人</td> <td>2人</td> <td><u>696人</u></td> </tr> <tr> <td>現代社会学部</td> <td>現代社会学科</td> <td><u>200人</u></td> <td>4人</td> <td>2人</td> <td><u>816人</u></td> </tr> <tr> <td>健康栄養学部</td> <td>管理栄養学科</td> <td>80人</td> <td>—</td> <td>16人</td> <td>352人</td> </tr> <tr> <td>国際看護学部</td> <td>看護学科</td> <td>80人</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>320人</td> </tr> <tr> <td>経営学部</td> <td><u>経営学科</u></td> <td><u>170人</u></td> <td><u>2人</u></td> <td><u>7人</u></td> <td><u>700人</u></td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計</td> <td><u>860人</u></td> <td><u>14人</u></td> <td><u>29人</u></td> <td><u>3,540人</u></td> </tr> </tbody> </table>	学部	学科	入学定員	編入学定員		収容定員	2年次	3年次	国際日本学部	国際日本学科	<u>160人</u>	4人	2人	<u>656人</u>	建築&芸術学部	建築&芸術学科	<u>170人</u>	4人	2人	<u>696人</u>	現代社会学部	現代社会学科	<u>200人</u>	4人	2人	<u>816人</u>	健康栄養学部	管理栄養学科	80人	—	16人	352人	国際看護学部	看護学科	80人	—	—	320人	経営学部	<u>経営学科</u>	<u>170人</u>	<u>2人</u>	<u>7人</u>	<u>700人</u>	合計		<u>860人</u>	<u>14人</u>	<u>29人</u>	<u>3,540人</u>	<p>(定員)</p> <p><b>第 4 条</b> 本学学生の定員は、次表のとおりとする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">学部</th> <th rowspan="2">学科</th> <th rowspan="2">入学定員</th> <th colspan="2">編入学定員</th> <th rowspan="2">収容定員</th> </tr> <tr> <th>2年次</th> <th>3年次</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国際日本学部</td> <td>国際日本学科</td> <td><u>190人</u></td> <td>4人</td> <td>2人</td> <td><u>776人</u></td> </tr> <tr> <td>建築&amp;芸術学部</td> <td>建築&amp;芸術学科</td> <td><u>180人</u></td> <td>4人</td> <td>2人</td> <td><u>736人</u></td> </tr> <tr> <td>現代社会学部</td> <td>現代社会学科</td> <td><u>220人</u></td> <td>4人</td> <td>2人</td> <td><u>896人</u></td> </tr> <tr> <td>健康栄養学部</td> <td>管理栄養学科</td> <td>80人</td> <td>—</td> <td>16人</td> <td>352人</td> </tr> <tr> <td>国際看護学部</td> <td>看護学科</td> <td>80人</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>320人</td> </tr> <tr> <td colspan="6" style="text-align: center;"><u>〔新設〕</u></td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計</td> <td><u>750人</u></td> <td><u>12人</u></td> <td><u>22人</u></td> <td><u>3,080人</u></td> </tr> </tbody> </table>	学部	学科	入学定員	編入学定員		収容定員	2年次	3年次	国際日本学部	国際日本学科	<u>190人</u>	4人	2人	<u>776人</u>	建築&芸術学部	建築&芸術学科	<u>180人</u>	4人	2人	<u>736人</u>	現代社会学部	現代社会学科	<u>220人</u>	4人	2人	<u>896人</u>	健康栄養学部	管理栄養学科	80人	—	16人	352人	国際看護学部	看護学科	80人	—	—	320人	<u>〔新設〕</u>						合計		<u>750人</u>	<u>12人</u>	<u>22人</u>	<u>3,080人</u>
学部				学科	入学定員		編入学定員		収容定員																																																																																												
	2年次	3年次																																																																																																			
国際日本学部	国際日本学科	<u>160人</u>	4人	2人	<u>656人</u>																																																																																																
建築&芸術学部	建築&芸術学科	<u>170人</u>	4人	2人	<u>696人</u>																																																																																																
現代社会学部	現代社会学科	<u>200人</u>	4人	2人	<u>816人</u>																																																																																																
健康栄養学部	管理栄養学科	80人	—	16人	352人																																																																																																
国際看護学部	看護学科	80人	—	—	320人																																																																																																
経営学部	<u>経営学科</u>	<u>170人</u>	<u>2人</u>	<u>7人</u>	<u>700人</u>																																																																																																
合計		<u>860人</u>	<u>14人</u>	<u>29人</u>	<u>3,540人</u>																																																																																																
学部	学科	入学定員	編入学定員		収容定員																																																																																																
			2年次	3年次																																																																																																	
国際日本学部	国際日本学科	<u>190人</u>	4人	2人	<u>776人</u>																																																																																																
建築&芸術学部	建築&芸術学科	<u>180人</u>	4人	2人	<u>736人</u>																																																																																																
現代社会学部	現代社会学科	<u>220人</u>	4人	2人	<u>896人</u>																																																																																																
健康栄養学部	管理栄養学科	80人	—	16人	352人																																																																																																
国際看護学部	看護学科	80人	—	—	320人																																																																																																
<u>〔新設〕</u>																																																																																																					
合計		<u>750人</u>	<u>12人</u>	<u>22人</u>	<u>3,080人</u>																																																																																																

<p>(教育課程)</p> <p><b>第 9 条</b> 各学部学科における教育課程の区分は、次表のとおりとする。</p> <table border="1" data-bbox="164 318 786 607"> <thead> <tr> <th>学部</th> <th>学科</th> <th colspan="2">授業科目区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国際日本学部</td> <td>国際日本学科</td> <td>総合科目</td> <td>専攻科目</td> </tr> <tr> <td>建築&amp;芸術学部</td> <td>建築&amp;芸術学科</td> <td>総合科目</td> <td>専攻科目</td> </tr> <tr> <td>現代社会学部</td> <td>現代社会学科</td> <td>総合科目</td> <td>専攻科目</td> </tr> <tr> <td>健康栄養学部</td> <td>管理栄養学科</td> <td>総合科目</td> <td>専攻科目</td> </tr> <tr> <td>国際看護学部</td> <td>看護学科</td> <td>総合科目</td> <td>専攻科目</td> </tr> <tr> <td>経営学部</td> <td>経営学科</td> <td>総合科目</td> <td>専攻科目</td> </tr> </tbody> </table>	学部	学科	授業科目区分		国際日本学部	国際日本学科	総合科目	専攻科目	建築&芸術学部	建築&芸術学科	総合科目	専攻科目	現代社会学部	現代社会学科	総合科目	専攻科目	健康栄養学部	管理栄養学科	総合科目	専攻科目	国際看護学部	看護学科	総合科目	専攻科目	経営学部	経営学科	総合科目	専攻科目	<p>(教育課程)</p> <p><b>第 9 条</b> 各学部学科における教育課程の区分は、次表のとおりとする。</p> <table border="1" data-bbox="813 318 1433 607"> <thead> <tr> <th>学部</th> <th>学科</th> <th colspan="2">授業科目区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国際日本学部</td> <td>国際日本学科</td> <td>総合科目</td> <td>専攻科目</td> </tr> <tr> <td>建築&amp;芸術学部</td> <td>建築&amp;芸術学科</td> <td>総合科目</td> <td>専攻科目</td> </tr> <tr> <td>現代社会学部</td> <td>現代社会学科</td> <td>総合科目</td> <td>専攻科目</td> </tr> <tr> <td>健康栄養学部</td> <td>管理栄養学科</td> <td>総合科目</td> <td>専攻科目</td> </tr> <tr> <td>国際看護学部</td> <td>看護学科</td> <td>総合科目</td> <td>専攻科目</td> </tr> <tr> <td colspan="4" style="text-align: center;">[新設]</td> </tr> </tbody> </table>	学部	学科	授業科目区分		国際日本学部	国際日本学科	総合科目	専攻科目	建築&芸術学部	建築&芸術学科	総合科目	専攻科目	現代社会学部	現代社会学科	総合科目	専攻科目	健康栄養学部	管理栄養学科	総合科目	専攻科目	国際看護学部	看護学科	総合科目	専攻科目	[新設]											
学部	学科	授業科目区分																																																															
国際日本学部	国際日本学科	総合科目	専攻科目																																																														
建築&芸術学部	建築&芸術学科	総合科目	専攻科目																																																														
現代社会学部	現代社会学科	総合科目	専攻科目																																																														
健康栄養学部	管理栄養学科	総合科目	専攻科目																																																														
国際看護学部	看護学科	総合科目	専攻科目																																																														
経営学部	経営学科	総合科目	専攻科目																																																														
学部	学科	授業科目区分																																																															
国際日本学部	国際日本学科	総合科目	専攻科目																																																														
建築&芸術学部	建築&芸術学科	総合科目	専攻科目																																																														
現代社会学部	現代社会学科	総合科目	専攻科目																																																														
健康栄養学部	管理栄養学科	総合科目	専攻科目																																																														
国際看護学部	看護学科	総合科目	専攻科目																																																														
[新設]																																																																	
<p>(履修方法)</p> <p><b>第 12 条</b> 各授業科目の履修については、次表のとおりとする。</p> <table border="1" data-bbox="164 790 786 1111"> <thead> <tr> <th>学部</th> <th>学科</th> <th>総合科目</th> <th>専攻科目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国際日本学部</td> <td>国際日本学科</td> <td>10単位以上</td> <td>44単位以上</td> </tr> <tr> <td>建築&amp;芸術学部</td> <td>建築&amp;芸術学科</td> <td>10単位以上</td> <td>44単位以上</td> </tr> <tr> <td>現代社会学部</td> <td>現代社会学科</td> <td>10単位以上</td> <td>44単位以上</td> </tr> <tr> <td>健康栄養学部</td> <td>管理栄養学科</td> <td>10単位以上</td> <td>96単位以上</td> </tr> <tr> <td>国際看護学部</td> <td>看護学科</td> <td>22単位以上</td> <td>100単位以上</td> </tr> <tr> <td>経営学部</td> <td>経営学科</td> <td>10単位以上</td> <td>74単位以上</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">合計修得単位数</td> <td colspan="2">124単位以上</td> </tr> </tbody> </table>	学部	学科	総合科目	専攻科目	国際日本学部	国際日本学科	10単位以上	44単位以上	建築&芸術学部	建築&芸術学科	10単位以上	44単位以上	現代社会学部	現代社会学科	10単位以上	44単位以上	健康栄養学部	管理栄養学科	10単位以上	96単位以上	国際看護学部	看護学科	22単位以上	100単位以上	経営学部	経営学科	10単位以上	74単位以上	合計修得単位数		124単位以上		<p>(履修方法)</p> <p><b>第 12 条</b> 各授業科目の履修については、次表のとおりとする。</p> <table border="1" data-bbox="813 790 1433 1111"> <thead> <tr> <th>学部</th> <th>学科</th> <th>総合科目</th> <th>専攻科目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国際日本学部</td> <td>国際日本学科</td> <td>10単位以上</td> <td>44単位以上</td> </tr> <tr> <td>建築&amp;芸術学部</td> <td>建築&amp;芸術学科</td> <td>10単位以上</td> <td>44単位以上</td> </tr> <tr> <td>現代社会学部</td> <td>現代社会学科</td> <td>10単位以上</td> <td>44単位以上</td> </tr> <tr> <td>健康栄養学部</td> <td>管理栄養学科</td> <td>10単位以上</td> <td>96単位以上</td> </tr> <tr> <td>国際看護学部</td> <td>看護学科</td> <td>22単位以上</td> <td>100単位以上</td> </tr> <tr> <td colspan="4" style="text-align: center;">[新設]</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">合計修得単位数</td> <td colspan="2">124単位以上</td> </tr> </tbody> </table>	学部	学科	総合科目	専攻科目	国際日本学部	国際日本学科	10単位以上	44単位以上	建築&芸術学部	建築&芸術学科	10単位以上	44単位以上	現代社会学部	現代社会学科	10単位以上	44単位以上	健康栄養学部	管理栄養学科	10単位以上	96単位以上	国際看護学部	看護学科	22単位以上	100単位以上	[新設]				合計修得単位数		124単位以上	
学部	学科	総合科目	専攻科目																																																														
国際日本学部	国際日本学科	10単位以上	44単位以上																																																														
建築&芸術学部	建築&芸術学科	10単位以上	44単位以上																																																														
現代社会学部	現代社会学科	10単位以上	44単位以上																																																														
健康栄養学部	管理栄養学科	10単位以上	96単位以上																																																														
国際看護学部	看護学科	22単位以上	100単位以上																																																														
経営学部	経営学科	10単位以上	74単位以上																																																														
合計修得単位数		124単位以上																																																															
学部	学科	総合科目	専攻科目																																																														
国際日本学部	国際日本学科	10単位以上	44単位以上																																																														
建築&芸術学部	建築&芸術学科	10単位以上	44単位以上																																																														
現代社会学部	現代社会学科	10単位以上	44単位以上																																																														
健康栄養学部	管理栄養学科	10単位以上	96単位以上																																																														
国際看護学部	看護学科	22単位以上	100単位以上																																																														
[新設]																																																																	
合計修得単位数		124単位以上																																																															
<p>(卒業)</p> <p><b>第 23 条</b> 本学の卒業要件は以下のとおりとする。</p> <p style="text-align: center;">(略)</p> <p>[経営学部]</p> <p>本学に 4 年以上在学し、所定の 124 単位以上を修得した者は、教授会の議を経て卒業を認定する。</p> <p>2 (略)</p>	<p>(卒業)</p> <p><b>第 23 条</b> 本学の卒業要件は以下のとおりとする。</p> <p style="text-align: center;">(略)</p> <p style="text-align: center;">[新設]</p> <p>2 (略)</p>																																																																
<p>(学位)</p> <p><b>第 24 条</b> 本学を卒業した者に対し、学士の学位を授与する。</p> <p>2 前項に定める学位の種類は、次のとおりとする。</p> <p>(1)～(5) (略)</p> <p>(6) <u>経営学部 経営学科 学士 (経営学)</u></p>	<p>(学位)</p> <p><b>第 24 条</b> 本学を卒業した者に対し、学士の学位を授与する。</p> <p>2 前項に定める学位の種類は、次のとおりとする。</p> <p>(1)～(5) (略)</p> <p style="text-align: center;">[新設]</p>																																																																
<p><u>附 則</u></p> <p>1 <u>本改正学則は、2023 年 4 月 1 日から施行する。ただし、別表 1 の規定は、2022 年度以前の入学者については、なお従前の例による。</u></p>	<p style="text-align: center;">[附則追加]</p>																																																																

別表1 新旧対照表

2023年度（新）				2022年度（旧）			
[別表1] 授業科目及び単位数				[別表1] 授業科目及び単位数			
経営学部 経営学科				〔新設〕			
総合科目	科目区分	授業科目	単位数			備考	
			必修	選択	自由		
総合科目	ベーシック科目	キャリアデザインⅠ	2			必修科目について、特に必要があると認められる場合には、履修を免除することがある。	
		キャリアデザインⅡ	2				
		キャリアデザインⅢ	2				
		キャリアデザインⅣ	2				
		哲学		2			
	史学		2				
	数学		2				
	生命科学		2				
	外国語科目	英語Ⅰ	1				
		英語Ⅱ		1			
		ドイツ語Ⅰ		1			
		ドイツ語Ⅱ		1			
		フランス語Ⅰ		1			
		フランス語Ⅱ		1			
		中国語Ⅰ		1			
		中国語Ⅱ		1			
		韓国語Ⅰ		1			
		韓国語Ⅱ		1			
		スペイン語Ⅰ		1			
	スペイン語Ⅱ		1				
	情報機器の活用とプレゼンテーション科目	情報活用Ⅰ	1				
		情報活用Ⅱ		1			
		文書作成演習		2			
		表計算演習		2			
情報機器プレゼンテーション			2				
プレゼンテーション概論			2				
プレゼンテーション演習基礎			2				
日本語表現法			2				
日本語プレゼンテーション			2				
スポーツ・健康科目		保健体育		2			
バレーボール		1					
バスケットボール		1					
バドミントン		1					
フットサル		1					
軽スポーツ		1					
レクリエーション&スポーツ		1					
フィットネス&スポーツ		1					
コミュニケーション・スポーツ		1					
ダンス		1					
ヨーガ&ピラティス実習		1					
健康ボディアクア実習		1					
ボディアーク&コミュニケーション実習		1					
キャリアアップ科目	P B L 特別演習Ⅰ		4				
	P B L 特別演習Ⅱ		4				
	P B L 特別演習Ⅲ		4				
	P B L 特別演習Ⅳ		4				
	Global Career Seminar A 100		2				
	Global Career Seminar B 200		2				
	Global Career Seminar C 300		2				
	Global Career Seminar D 400		2				
	地域貢献P B L		2				
	インターンシップ		2				
	サービスマーケティング		2				
	職業選択演習		2				
	法学と社会科目	哲学と社会		2			
倫理学		2					
法学		2					
日本国憲法		2					
民法Ⅰ		2					
民法Ⅱ		2					
行政法		2					
社会科学		2					
社会を知る		2					
専攻科目	経営	経営学の歴史	2				
		経営学入門	2				
		経営戦略論Ⅰ		2			
		経営戦略論Ⅱ		2			
		組織行動論		2			
		人的資源管理論		2			
		経営組織論		2			
		マネジメント史		2			
		アントレプレナーシップ入門		2			
		ベンチャー経営論		2			
		環境経営論		2			
		生産管理論		2			
		国際経営論		2			
		スイーツビジネス		2			
		地域産業論		2			
		会計	会計学入門	2			
			商業簿記Ⅰ			2	
	商業簿記Ⅱ			2			
	商業簿記Ⅲ			2			
	工業簿記			2			
	パソコン会計			2			
	財務会計論			2			
	管理会計論			2			
	ファイナンス入門			2			
	会計学応用演習			2			
	マーケティング	マーケティング入門	2				
		マーケティング戦略論		2			
マーケティングリサーチⅠ			2				

別表1 新旧対照表

2023年度（新）				2022年度（旧）			
[別表1] 授業科目及び単位数				[別表1] 授業科目及び単位数			
		ファッションマーケティング サービス経営 商品企画論 ブランド論 流通マーケティング デジタルマーケティングⅠ デジタルマーケティングⅡ クリエイティブマーケティング演習Ⅰ クリエイティブマーケティング演習Ⅱ		2	2		
	デジタルビジネス	デジタル社会とテクノロジー コンピュータ技術 経営と情報システム ビジネス情報処理Ⅰ ビジネス情報処理Ⅱ 課題解決のためのデジタル活用Ⅰ 課題解決のためのデジタル活用Ⅱ デジタル経営論 社会におけるデータ・AI活用 ビジネスの数字を読む データの分析と活用Ⅰ データの分析と活用Ⅱ データサイエンスⅠ データサイエンスⅡ	2		2		
	いきいきキャリア	働くことを考えるⅠ 働くことを考えるⅡ 名著・名作から人生を考える キャリア形成と社会 キャリアアトランジション論 キャリアの心理学 仕事と職場の心理学 キャリアカウンセリングⅠ キャリアカウンセリングⅡ 企業内キャリア開発 ライフコースの心理学 キャリアモデル事例研究 働くことの哲学	2		2		
	専門共通	ロジカルシンキング ビジネス法の基礎 経済学入門 ミクロ経済学 経営現場で起こる諸問題 日本経営史 Business English Cross Cultural Communication			2		
	人間関係科	人間関係トレーニング リーダーシップ問題解決 職場コミュニケーション デザイン思考			2		
	実践科目	フィールドスタディⅠ フィールドスタディⅡ フィールドスタディⅢ 実践演習（経営Ⅰ） 実践演習（経営Ⅱ） 実践演習（会計Ⅰ） 実践演習（会計Ⅱ） 実践演習（マーケティングⅠ） 実践演習（マーケティングⅡ） 実践演習（デジタルⅠ） 実践演習（デジタルⅡ） 実践演習（キャリアⅠ） 実践演習（キャリアⅡ）			2		
	総合研究	ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ 卒業研究		2	2		
	経営学部 卒業要件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合科目から必修科目を含め10単位以上</li> <li>・専攻科目から必修科目20単位を含め74単位以上</li> <li>このうち、主専攻として選んだ専門分野1つから16単位以上を含む</li> <li>・上記要件を満たした上で、合計124単位以上</li> </ul>					

〔新設〕

## 現代社会学部 現代社会学科

科目区分	授業科目	単位数			備考
		必修	選択	自由	
総合科目	キャリアデザインⅠ	2			必修科目について、特に必要があると認める場合には、履修を免除することがある。
	キャリアデザインⅡ	2			
	キャリアデザインⅢ	2			
	キャリアデザインⅣ	2			
	哲学		2		
	史学		2		
	数学		2		
外国語科目	英語Ⅰ	1			※ ただし、外国人留学生は、「英語Ⅰ」に代えて「日本語総合AⅠ」、「日本語総合AⅡ」、「日本語総合BⅠ」、「日本語総合BⅡ」を必修とする。
	英語Ⅱ	1			
	ドイツ語Ⅰ	1			
	ドイツ語Ⅱ	1			
	フランス語Ⅰ	1			
	フランス語Ⅱ	1			
	中国語Ⅰ	1			
	中国語Ⅱ	1			
	韓国語Ⅰ	1			
	韓国語Ⅱ	1			
	スペイン語Ⅰ	1			
	スペイン語Ⅱ	1			
	日本語総合AⅠ	1			
	日本語総合AⅡ	1			
	日本語総合BⅠ	1			
	日本語総合BⅡ	1			
日本語聴解・会話Ⅰ	1				
日本語聴解・会話Ⅱ	1				
日本語会話（中級）Ⅰ	1				

## 現代社会学部 現代社会学科

科目区分	授業科目	単位数			備考
		必修	選択	自由	
総合科目	キャリアデザインⅠ	2			必修科目について、特に必要があると認める場合には、履修を免除することがある。
	キャリアデザインⅡ	2			
	キャリアデザインⅢ	2			
	キャリアデザインⅣ	2			
	哲学		2		
	史学		2		
	数学		2		
外国語科目	英語Ⅰ	1			※ ただし、外国人留学生は、「英語Ⅰ」に代えて「日本語総合AⅠ」、「日本語総合AⅡ」、「日本語総合BⅠ」、「日本語総合BⅡ」を必修とする。
	英語Ⅱ	1			
	ドイツ語Ⅰ	1			
	ドイツ語Ⅱ	1			
	フランス語Ⅰ	1			
	フランス語Ⅱ	1			
	中国語Ⅰ	1			
	中国語Ⅱ	1			
	韓国語Ⅰ	1			
	韓国語Ⅱ	1			
	スペイン語Ⅰ	1			
	スペイン語Ⅱ	1			
	日本語総合AⅠ	1			
	日本語総合AⅡ	1			
	日本語総合BⅠ	1			
	日本語総合BⅡ	1			
日本語聴解・会話Ⅰ	1				
日本語聴解・会話Ⅱ	1				
日本語会話（中級）Ⅰ	1				

別表1 新旧対照表

2023年度（新）				2022年度（旧）			
[別表1] 授業科目及び単位数				[別表1] 授業科目及び単位数			
	日本語会話（中級）Ⅱ		1		日本語会話（中級）Ⅱ		1
	日本語会話（上級）Ⅰ		1		日本語会話（上級）Ⅰ		1
	日本語会話（上級）Ⅱ		1		日本語会話（上級）Ⅱ		1
	日本語読解（中級）Ⅰ		1		日本語読解（中級）Ⅰ		1
	日本語読解（中級）Ⅱ		1		日本語読解（中級）Ⅱ		1
	日本語読解（上級）Ⅰ		1		日本語読解（上級）Ⅰ		1
	日本語読解（上級）Ⅱ		1		日本語読解（上級）Ⅱ		1
	日本語作文（中級）Ⅰ		1		日本語作文（中級）Ⅰ		1
	日本語作文（中級）Ⅱ		1		日本語作文（中級）Ⅱ		1
	日本語作文（上級）Ⅰ		1		日本語作文（上級）Ⅰ		1
	日本語作文（上級）Ⅱ		1		日本語作文（上級）Ⅱ		1
	日本語語彙・文法Ⅰ		1		日本語語彙・文法Ⅰ		1
	日本語語彙・文法Ⅱ		1		日本語語彙・文法Ⅱ		1
	Basic Japanese Conversation		1		Basic Japanese Conversation		1
目録情報機器の活用と科	情報活用Ⅰ	1	1	目録情報機器の活用と科	情報活用Ⅰ	1	1
	情報活用Ⅱ		1		情報活用Ⅱ		1
	表計算演習		2		表計算演習		2
	AI・データサイエンスの扉		2		AI・データサイエンスの扉		2
	情報機器プレゼンテーション		2		情報機器プレゼンテーション		2
	プレゼンテーション概論		2		プレゼンテーション概論		2
	プレゼンテーション演習基礎		2		プレゼンテーション演習基礎		2
	日本語プレゼンテーション		2		日本語プレゼンテーション		2
スポーツ・健康科目	保健体育		2	スポーツ・健康科目	保健体育		2
	バレーボール		1		バレーボール		1
	バスケットボール		1		バスケットボール		1
	バドミントン		1		バドミントン		1
	フットサル		1		フットサル		1
	軽スポーツ		1		軽スポーツ		1
	レクリエーション&スポーツ		1		レクリエーション&スポーツ		1
	フィットネス&スポーツ		1		フィットネス&スポーツ		1
	コミュニケーション・スポーツ		1		コミュニケーション・スポーツ		1
	ダンス		1		ダンス		1
	ヨーガ&ピラティス実習		1		ヨーガ&ピラティス実習		1
	健康ボディケア実習		1		健康ボディケア実習		1
	ポドワーク&コミュニケーション実習		1		ポドワーク&コミュニケーション実習		1
キャリアアップ科目	PBL特別演習Ⅰ	4	4	キャリアアップ科目	PBL特別演習Ⅰ	4	4
	PBL特別演習Ⅱ		4		PBL特別演習Ⅱ		4
	PBL特別演習Ⅲ		4		PBL特別演習Ⅲ		4
	PBL特別演習Ⅳ		4		PBL特別演習Ⅳ		4
	Global Career Seminar A 100		2		Global Career Seminar A 100		2
	Global Career Seminar B 200		2		Global Career Seminar B 200		2
	Global Career Seminar C 300		2		Global Career Seminar C 300		2
	Global Career Seminar D 400		2		Global Career Seminar D 400		2
	地域貢献PBL		2		地域貢献PBL		2
	インターンシップ		2		インターンシップ		2
	サービスラーニング		2		サービスラーニング		2
	職業選択演習		2		職業選択演習		2
	留学生のためのビジネスマナー・作文		2		留学生のためのビジネスマナー・作文		2
専攻科目	観光・地域マネジメント		2	専攻科目	ビジネス		2
	働くことを考える		2		働くことを考える		2
	〔廃止〕		2		企業経営を考える		2
	〔廃止〕		2		企業会計入門		2
	〔廃止〕		2		管理会計		2
	〔廃止〕		2		財務会計		2
	〔廃止〕		2		経営戦略		2
	〔廃止〕		2		経営管理		2
	〔廃止〕		2		マーケティング		2
	〔廃止〕		2		キャリア形成と社会		2
	〔廃止〕		2		基礎統計学		2
	〔廃止〕		2		経営組織		2
	〔廃止〕		2		マーケティングリサーチ		2
	〔廃止〕		2		人的資源管理		2
	〔廃止〕		2		経営・組織心理学		2
	〔廃止〕		2		マーケティング・コミュニケーション		2
	〔廃止〕		2		事業計画（基礎）		2
	〔廃止〕		2		事業計画（応用）		2
	〔廃止〕		2		投資論		2
	〔廃止〕		2		投資演習		2
	〔廃止〕		2		ビジネス・プレゼンテーション		2
	〔廃止〕		2		キャリアの心理学		2
	〔廃止〕		2		企業経営総合演習		2
	〔廃止〕		2		日本の経済と産業		2
	〔廃止〕		2		国際経営		2
	〔廃止〕		2		ファッションマーケティング		2
	〔廃止〕		2		ファッションブランディング基礎		2
	〔廃止〕		2		ファッションブランディング応用		2
	〔廃止〕		2		ファッションマーケティング基礎		2
	〔廃止〕		2		ファッションマーケティング応用		2
	観光の道しるべ	2	2		観光の道しるべ		2
	世界遺産を学ぶ	2	2		世界遺産を学ぶ		2
	西宮まち・ひと・しごとリレー講義	2	2		西宮まち・ひと・しごとリレー講義		2
	SDGs de 地域課題を考える	2	2		SDGs de 地域課題を考える		2
	アンケート作成入門	2	2		〔新設〕		2
	観光学	2	2		観光学		2
	旅行・観光関連法規	2	2		旅行・観光関連法規		2
	観光英語	2	2		観光英語		2
	ホスピタリティ・マネジメント	2	2		ホスピタリティ・マネジメント		2
	国内旅行地理	2	2		国内旅行地理		2
	国内旅行実務	2	2		国内旅行実務		2
	〔廃止〕		2		国内旅行添乗業務		2
	〔廃止〕		2		海外旅行地理		2
	〔廃止〕		2		海外旅行実務		2
	〔廃止〕		2		国際航空運賃・料金		2
	まちづくり論	2	2		まちづくり論		2
	地域ツーリズム演習Ⅰ（伊丹と灘の酒文化）	2	2		地域ツーリズム演習Ⅰ（伊丹と灘の酒文化）		2
	地域ツーリズム演習Ⅱ（産業観光論）	2	2		地域ツーリズム演習Ⅱ（産業観光論）		2
	パブリックマネジメント	2	2		パブリックマネジメント		2
	地域学入門	2	2		地域学入門		2
	政策学入門	2	2		〔新設〕		2
	阪神間ツーリズム学	2	2		阪神間ツーリズム学		2
	ソーシャルキャピタル論	2	2		〔新設〕		2
	ソーシャルファイナンス論	2	2		〔新設〕		2

別表1 新旧対照表

2023年度（新）				2022年度（旧）			
[別表1] 授業科目及び単位数				[別表1] 授業科目及び単位数			
	ソーシャルビジネス論		2		〔新設〕 〔新設〕		
	ソーシャルイノベーション論		2		コンテンツツーリズム論		2
	コンテンツツーリズム論		2		イベント・コンベンション概論		2
	イベント・コンベンション概論		2		エアラインビジネス論		2
	エアラインビジネス論		2		観光事業論		2
	観光事業論		2		旅行ビジネス論		2
	旅行ビジネス論		2		ホテルビジネス論		2
	ホテルビジネス論		2		観光地誌学		2
	観光地誌学		2		観光社会学		2
	観光社会学		2		地域ブランド論		2
	地域ブランド論		2		観光モビリティ論		2
	観光モビリティ論		2		〔新設〕		
	コミュニティデザイン論		2		海外旅行添乗業務		2
	〔廃止〕						
心理学	自分探しの心理学		2	心理学	自分探しの心理学		2
	映画で学ぶこころの世界		2		映画で学ぶこころの世界		2
	公認心理師の職責		2		公認心理師の職責		2
	心理学概論		2		心理学概論		2
	臨床心理学概論		2		臨床心理学概論		2
	心理学研究法Ⅰ		2		心理学研究法Ⅰ		2
	心理学研究法Ⅱ		2		心理学研究法Ⅱ		2
	心理学統計法Ⅰ		2		心理学統計法Ⅰ		2
	心理学統計法Ⅱ		2		心理学統計法Ⅱ		2
	心理学実験Ⅰ		2		心理学実験Ⅰ		2
	心理学実験Ⅱ		2		心理学実験Ⅱ		2
	知覚・認知心理学		2		知覚・認知心理学		2
	学習・言語心理学		2		学習・言語心理学		2
	感情・人格心理学		2		感情・人格心理学		2
	神経・生理心理学		2		神経・生理心理学		2
	社会・集団・家族心理学		2		社会・集団・家族心理学		2
	発達心理学		2		発達心理学		2
	障害者・障害児心理学		2		障害者・障害児心理学		2
	心理的アセスメント		2		心理的アセスメント		2
	心理学的支援法		2		心理学的支援法		2
	青年心理学		2		青年心理学		2
	健康・医療心理学		2		健康・医療心理学		2
	福祉心理学		2		福祉心理学		2
	教育・学校心理学		2		教育・学校心理学		2
	司法・犯罪心理学		2		司法・犯罪心理学		2
	産業・組織心理学		2		産業・組織心理学		2
	精神分析学		2		精神分析学		2
	カウンセリング心理学		2		カウンセリング心理学		2
	人間関係論		2		人間関係論		2
	文化心理学		2		文化心理学		2
	人体の構造と機能及び疾病		2		人体の構造と機能及び疾病		2
	精神疾患とその治療		2		精神疾患とその治療		2
	関係行政論		2		関係行政論		2
	心理演習		2		心理演習		2
	心理実習		2		心理実習		2
	心理学特殊講義		2		心理学特殊講義		2
情報・コンピュータ	IT入門		2	情報・コンピュータ	IT入門		2
	データ構造とアルゴリズム		2		データ構造とアルゴリズム		2
	〔廃止〕				情報倫理		2
	Web技術		2		Web制作Ⅰ		2
	〔廃止〕				Web制作Ⅱ		2
	プログラミング演習Ⅰ		2		プログラミング演習Ⅰ		2
	プログラミング演習Ⅱ		2		プログラミング演習Ⅱ		2
	マルチメディア技術		2		マルチメディア演習		2
	情報システム論Ⅰ		2		情報システム論Ⅰ		2
	情報システム論Ⅱ		2		情報システム論Ⅱ		2
	情報システム論Ⅲ		2		情報システム論Ⅲ		2
	情報システム論Ⅳ		2		情報システム論Ⅳ		2
	情報システム論Ⅴ		2		情報システム論Ⅴ		2
	ネットワーク技術		2		ネットワーク技術		2
	情報数学		2		情報数学		2
	人工知能基礎論		2		人工知能基礎論		2
	人工知能応用論		2		人工知能応用論		2
	データベース技術Ⅰ		2		データベース技術Ⅰ		2
	データベース技術Ⅱ		2		データベース技術Ⅱ		2
	アプリケーション開発Ⅰ		2		アプリケーション開発Ⅰ		2
	アプリケーション開発Ⅱ		2		アプリケーション開発Ⅱ		2
	ゲーム開発		2		ゲームプログラミングⅠ		2
	モバイルアプリ開発		2		ゲームプログラミングⅡ		2
	バーチャルリアリティ技術		2		〔新設〕		
	IoTとクラウドコンピューティング		2		〔新設〕		
	システム設計		2		システム設計		2
	プロジェクトマネジメント		2		プロジェクトマネジメント		2
	〔廃止〕				データベースシステム論		2
	情報実践特講Ⅰ		2		情報実践特講Ⅰ		2
	情報実践特講Ⅱ		2		情報実践特講Ⅱ		2
メディア・社会学	社会学入門		2	〔新設〕	〔新設〕		
	文化社会学		2		〔新設〕		
	情報社会学		2		〔新設〕		
	家族社会学		2		〔新設〕		
	地域社会学		2		〔新設〕		
	社会学特論		2		〔新設〕		
	国際社会学		2		〔新設〕		
	社会調査法入門		2		〔新設〕		
	データサイエンス・リテラシー		2		〔新設〕		
	社会統計法Ⅰ		2		〔新設〕		
	社会統計法Ⅱ		2		〔新設〕		
	質的調査法		2		〔新設〕		
	情報メディアと社会		2		〔新設〕		
	ポピュラーカルチャー研究		2		〔新設〕		
	メディア・コンテンツ産業論		2		〔新設〕		
	メディア・コンテンツと地域		2		〔新設〕		
	イメージと物語		2		〔新設〕		
	モビリティ・スタディーズ		2		〔新設〕		
	メディア・社会デザイン演習Ⅰ		2		〔新設〕		
	メディア・社会デザイン演習Ⅱ		2		〔新設〕		
	メディア学入門		2		〔新設〕		

履修ごとに2単位

別表1 新旧対照表

2023年度（新）				2022年度（旧）			
[別表1] 授業科目及び単位数				[別表1] 授業科目及び単位数			
	メディアコミュニケーション論	2		〔新設〕			
	放送メディア論	2		〔新設〕			
	出版メディア論	2		〔新設〕			
	ジャーナリズム論	2		〔新設〕			
	デジタルメディア論	2		〔新設〕			
	情報メディア史	2		〔新設〕			
	ドキュメンタリー論	2		〔新設〕			
	メディア特論	2		〔新設〕			
スポーツマネジメント	スポーツ強化演習Ⅰ	6		スポーツ強化演習Ⅰ	6		
	スポーツ強化演習Ⅱ	6		スポーツ強化演習Ⅱ	6		
	スポーツ強化演習Ⅲ	6		スポーツ強化演習Ⅲ	6		
	スポーツ強化演習Ⅳ	6		スポーツ強化演習Ⅳ	6		
	スポーツ強化演習Ⅴ	6		スポーツ強化演習Ⅴ	6		
	スポーツ強化演習Ⅵ	6		スポーツ強化演習Ⅵ	6		
	経営理念事例研究	2		経営理念事例研究	2		
	経営戦略事例研究	2		経営戦略事例研究	2		
	経営組織事例研究	2		経営組織事例研究	2		
	ビジネスネゴシエーション事例研究	2		ビジネスネゴシエーション事例研究	2		
総合研究	研究・制作Ⅰ	2		研究・制作Ⅰ	2		
	研究・制作Ⅱ	2		研究・制作Ⅱ	2		
	研究・制作Ⅲ	2		研究・制作Ⅲ	2		
	研究・制作Ⅳ	2		研究・制作Ⅳ	2		
	ゼミナールⅠ	2		ゼミナールⅠ	2		
	ゼミナールⅡ	2		ゼミナールⅡ	2		
	卒業研究	4		卒業研究	4		
卒業制作	4		卒業制作	4			
その他の科目	法学	2		法学	2		
	日本国憲法	2		日本国憲法	2		
	民法Ⅰ	2		民法Ⅰ	2		
	民法Ⅱ	2		民法Ⅱ	2		
	行政法	2		行政法	2		
	社会科学	2		社会科学	2		
	行政と社会の扉	2		行政と社会の扉	2		
	社会を知る	2		社会を知る	2		
	経済学A	2		経済学A	2		
	経済学B	2		経済学B	2		
	数学応用Ⅰ	2		数学応用Ⅰ	2		
	数学応用Ⅱ	2		数学応用Ⅱ	2		
	行政実務特修Ⅰ	2		行政実務特修Ⅰ	2		
	行政実務特修Ⅱ	2		行政実務特修Ⅱ	2		
	公務サービス実務リレー講義	2		公務サービス実務リレー講義	2		
	ニュースを読む	2		ニュースを読む	2		
	キャリア・マネジメント・ベーシック	2		キャリア・マネジメント・ベーシック	2		
キャリア・マネジメント・インテンシブ	2		キャリア・マネジメント・インテンシブ	2			
キャリア・マネジメント・アドバンス	2		キャリア・マネジメント・アドバンス	2			
現代社会特別講義	2		現代社会特別講義	2			
現代社会特別演習	2		現代社会特別演習	2			
現代社会学部卒業要件	・総合科目から必修科目を含め10単位以上 ・専攻科目から主専攻1つ以上 ・「ゼミナールⅠ」及び「ゼミナールⅡ」並びに「卒業研究」若しくは「卒業制作」計8単位 ・上記要件を満たした上で、総合計124単位以上			現代社会学部卒業要件	・総合科目から必修科目を含め10単位以上 ・専攻科目から主専攻1つ以上 ・「ゼミナールⅠ」及び「ゼミナールⅡ」並びに「卒業研究」若しくは「卒業制作」計8単位 ・上記要件を満たした上で、総合計124単位以上		

※国際日本学部、建築&芸術学部、健康栄養学部及び国際看護学部は省略。

別表2 新旧対照表

2023年度（新）												
[別表2] 入学金、授業料及びその他の学納金												
種別	国際日本学部		建築&芸術学部		現代社会学部		健康栄養学部		国際看護学部		経営学部	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期
入学金	240,000円	-	240,000円	-	240,000円	-	270,000円	-	270,000円	-	240,000円	-
授業料	405,000円	405,000円	405,000円	405,000円	405,000円	405,000円	430,000円	430,000円	500,000円	500,000円	405,000円	405,000円
施設設備費	120,000円	120,000円	120,000円	120,000円	120,000円	120,000円	120,000円	120,000円	-	-	120,000円	120,000円
教育充実費	-	-	50,000円	50,000円	-	-	75,000円	75,000円	-	-	-	-
教育施設充実費	-	-	-	-	-	-	-	-	310,000円	310,000円	-	-
合計	765,000円 (入学時納入額)	525,000円	815,000円 (入学時納入額)	575,000円	765,000円 (入学時納入額)	525,000円	895,000円 (入学時納入額)	625,000円	1,080,000円 (入学時納入額)	810,000円	765,000円 (入学時納入額)	525,000円
年額	1,290,000円		1,390,000円		1,290,000円		1,520,000円		1,890,000円		1,290,000円	
休学中の在籍料												
種別	国際日本学部		建築&芸術学部		現代社会学部		健康栄養学部		国際看護学部		経営学部	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期
在籍料	60,000円	60,000円	60,000円	60,000円	60,000円	60,000円	60,000円	60,000円	100,000円	100,000円	60,000円	60,000円

2022年度（旧）												
[別表2] 入学金、授業料及びその他の学納金												
種別	国際日本学部		建築&芸術学部		現代社会学部		健康栄養学部		国際看護学部		(新設)	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期		
入学金	240,000円	-	240,000円	-	240,000円	-	270,000円	-	270,000円	-		
授業料	405,000円	405,000円	405,000円	405,000円	405,000円	405,000円	430,000円	430,000円	500,000円	500,000円		
施設設備費	120,000円	120,000円	120,000円	120,000円	120,000円	120,000円	120,000円	120,000円	-	-		
教育充実費	-	-	50,000円	50,000円	-	-	75,000円	75,000円	-	-		
教育施設充実費	-	-	-	-	-	-	-	-	310,000円	310,000円		
合計	765,000円 (入学時納入額)	525,000円	815,000円 (入学時納入額)	575,000円	765,000円 (入学時納入額)	525,000円	895,000円 (入学時納入額)	625,000円	1,080,000円 (入学時納入額)	810,000円		
年額	1,290,000円		1,390,000円		1,290,000円		1,520,000円		1,890,000円			
休学中の在籍料												
種別	国際日本学部		建築&芸術学部		現代社会学部		健康栄養学部		国際看護学部		(新設)	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期		
在籍料	60,000円	60,000円	60,000円	60,000円	60,000円	60,000円	60,000円	60,000円	100,000円	100,000円		



# 大手前大学教授会規程

(平成30年4月1日改正)

(目的)

第1条 大手前大学学則第63条第3項の規程に基づき、教授会に関し、必要な事項を定める。

(構成)

第2条 教授会は、学長、副学長、学部長、教授、准教授及び講師をもって構成する。

- 2 教授会には、助教及び助手(教育)を加えることができる。
- 3 理事長は、教授会に出席して、意見を述べることができる。

(審議事項)

第3条 教授会は、学長が次に掲げる事項について決定を行うに当たり審議の上意見を述べるものとする。

- (1) 学生の入学、卒業及び課程の修了に関する事項
  - (2) 学位の授与に関する事項
  - (3) 教授及び研究に関する事項
  - (4) 学生の休学、退学及び賞罰に関する事項
  - (5) 成績評価に関する事項
  - (6) 学生の厚生補導に関する事項
  - (7) その他学長が教授会の意見を聴くことが必要と判断して定めた事項
- 2 教授会は前項に規定するもののほか、学長がつかさどる教育研究に関する事項について審議し、及び学長の求めに応じ、意見を述べることができる。

(会議の招集及び議長)

第4条 教授会は、学長が招集し、学長又はその指名する者が議長となる。

- 2 教授会は、毎月1回開くことを定例とし、その他次の場合に臨時に開くことができる。
  - (1) 学長が必要と認めた場合
  - (2) 構成員の過半数から要求があった場合
- 3 教授会に付議する事項は、招集の際にあらかじめ通知するものとする。
- 4 学長が必要と認めたときは、構成員以外の者を出席させることができる。

(定足数)

第5条 教授会は、構成員(休職者を除く。)の過半数をもって成立する。

(議決)

第6条 教授会の議事は、出席した構成員の過半数をもって決し、可否同数のときは議長が決する。

(委員会及び代議員会等)

第7条 教授会は、委員会を設け、所管事項について審議又は研究立案させ報告を求めることができる。

- 2 教授会は、その定めるところにより、構成員のうちの一部の者をもって構成される代議員会、専門委員会(次項ににおいて「代議員会等」という。)を置くことができる。
- 3 教授会は、その定めるところにより、代議員会等の議決をもって、教授会の議決とすることができる。

(内規)

第7条の2 教授会は、所管事項につき、内規を定めることができる。

(議事録)

第8条 教授会の審議について議事録を作成し、教務課においてこれを保管する。

- 2 毎回教授会において前回の議事録を確認する。

(事務)

第9条 教授会に関する事務は、教務課において処理するものとする。

(規程の改廃)

第10条 この規程の改廃は、教学運営評議会の議を経て行うものとする。

附 則

この規程は、平成12年4月1日から施行し、同日付けで大手前女子大学教授会規程は廃止する。

附 則

この改正規程は、平成20年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成25年10月1日より施行する。

附 則

この規程は、平成27年4月1日より施行する。

附 則

この規程は、平成30年4月1日より施行する。

## 学則の変更の趣旨等を記載した書類

### 目次

1. 学則変更（収容定員変更）の内容	2
2. 学則変更（収容定員変更）の必要性	3
2-1. 大手前大学の沿革と教育理念	3
2-2. 経営学部の設置（令和4年4月設置届出予定）の趣旨及び必要性	3
2-3. 国際日本学部、建築&芸術学部、現代社会学部の定員変更について	5
3. 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容	5
3-1. 教育課程の変更内容	5
3-2. 経営学部の教育課程	5
3-3. 教育方法及び履修指導方法の変更内容	7
3-4. 教員組織の変更内容	8
4. 大学全体の施設・設備の変更内容	9
4-1. 校地、校舎等の整備について	9
4-2. 図書等の資料及び図書館の整備計画	10

## 学則の変更の趣旨等を記載した書類

### 1. 学則変更（収容定員変更）の内容

令和5年4月より、新たに経営学部経営学科（以下、「経営学部」という。）を設置（令和4年4月届出予定）することに伴い、大手前大学学則第4条に定めた入学定員及び収容定員を次表のとおり変更する。

今般、設置する経営学部の入学定員を170人、2年次編入学定員2人、3年次編入学定員7人とする。既設の3学部より入学定員を合計60人減じるため（国際日本学部30人減、建築&芸術学部10人減、現代社会学部20人減）、大学全体の入学定員は110人増加、編入学定員は9人増加することとなり、新たに定員増を行うこととする。

#### 【変更前（令和4年度）】

学部	学科	入学定員	編入学定員		収容定員
			2年次	3年次	
国際日本学部	国際日本学科	190人	4人	2人	776人
建築&芸術学部	建築&芸術学科	180人	4人	2人	736人
現代社会学部	現代社会学科	220人	4人	2人	896人
健康栄養学部	管理栄養学科	80人	—	16人	352人
国際看護学部	看護学科	80人	—	—	320人
(新規)					
合計		750人	12人	22人	3,080人

#### 【変更後（令和5年度）】

学部	学科	入学定員	編入学定員		収容定員	
			2年次	3年次		
国際日本学部	国際日本学科	160人	4人	2人	656人	[定員減](△30)
建築&芸術学部	建築&芸術学科	170人	4人	2人	696人	[定員減](△10)
現代社会学部	現代社会学科	200人	4人	2人	816人	[定員減](△20)
健康栄養学部	管理栄養学科	80人	—	16人	352人	
国際看護学部	看護学科	80人	—	—	320人	
経営学部	経営学科	170人	2人	7人	700人	R4.4届出予定
合計		860人	14人	29人	3,540人	[定員増](110)

なお、経営学部の設置については、文部科学省大学設置・学校法人審議会大学設置分科会運営委員会における事前相談の結果、令和3年8月20日付で『「届出」による設置が可能』との通知を受領し、令和4年4月に所要の届出を行うこととしている。

## 2. 学則変更（収容定員変更）の必要性

### 2-1. 大手前大学の沿革と教育理念

本学の母体である学校法人大手前学園の歴史は戦禍をあげた大阪城大手前の地において昭和21年から始まった。初代理事長藤井健造は、女子の教育こそ将来の日本を再興する根本であり、希望であると考え、「情操豊かな女子教育」という建学の精神（モットー）を掲げ大手前文化学院を創設した。そして昭和26年には大手前女子短期大学を、昭和41年には西宮市夙川の地に大手前女子大学を開学するなど、女子の高等教育専門の総合学園として基盤を築いた。昭和61年には“STUDY FOR LIFE（生涯にわたる、人生のための学び）”という基本的な考え方を新しいモットーに据えた。これには自分らしい充実した人生を送るのに必要な生涯にわたって学び続ける力を養うという本学の意志が込められている。

建学の精神は後に続く歴代の理事長・学長及び教職員に引き継がれ、平成12年には時代の趨勢に合わせて大手前女子大学を男女共学の大手前大学に改組し、文学部の1学部から、人文科学部及び社会文化学部の2学部へ拡充した。さらに平成19年には大手前大学の2学部を総合文化学部（令和4年「国際日本学部」へ名称変更）、メディア・芸術学部（令和3年「建築&芸術学部」へ名称変更）、現代社会学部の3学部へ改編した。

本学はリベラルアーツ系大学としての伝統に立脚しつつ、学生一人ひとりを手塩にかけて育てる教育を通じて、地域の発展に貢献してきた。近年はリベラルアーツを基礎にしつつ実学を重んじた専門職の人材養成に力を入れており、平成28年には高度で複雑な栄養管理・指導を行う管理栄養士の養成を目的に健康栄養学部を、平成31年には国際化する社会の中で活躍できる看護師の養成を目的に国際看護学部を開設した。

そして来るべき令和8年の学園創立80周年に向けて、さらなる発展を目指して中長期計画（令和2年度～令和7年度）を策定し、この中で、社会に貢献できる人材の養成を多面的、安定的に実現するために、「地域に愛され、支持される学園」「中規模の総合大学」を目指すとのビジョンを掲げた。このたび現代社会学部の経済学系を発展的に改組することによる経営学部の設置は、このビジョンの実現に向けた取り組みの一環である。経営学部の設置及び国際日本学部、建築&芸術学部、現代社会学部の定員変更を行う趣旨と必要性は次のとおりである。

### 2-2. 経営学部の設置（令和4年4月設置届出予定）の趣旨及び必要性

すでに述べたように、本学は“STUDY FOR LIFE”のモットーのもと、有為な人材を輩出し、地域の発展に貢献してきた。時代の変化が速度を増し、将来の不確実性が高まるなか人生100年時代と呼ばれる長寿社会が到来しつつある。こうした時代にふさわしい学びを提供し、地域の発展に尽くすことは本学の変わらぬ使命である。

あらためて、日本の現状をマクロ的に俯瞰すると、経済の長期低迷から抜け出せない中で、少子高齢化や人口減少が加速し、またグローバル化、DX（デジタルトランスフォーメーション）、SDGs（持続可能な開発目標）といった世界的な課題への対応が急務となっている。本学が立地する関西の経済は、日本の抱える課題により深刻な形で直面しており、地域の持続可能な発展という

面で強い危機感を持たざるを得ない。本社機能の首都圏流出をはじめ、2000年代に関西経済の起爆剤として期待された堺や尼崎などを中心とした「パネルベイ」が韓国・台湾企業の台頭により頓挫した。また、関西は他地域と比較してもインバウンド需要が活況を呈していたが、新型コロナウイルス感染症拡大により先行きが見通せない状況である。さらに少子高齢化の進展に伴い、関西における2045年の生産年齢人口（15歳～64歳）は、2015年比で2割程度の減少が予想されている（国立社会保障・人口問題研究所『日本の地域別将来推計人口（平成30年推計）』）が、こうした生産年齢人口の急減に伴い、関西に集積する中堅・中小企業は深刻な人材確保難に見舞われると予想される。また関西の産業構造は、生産性の高い製造業（例えば、自動車）や成長分野である知識集約型サービス業（例えば、情報通信、金融・保険、コンサルティング）への転換が遅れており、一人当たり労働生産性（付加価値額／就業者数）は関東や中部に比べて低い水準にある。このままでは、所得や面白い仕事という面で、働く場所としての魅力を失いかねない。さらにITやデータサイエンスの素養と経営に関する専門知識を持ちDXを推進する人材は、大企業が多く立地する東京に集中しており、関西では不足が懸念されている。

しかしながら、関西には、研究と教育に優れた大学・研究機関が数多くあり、また任天堂、村田製作所、ローム、キーエンス、ダイキン工業など革新的なグローバル企業や、機械・加工や素材・科学、電気・電子など多様な分野で独自技術を持つ中堅・中小企業の産業集積、個性豊かな人材、地域に根付く社会関係資本、さらには多様で厚みのある伝統文化など、新たな発展の糧となる潜在的資源がある。つまり関西は我が国の地域経済が抱えるさまざまな問題がいち早く顕在化している一方で、我が国の持続可能な成長モデルの先駆者としてその効果を地域創生に波及することが可能な地域である。そして、本学の学生の出身地は関西のみならず全国にまたがる。卒業後は地元に戻り活躍する人もいる。そこにはその地域固有の課題があるだろう。しかしそこにもまた地域再生の糧となりうる様々な資源が埋もれていると思われる。今まさにこうした未開拓の資源を掘り起こし、新たな価値を創造して地域経済の発展に貢献する人材が求められている。

地域経済に貢献する人材とは、例えば、人間や社会の課題を鋭く洞察し、地域の活性化に取り組む変革と創造のリーダーである。また、芸術や文化に対する深い造詣を持ち、地域に散在する多様な資源を発掘し、組み合わせる新たな価値を創造するクリエイティブな人材である。さらには、多様性を尊重しつつ組織の境界を超えて、知と知をつなぐ、あるいは、地域から世界への橋渡しができる越境型人材である。リベラルアーツ系の伝統を持ち、国際日本学部、建築&芸術学部、現代社会学部の3学部の提供科目をクロスオーバーしながら、主体的に選択して学修することができる本学は、こうした人材を養成するのに最適な大学であるといえよう。

地域が抱える様々な課題の解決に唯一の正解はない。正解が分からない課題に立ち向かうには、社会の幸福や持続可能な発展に対する使命感、豊かな教養に支えられた広い視野、多様性と共生を尊重する精神、実践と内省を繰り返しながら生涯を通じて学び成長する力がある。加えて課題解決のベースとなる経営学の専門知識と実践力が求められる。こうした素養、知識、リーダーシップを備えた人材を、学修方法の革新にも積極的に取り組みつつ養成したいと考え、このたび入学定員170人の経営学部を設立することとした。

## 2-3. 国際日本学部、建築&芸術学部、現代社会学部の定員変更について

経営学部と同じく、さくら夙川キャンパスに拠点を置く国際日本学部、建築&芸術学部、現代社会学部（以下、「既設夙川3学部」という。）については、入学定員を合計60人減じる（国際日本学部は190人から160人へ30人減、建築&芸術学部は180人から170人へ10人減、現代社会学部は220人から200人へ20人減）。

既設夙川3学部の2018～2021年度の志願倍率（全入試方式の志願者÷入学定員）の平均は、国際日本学部は4.36倍、建築&芸術学部は3.82倍、現代社会学部は5.48倍と高い水準を維持しており、いずれの学部並びに年度においても入学定員充足率は100%を上回っている。以上の点を踏まえると、経営学部設置後も既設夙川3学部については、安定した学生確保が見込める可能性が高い。しかしながら、中長期的観点では本学が学生確保の基盤とする近畿圏においても少子化は進展することは確実で、本学もその影響を免れるものではない。経営学部設置以降も適正な志願倍率を維持し質の高い学生確保を行う観点から、経営学部が予定する入学定員170人の純増とはせず、既設夙川3学部の入学定員を計60人減じることで110人増とした。

## 3. 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容

### 3-1. 教育課程の変更内容

本学では大学全体及び学部ごとにディプロマ・ポリシーに対応したカリキュラム・ポリシーを定め【資料1】、その方針に従って「総合科目」、「専攻科目」からなる教育課程を編成しており、今般の学則変更（経営学部の設置に伴う収容定員の増加）にあってもその編成方針に変更はない。

教育課程については、時代に即応した質の高い教育内容へ充実改善に努めている。今般の学則変更を理由に行うものとしては、基礎となる現代社会学部の経済学系を発展的に改組することによる経営学部の設置であるため、現代社会学部の教育課程においては一部変更を行ったものの、その他の国際日本学部、建築&芸術学部、健康栄養学部、国際看護学部の教育課程において変更はない。【資料2】

なお、経営学部における教育課程の内容は以下（3-2. 経営学部の教育課程）に詳述する。

【資料1：ディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー（大学全体、経営学部）】

【資料2：教育課程等の概要（経営学部、現代社会学部）】

### 3-2. 経営学部の教育課程

#### （1）総合科目

総合科目は、基本的に4学部共通（経営学部と既設夙川3学部）のカリキュラムとして編成する。

まず「ベーシック」科目として、人文科学、自然科学の基礎となる「哲学」、「史学」、「数学」、「生命科学」を開講する。また「キャリアデザインⅠ～Ⅳ」は必修科目として開講し、各自のキャリアと大学での学びを実際に関連付けながら、人間として生きるとは、働くとは、学ぶとは何

かについて全ての学生に深く思考を促す。なお「ベーシック」科目は、必修科目 4 科目・8 単位、選択科目 4 科目・8 単位を開講する。

グローバル化及び情報化が加速化していく社会の動向を踏まえて、全学的に「外国語科目」、「情報系科目」を充実させている。具体的には、外国語科目については、「英語Ⅰ、Ⅱ」、「ドイツ語Ⅰ、Ⅱ」、「フランス語Ⅰ、Ⅱ」、「中国語Ⅰ、Ⅱ」、「韓国語Ⅰ、Ⅱ」、「スペイン語Ⅰ、Ⅱ」の 12 科目・12 単位を開講する。なお英語Ⅰは必修とする。情報系科目については、「情報機器の活用とプレゼンテーション」科目として位置付けて、「情報活用Ⅰ、Ⅱ」、「表計算演習」、「情報機器プレゼンテーション」など 9 科目・16 単位を開講する。なお「情報活用Ⅰ」は必修とする。

「スポーツ・健康科目」については、多様なスポーツに親しむことを通じて、健全な心身の発達を図るため、「バレーボール」、「バスケットボール」、「バドミントン」、「フットサル」など 13 科目 14 単位を開講する。

キャリア関連については、「キャリアアップ科目」として、学生により深くキャリアについての思考を促すための「地域貢献 PBL」、「インターンシップ」、「職業選択演習」など 12 科目・32 単位を開講する。

経営学の隣接科目、基盤科目については、「法と社会」科目においても開講し、経営学の深い学びの土台となる科目群として位置付け、「哲学と社会」、「倫理学」、「法学」、「社会科学」、「社会を知る」など 9 科目・18 単位を開講する。

## (2) 専攻科目

初学者が経営学に対する興味、関心が持てるように導入教育を充実させる。具体的には、入門科目となる「経営学の扉」、「経営学入門」、「会計学入門」、「マーケティング入門」、「デジタル社会とテクノロジー」、「働くことを考えるⅠ」の 6 科目・12 単位を必修科目として開講し、全ての学生が経営学についての基礎知識を学ぶ。また、選択科目「フィールドスタディⅠ、Ⅱ」、「働くことを考えるⅡ」、「ロジカルシンキング」、「ビジネスの数字を読む」、「名著・名作から人生を考える」を 1 年次に配当して開講し、専攻科目に対する学習意欲を高める。

経営学では、企業経営に不可欠となるヒト、モノ、カネ、情報を経営資源として位置付け、経営、会計、商学（マーケティング）、経営情報としてそれぞれを体系的に発展させてきた。本学の経営学部においては、「経営」、「会計」、「マーケティング」、「デジタルビジネス」、「いきいきキャリア」の 5 つの専門分野から 1 つの専門分野を修得することを義務づけて、経営学を体系的かつ横断的に学べる科目配置とする。

「経営」分野は、理論系と現代企業系に科目を大別して、企業経営の本質を理論的に学ぶ科目群と、現代企業の現実や動向を学ぶ科目群とする（「経営」分野として 15 科目・30 単位を開講）。同様に「会計」分野は、会計系とファイナンス系に大別し（「会計」分野として 13 科目・26 単位を開講）、「マーケティング」分野は、理論系とクリエイティブ系に大別して（「マーケティング」分野として 15 科目・30 単位を開講）、それぞれ体系的かつ横断的に学ぶ科目群とする。

「デジタルビジネス」分野は、DX 時代の企業経営並びに DX 時代の働き方の理論やスキルを



学ぶため、デジタルソリューション系とデータサイエンス系に科目群を大別する。前者は DX 時代の企業経営の問題について、後者はデジタル情報活用のリテラシーについて学ぶ科目群とする（デジタルビジネス分野として 14 科目・28 単位を開講）。

「いきいきキャリア」分野は、キャリアデザイン系と心理学をベースとしたキャリア心理学系に大別して、自律的なキャリアデザインや他者のキャリア支援を学ぶ科目群とする（いきいきキャリア分野として 13 科目・26 単位を開講）。

さらに本学の経営学部では、実社会で活躍するための志やスキルを養う科目を開講する。

第一に“人間力を育む”科目群である。具体的には、「人間関係トレーニング」、「リーダーシップと問題解決」、「職場コミュニケーション」、「デザイン思考」の 4 科目・8 単位を開講する。学生は、実社会で活躍するための基礎スキルを学び、人間力を涵養する。

第二に“実践力を育む”科目群である。社会的な問題や課題に関心を抱き、その解決方法を考えて実践する「フィールドスタディⅠ、Ⅱ、Ⅲ」や産学連携による理論と実践を結びつけた学びに注力した「実践演習Ⅰ、Ⅱ（各専門分野）」を実践科目として 13 科目・26 単位開講する。

なお 3 年次においては、総合研究科目として少人数制による演習科目「ゼミナールⅠ、Ⅱ」を開講し、そして各自の関心や研究テーマに基づいて、4 年次に全員が学士（経営学）にふさわしい「卒業研究」を行うこととなる。これらは必修科目である（総合研究として 3 科目・8 単位を開講）。【資料 3】

### 【資料 3：経営学部 専攻科目カリキュラム体系表】

#### 3-3. 教育方法及び履修指導方法の変更内容

本学では、全学的な制度として、所属学部の専任教員が 30 人程度のクラスの担任となり、そのクラスの学生一人ひとりを担当するアドバイザー制度を採っている。アドバイザー教員は、学生の履修状況や授業への出席状況、成績や就職活動状況などを把握した上で、必要に応じて学生に対して履修指導、授業の出席確認、生活指導、就職指導についてのアドバイスを行う。経営学部においてもこの方法を踏襲する。また、今般の収容定員増に伴い、既設夙川 3 学部の教育方法及び履修指導方法に変更はない。語学など一部の総合科目は、経営学部の学生が既設夙川 3 学部の学生と一緒に受講することとなるため、履修者数は増加すると予測されるが、本学では履修者数に応じてクラスの増設を行うことで対応しており、1 クラスあたりの人数は講義科目で 150 人、演習及び実習科目で 20~40 人という基準を維持することを基本としているため、学修に特段の影響を与えることはない。

経営学部の教育方法及び履修指導方法等の内容を以下（1）、（2）に記述する。

##### （1）教育方法

経営学部の「総合科目」は、既設夙川 3 学部の履修希望者と一緒に受講することとなる。必修科目である「キャリアデザインⅠ~Ⅳ」は 1 クラス 30 人、「英語Ⅰ、Ⅱ」及び「情報活用Ⅰ、Ⅱ」は 1 クラス 30~40 人程度に設定している。「専攻科目」は、人間力科目群「人間関係トレーニン

グ」、「リーダーシップと問題解決」、「職場コミュニケーション」、「デザイン思考」の4科目は、1クラス50人定員とする。それ以外の科目については、特に定員は設けないが、学習効果を十分に考慮した上で、受講人数や授業形態の最適化を図ることとする。配当年次については、動機付けと学びの土台作りにあたる科目（必修科目や「ロジカルシンキング」、「ビジネスの数字を読む」等）を1年次に設定しており、2年次から4年次にかけて、基礎から発展へという流れを意識しつつ、講義科目、演習科目を配当している。なお、学びの集大成である総合研究については、「ゼミナールⅠ、Ⅱ」を3年次に、「卒業研究」を4年次に配置している。

## （2）履修指導

経営学部の教育方法や履修要件等については、履修ガイドやシラバス等で公表するとともに、毎年（3月下旬～4月上旬）開催する新入生キックオフプログラム（1年次）や在学生ガイダンス（2～4年次）において、アドバイザー教員及び教務課から学生に周知徹底している。

履修指導や学生生活支援等は、アドバイザー教員を含めた専任教員に加えて、教務課や学生課等の事務職員が全学的にサポートする体制が採られている。また学修支援センターや学生相談室を学内に設けており、学修支援センターでは、履修方法や学習内容等の相談や悩みに対して応えるスタッフ（チューター）が常駐している。学生相談室では、青年期に生じる、将来への不安、進路、友人関係等、様々な問題についてスクールカウンセラーが相談に乗り、充実した学生生活を過ごせるように問題解決へ向けたアドバイスをを行っている。全学的組織（教務課、学生課、キャリアサポート室、国際交流センター、学修支援センター等）による学生サポートについては、既設夙川3学部の学生と一緒に受けることとなるが、各部署において必要なサポート体制が構築されており、変更前の内容と比較しても影響はない。

### 3-4. 教員組織の変更内容

経営学部の教員組織は、専任教員を15人（うち教授8人）配置し、大学設置基準に定める専任教員数「14人以上」を満たしている。専任教員15人のうち、9人が5年以上の実務経験を有する一方で、9人が博士の学位を保有しており、実務経験と研究機能の両面から見てバランスがとれた構成である。この体制により、学部の理念や養成する人材像を具現化する教育課程を実践できると考えている。【資料4】

男女の内訳は、男性10人、女性5人である。女性教員が専任教員の3分の1を占め、そのうち、1人は外国籍であるなど、女性活躍の支援やダイバーシティの尊重を念頭においた編成となっている。

職位の構成は、教授8人（男性7人、女性1人）、准教授5人（男性3人、女性2人）、講師1人（女性1人）、助教1人（女性1人）である。教授職に重きを置きつつもバランスの取れた配置であり、後継者育成の観点からも望ましい構成と考えている。

なお、経営学部の専任教員15人のうち、既設学部からの移籍が11人（国際日本学部から2人、現代社会学部から9人）、新規採用は4人である。収容定員変更後の国際日本学部の教員組織は専任教員23人（うち教授12人）、現代社会学部の教員組織は専任教員20人（うち教授10人）と

なるものの、どちらも大学設置基準に定める専任教員数（国際日本学部「11人以上」、現代社会学部「15人以上」）は満たしている。さくら夙川キャンパスにおけるST比は、収容定員変更前3学部で31.2人（収容定員合計2,408人÷専任教員合計77人）から変更後4学部で35.4人（収容定員合計2,868人÷専任教員合計81人）となる。一方、本学ではリベラルアーツを基礎にしつつ実学を重んじて専門職の人材養成に力を入れていることから、経営学部を加えた各学部の専任教員が兼任教員として他学部の教員として連携することで本学全体での教育を充実していく。

#### 【資料4：経営学部 専任教員の年齢構成・学位保有状況】

### 4. 大学全体の施設・設備の変更内容

本学は、兵庫県西宮市にある「さくら夙川キャンパス」と「大阪大手前キャンパス」の2つのキャンパスに教育研究拠点を置いている。

さくら夙川キャンパスは、夙川の閑静な環境にあり、阪急神戸線夙川駅、JR神戸線さくら夙川駅、阪神本線香櫨園駅と3路線全ての駅から徒歩7分と好立地であり、学生が通学しやすい環境を整備している。このさくら夙川キャンパスに拠点を置く学部は、経営学部（令和4年4月設置届出予定）と既設の国際日本学部、建築&芸術学部、現代社会学部（4学部4学科）になる。

大阪大手前キャンパスは、地下鉄谷町線・京阪本線天満橋駅から徒歩5分と交通至便で大阪府庁などをはじめとする官庁街の中心に位置しており、校舎の目前には緑につつまれた大阪城公園がひろがる。近隣には複数の教育機関も隣接しており、大阪市の中心部にもかかわらず教育を行う場所としてふさわしい環境である。この大阪大手前キャンパスに拠点を置く学部は、健康栄養学部、国際看護学部（2学部2学科）になる。

学部正課のスポーツ系科目は全てキャンパス内にある体育館で実施とするが、運動場を近隣の兵庫県西宮市西宮浜に「西宮総合グラウンド」を保有しており、多目的グラウンド、テニスコート5面、弓道場、ゴルフ練習場、フィットネススタジオ、アスレチックジム等の施設が整備されている。（スクールバスにて約10分）

さくら夙川キャンパスで学生が休憩や憩いの場として自由に利用できる場所としては、学生食堂「e's Kitchen」とCafé「FOGLIA（フォリア）」に加えて、学生ラウンジ「Mirou（ミル）」を整備している。

なお、上述の校舎敷地、運動場用地については、さくら夙川キャンパスの同一敷地内に併設する大手前短期大学（2学科）と共用している。

#### 4-1. 校地、校舎等の整備について

本学は、校地面積56,980.61㎡（さくら夙川キャンパス33,908.84㎡、西宮総合グラウンド20,609.47㎡、大阪大手前キャンパス2,462.30㎡）を有しており、大学設置基準及び短期大学設置基準で定める校地基準面積40,800㎡（大学35,400㎡、短大5,400㎡）を確保している。

経営学部開設時（令和5年4月）の校舎面積は、41,329.60㎡（大学専用25,451.18㎡、大短共用13,045.83㎡、短大専用2,832.59㎡）であり、大学設置基準及び短期大学設置基準で定める校

舎基準面積 28,922 m<sup>2</sup> (大学 23,822 m<sup>2</sup>、短大 5,100 m<sup>2</sup>) の 1.42 倍を有している。これに加えて、令和 5 年 9 月には、さくら夙川キャンパス敷地内に 4 階建ての新校舎 K 棟 (校舎面積 1,187 m<sup>2</sup>) が竣工する予定であるため、校舎面積は、42,516.60 m<sup>2</sup> (大学専用 25,451.18 m<sup>2</sup>、大短共用 14,232.83 m<sup>2</sup>、短大専用 2,832.59 m<sup>2</sup>) になる。

この新校舎 K 棟は、200 人規模の講義室 2 室、100 人規模の講義室 1 室、50 人規模講義室 1 室を備えており、令和 6 年度以降の経営学部の主要な授業は、この新校舎で開講する。

開設初年度 (令和 5 年度) は、既存校舎の教室を利用することになるが、初年度の専攻科目の開講科目数は、1 日あたり 2 科目程度 (半期あたり 10 科目程度) であり【資料 5】、既設夙川 3 学部との調整により、必要な教室を十分確保できる。総合科目は、既設夙川 3 学部の履修希望者と一緒に受講することとなり、主に既存の校舎で開講する。経営学部の開設により、「英語 I」及び「情報活用 I」などの必修科目の授業に必要となる教室数が増加することは想定されるため、複数曜日・複数時限に分けて開講するほか、既設夙川 3 学部の入学定員が 60 人減員するため、教室確保に特段の問題は生じない。なお、研究室については、専任教員 1 人につき一室を確保している。【資料 6】

【資料 5：経営学部 時間割】

【資料 6：さくら夙川キャンパスにおいて大学が使用する教室数及び研究室数】

#### 4-2. 図書等の資料及び図書館の整備計画

本学図書館はさくら夙川キャンパスのメディアライブラリーCELL (以下「CELL」という。) と大阪大手前キャンパスの大阪図書館の 2 館から構成される。本学学生は所属キャンパスに拘わらずいずれの図書館も自由に利用できるが、さくら夙川キャンパスにある学部の学生は主に CELL を使用する。

CELL は地下 1 階、地上 2 階建、建物延面積 3,620.52 m<sup>2</sup>、うち閲覧座席数は 348 席、グループ閲覧室・閲覧個室 12 室及び参考調査・データベースの検索や相談等に応じるためのレファレンスカウンターを整備し、学生や教職員に対する利便性を図っている。

蔵書数は図書約 343,000 冊 (うち和書約 285,000 冊、外国書約 58,000 冊)、学術雑誌約 12,000 タイトル (うち和書約 2,800 タイトル、外国書約 9,200 タイトル)、視聴覚資料約 8,700 タイトル (電子資料含む) を所蔵している。

このたびの経営学部の設置に際して、既存の関連図書に加えて、新たに経営、会計、マーケティング、デジタルビジネス、いきいきキャリアの各専門分野及び経済学分野の図書・雑誌類を整備・充実させる。特に学部の特性を視野に入れながら、各分野、教育内容に沿ってバランスよく配置し、開設前年度に経済・経営学分野に関する図書 735 冊 (うち和書 680 冊、外国書 55 冊) を購入する。(電子書籍含む)

デジタルデータベースについては、現在契約している『Business Source Premier』から『Business Source Complete』にアップグレードすることで、学術雑誌へのアクセスを確保す

る。また、新たに『日経 BP 記事検索サービス』を導入する。開設後も一定額の予算を確保し、経済・経営学分野を中心とした専門図書を整備し、教育研究のさらなる充実を図っていく。

他の図書館等との協力については、私立大学図書館協会に加盟しており、加盟図書館同士の相互貸借や文献複写を行い、自図書館所蔵以外の学术论文への要求に応えている。また、全国の国公立大学図書館及び公立図書館とも同様の協力関係を保っている。

以上のことから、大学全体の施設・設備については、収容定員が増加した後も同等以上の内容が担保されている。

## 資料目次

- 資料1 ディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー（大学全体、経営学部）
- 資料2 教育課程等の概要（経営学部、現代社会学部）
- 資料3 経営学部 専攻科目カリキュラム体系表
- 資料4 経営学部 専任教員の年齢構成・学位保有状況
- 資料5 経営学部 時間割
- 資料6 さくら夙川キャンパスにおいて大学が使用する教室数及び研究室数

## (資料1)

# ディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

## ■ 大学全体

### ディプロマ・ポリシー

大手前大学は、本学の建学の精神、目的、使命、および教育方針に基づき、社会に貢献できる価値ある人材として認める学生に対して卒業を認定し、学位を授与する。所定の期間在学し、使命および教育方針に基づいて設定された授業科目を履修して、基準となる単位数、専攻プログラム、必修プログラム等を、定められた成績評価基準を満たして修めることが学位授与の基準となる。

本学は、学生の学修成果を可視化し、厳格かつ公正な評価基準に基づく成績評価を行うことにより、学位授与者が以下の知識・能力・態度を身につけていることを保証する。

1. 専門分野における知識と以下に示す 10 の能力：C-PLATS®を修得し、それらを駆使して思考し、決断し、行動して社会に貢献することができる。
  - (1) 社会性基盤能力：チームワーク、社会的責任能力
  - (2) 思考基盤能力：創造力、計画力、論理的思考力、分析力
  - (3) 行動基盤能力：コミュニケーション力、プレゼンテーション力、リーダーシップ、行動力
2. 自ら問題を発見し、多様な人々と協働して問題を解決することができる。
3. 豊かな人間性、高い倫理観および社会的責任感を有している。

### カリキュラム・ポリシー

大手前大学は、本学の建学の精神、目的、使命および教育方針に基づき、リベラルアーツ教育を通じてすべての学生が豊かな教養と専門的学術、旺盛な自己開発精神、優れた国際感覚および問題解決能力を備えた人材を育成するカリキュラム体系を構築する。

問題解決能力の養成の中心的教育手法として、本学独自に開発した C-PLATS®能力開発システム、その具体的教育手法として「問題解決型学習 (PBL 学習)」と自ら能動的に考え行動する「自己主導型学習 (SDL 学習)」を、全てのカリキュラムにおいて実施することにより、卒業時まで問題解決に必要な C-PLATS®能力を養成する。

本学は、以下の方針に基づきカリキュラムを構築する。

1. 全ての授業において問題解決に必要な以下に示す 10 の能力：C-PLATS®を養成する。
  - (1) 社会性基盤能力：チームワーク、社会的責任能力
  - (2) 思考基盤能力：創造力、計画力、論理的思考力、分析力
  - (3) 行動基盤能力：コミュニケーション力、プレゼンテーション力、リーダーシップ、行動力

2. 学部横断的に専攻プログラムを組み合わせるシステムにより、幅広い視野と豊かな人間性、専門性および高い問題解決能力を養成する。
3. 学生の能動的・自律的・主体的学修を促すカリキュラム体系、および教育システムを提供する。
4. 学修成果を高めるために、学修の系統性や順次性に配慮してカリキュラム体系を構築する。
5. 不断の教育改革による教育内容の充実と厳正で公正な成績評価により、教育の質保証を行う。

## ■ 経営学部

### ディプロマ・ポリシー

本学では、所定の卒業要件を満たし、学修によって修得した知識と能力をもって社会に貢献することのできる学生に学位を授与する。経営学部では、以下の要件を満たす学生に対して卒業を認定し、学士（経営学）を授与する。

1. 社会の幸福と持続可能な発展に貢献するための高い志、広い視野、経営学の専門知識を備えている。
2. 経営学の専門知識を用いて、社会における課題の解決策を考え、他者と協働してそれを成し遂げる力を備えている。
3. 自らのキャリアを主体的に形成し、実践と内省を繰り返しながら成長する力を備えている。

### カリキュラム・ポリシー

経営学部は、国内外における経営現象を教育研究の対象とし、地域に軸足を置きつつ、企業や団体における課題解決を通じて、社会の幸福と持続可能な発展に貢献できる人材を養成するため、以下の方針に基づいて、教育課程を編成し実施する。

1. 経営学に対する興味、関心につながる導入教育の充実
2. 社会の発展に貢献する志と幅広い視野の涵養
3. 幅広い経営学の基礎知識の修得
4. デジタル社会に適応し得る知識の修得
5. 実社会で活躍するための基礎スキルの修得
6. 産学連携による理論と実践を結びつけた学び
7. 自律的なキャリアの形成と他者の支援につながる学び



(資料2)

教育課程等の概要

(経営学部 経営学科)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		授業形態			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教		助手		
ベーシック	キャリアデザインⅠ	1前	2				○		7	5	1			兼1 兼1 兼1 兼1 メディア 兼1 メディア		
	キャリアデザインⅡ	1後	2				○		7	5	1					
	キャリアデザインⅢ	2前	2				○		7	5	1					
	キャリアデザインⅣ	2後	2				○		7	5	1					
	哲学	1前・後		2			○									
	史学	1前・後		2			○									
	数学	1前・後		2			○									
	生命科学	1前・後		2			○									
	外国語科目	英語Ⅰ	1前	1				○								兼6 兼6 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1
		英語Ⅱ	1後	1				○								
ドイツ語Ⅰ		1前	1				○									
ドイツ語Ⅱ		1後	1				○									
フランス語Ⅰ		1前	1				○									
フランス語Ⅱ		1後	1				○									
中国語Ⅰ		1前	1				○									
中国語Ⅱ		1後	1				○									
韓国語Ⅰ		1前	1				○									
韓国語Ⅱ		1後	1				○									
情報機器の活用とプレゼンテーション	情報活用Ⅰ	1前	1				○							兼6 兼6 兼1 兼1 兼1 兼1 メディア 兼1 メディア 兼1 兼1		
	情報活用Ⅱ	1後	1				○									
	文書作成演習	1前・後		2			○									
	表計算演習	1前・後		2			○									
	情報機器プレゼンテーション	1前・後		2			○									
	プレゼンテーション概論	1前・後		2			○									
	プレゼンテーション演習基礎	1前・後		2			○									
	日本語表現法	1前・後		2			○									
	日本語プレゼンテーション	1前・後		2			○									
	総合科目	保健体育	1・2後		2			○								兼1 兼1 隔年 兼1 兼1 隔年 兼1 兼1 隔年 兼1 兼1 隔年 兼1 兼1 隔年
バレーボール		1・2前		1			○									
バスケットボール		1・2前		1			○									
バドミントン		1・2前		1			○									
フットサル		1・2前		1			○									
軽スポーツ		1・2後		1			○									
レクリエーション&スポーツ		1・2前		1			○									
フィットネス&スポーツ		1・2後		1			○									
コミュニケーション・スポーツ		1・2前		1			○									
ダンス		1・2前		1			○									
キャリアアップ科目	PBL特別演習Ⅰ	1後		4			○							兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼2 兼1 兼1 集中 集中※実習		
	PBL特別演習Ⅱ	1後		4			○									
	PBL特別演習Ⅲ	2後		4			○									
	PBL特別演習Ⅳ	2後		4			○									
	Global Career Seminar A 100	1前		2			○		1							
	Global Career Seminar B 200	1後		2			○		1							
	Global Career Seminar C 300	2前		2			○		1							
	Global Career Seminar D 400	2後		2			○		1							
	地域貢献PBL	2前		2			○					兼2	集中			
	インターンシップ	1前		2			○			1		兼1	集中※実習			
法と社会	サービスマーケティング	2後		2			○					兼1				
	職業選択演習	3前		2			○		1			兼1				
	哲学と社会	2後		2			○					兼1	メディア			
	倫理学	2前		2			○					兼1	メディア			
	法学	1前・後		2			○					兼1				
	日本国憲法	1前・後		2			○					兼1				
	民法Ⅰ	2前		2			○					兼1				
民法Ⅱ	2後		2			○					兼1					
行政法	3前		2			○					兼1					
社会科学	1前・後		2			○		1			兼1					
社会を知る	1前		2			○					兼1					
小計 (63 科目)		—	10	98	0		—		8	5	1	0	0	兼35	—	

## 教 育 課 程 等 の 概 要

(経営学部 経営学科)

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手			
専攻科目 専門分野	経営	経営学の扉	1前・後	2			○			7	5	1	1		兼1	オムニバス
		経営学入門	1後	2			○			1						
		経営戦略論Ⅰ	2前		2		○			1						
		経営戦略論Ⅱ	2後		2		○			1						
		組織行動論	2後		2		○			1						
		人的資源管理論	3前		2		○								兼1	
		経営組織論	3前		2		○			1						
		マネジメント史	3後		2		○			1						
		アントレプレナーシップ入門	2前		2		○			1						
		ベンチャー経営論	3前		2		○									
		環境経営論	3前		2		○									
		生産管理論	2後		2		○								兼1	
		国際経営論	3後		2		○								兼1	
	スイーツビジネス	2後		2		○					1			兼1		
	地域産業論	3前		2		○					1					
	会計	会計学入門	1前	2			○			1						
		商業簿記Ⅰ	1前		2		○				1					
		商業簿記Ⅱ	2前		2		○				1					
		商業簿記Ⅲ	2後		2		○				1					
		工業簿記	1後		2		○				1					
		パソコン会計	1後		2		○				1					
		財務会計論	2前		2		○			1						
		管理会計論	2後		2		○			1						
		ファイナンス入門	2後		2		○			1						
		会計学応用演習	3前		2		○		○	1						
		税務会計論	3後		2		○			1						
		証券投資論	3前		2		○								兼1	
		証券投資演習	3後		2		○		○						兼1	
	マーケティング	マーケティング入門	1後	2			○				1					
		マーケティング戦略論	2前		2		○				1					
		マーケティングリサーチⅠ	2前		2		○			1						
		マーケティングリサーチⅡ	2後		2		○									
		消費者行動論	2前		2		○				1					
		食のマーケティング	2前		2		○						1			
		ファッションマーケティング	2後		2		○				1					
		サービス経営	2後		2		○						1			
		商品企画論	3前		2		○						1			
		ブランド論	3前		2		○					1				
		流通マーケティング	3後		2		○						1			
		デジタルマーケティングⅠ	3前		2		○			1						
		デジタルマーケティングⅡ	3後		2		○			1						
	クリエイティブマーケティング演習Ⅰ	3前		2		○		○	1		1			共同		
	クリエイティブマーケティング演習Ⅱ	3後		2		○		○	1		1			共同		
	デジタルビジネス	デジタル社会とテクノロジー	1前	2			○			1						
		コンピュータ技術	1後		2		○								兼1	
経営と情報システム		2前		2		○								兼1		
ビジネス情報処理Ⅰ		2前		2		○								兼1		
ビジネス情報処理Ⅱ		2後		2		○								兼1		
課題解決のためのデジタル活用Ⅰ		3前		2		○		○	1							
課題解決のためのデジタル活用Ⅱ		3後		2		○		○	1							
デジタル経営論		3後		2		○			1							
社会におけるデータ・AI活用		1前・後		2		○					1					
ビジネスの数字を読む		1前		2		○								兼1		
データの分析と活用Ⅰ		2前		2		○		○			1					
データの分析と活用Ⅱ		2後		2		○		○			1					
データサイエンスⅠ		3前		2		○		○			1					
データサイエンスⅡ	3後		2		○		○			1						
いきいきキャリア	働くことを考えるⅠ	1前・後	2			○					1			兼1		
	働くことを考えるⅡ	1後		2		○			1							
	名著・名作から人生を考える	1後		2		○			1							
	キャリア形成と社会	2前		2		○					1					
	キャリアトランジション論	2前		2		○								兼1		
	キャリアの心理学	2後		2		○			1							
	仕事と職場の心理学	2後		2		○								兼1		
	キャリアカウンセリングⅠ	3前		2		○			1							
	キャリアカウンセリングⅡ	3後		2		○			1							
	企業内キャリア開発	3後		2		○								兼1		
	ライフコースの心理学	3前		2		○						1		兼1		
	キャリアモデル事例研究	3前		2		○								兼1		
	働くことの哲学	3後		2		○								兼1		

## 教 育 課 程 等 の 概 要

(経営学部 経営学科)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
専攻科目	専門共通	ロジカルシンキング	1前	2			○									兼1	
		ビジネス法の基礎	2後	2			○										
		経済学入門	2後	2			○			1							
		ミクロ経済学	3前	2			○			1							
		経営現場で起こる諸問題	2前	2			○										兼1
		日本経営史	3後	2			○										兼1
		Business English	2前	2			○			1							
	人間力	Cross Cultural Communication	2後	2			○			1							
		人間関係トレーニング	1前	2				○									兼2
	実践科目	リーダーシップと問題解決	1後	2				○		1							兼1
		職場コミュニケーション	2前	2				○				1					兼1
		デザイン思考	2後	2				○		1							兼1
		フィールドスタディⅠ	1前	2				○		1	2						集中
		フィールドスタディⅡ	1後	2				○		1	2	1					集中
		フィールドスタディⅢ	3前	2				○			1						集中
		実践演習(経営Ⅰ)	3前	2				○		1							集中
		実践演習(経営Ⅱ)	3前	2				○		1							集中
		実践演習(会計Ⅰ)	2後	2				○			1						集中
		実践演習(会計Ⅱ)	3前	2				○		1							集中
実践演習(マーケティングⅠ)		2前	2				○				1					集中	
実践演習(マーケティングⅡ)		2後	2				○			1						集中	
研究合	実践演習(デジタルⅠ)	3前	2				○				1					兼1	
	実践演習(デジタルⅡ)	3後	2				○				1					集中	
	実践演習(キャリアⅠ)	2後	2				○					1				集中	
	実践演習(キャリアⅡ)	3後	2				○		1							集中	
	ゼミナールⅠ	3前	2				○		7	5	1						
	ゼミナールⅡ	3後	2				○		7	5	1						
	卒業研究	4通	4				○		7	5	1						
小計(98科目)		—	20	178	0	—	—	—	8	5	1	1	0		兼19	—	
合計(161科目)		—	30	276	0	—	—	—	8	5	1	1	0		兼51	—	
学位又は称号		学士(経営学)			学位又は学科の分野				経済学関係								
卒業要件及び履修方法									授業期間等								
<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合科目から必修科目10単位を修得すること。</li> <li>・専攻科目から必修科目20単位(総合研究8単位を含む)を含め74単位以上を修得すること。このうち、主専攻として選んだ専門分野1つから16単位以上を含むものとする。</li> <li>・上記要件を満たした上で、合計124単位以上を修得すること。</li> </ul> (履修科目の登録の上限：20単位/学期 ※前学期GPAにより要件緩和)									1学年の学期区分			2 学期					
									1学期の授業期間			15 週					
									1時限の授業時間			90 分					

## 教 育 課 程 等 の 概 要

(現代社会学部 現代社会学科)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
ベーシック	キャリアデザインⅠ	1前	2				○		6	8					兼1 メディア メディア
	キャリアデザインⅡ	1後	2				○		6	8					
ベーシック	キャリアデザインⅢ	2前	2				○		6	8					兼1
	キャリアデザインⅣ	2後	2				○		6	8					
ベーシック	哲学	1前・後		2			○								兼1
	史学	1前・後		2			○								
ベーシック	数学	1前・後		2			○		1	1					兼1
	生命科学	1前・後		2			○								
総合科目	英語Ⅰ	1前	1				○								兼8 兼8 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼2 兼2 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1
	英語Ⅱ	1後	1				○								
	ドイツ語Ⅰ	1前	1				○								
	ドイツ語Ⅱ	1後	1				○								
	フランス語Ⅰ	1前	1				○								
	フランス語Ⅱ	1後	1				○								
	中国語Ⅰ	1前	1				○		1						
	中国語Ⅱ	1後	1				○		1						
	韓国語Ⅰ	1前	1				○								
	韓国語Ⅱ	1後	1				○								
	スペイン語Ⅰ	1前	1				○								
	スペイン語Ⅱ	1後	1				○								
	日本語総合AⅠ	1前	1				○			1					
	日本語総合AⅡ	1後	1				○			1					
	日本語総合BⅠ	1前	1				○			1					
	日本語総合BⅡ	1後	1				○			1					
	日本語聴解・会話Ⅰ	1前	1				○								
	日本語聴解・会話Ⅱ	1後	1				○								
	日本語会話(中級)Ⅰ	2前	1				○								
	日本語会話(中級)Ⅱ	2後	1				○								
	日本語会話(上級)Ⅰ	3前	1				○								
	日本語会話(上級)Ⅱ	3後	1				○								
	日本語読解(中級)Ⅰ	2前	1				○		1						
	日本語読解(中級)Ⅱ	2後	1				○		1						
	日本語読解(上級)Ⅰ	3前	1				○								
	日本語読解(上級)Ⅱ	3後	1				○								
日本語作文(中級)Ⅰ	2前	1				○									
日本語作文(中級)Ⅱ	2後	1				○									
日本語作文(上級)Ⅰ	3前	1				○									
日本語作文(上級)Ⅱ	3後	1				○									
日本語語彙・文法Ⅰ	2前	1				○									
日本語語彙・文法Ⅱ	2後	1				○									
Basic Japanese Conversation	3前	1				○			1						
情報機器の活用とプレゼンテーション	情報活用Ⅰ	1前	1				○		1	2				兼4 兼4 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1	
	情報活用Ⅱ	1後	1				○		1	2					
	表計算演習	1前・後	2				○			1					
	AI・データサイエンスの扉	1前・後	2				○								
	情報機器プレゼンテーション	1前・後	2				○								
	プレゼンテーション概論	1前・後	2				○								
	プレゼンテーション演習基礎	1前・後	2				○								
日本語プレゼンテーション	1前・後	2				○									
スポーツ・健康科目	保健体育	1・2後		2			○							兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1	
	バレーボール	1・2前		1				○							
	バスケットボール	1・2前		1				○							
	バドミントン	1・2後		1				○							
	フットサル	1・2前		1				○							
	軽スポーツ	1・2後		1				○							
	レクリエーション&スポーツ	1・2前		1				○							
	フィットネス&スポーツ	1・2後		1				○							
	コミュニケーション・スポーツ	1・2前		1				○							
	ダンス	1・2前		1				○							
	ヨーガ&ピラティス実習	1・2前		1				○							
健康ボディケア実習	1・2後		1				○								
ポティワーク&コミュニケーション実習	1・2前		1				○								
キャリアアップ科目	PBL特別演習Ⅰ	1後		4			○		1					集中 集中 集中 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1	
	PBL特別演習Ⅱ	1後		4			○			1					
	PBL特別演習Ⅲ	2後		4			○			1					
	PBL特別演習Ⅳ	2後		4			○								
	Global Career Seminar A 100	1前		2			○				1				
	Global Career Seminar B 200	1後		2			○					1			
	Global Career Seminar C 300	2前		2			○						1		
	Global Career Seminar D 400	2後		2			○						1		
	地域貢献PBL	2前		2			○		1	1					
	インターンシップ	2前		2			○								
	サービスマスターニング	2後		2			○			1					
	職業選択演習	3前		2			○			1					
	留学生のためのビジネスマナー・作文	3前		2			○			1					
小計(75科目)			10	101	0				9	9	1	0	0	兼37	

## 教 育 課 程 等 の 概 要

(現代社会学部 現代社会学科)

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手				
専攻科目 専門分野	観光・地域マネジメント	働くことを考える	1前・後	2		○									兼 1		
		観光の道しるべ	1前・後	2		○									1		
		世界遺産を学ぶ	1前・後	2		○									1		
		西宮まち・ひと・しごとリレー講義	1前	2		○									1	兼 9 オムニバス	
		SDGs de 地域課題を考える	1前	2				○							1	兼 1 集中	
		アンケート作成入門	2前	2				○								兼 1	
		観光学	2前	2				○							1	兼 1	
		旅行・観光関連法規	2前	2				○								兼 1	
		観光英語	2後	2					○							兼 1	
		ホスピタリティ・マネジメント	2前	2				○			1					兼 1	
		国内旅行地理	2前	2				○								兼 1	
		国内旅行実務	2前	2				○								兼 1	
		まちづくり論	2後	2				○								兼 1	
		地域ツーリズム演習Ⅰ (伊丹と灘の酒文化)	2前	2					○		1	1				兼 1 オムニバス	
		地域ツーリズム演習Ⅱ (産業観光論)	2前	2					○		1	1				兼 1 集中	
		パブリックマネジメント	2前	2				○				1				兼 1	
		地域学入門	2後	2				○				1				兼 1	
		政策学入門	2前	2				○				1				兼 1	
		阪神間ツーリズム学	2後	2				○				1				兼 1	
		ソーシャルキャピタル論	2後	2				○								兼 1	
		ソーシャルファイナンス論	3前	2				○								兼 1	
		ソーシャルビジネス論	3後	2				○								兼 1	
		ソーシャルイノベーション論	3後	2					○							兼 1 集中	
		コンテンツツーリズム論	3後	2				○								兼 1	
		イベント・コンベンション概論	3後	2				○				1				兼 1	
		エアラインビジネス論	3前	2				○								兼 1 集中	
		観光事業論	3前	2				○				1				兼 1	
		旅行ビジネス論	4前	2				○								兼 1	
		ホテルビジネス論	3前	2				○								兼 1	
		観光地誌学	2前	2				○				1				兼 1	
		観光社会学	3前	2				○								1	
		地域ブランド論	3後	2				○								1	
		観光モビリティ論	3後	2				○				1				兼 1	
		コミュニティデザイン論	3後	2					○							兼 1	
		心理学	心理学	自分探しの心理学	1前・後	2		○				1					
				映画で学ぶこころの世界	1前・後	2		○									
				公認心理師の職責	2前	2		○									
				心理学概論	2後	2		○									
				臨床心理学概論	2前	2		○									
				心理学研究法Ⅰ	2前	2				○							
				心理学研究法Ⅱ	2後	2				○							
				心理学統計法Ⅰ	2前・後	2				○							
心理学統計法Ⅱ	2前・後			2				○									
心理学実験Ⅰ	2前			2					○								
心理学実験Ⅱ	2後			2						○							
知覚・認知心理学	2後			2				○									
学習・言語心理学	2後			2				○									
感情・人格心理学	2前			2				○									
神経・生理心理学	2後			2				○									
社会・集団・家族心理学	2前			2				○									
発達心理学	2前			2				○									
障害者・障害児心理学	2後			2				○				1					
心理的アセスメント	3前			2					○								
心理学的支援法	3後			2					○								
青年心理学	2後			2				○									
健康・医療心理学	2後			2				○									
福祉心理学	2後			2				○									
教育・学校心理学	2前			2				○									
司法・犯罪心理学	2前			2				○									
産業・組織心理学	2後			2				○									
精神分析学	2後			2				○									
カウンセリング心理学	3前			2				○									
人間関係論	3前			2				○									
文化心理学	3後			2				○									
人体の構造と機能及び疾病	3後			2				○				1					
精神疾患とその治療	3前			2				○									
関係行政論	3後	2				○											
心理演習	3後	2					○										
心理実習	4前	2					○										
心理学特殊講義	3前	2					○										

## 教 育 課 程 等 の 概 要

(現代社会学部 現代社会学科)

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手			
専攻科目	情報・コンピュータ	IT入門		2		○									兼1	集中
		データ構造とアルゴリズム	1前・後	2		○									兼1	
		Web技術	1前・後	2			○								兼1	
		プログラミング演習Ⅰ	1前・後	2			○								兼1	
		プログラミング演習Ⅱ	1前・後	2			○								兼1	
		マルチメディア技術	1前・後	2			○								兼1	
		情報システム論Ⅰ	1前	2			○								兼1	
		情報システム論Ⅱ	1後	2			○								兼1	
		情報システム論Ⅲ	2前	2			○								兼1	
		情報システム論Ⅳ	2後	2			○								兼1	
		情報システム論Ⅴ	3前	2			○								兼1	
		ネットワーク技術	2前	2			○								兼1	
		情報数学	2後	2			○								兼1	
		人工知能基礎論	3前	2			○								兼1	
		人工知能応用論	3後	2			○								兼1	
		データベース技術Ⅰ	2前・後	2				○							兼1	
		データベース技術Ⅱ	2後	2				○							兼1	
		アプリケーション開発Ⅰ	2前・後	2				○							兼1	
		アプリケーション開発Ⅱ	2後	2				○							兼1	
		ゲーム開発	3前	2				○							兼1	
		モバイルアプリ開発	3後	2				○							兼1	
	バーチャルリアリティ技術	3前	2				○							兼1		
	IoTとクラウドコンピューティング	3後	2				○							兼1		
	システム設計	3後	2				○							兼1		
	プロジェクトマネジメント	3後	2				○							兼1		
	情報実践特講Ⅰ	3前	2				○							兼1		
	情報実践特講Ⅱ	3後	2				○							兼1		
	メディア・社会学	社会学入門	1前		2		○								兼1	
		文化社会学	1前		2		○								兼1	
		情報社会学	2前		2		○								兼1	
		家族社会学	2後		2		○								兼1	
		地域社会学	2前		2		○								兼1	
		社会学特論	2前		2		○								兼1	
		国際社会学	3前		2		○								兼1	
		社会調査法入門	1前		2		○								兼1	
		データサイエンス・リテラシー	2前		2		○								兼1	
		社会統計法Ⅰ	2前		2		○								兼1	
		社会統計法Ⅱ	3後		2		○								兼1	
		質的調査法	3後		2		○								兼1	
		情報メディアと社会	1後		2		○								兼1	
		ポピュラーカルチャー研究	2前		2		○								兼1	
		メディア・コンテンツ産業論	2後		2		○								兼1	
メディア・コンテンツと地域		2前		2		○								兼1		
イメージと物語		2前		2		○								兼1		
モビリティ・スタディーズ		3後		2			○							兼1		
メディア・社会デザイン演習Ⅰ		3前		2			○							兼1		
メディア・社会デザイン演習Ⅱ		3後		2			○							兼1		
メディア学入門		1後		2			○							兼1		
メディアコミュニケーション論	2前		2			○							兼1			
放送メディア論	2前		2			○							兼1			
出版メディア論	2前		2			○							兼1			
ジャーナリズム論	2後		2			○							兼1			
デジタルメディア論	2後		2			○							兼1			
情報メディア史	2後		2			○							兼1			
ドキュメンタリー論	3後		2			○							兼1			
メディア特論	3後		2			○							兼1			
スポーツマネジメント	スポーツ強化演習Ⅰ	1前		6				○						兼1		
	スポーツ強化演習Ⅱ	1後		6				○						兼1		
	スポーツ強化演習Ⅲ	2前		6				○						兼1		
	スポーツ強化演習Ⅳ	2後		6				○						兼1		
	スポーツ強化演習Ⅴ	3前		6				○						兼1		
	スポーツ強化演習Ⅵ	3後		6				○						兼1		
	経営理念事例研究	3前		2				○						兼1		
経営戦略事例研究	3後		2				○						兼1			
経営組織事例研究	3前		2				○						兼1			
ビジネスネゴシエーション事例研究	3後		2				○						兼1			
総合研究	研究・制作Ⅰ	1前		2				○						兼1		
	研究・制作Ⅱ	1後		2				○						兼1		
	研究・制作Ⅲ	2前		2				○						兼1		
	研究・制作Ⅳ	2後		2				○						兼1		
	ゼミナールⅠ	3前		2				○						兼1		
	ゼミナールⅡ	3後		2				○						兼1		
	卒業研究	4通		4				○						兼1		
卒業制作	4通		4				○						兼1			

### 教育課程等の概要

(現代社会学部 現代社会学科)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考					
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手						
専攻科目	その他の科目	法学		2		○			1										
		日本国憲法	1前・後		2		○										兼 1		
		民法Ⅰ	1前・後		2		○												
		民法Ⅱ	2前		2		○												
		行政法	2後		2		○												
		行政法	3前		2		○												
		社会科学	3前		2		○												
		社会科学	1前・後		2		○												
		社会を知る	2前		2		○											兼 1	
		経済学A	2前		2		○											兼 1	
		経済学B	1後		2		○											兼 1	
		経済学B	2前		2		○											兼 1	
		数学応用Ⅰ	2前		2		○			1									
		数学応用Ⅱ	2後		2		○			1									
		行政実務特修Ⅰ	3前		2		○												兼 1
		行政実務特修Ⅱ	3後		2		○												兼 1
		キャリア・マネジメント・ベーシック	2前・後		2		○		○										兼 1
キャリア・マネジメント・インテンシブ	2前・後		2				○										兼 1		
キャリア・マネジメント・アドバンス	3前		2				○										兼 1		
キャリア・マネジメント・アドバンス	3後		2				○										兼 1		
現代社会特別講義	1・2前		2				○		1								集中		
現代社会特別演習	1・2後		2				○		1								集中		
小計(134科目)			—	8	288	0	—	—	10	9	0	0	0	0	0	兼 47	—		
合計(209科目)			—	18	389	0	—	—	10	9	1	0	0	0	0	兼 68	—		
学位又は称号		学士(学術)			学位又は学科の分野				文学関係、経済学関係										
卒業要件及び履修方法									授業期間等										
<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合科目から必修科目10単位を修得すること。</li> <li>・専攻科目の専門分野の中から主専攻を1つ選び、40単位以上を修得すること。</li> <li>・「ゼミナールⅠ」及び「ゼミナールⅡ」並びに「卒業研究」計8単位を修得すること。</li> <li>・上記要件を満たした上で、合計124単位以上を修得すること。</li> </ul> (履修科目の登録の上限：20単位/学期 ※前学期GPAにより要件緩和)									1学年の学期区分		2学期								
									1学期の授業期間		15週								
									1時限の授業時間		90分								

## (資料3)

## 経営学部 専攻科目カリキュラム体系表

科目区分		レベルナンバー*	100	200	300	400
経営	理論系	経営学の扉				
		経営学入門		経営戦略論 I	経営戦略論 II	
				組織行動論	人的資源管理論	
	現代企業系				経営組織論	
				アントレプレナーシップ入門	ベンチャー経営論	マネジメント史
				スイーツビジネス	地域産業論	
会計	会計	会計学入門				会計学応用演習
		商業簿記 I	商業簿記 II			
		工業簿記	商業簿記 III			
		パソコン会計	財務会計論	税務会計論		
	ファイナンス		管理会計論			
		ファイナンス入門	証券投資論	証券投資演習		
マーケティング	理論系	マーケティング入門	マーケティングリサーチ I			
			マーケティングリサーチ II			
			マーケティング戦略論	流通マーケティング		
	クリエイティブ系		消費者行動論		ブランド論	
			食のマーケティング			クリエイティブマーケティング演習 I
			ファッションマーケティング	サービス経営		クリエイティブマーケティング演習 II
デジタルビジネス	デジタルソリューション	デジタル社会とテクノロジー	コンピュータ技術	課題解決のためのデジタル活用 I	デジタル経営論	
			経営と情報システム	課題解決のためのデジタル活用 II		
			ビジネス情報処理 I			
			ビジネス情報処理 II			
	データサイエンス		社会におけるデータ・AI利活用	データの分析と活用 I	データサイエンス I	
			ビジネスの数字を読む	データの分析と活用 II	データサイエンス II	
いきいきキャリア	キャリアデザイン	働くことを考える I	キャリア形成と社会	キャリアモデル事例研究		
		働くことを考える II	キャリアアトランジョン論	企業内キャリア開発		
		名著・名作から人生を考える		働くことの哲学		
	キャリア心理学		キャリアの心理学	ライフコースの心理学		
				仕事と職場の心理学		
				キャリアカウンセリング I	キャリアカウンセリング II	
専門共通		ロジカルシンキング	経済学入門	ミクロ経済学		
			経営現場で起こる諸問題			
			ビジネス法の基礎			
			Business English	Cross Cultural Communication		
人間力科目		人間関係トレーニング	職場コミュニケーション		日本経営史	
		リーダーシップと問題解決	デザイン思考			
実践力科目		フィールドスタディ I	フィールドスタディ II	フィールドスタディ III		
				実践演習 (経営 I・II)		
				実践演習 (会計 I・II)		
				実践演習 (マーケティング I・II)		
				実践演習 (デジタル I・II)		
				実践演習 (キャリア I・II)		
総合研究				ゼミナール I	卒業研究	
				ゼミナール II		

必修科目

\*科目にはそれぞれ「100」「200」「300」「400」というレベルナンバーが付されており、授業内容の難易度（100&lt;400）を示す。



## (資料4)

## 専任教員の年齢構成・学位保有状況

(経営学部 経営学科)

職 位	学 位	29歳以下	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	合 計	備 考
教 授	博 士	人	人	人	3 人	1 人	人	1 人	5 人	
	修 士	人	人	人	人	1 人	1 人	人	2 人	
	学 士	人	人	人	人	人	1 人	人	1 人	
	短期大士 学	人	人	人	人	人	人	人	人	
	その他	人	人	人	人	人	人	人	人	
准教授	博 士	人	人	2 人	1 人	人	人	人	3 人	
	修 士	人	人	人	1 人	1 人	人	人	2 人	
	学 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	短期大士 学	人	人	人	人	人	人	人	人	
	その他	人	人	人	人	人	人	人	人	
講 師	博 士	人	人	1 人	人	人	人	人	1 人	
	修 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	学 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	短期大士 学	人	人	人	人	人	人	人	人	
	その他	人	人	人	人	人	人	人	人	
助 教	博 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	修 士	人	人	人	1 人	人	人	人	1 人	
	学 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	短期大士 学	人	人	人	人	人	人	人	人	
	その他	人	人	人	人	人	人	人	人	
合 計	博 士	人	人	3 人	4 人	1 人	人	1 人	9 人	
	修 士	人	人	人	2 人	2 人	1 人	人	5 人	
	学 士	人	人	人	人	人	1 人	人	1 人	
	短期大士 学	人	人	人	人	人	人	人	人	
	その他	人	人	人	人	人	人	人	人	

経営学部 時間割

Table with columns for 時間 (Time), 科目名 (Subject Name), 担当 (Instructor), 教室 (Classroom), 備考 (Remarks), 科目名 (Subject Name), 担当 (Instructor), 教室 (Classroom), 備考 (Remarks), 科目名 (Subject Name), 担当 (Instructor), 教室 (Classroom), 備考 (Remarks), 科目名 (Subject Name), 担当 (Instructor), 教室 (Classroom), 備考 (Remarks), 科目名 (Subject Name), 担当 (Instructor), 教室 (Classroom), 備考 (Remarks).

※備考欄 (k・) は、新校舎 (k棟) の運用開始後に使用する予定の教室を入れている。

集中講義

Table with columns for 科目名 (Subject Name), 担当 (Instructor), 教室 (Classroom), 備考 (Remarks).

Table with columns for 科目名 (Subject Name), 担当 (Instructor), 教室 (Classroom), 備考 (Remarks).

(資料6)

さくら夙川キャンパスにおいて大学が使用する教室数及び研究室数

建物	講義室	演習室	実験実習室	情報処理 学習施設	研究室
A棟	11			5	
B棟			17		
C棟	1				
CE棟	3	12	4		
D棟	4	2	1		
E棟	15		1		33
F棟		8			49
K棟※1	4				
L棟		2	1		
R棟	1		7		1
W棟	6	3	5		10
その他※2			1		
計	45	27	37	5	93

※1 令和5年9月竣工予定

※2 共同研究棟・制作棟・材料実験棟

## 学生の確保の見通し等を記載した書類 目次

(1) 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況.....	2
① 学生の確保の見通し.....	2
ア. 定員充足の見込み.....	2
イ. 定員充足の根拠となる客観的データの概要.....	4
ウ. 学生納付金の設定の考え方.....	11
② 学生確保に向けた具体的な取組状況.....	11
ア. 大手前大学の学生確保に向けた取組.....	11
イ. 既設学部等における学生確保の状況.....	15
ウ. 通信教育課程（現代社会学部現代社会学科）における学生確保の取組.....	15
(2) 人材需要の動向等社会の要請.....	18
① 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）.....	18
② 社会的及び地域的な人材需要の動向等についての客観的な根拠.....	19
ア. 本学経営学部が養成する人材への社会的及び地域的需要.....	19
イ. 企業が勤務する人材に求める専門的知識及び専門人材の採用・育成動向.....	20
ウ. 人材需要アンケート調査結果.....	21

## 学生の確保の見通し等を記載した書類

### (1) 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況

#### ① 学生の確保の見通し

##### ア. 定員充足の見込み

大手前大学のこの度の収容定員の増加に係る学則変更は、本学が令和5(2023)年度に設置予定の経営学部経営学科(入学定員170人、2年次編入学定員2人、3年次編入学定員7人)を設置し、それに伴い、既設学部の国際日本学部30人、建築&芸術学部10人、現代社会学部20人の入学定員をそれぞれ減じることで令和4(2022)年度の入学定員合計750人(収容定員3,080人)に対し令和5(2023)年度は入学定員合計を860人(収容定員3,540人)に増員する。

表1: 大手前大学経営学部経営学科設置に伴う組織の移行表(通信教育課程を除く)

令和4(2022)年度				令和5(2023)年度			
学部学科名	入学定員	編入学定員	収容定員	学部学科名	入学定員	編入学定員	収容定員
国際日本学部 国際日本学科	190	2年次 4 3年次 2	776	国際日本学部 国際日本学科	<u>160</u>	2年次 4 3年次 2	<u>656</u>
建築&芸術学部 建築&芸術学科	180	2年次 4 3年次 2	736	建築&芸術学部 建築&芸術学科	<u>170</u>	2年次 4 3年次 2	<u>696</u>
現代社会学部 現代社会学科	220	2年次 4 3年次 2	896	現代社会学部 現代社会学科	<u>200</u>	2年次 4 3年次 2	<u>816</u>
健康栄養学部 管理栄養学科	80	3年次 16	352	健康栄養学部 管理栄養学科	80	3年次 16	352
国際看護学部 看護学科	80	—	320	国際看護学部 看護学科	80	—	320
				経営学部 経営学科	<u>170</u>	<u>2年次 2</u> <u>3年次 7</u>	<u>700</u>
合計	750	2年次 12 3年次 22	3,080	合計	<u>860</u>	2年次 <u>14</u> 3年次 <u>29</u>	<u>3,540</u>

※令和4年4月名称変更 総合文化学部総合文化学科 → 国際日本学部国際日本学科

表 2：(参考) 大手前大学経営学部経営学科設置に伴う組織の移行表（通信教育課程）

令和 4（2022）年度				令和 5（2023）年度			
学部学科名	入学定員	編入学定員	収容定員	学部学科名	入学定員	編入学定員	収容定員
現代社会学部 現代社会学科 (通信教育課程)	500	3年次 500	3,000	現代社会学部 現代社会学科 (通信教育課程)	500	3年次 500	3,000
合計	500	3年次 500	3,000	合計	500	3年次 500	3,000

日本私立学校振興・共済事業団「令和 3（2021）年度 私立大学・短期大学等 入学志願動向」の抜粋である資料 1 によると、私立大学全学部合計での入学定員充足率は令和 2（2020）年度は 102.61%であった。それに対して、令和 3（2021）年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、99.81%に低下しており定員未充足の状況となっている。一方、経営学部が含まれる「社会科学系」学部については、令和 2（2020）年度は 103.65%であったのに対し、令和 3（2021）年度は 101.56%であった。全体と同様に前年度比で低下しているものの、依然として入学定員は充足している状況である。さらに平成 24（2012）～令和 3（2021）年度の日本私立学校振興・共済事業団「私立大学・短期大学等 入学志願動向」を基に作成した資料 2 によると、私立大学「社会科学系」学部はこの間に 500 学部超存在するが、入学定員 165,013～171,506 人に対して志願者も 1,133,237～1,665,089 人存在し、その志願倍率（志願者÷入学定員）は 6.70～9.85 倍、令和 3（2021）年度でも 8.04 倍と高い水準を維持している。加えて資料 3 によると、私立大学「経営学部」では、平成 24（2012）年度 79 学部から令和 3（2021）年度 89 学部に増加し、入学定員は 24,035 人から 27,966 人へと 3,931 人増となっているが、この間に志願者も 170,465 人から 252,916 人と 82,451 人増となっている。令和 3（2021）年度時点において「経営学部」全体での志願倍率は 9.04 倍、入学定員充足率も 103.28%であり、「社会科学系」学部の中においても高い水準であることが分かる。

一方、資料 4 は「蛍雪時代特別編集 大学の真の実力 情報公開 BOOK」（2018 年度用～2023 年度用）掲載データを基に作成した、平成 29（2017）～令和 3（2021）年度の本学経営学部と競合する経営系学部の志願倍率等の推移である。これら 19 大学の 19 学部はその名称に「経営」を含み、また大手予備校による偏差値ランクを踏まえると本学経営学部の競合校であると判断できる（流通科学大学は「商学部」であるが、所在地と偏差値など共通点が多く、また当該学部には「経営学科」が置かれていることから競合校とした）。さらにこれらの大学は本学同様、大阪府、兵庫県を学生確保の基盤としている点が共通している。平成 29（2017）年度は志願者数合計 76,259 人に対し志願倍率は 11.7 倍であった。以降、平成 31（2019）年度は志願者数 113,599 人で志願倍率は 16.2 倍に達した。令和 2（2020）、

令和 3 (2021) 年度は、やや低下したが、令和 3 (2021) 年度の志願者数は 96,255 人であり志願倍率は 13.4 倍であることから高い水準を維持していることが分かる。

加えて資料 4 で示した本学経営学部が競合する経営系学部の入学定員充足率の推移について一覧にしたものが資料 5 である。19 大学 19 学部の入学定員充足率は平成 29 (2017) 年度は 108.0%であり、以後、平成 30 (2018) 年度は 110.4%、平成 31 (2019) 年度は 102.3%、令和 2 (2020) 年度は 108.2%、令和 3 (2021) 年度は 106.8%であった。平成 31 (2019) 年度はやや低い水準であるが、近年少し持ち直し傾向にある。直近の令和 3 年度 (2021) で見ると、定員未充足となったのは 2 学部であり、90%未満となったのは 1 学部のみである。

なお、資料 3 によると令和 3 (2021) 年度時点の全国の私立大学「経営学部」の入学定員は一学部平均で 314 人 (27,966 人÷89 学部) であるが、それに対して本学経営学部の入学定員は 170 人を予定している。本学経営学部は他大学と比較して小規模に分類されると言える。

このように資料 3・4・5 が示す通り、他大学経営学部においては全国的にも地域的にも、安定した志願者確保、定員充足が期待できることが明らかになっている。加えて資料 6 が示す通り、本学経営学部が設置予定のさくら夙川キャンパスは兵庫県西宮市に位置し、阪急神戸線夙川駅・JR 神戸線さくら夙川駅・阪神本線香櫨園駅から徒歩 7 分である。近畿地方において人口密度が特に高い阪神地域のほぼ中央に位置し、大阪・梅田方面、神戸・三宮方面、宝塚方面から 30 分圏内、また京都、姫路方面からも概ね 60 分圏内の好立地である。

以上の他大学経営学部の学生募集状況、本学の立地条件を踏まえると、本学経営学部における学生確保、定員充足は十分可能と思われるが、その見通しについて客観的に検証するため、学生確保の見通し調査 (高校生アンケート調査) を第三者機関に委託し実施した。

#### イ. 定員充足の根拠となる客観的データの概要

資料 7、資料 20 は本学が経営学部の学生確保の見通しについて更なる検証を行うために、第三者機関 (株式会社高等教育総合研究所) に依頼し、2 度にわたり実施した高校生アンケート調査の結果報告書である。その実施概要、結果を要約すると以下のとおりである。

表 3: 大手前大学経営学部に係る学生確保の見通し調査 (高校生アンケート調査) 実施概要  
【初回調査】

調査目的	令和 5 (2023) 年 4 月開設に向け、設置構想中である大手前大学「経営学部 経営学科」(仮称/入学定員 170 人を予定) の志願・入学意向のニーズを大学外の第三者機関によるアンケート調査を用いて、学生確保の見通しを測ることを目的とする。
調査時期	令和 3 (2021) 年 10 月～12 月
調査対象	令和 5 (2023) 年 3 月に高校卒業予定である高校 2 年生 (令和 3 (2021)

	年度時点) をアンケート対象とした。大手前大学が学生確保の基盤とする大阪府・兵庫県を中心とした地域及び周辺県の高等学校 645 校にアンケートの実施を依頼し、76 校の調査実施の協力を得た (大阪府 31 校、兵庫県 29 校、京都府 5 校、奈良県 2 校、和歌山県 1 校、岡山県 2 校、広島県 2 校、山口県 1 校、香川県 2 校、愛媛県 1 校)。
調査内容	全て選択肢式の 8 問。 回答者の基本情報 (居住地、性別、希望進路、興味のある学問分野等) や大手前大学「経営学部経営学科 (仮称)」への受験・入学意思について。
回答件数	10,143 件

表 4: 大手前大学経営学部に係る学生確保の見通し調査 (高校生アンケート調査) 実施概要  
【追加調査】

調査時期	令和 4 (2022) 年 6 月 25 日～7 月 7 日
調査対象	令和 5 (2023) 年 3 月に高校卒業予定である高校 3 年生 (令和 4 (2022) 年度時点) で、大手前大学が学生確保の基盤とする地域にあり、新たに調査協力が得られた高校に在学する生徒、および大手前大学経営学部への進学に興味を示した生徒をアンケート対象とした。具体的には、次のとおり。 ① 新たにアンケート調査への協力が得られた 7 校 (兵庫県 5 校、京都府 2 校) に在学する高校 3 年生 ② 経営学部のオープンキャンパスに来場した高校 3 年生 ③ 大手前大学経営学部に関心ありとして、「大手前大学 大学案内 2023」のパンフレット資料を請求した高校 3 年生 (オープンキャンパスの来場者は除く)
調査方法	アンケート用紙もしくはインターネットを用いて回答を求めた。
調査内容	初回調査と同じ (但し、初回調査との重複を避けるため、在籍高校欄を設けた)
回答件数	1,145 件 (昨年調査済の 76 校の高校生のデータを除いた有効回答は 1,080 件)

表 3 に示すとおり、初回の高校生アンケート調査は本学経営学部の学生確保が期待できる近畿地方 (特に阪神地域) を中心とした高校に依頼を行い、76 校 (大阪府 31 校、兵庫県 29 校、京都府 5 校、奈良県 2 校、和歌山県 1 校、岡山県 2 校、広島県 2 校、山口県 1 校、香川県 2 校、愛媛県 1 校) より実施協力を得た結果、これら 76 校に在籍する高校 2 年生 (令和 5 (2023) 年 3 月に高校卒業予定で令和 5 (2023) 年度に大学進学時期を迎える者)、合計 10,143 人から回答を得ることができた。



次に、表 4 に示すとおり、追加のアンケート調査は、①新たにアンケート調査への協力が得られた 7 校（兵庫県 5 校、京都府 2 校）に在学する高校 3 年生、②経営学部のオープンキャンパスに会場した高校 3 年生、③本学経営学部に関心ありとして「大手前大学 大学案内 2023」のパンフレット資料を請求した高校 3 年生（オープンキャンパスの来場者は除く）を対象に、昨年の初回調査と同じアンケートの質問項目・学部概要資料を用いて、アンケート用紙もしくはインターネットを通じて回答を求めた。結果、1,145 人から回答が得られた。ここから、昨年調査済の 76 校に在学する高校生のデータを除き、重複を避けて集計したところ、有効回答は 1,080 人となった。この 1,080 人の回答を初回のアンケート調査結果と統合の上、下記の分析を行った。

高校生アンケート調査では、本学経営学部の特色・学費・アクセスなどを具体的に示した上で、受験意欲について回答を求めたところ、817 人が本学経営学部を「受験したい」とした。また、受験意欲を示した 817 人に対し合格した場合の入学意欲について回答を求めたところ、401 人が「合格した場合、入学したい」、398 人が「合格した場合、併願大学等の結果によって入学したい」と回答し、「合格した場合、入学したい」とした高校生のみで、本学経営学部が予定する入学定員 170 人を上回る結果となった。さらに「合格した場合、併願大学等の結果によって入学したい」と回答した 398 人を加えると、経営学部への入学を具体的に検討している者は計 799 人いることが明らかとなった。

すでに述べたように、今回のアンケート調査に対して、401 人が「合格した場合、入学したい」と回答したが、より厳密に見るために、受験・入学意向を示した回答者について、高校卒業後の希望進路（問 3 結果）、関心のある学問分野（問 4 結果）を踏まえたクロス集計を行った。結果、問 3 で高校卒業後の希望進路を「進学」としたのは 9,054 人おり、その上で問 4 で関心のある学問分野について「社会科学」としたのは 2,764 人であった。さらにその 2,764 人のうち、本学経営学部を「受験したい」としたのは 465 人いた。入学意向についてその内訳をみると、そのうち問 6 で「合格した場合、入学したい」が 201 人、「合格した場合、併願大学等の結果によって入学したい」が 257 人であった。このように、より厳密に対象者を絞り込むクロス集計を施した結果を見ても「合格した場合、入学したい」とした高校生のみで、本学経営学部が予定する入学定員 170 人を上回る結果となった。

なお、本学経営学部は、ゼロベースで新たに立ち上げるものではなく、既設の現代社会学部の企業経営分野を移管する形で改組するものである。過去 4 年間において、現代社会学部において企業経営分野を主専攻とするゼミで学ぶ学生数の平均は 76 人である（表 5）。つまり、本学は経営学部を開設せずとも、毎年 70～80 人の経営学を学びたいとする学生を確保できる潜在能力を持っている。

経営学部は、こうした現代社会学部において築いた企業経営に関する学びの信頼と実績を土台に、学生募集活動を行うため、長期的かつ安定的な学生確保を実現できる。

表 5：本学現代社会学部の企業経営分野を主専攻とするゼミの在籍者数

(単位：人)

2017 年度入学 (2020 年度卒)	2018 年度入学 (2021 年度卒)	2019 年度入学 (現 4 年生)	2020 年度入学 (現 3 年生)	平均
41	67	109	87	76

加えて、資料 8 の文部科学省「学校基本調査（令和 3（2021）年度）」によると高校生アンケート調査を行った 10 府県（兵庫県、大阪府、京都府、奈良県、和歌山県、岡山県、広島県、山口県、香川県、愛媛県）の高校数は令和 3（2021）年度時点で全日制のみで 934 校あり、高校 2 年生は合計 216,217 人在籍している。資料 7、資料 20 で示した通り、本学が高等教育総合研究所に依頼の上で行った高校生アンケート調査は 11,223 人の高校生からの回答に留まっていることから、後述する学生確保に向けた取組を通して本学の経営学部の学びの魅力が高校生とその保護者、高校教員に広く認知されることで、本学経営学部の定員充足を前提とした志願者確保は十分可能と考える。

一方、経営学部設置後の学生確保を行う上で、長期的には本学も少子化の影響は免れない点を考慮する必要がある。資料 9 はリクルート進学総研マーケットリポート（2021 年 4 月号）をもとに作成した 18 歳人口（大学進学対象者数）予測である。本学が経営学部の設置を予定する令和 5（2023）年度を 100 とすると、10 年後の令和 15（2033）年度の 18 歳人口（大学進学対象者数）は全国で 91.3%となる。経営学部設置予定の本学さくら夙川キャンパス所在地の兵庫県では、全国水準を少し下回る 91.2%、また高校生アンケート調査を実施した 10 府県では 89.3%となる。一方、高校生アンケート調査のクロス集計結果を踏まえると、本学の経営学部の入学定員 170 人に対し、「合格した場合、入学したい」との回答が 201 人であることが明らかになっており、これに上記 89.3%（高校生アンケート調査実施地域における令和 5（2023）年度を 100 とした場合の令和 15 年度比率）を乗じると 179 人となり、開設 10 年後においても経営学部の定員 170 人を確保しうる水準だといえる。

これに加えて、クロス集計では「合格した場合、併願大学等の結果によって入学したい」と回答した者が 257 人いる。今後、大手前大学経営学部が着実に実績を積み重ね、カリキュラムの魅力を訴求することにより、併願者の一定数を入学者として確保できると考える。ちなみに、経営学部の基礎となった現代社会学部では、併願可能な入試種別（一般入試、共通テスト利用入試）の合格者数に対する入学者数の比率（歩留まり率）は、過去 4 年間の実績で、3 割程度である（表 6）。「合格した場合、併願大学等の結果によって入学したい」と回答した 257 人に、歩留まり率の 3 割を乗じると 77 人となる。

表 6：本学現代社会学部の併願可能な入試種別の歩留まり率（2019～2022 年度）

(単位：人)

合格者数 (A)				入学者数 (B)				歩留まり率 (B/A)			
2019	2020	2021	2022	2019	2020	2021	2022	2019	2020	2021	2022
251	153	81	117	108	46	27	42	43.0%	30.1%	33.3%	35.9%

18歳年齢人口の減少は、時間をかけて段階的に進むのであり、ただちに現在の9割程度の水準になる訳ではない。毎年、教育面、研究面で実績を着実に積み重ね、その成果通じて、本学経営学部の学びの魅力を訴求することで、将来の少子化によるマイナスの影響を克服し、長期的かつ安定的な学生確保ができるものとする。

こうした方面での強化策として、すでに約20社の企業と共同で取り組む「人材育成構想会議」を設置し、「大手前方式」の産学連携PBLについての準備を始めている(資料21)。前者は、これからの産業社会に求められる人材育成のあり方について、企業の人材育成の最前線の方々からの意見を直接聴取する仕組みである。実社会の人材ニーズをタイムリーに汲み取ることで、変化の激しい時代において、常に魅力ある教育を提供することが可能になると考える。また、後者は、企業が現実には抱える様々な課題を理解した上で、経営学の理論を学び、理論をもとに課題の解決策を検討し、そのプロセスを内省することで、成長につなげるという本学経営学部ならではの教育方法である。こうした産業界との連携を通じた理論と実践を往還する学びの提供は、今後の社会が求める人材育成の実現につながり、そのような取り組みを高校生、保護者、高校教員を含め幅広く社会に発信することが、本学経営学部の長期的かつ安定的な学生確保に大きく寄与するものと考えている。

これまで述べた分析結果を総合すると、下記の図1のとおりとなる。

まず、追加アンケートの結果を統合した後に、より厳密に対象者を絞り込むクロス集計を施した結果を見ても「合格した場合、入学したい」と回答した者は、入学定員の170人を上回る201人となった。これは開設10年後における少子化の影響を考慮しても、入学定員170人を確保できる水準である。

なお、本学の経営学部は、既設の現代社会学部の企業経営分野を移管する形で改組するものだが、これまで現代社会学部において企業経営分野を主専攻とする学生を約70~80人確保しており、こうした土台の上に長期的かつ安定的な学生確保を実現できる。

また、クロス集計の結果、「合格した場合、併願大学等の結果によって入学したい」と回答した者が257人存在することから、この併願者について現代社会学部の併願可能入試における歩留まり率3割に相当する77人の入学確保に努める。さらに、カリキュラムの充実を図るために、すでに約20社の企業と連携し「人材育成構想会議」を設置し「大手前方式」の産学連携PBLについての準備を始めている。こうした活動により、学びの魅力を高め、それを幅広く訴求しつづけることで、毎年着実に入学希望者の上積みを図り続けることができると考える。

以上のことから、大手前大学経営学部経営学科の入学定員170人については、将来の少子化の影響を考慮しても、長期的かつ安定的な学生確保が可能である。

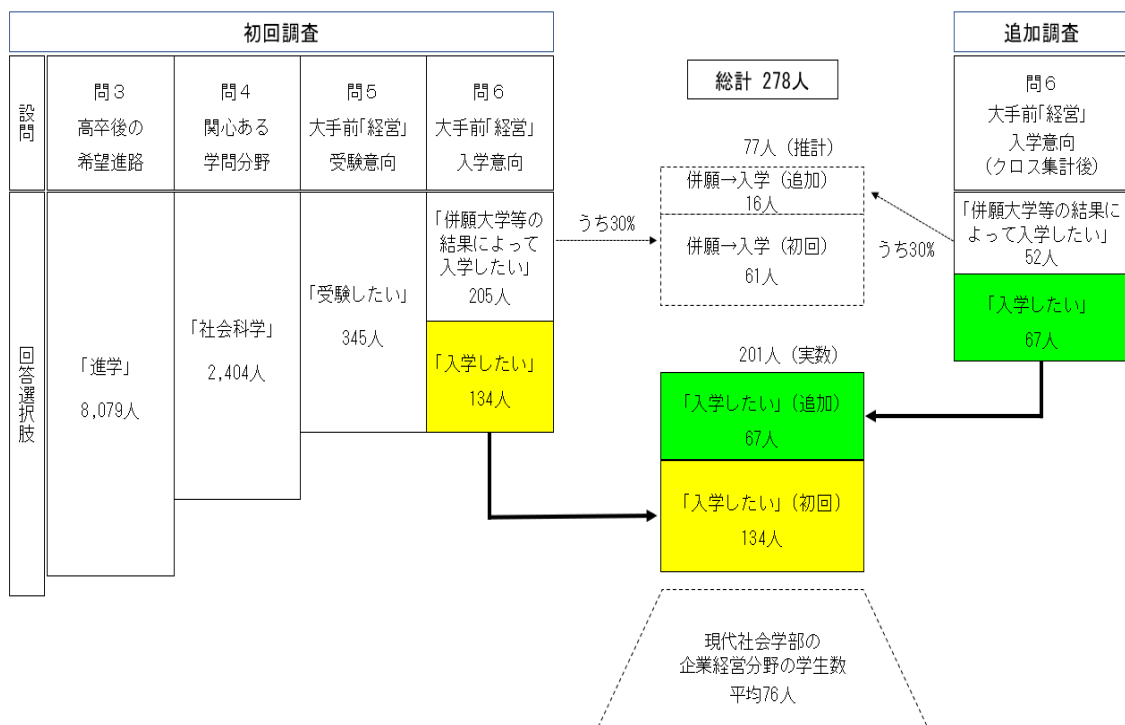


図1 総合的な考察のまとめ

さらに、本学経営学部では1年次からの入学者受入れのみでなく、2年次編入学定員として2人、3年次編入学定員として7人を受入れ予定である。資料10は文部科学省「学校基本調査」を基に作成した大学編入学者数推移（平成24（2012）～令和3（2021）年度）である。短期大学・高等専門学校・専門学校（専修学校専門課程）から大学への編入学者は平成24年度は合計9,797人おり、うち経営学部へは326人（全体の3.3%）が編入した。以降、平成31（2019）年度までは減少傾向が続いたが、令和2（2020）年度に上昇に転じ、令和3（2021）年度には編入学者数は全体で8,160人、うち経営学部へは過去10年間で最も多い366人（全体の4.5%）が編入している。このように短期大学・専門学校を中心に、四年制大学経営学部への編入学者数は一定数存在し、近年は増加傾向にある。このことから本学経営学部でも編入学者確保は可能と思われるが、地域的動向を踏まえた見通しについて客観的に検証するため、編入学生確保の見通し調査（編入学意向アンケート調査）を第三者機関（株式会社高等教育総合研究所）に委託し実施した。資料11はその結果報告書である。その実施概要、結果を要約すると以下のとおりである。

表 7：大手前大学経営学部に係る編入学生確保の見通し調査（編入学意向アンケート調査）実施概要

調査目的	令和 5（2023）年 4 月開設に向け、設置構想中である大手前大学「経営学部 経営学科」（仮称／入学定員 170 人、2 年次編入学 2 人、3 年次編入学 7 人を予定）の志願・入学意向のニーズを第三者機関によるアンケート調査を用いて、学生需要の見通しを測ることを目的とする。
調査時期	令和 3（2021）年 11 月～12 月
調査対象	大手前大学既設学部への編入学生が例年存在する大手前短期大学の他、近畿地方の短期大学・専門学校に編入学意向アンケート調査を依頼し、6 校（大阪府 4 校、兵庫県 1 校、滋賀県 1 校／短期大学 4 校、専門学校 2 校）より実施協力を得た。
調査内容	一部記述、選択肢式の 9 問。 回答者の基本情報（居住地、性別、学年）や大手前大学「経営学部 経営学科（仮称）」への受験・入学意向、編入学希望年次などについて。
回答件数	330 件（短大または専門学校 1 年生 181 人、同 2 年生 149 人）

表 7 に示すとおり、編入学意向アンケート調査は本学経営学部の編入学生確保が期待できる本学系列校の大手前短期大学ならびに近畿地方の短期大学及び専門学校に依頼を行い、6 校（大阪府 4 校、兵庫県 1 校、滋賀県 1 校／短期大学 4 校、専門学校 2 校）より実施協力を得た。2 年次編入学は経営学部開設 2 年目の令和 6（2024）年度、3 年次編入学は同 3 年目の令和 7（2025）年度より受入れ予定であり、本来であれば当該年度に編入学対象となる現・高校 2 年生が調査対象となる。しかしながら編入学は進学後に意思決定することが通例であるため、令和 3（2021）年度時点の短期大学生・専門学校生を調査対象としている。編入学生受入れ時期については概要資料で明示した上で回答を得ている。

結果、これら 6 校に在籍する合計 330 人から回答を得ることができた。編入学意向アンケート調査では、本学経営学部の編入学生受入れ時期・特色・学費・アクセスなどを具体的に示した上で、受験意欲について回答を求めたところ、36 人が編入学試験を「受験したい」とした。また、受験意欲を示した 36 人に対し合格した場合の入学意欲について回答を求めたところ、21 人が「合格した場合、入学したい」、14 人が「合格した場合、併願大学等の結果によって入学したい」とした。さらに入学意向を示した回答者には編入学を希望する年次について回答を求めた。結果、「合格した場合、入学したい」とした中で「2 年次編入学を希望」3 人、「3 年次編入学を希望」11 人、「2 年次・3 年次どちらでもよい」7 人であった。このように、2 年次編入学及び 3 年次編入学の両方で、編入学希望者が編入学定員を上回る水準となっている。

なお、資料 1 2 が示す通り、大手前大学既設学部における 2 年次及び 3 年次編入学者の

受入れ状況は次の通りである。2年次編入学者については、さくら夙川キャンパスの3学部（国際日本学部、建築&芸術学部、現代社会学部）で受け入れている。編入学定員各4人に対し、平成30（2018）～令和3（2021）年度は平均して、各学部1～2人程度が入学している。3年次編入学者については、さくら夙川キャンパス3学部に加え、大阪大手前キャンパスの健康栄養学部で受け入れている。さくら夙川キャンパスの3学部に対しては大手前短期大学や周辺の短期大学・専門学校、留学生の志願者が多数おり、平成30（2018）～令和3（2021）年度はいずれも定員超過の状況である。このように2年次編入学者よりも3年次編入学者が多く存在する現状を踏まえ、経営学部においては2年次編入学定員2人に対し3年次編入学定員を7人と設定した。

以上の点を踏まえると、経営学部が受入れ予定の編入学定員についても、その充足の見通しは十分にあるものと判断できる。

#### ウ. 学生納付金の設定の考え方

資料13によると、全国の私立大学において経営学・経営情報学・商学・会計学に分類される学部（学科）における令和3（2021）年度時点の学納金平均は1,289,791円である（入学金、授業料、その他費用を含む）。一方、資料4・資料5で示した本学と競合する経営系学部（19学部）における平均額は1,236,842円、最も高いのは1,457,000円、最も低いのは1,021,000円である。本学は経営学部の教育目的を実現しうる教育体制を置くことを前提に、学生の過大な負担とならないこと、また他大学との競争力といった観点も十分に考慮した上で、以下のとおり設定した。

<初年度学納金：1,290,000円>

（内訳）入学金：240,000円、授業料他1,050,000円

#### ② 学生確保に向けた具体的な取組状況

##### ア. 大手前大学の学生確保に向けた取組

学生確保に向けた具体的な取組は、主に以下が挙げられる。

1. 大学案内の配布
2. Webサイトによる情報発信
3. 受験雑誌などへの広告掲載
4. 進学相談会への参加
5. 高校内説明会の実施
6. 高校訪問
7. オープンキャンパス

「1. 大学案内の配布」については、文系3学部（国際日本学部、建築&芸術学部、現代社会学部）、健康栄養学部、国際看護学部と個別に3冊制作していたものを、総合大学のイメージを浸透させるため令和5（2023）年度募集パンフより合冊し大学総合パンフレットと

して制作予定である。4月下旬に新年度向けの大学案内を40,000部制作し、配布を予定している。配布先は資料請求者(高校生・既卒生・保護者等)、高等学校等が挙げられる。内容としては、主に高校生や保護者それぞれに十分周知すべき大学の特色、学びの内容、在学生・卒業生・教員紹介などの情報を掲載している。また、通学しやすい環境であることも掲載する。

経営学部の学生募集PRでは早期の認知拡大を目的とし、令和3(2021)年9月に本学Webサイトにおいて経営学部設置届出の予定を公表すると共に10月にはリーフレットを制作し、本学へすでに資料請求をしている高校1・2年生約8,000人に発送し、その後資料請求者へ随時発送を行っている。さらに令和4(2022)年4月以降は、大学総合パンフレットに加え、経営学部独自の別冊パンフレットを同封し発送する予定である。

別冊パンフレットの構成は、巻頭には「理論と実践の経営学」×「未来に生きる学び」とし5つの専門分野「経営」「会計」「マーケティング」「デジタルビジネス」「いきいきキャリア」を図解を含めわかりやすく紹介している。

また、パンフレットには企業から本学経営学部に期待するメッセージ、各専門分野の教員から高校生へのメッセージを写真付きで掲載し、すべての学生に寄り添い「手塩にかける」という訴求メッセージにふさわしい教育を通して学生個々の自信と可能性を育む姿勢が理解できるページを設ける。

なお、大学案内を配布したことによる効果測定は、毎月の資料請求数を指標とし動向を追跡していく。

「2. Webサイトによる情報発信」については、受験生サイトをフルリニューアルし、パンフレット同様、総合大学のイメージを浸透させる。また、サイト構成においても高校生の視点に合わせ最適化したページ設計及び構成とコンテンツの掲載を予定している。

経営学部においては、令和3(2021)年9月にティザーサイトを公開、経営学部のコンセプトを掲載し、「人生100年時代、変化する社会にあわせ働き方も変化し続ける時代に適応し、自分らしく働き生きる力を身につけることができる」としたメッセージと、体系化された本学の学びの仕組みを掲載した。さらに令和4(2022)年3月には掲載内容を更新した特設サイトを公開予定である。

該当サイトに誘導するために、進学情報サイト「マイナビ進学」などでマイページを設定している高校生に対し、閲覧するページにバナーを掲出し、リンクを張り検索の利便性を向上させている。またSNSによるバナー広告などを配信し、該当サイトへの誘導及び一度接触したユーザには、繰り返しバナー広告を配信している。

さらに、高校生の利用頻度が高いインスタグラムを利用した4コマ漫画「教えてひらにゃん・マンガでわかる経営学」を制作、継続投稿のうえ、さらにカラーセル広告を配信し当該サイトへ誘導することにより認知拡大に努めている。

本学の「LINE」に登録するなど積極的にアクセスする高校生に対しては、さらなる情報

提供を行うことにより接点を深められるよう工夫を行う。効果測定として、該当サイトへのアクセス数や検索エンジンのクリック数などを定期的にチェックし、反応が薄い場合はバナー広告や検索キーワードの追加変更などの改善を行う予定である。

また、教員を身近に感じる PR 動画を制作し、YouTube で配信、認知拡大を狙う。

「3. 受験雑誌などへの広告掲載」については、各誌の特集ページに参画すると同時に、進学情報サイトなどにはトピックスとして受験生にとって有益な情報を掲載している。

「4. 進学相談会への参加」については、高校生や保護者に対してのダイレクト・コミュニケーションを意図し進学相談会に積極的に参加している。資料 1 4 の通り、令和 3 (2021) 年度入試年度はコロナ禍での実施のため中止が相次ぎ 37 件の参加となったが、例年 50 件前後の進学相談会に参加している。ブースに来ていただいた方々の志望分野や状況に応じた説明が個別にできること、また本学全体や本学の入試制度等について率直な感想や意見も聞くことができる場でもあることから有意義な場となっている。

経営学部においては経営分野への志願者数は比較的多いと予測されるが、競合大学も多くあることから、本学ブースに来た方々の学校選びの基準をきちんと把握し、本学経営学部の教育の特長やその他本学の強みなどを正確にダイレクトに伝えていくことで、本学ブースに来ていただいた高校生が志願者へとつながると考えている。

「5. 高校内説明会の実施」についても資料 1 4 の通り、令和 3 (2021) 年度入試年度はコロナ禍での実施のため中止が相次ぎ 126 件の実施となったが、基本的には積極的・意欲的に参加件数を増やし、平成 28 (2016) 年度入試においては 137 件であったが、令和 2 (2020) 年度入試においては 175 件まで数を伸ばした。高校内説明会は高校側から声をかけていただければ参加できないケースが多く、事項「6. 高校訪問」で述べるように本格的に高校訪問に特化する活動を行うまでは参加可能な件数自体が非常に少なかった。よって参加件数の伸びは本学の積極的な高校訪問の成果とも言える。経営学部においては、今後更に高校訪問の中で高校内説明会へのオファーがいただけるようなアプローチを行っていくことで、その数を増やしていく。このことにより、本学ブースに来ていただいた高校生が志願者へとつながると考えている。

「6. 高校訪問」については、アドミッションズオフィスの渉外担当者が訪問する専任体制で行っている。資料 1 4 の通り、令和 3 (2021) 年度入試年度はコロナ禍での緊急事態宣言等で訪問を自粛せざるを得なかったが、それまでの数年の訪問件数は大きく伸び、令和 2 (2020) 年度入試の際には 1,285 件行うことができた。高校訪問は短期的には本学のアピールや本学への受験促進を各高校に行っていくものであるが、中期的には本学を各高校に正確に理解していただくことを意図している。そして長期的には本学の高校訪問は高大連



携協定校戦略につなげることを目指している。高大連携協定校戦略は本学が高大連携協定を締結した各高校（令和4（2022）年3月現在、合計43校）と各高校のニーズに応える高大連携を行うことで、高校側にとっては高校生・保護者が進路を考える上での「良いきっかけ」を提供するメリットを提供し、また本学側のメリットとしては高大連携を通して高校生や保護者が本当に進学先に求めるものを把握することである。本学協定校に対しては例えば、各種出張授業や本学体育会系クラブによる高校生への指導、高校生や保護者への進学講演、保護者のための大学見学と模擬授業などを各協定高校の希望に応じて実施している。これらの取組の効果としては各協定高校とはお互いにパートナー的な存在となり、双方で自己満足ではなくニーズに応えた学校運営を行っていくうえで欠かせない存在となったことが挙げられる。

今後、大手前大学の高大連携協定校の他、大手前大学への志願者・入学者の多い高校への優先順位を上げて訪問し、本学経営学部の教育の特長や本学の強みなどを正確に伝えていくよう高校訪問活動を展開している。

「7. オープンキャンパス」については資料14の通り、例年12～13回実施していた来校型オープンキャンパスがコロナ禍で中止される中、令和3（2021）年度からは事前予約・定員制にするとともに、5月中旬より新たに「Web オープンキャンパス LIVE」を実施した。結果、来場型・Web型の合計では、コロナ禍前よりも多い計15回のオープンキャンパスを実施した。

経営学部が設置予定の令和5（2023）年度入試に向けても引き続き来校型とLIVE配信型とを組み合わせたオープンキャンパスの実施を予定しており、教員、学生のクロストークを生番組としてLIVE配信するなど、離脱せず最後まで視聴参加してもらえるよう工夫を凝らした企画を計画している。さらに来校型では多くの高校生及び保護者に会場いただくため、進学情報サイトや各紙媒体に年間予定日程を掲載して新規接触者の獲得をめざすとともに、資料請求などで本学に接点のある高校生や経営学に興味のある志望者、及び女子・その他文系志望層などへのDM発送のほか、通学途上の主要駅への駅貼りポスターや交通機関各路線の車内吊りポスターなどでも告知を予定している。早期よりオープンキャンパス特設サイトを設け、具体的なプログラムを前面に打ち出して動員誘導を行うとともに、LINEやメールDM、インターネット広告などでも開催を周知する。経営学部教員による専門分野の説明、個別相談などで経営学部の理解促進をはかり、参加者には参加以降もメールでのDMやLINEメッセージを利用し継続したコミュニケーションを行い、出願意欲を高める工夫を予定している。

編入学生の募集については、系列の大手前短期大学内に設けた編入学プログラムにて大手前大学の各学部の説明を行った上で内部進学を推奨している。

外部からの編入学者受入れについては、編入学の募集要項を本学 Web サイトへ掲載し、編入学希望者が必要な情報をスムーズに得られるよう配慮しているほか、編入学希望者が受験を検討するにあたっては、出身校における単位認定や本学で取得できる資格について問い合わせを受けるケースが多いことから、事前によくある質問についてマニュアル化し、的確な対応ができるよう努めている。

さらに短期大学のビジネス系教員が多く参加する学会において経営学部の新設のお知らせをするとともに編入学の案内を行う予定である。

また、大手前短期大学についても 4 年制大学への編入をめざすアカデミックブリッジコースを設けた上で、本学とあわせて一体的な募集活動を行っている。

#### イ. 既設学部等における学生確保の状況

以上アのような取組を行うことで、本学の既設 5 学部（国際日本学部、建築&芸術学部、現代社会学部、健康栄養学部、国際看護学部）及び系列の大手前短期大学の 2 学科（ライフデザイン総合学科、歯科衛生学科）における入学定員充足率は資料 1 5 の通りである。平成 30（2018）～令和 3（2021）年度の間、本学においては令和 2 年度の健康栄養学部を除き、全学部のすべての年度で 1 以上を維持をしている。大手前短期大学においても平成 30（2018）年度のライフデザイン総合学科を除き、他のすべての年度で 1 以上を維持している。また、本学での編入学受入れ状況は資料 1 2 で示した通り、概ね良好と言える。経営学部においても同様の取組を積極的に行うことで、入学定員、編入学定員ともに継続した学生確保が可能と確信している。

一方、大手前大学通信教育課程（現代社会学部現代社会学科）では定員未充足の状況が続いており、その充足状況ならびに学生確保の取組は以下ウで示す通りである。

#### ウ. 通信教育課程（現代社会学部現代社会学科）における学生確保の取組

大手前大学の既設学部ならびに併設する大手前短期大学の通学課程においては、定員超過率が 0.7 倍未満の学部及び学科は令和 3（2021）年度時点で存在しない。しかしながら、通信教育課程（現代社会学部現代社会学科）の定員超過率は 0.7 倍未満となっている。本通信教育課程の学生確保に向けた直近 4 か年の具体的組状況については、以下のとおりである。

##### 【平成 30（2018）年度入学生に向けた取組み】

- それまではオンラインでの学習を通じた「学びやすさ」のアピールに広告広報の重点をおいていたが、平成 30（2018）年度より「学びやすさ」に加え、「仕事」や「職」につながるスキルや知識の修得を周知できるカリキュラム体系を整え、アピールしていくこととした。
- 法務省入国管理局より示された「日本語教育機関の告示基準」に対応した「日本語教員

養成課程」のカリキュラムを構築し、提供することとした。

- 若年者の獲得を目指し、「憲法」、「行政法」等、公務員試験の筆記試験科目となるものを全て開講し、科目群で学ばせ、正課外で筆記試験以外のフォローを実施する「公務員試験対策プログラム」を新設した。
- クリエイターや映像デザイナーの仕事に就くための必須スキルとなる 6 科目が学ぶことのできる「デジタルクリエイティブプログラム」を新設した。
- 以上の取組の結果、資料 1 6 の通り、在籍学生数は平成 30 (2018) 年 5 月 1 日時点で前年度 1,450 人から 1,697 人へ増加 (対前年比 117.0%) し、収容定員充足率は前年度 0.48 から 0.56 へと改善した。

#### 【平成 31 (2019) 年度入学生に向けた取組み】

- 入学者は順調に増加しており、「日本語教員養成課程」及び「心理学」は安定的に人気となっている。また、海外在住の日本人からの問い合わせや出願は増加傾向にあり、海外マーケットの広がりが見えている。
- 国内向けの募集活動においては、今期の目標としていた専門学校と通信制高校との連携強化に取り組み、専門学校 3 校と通信制高校 1 校との「協定校」の提携を行うことができ、学生確保について寄与できるものと期待できる。
- 以上の取組の結果、資料 1 6 の通り、在籍学生数は平成 31 (2019) 年 5 月 1 日時点で前年度 1,697 人から 1,916 人へ増加 (対前年比 112.9%) し、収容定員充足率は前年度 0.56 から 0.63 へと改善した。

#### 【令和 2 (2020) 年度入学生に向けた取組み】

- 「看護学プログラム」の教育プログラムを策定し、制度設計やカリキュラム編成及び学習成果レポート作成指導や学生相互の交流促進を目的としたコミュニティの概要案も策定し、世の中のニーズへの対応を進め、学生確保の一助として発展させていく。
- 高校生や大学生に影響のあるスタディサプリ等のネット媒体告知や高校訪問強化など若年層との接点強化を図り、より安定した学生確保を進めている。
- 以上の取組の結果、資料 1 6 の通り、在籍学生数は令和 2 (2020) 年 5 月 1 日時点で前年度 1,916 人から 2,078 人へ増加 (対前年比 117.2%) し、収容定員充足率は前年度 0.63 から 0.69 へと改善した。

#### 【令和 3 (2021) 年度入学生に向けた取組み】

- コロナ禍におけるオンライン学習定着の好影響やオンライン入学説明会・オンライン個別相談会など非対面による募集活動強化、高校生や大学生に影響のあるスタディサプリ等のネット媒体告知強化や Web サイトに若年者対象ページを新設、また、関西圏の通信制高校訪問や全国の通信制高校への大学案内送付 (主力校への電話や訪問等に

よるアプローチ) など若年層との接点強化を図り、今まで接点のなかった地域を含め、全国各地からの出願が増加、特に若年者層の出願が増加した。更に令和 3 (2021) 年度入試よりインターネット出願を開始、若年層や全国各地からの出願増に寄与している。

- 平成 30 (2018) 年度開始したデジタルクリエイティブプログラムや公務員試験対策プログラム、(若年者限定) 基礎ゼミナール、アカデミック・ライティング等々若年者層への訴求、日本語教員養成課程や認定心理士などの資格取得やキャリアアップ志向の出願検討者への訴求、更にオンライン学修のみで卒業出来るカリキュラムなど本学 Web サイトや他の Web サイト (スタディサプリなど)、(資格取得読本や看護協会ニュース等) 紙媒体を通じた訴求を再度、強化した。
- 「看護学プログラム」の教育プログラムを制度設計し、看護師の学修機会の拡充や医療従事者へのアプローチを強化、並行してプロモーション活動や看護協会や看護専門学校等へ営業活動を行い、志願者確保を進めている。
- 以上の取組の結果、資料 1 6 の通り、在籍学生数は令和 3 (2021) 年 5 月 1 日時点で前年度 2,078 人から 2,272 人へ増加 (対前年比 109.3%) し、収容定員充足率は前年度 0.69 から 0.75 へと大きく改善した。

## (2) 人材需要の動向等社会の要請

### ① 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）

本学部が養成しようとする人材は、地域経済に貢献する有為な人材である。すなわち、社会の幸福と持続可能な発展への使命感を持ち、地域に軸足を置きつつ、経営学の専門知識をもとに様々な課題解決に取り組み、実践と内省を通じて、自律的なキャリアを歩むことができる人材である。人材の養成に関する目的を達成するためのカリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシーを以下のように定める。

#### 【カリキュラム・ポリシー】

経営学部は、国内外における経営現象を教育研究の対象とし、地域に軸足を置きつつ、企業や団体における課題解決を通じて、社会の幸福と持続可能な発展に貢献できる人材を養成するため、以下の方針に基づいて、教育課程を編成し実施する。

1. 経営学に対する興味、関心につながる導入教育の充実
2. 社会の発展に貢献する志と幅広い視野の涵養
3. 幅広い経営学の基礎知識の修得
4. デジタル社会に適応し得る知識の修得
5. 実社会で活躍するための基礎スキルの修得
6. 産学連携による理論と実践を結びつけた学び
7. 自律的なキャリアの形成と他者の支援につながる学び

#### 【ディプロマ・ポリシー】

本学では、所定の卒業要件を満たし、学修によって修得した知識と能力をもって社会に貢献することのできる学生に学位を授与する。経営学部では、以下の要件を満たす学生に対して卒業を認定し、学士（経営学）を授与する。

1. 社会の幸福と持続可能な発展に貢献するための高い志、広い視野、経営学の専門知識を備えている。
2. 経営学の専門知識を用いて、社会における課題の解決策を考え、他者と協働してそれを成し遂げる力を備えている。
3. 自らのキャリアを主体的に形成し、実践と内省を繰り返しながら成長する力を備えている。

## ② 社会的及び地域的な人材需要の動向等についての客観的な根拠

### ア. 本学経営学部が養成する人材への社会的及び地域的需要

本学は“STUDY FOR LIFE”のモットーのもと、有為な人材を輩出し、地域の発展に貢献してきた。時代の変化が速度を増し、将来の不確実性が高まるなか人生 100 年時代と呼ばれる長寿社会が到来しつつある。こうした時代にふさわしい学びを提供し、地域の発展に尽くすことは本学の変わらぬ使命である。

あらためて、日本の現状をマクロ的に俯瞰すると、経済の長期低迷から抜け出せない中で、少子高齢化や人口減少が加速し、またグローバル化、DX（デジタルトランスフォーメーション）、SDGs(持続可能な開発目標)といった世界的な課題への対応が急務となっている。本学が立地する関西の経済は、日本の抱える課題により深刻な形で直面しており、地域の持続可能な発展という面で強い危機感を持たざるを得ない。本社機能の首都圏流出をはじめ、2000 年代に関西経済の起爆剤として期待された堺や尼崎などを中心とした「パネルベイ」が韓国・台湾企業の台頭により頓挫した。また、関西は他地域と比較してもインバウンド需要が活況を呈していたが、新型コロナウイルス感染症拡大により先行きが見通せない状況である。また少子高齢化の進展に伴い、関西における 2045 年の生産年齢人口（15 歳～64 歳）は、2015 年比で 2 割程度の減少が予想されている（国立社会保障・人口問題研究所『日本の地域別将来推計人口（平成 30 年推計）』）が、こうした生産年齢人口の急減に伴い、関西に集積する中堅・中小企業は深刻な人材確保難に見舞われると予想される。また関西の産業構造は、生産性の高い製造業（例えば、自動車）や成長分野である知識集約型サービス業（例えば、情報通信、金融・保険、コンサルティング）への転換が遅れており、一人当たり労働生産性（付加価値額／就業者数）は関東や中部に比べて低い水準にある。このままでは、所得や面白い仕事という面で、働く場所としての魅力を失いかねない。さらに IT やデータサイエンスの素養と経営に関する専門知識を持ち DX を推進する人材は、大企業が多く立地する東京に集中しており、関西では不足が懸念されている。

しかしながら、関西には、研究と教育に優れた大学・研究機関が数多くあり、また任天堂、村田製作所、ローム、キーエンス、ダイキン工業など革新的なグローバル企業 や、機械・加工や素材・科学、電気・電子など多用な分野で独自技術を持つ中堅・中小企業の産業集積、個性豊かな人材、地域に根付く社会関係資本、さらには多様で厚みのある伝統文化など、新たな発展の糧となる潜在的資源がある。つまり関西は我が国の地域経済が抱えるさまざまな問題がいち早く顕在化している一方で、我が国の持続可能な成長モデルの先駆者としてその効果を地域創生に波及することが可能な地域である。そして、本学の学生の出身地は関西のみならず全国にまたがる。卒業後は地元に戻り活躍する人もいる。そこにはその地域固有の課題があるだろう。しかしそこにもまた地域再生の糧となりうる様々な資源が埋もれていると思われる。今まさにこうした未開拓の資源を掘り起こし、新たな価値を創造して地域経済の発展に貢献する人材が求められている。

地域経済に貢献する人材とは、例えば、人間や社会の課題を鋭く洞察し、地域の活性化に

取り組む変革と創造のリーダーである。また、芸術や文化に対する深い造詣を持ち、地域に散在する多様な資源を発掘し、組み合わせる新たな価値を創造するクリエイティブな人材である。さらには、多様性を尊重しつつ組織の境界を超えて、知と知をつなぐ、あるいは、地域から世界への橋渡しができる越境型人材である。リベラルアーツ系の伝統を持ち、国際日本学部、建築&芸術学部、現代社会学部の3学部の提供科目をクロスオーバーしながら、主体的に選択して学修することができる本学は、こうした人材を育成するのに最適な大学であるといえよう。

地域が抱える様々な課題の解決に唯一の正解はない。正解が分からない課題に立ち向かうには、社会の幸福や持続可能な発展に対する使命感、豊かな教養に支えられた広い視野、多様性と共生を尊重する精神、実践と内省を繰り返しながら生涯を通じて学び成長する力がある。加えて課題解決のベースとなる経営学の専門知識と実践力が求められる。こうした素養、知識、リーダーシップを備えた人材を、学修方法の革新にも積極的に取り組みつつ育成したいと考え、このたび経営学部を設立することとし、合わせて収容定員を増加することとした。

#### イ. 企業が勤務する人材に求める専門的知識及び専門人材の採用・育成動向

資料17は一般財団法人日本経済団体連合会（経団連）が令和3（2021）年4月19日に公表した報告書「ポスト・コロナを見据えた新たな大学教育と産学連携の推進」の抜粋である。会員企業を対象に行ったリカレント教育に関する企業ニーズのアンケート結果として、年齢階層別に大学で学ぶことを期待する専門的知識がまとめられている。その結果によると、若年層（新入社員～30歳程度）については、経済学・経営学、金融・財務・会計、法学、人事・労務、語学、広報・マーケティングではリテラシー・レベル（学士課程相当）を中心に、理系の専門分野とデータサイエンス・統計・数理、IT関連では、応用レベルまでを学んでいることが期待されている。このことから企業においては新入社員の段階で、本学の経営学部が専門分野として設ける5つの専門分野「経営」（上記のうち経済学・経営学）、「会計」（同、金融・財務・会計）、「マーケティング」（同、広報・マーケティング）、「デジタルビジネス」（同、データサイエンス・統計・数理）、「いきいきキャリア」（同、人事・労務）に関連する学びの必要性が高いことがうかがえる。

加えて資料18は経団連が令和4（2022）年1月18日に公表した会員企業に対する「採用と大学改革への期待に関するアンケート結果」抜粋である。アンケートにおいて「企業における分野別専門人材の採用・育成動向（今後5年程度先のトレンド）」について回答を求めている。その結果として「数理・データサイエンス・AI」は72.9%（「主として、社内で育成」「主として、即戦力の外部採用」「社内育成と外部育成が同程度」の合計、以下同様）がこの分野の専門人材が必要との認識を示している。さらに「財務・会計」「人事・人材開発」は各91.8%、「マーケティング・広報」は86.6%、「経営幹部」は87.8%でそれぞれ専門人材が必要としている。以上の結果もまた本学経営学部の専門分野と合致しており、経営学

部が養成する人材は企業が求める専門人材の育成ニーズに対応していることが明白である。

#### ウ. 人材需要アンケート調査結果

資料19は本学経営学部が養成する人材需要の見通しについて検証を行うために、第三者機関（株式会社高等教育総合研究所）に依頼し実施した人材需要アンケート調査の結果である。＜人材需要アンケート調査＞の実施概要は以下のとおりである。

表8：大手前大学経営学部の養成人材需要の見通し調査（人材需要アンケート調査）実施概要

調査目的	令和5（2023）年4月開設に向け、設置構想中である大手前大学「経営学部 経営学科」（仮称／入学定員170人を予定）の人材需要のニーズを第三者機関によるアンケート調査を用いて、人材需要の見通しを測ることを目的とする。
調査時期	令和3（2021）年12月
調査対象	以下の合計2,191箇所 <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 大手前大学既設学部に対して令和4（2022）年度採用の求人があった（令和3（2021）年5月31日時点）企業の一部（資本金額上位の企業）、合計2,055箇所。</li> <li>■ 地方自治体84箇所（兵庫県・大阪府の県府市庁・町村役場）</li> <li>■ 有給職員5人以上のNPO法人52箇所（兵庫県・大阪府に所在）</li> </ul>
調査内容	一部記述、選択肢式の8問。 回答企業・団体の基本情報（主業種、所在地、従業員、職員数）や大手前大学「経営学部 経営学科（仮称）」の社会的ニーズ、養成する人材の採用意向などについて。
回答件数	427件（回収率19.5%）

表8に示すとおり、人材需要アンケート調査は経営学部の養成人材（卒業生）需要が見込まれる企業・地方自治体・団体の合計2,191件にアンケート調査用紙を送付し、427件（回収率19.5%）から回答を得た。回答元の業種別で見ると、最も回答数が多かったのは、「卸売業、小売業」で97件（全体の22.7%）であった。次いで、「製造業」が75件（17.6%）、「建設業」が64件（15.0%）の順であった。また、問2で所在地を質問したところ、大阪府が92件（21.5%）、兵庫県が44件（10.3%）であり、この2府県で全体の1/3を占めている。従業員数・職員数については、最も回答が多かったのは、「100～299人」で103件（24.1%）であった。次いで、「500～999人」が101件（23.7%）、「1,000～2,999人」が80件（18.7%）の順であった。このように幅広い業種・地域・規模の企業等から回答を得た。



そして、本学経営学部の特徴等を具体的に示した上で、本学部の社会的ニーズについて質問したところ、「ニーズは極めて高い」が 79 件（18.5%）、「ニーズはある程度高い」が 292 件（68.4%）であった。回答企業・団体 427 件のうち、86.9%にあたる 371 件が、経営学部の社会的ニーズの高さを認める結果となった。

さらに、経営学部の卒業生の採用意向について回答を求めたところ、「ぜひ採用したい」が 115 件（26.9%）、「採用を検討したい」が 184 件（43.1%）であった。合計すると、回答企業等 427 件のうち、70.0%にあたる 299 件が本学部の卒業生の採用に意欲を示した。さらに、採用可能と思われる人数を質問したが、合計すると「ぜひ採用したい」と回答した企業等の採用可能人数は 284 人であり、経営学部が予定する入学定員 170 人の 1.67 倍の水準であった。また、「採用を検討したい」と回答した企業等では 267 人であった。よって、合計すると採用可能人数は本学部の入学定員（予定）170 人を大幅に超える 551 人という結果となった。

以上のア・イを踏まえると本学経営学部が養成する人材の社会的な必要性は高く、またウのアンケート調査結果からその採用ニーズについても認められたことが明らかとなった。

以上

## 資料目次

- 資料 1 私立大学「学部系統別の動向（大学）」
- 資料 2 私立大学 社会科学系の志願倍率・入学定員充足率等の推移
- 資料 3 私立大学「経営学部」志願倍率・入学定員充足率等の推移
- 資料 4 競合する経営系学部の志願倍率等の推移
- 資料 5 競合する経営系学部の入学定員充足率の推移
- 資料 6 大手前大学さくら夙川キャンパスへのアクセス
- 資料 7 大手前大学「経営学部 経営学科（仮称）」設置構想に係る学生確保の見通し調査報告書
- 資料 8 高校生アンケート調査実施府県における高校数及び高校 2 年生人数
- 資料 9 18 歳人口（大学進学対象者数）予測
- 資料 10 短大・高専・専門学校からの大学編入学者数推移
- 資料 11 大手前大学「経営学部 経営学科（仮称）」設置構想に係る編入学生確保の見通し調査 報告書
- 資料 12 大手前大学における編入学者受入れの状況
- 資料 13 私立大学経営系学部の学納金
- 資料 14 大手前大学 学生募集のための広報活動
- 資料 15 大手前大学、大手前短期大学における志願倍率・入学定員充足率等の推移
- 資料 16 大手前大学通信教育課程の入学定員超過率・収容定員充足率等の推移
- 資料 17 企業が勤務する人材に求める専門的知識（年齢階層別）
- 資料 18 企業における分野別専門人材の採用・育成動向（今後 5 年程度先のトレンド）
- 資料 19 大手前大学「経営学部 経営学科（仮称）」設置構想に係る人材需要の見通し調査報告書
- 資料 20 大手前大学「経営学部 経営学科（仮称）」設置に係る学生確保の見通し調査【追加調査】報告書
- 資料 21 大手前大学 経営学部パンフレット  
（「人材育成構想会議」、「大手前方式」の産学連携 PBL）について）

# 資料1 私立大学「学部系統別の動向（大学）」

## 4. 学部系統別の動向（大学）

全学部を『今日の私学財政』の系統区分と同様に区分した（学部系統区分については、47ページを参照）。

系統区分	年度	集計学部数	入学定員 A	志願者数 B	受験者数 C	合格者数 D	入学者数 E	志願倍率 B/A	合格率 D/C	歩留率 E/D	入学定員 充足率 E/A
		学部	人	人	人	人	人	倍	%	%	%
医学	R2	31	4,084	108,429	100,457	9,301	4,092	26.55	9.26	44.00	100.20
	R3	31	4,091	98,563	91,218	9,693	4,099	24.09	10.63	42.29	100.20
	増減	0	7	△ 9,866	△ 9,239	392	7	△ 2.46	1.37	△ 1.71	0.00
歯学	R2	17	2,039	9,187	8,330	3,843	1,692	4.51	46.13	44.03	82.98
	R3	17	2,015	7,564	6,832	3,563	1,528	3.75	52.15	42.89	75.83
	増減	0	△ 24	△ 1,623	△ 1,498	△ 280	△ 164	△ 0.76	6.02	△ 1.14	△ 7.15
薬学	R2	59	11,451	82,668	76,646	32,170	10,629	7.22	41.97	33.04	92.82
	R3	60	11,501	73,580	68,606	32,506	10,191	6.40	47.38	31.35	88.61
	増減	1	50	△ 9,088	△ 8,040	336	△ 438	△ 0.82	5.41	△ 1.69	△ 4.21
保健系	R2	244	37,221	200,366	192,496	78,539	37,721	5.38	40.80	48.03	101.34
	R3	254	38,143	188,155	180,494	80,307	38,130	4.93	44.49	47.48	99.97
	増減	10	922	△ 12,211	△ 12,002	1,768	409	△ 0.45	3.69	△ 0.55	△ 1.37
理・工学系	R2	157	62,107	842,140	807,262	257,766	63,949	13.56	31.93	24.81	102.97
	R3	162	62,626	751,179	719,116	281,649	63,192	11.99	39.17	22.44	100.90
	増減	5	519	△ 90,961	△ 88,146	23,883	△ 757	△ 1.57	7.24	△ 2.37	△ 2.07
農学系	R2	23	8,784	87,982	81,478	33,253	8,973	10.02	40.81	26.98	102.15
	R3	25	9,042	78,039	72,644	34,714	8,717	8.63	47.79	25.11	96.41
	増減	2	258	△ 9,943	△ 8,834	1,461	△ 256	△ 1.39	6.98	△ 1.87	△ 5.74
人文科学系	R2	245	68,104	608,854	584,635	186,184	70,067	8.94	31.85	37.63	102.88
	R3	245	68,184	520,901	501,151	199,642	67,710	7.64	39.84	33.92	99.30
	増減	0	80	△ 87,953	△ 83,484	13,458	△ 2,357	△ 1.30	7.99	△ 3.71	△ 3.58
社会科学系	R2	520	170,182	1,576,350	1,505,607	450,552	176,402	9.26	29.92	39.15	103.65
	R3	526	171,506	1,379,159	1,317,801	490,212	174,183	8.04	37.20	35.53	101.56
	増減	6	1,324	△ 197,191	△ 187,806	39,660	△ 2,219	△ 1.22	7.28	△ 3.62	△ 2.09
家政学	R2	84	16,373	70,601	67,542	34,403	15,992	4.31	50.94	46.48	97.67
	R3	83	16,133	60,407	56,819	33,126	15,183	3.74	58.30	45.83	94.11
	増減	△ 1	△ 240	△ 10,194	△ 10,723	△ 1,277	△ 809	△ 0.57	7.36	△ 0.65	△ 3.56
教育学	R2	103	17,855	118,849	113,950	41,340	17,871	6.66	36.28	43.23	100.09
	R3	104	17,832	100,983	96,453	40,613	16,834	5.66	42.11	41.45	94.40
	増減	1	△ 23	△ 17,866	△ 17,497	△ 727	△ 1,037	△ 1.00	5.83	△ 1.78	△ 5.69
体育学	R2	11	5,040	15,462	14,844	7,560	5,295	3.07	50.93	70.04	105.06
	R3	11	5,040	12,680	12,240	7,480	5,106	2.52	61.11	68.26	101.31
	増減	0	0	△ 2,782	△ 2,604	△ 80	△ 189	△ 0.55	10.18	△ 1.78	△ 3.75
芸術系	R2	58	14,332	57,849	55,885	23,540	15,257	4.04	42.12	64.81	106.45
	R3	56	14,069	53,220	51,130	23,320	14,744	3.78	45.61	63.22	104.80
	増減	△ 2	△ 263	△ 4,629	△ 4,755	△ 220	△ 513	△ 0.26	3.49	△ 1.59	△ 1.65
その他	R2	297	73,440	589,478	565,671	190,066	75,890	8.03	33.60	39.93	103.34
	R3	304	74,980	510,432	489,458	201,081	74,596	6.81	41.08	37.10	99.49
	増減	7	1,540	△ 79,046	△ 76,213	11,015	△ 1,294	△ 1.22	7.48	△ 2.83	△ 3.85
合計	R2	1,849	491,012	4,368,215	4,174,803	1,348,517	503,830	8.90	32.30	37.36	102.61
	R3	1,878	495,162	3,834,862	3,663,962	1,437,906	494,213	7.74	39.24	34.37	99.81
	増減	29	4,150	△ 533,353	△ 510,841	89,389	△ 9,617	△ 1.16	6.94	△ 2.99	△ 2.80

日本私立学校振興・共済事業団「令和3（2021）年度私立大学・短期大学等入学志願動向」より抜粋

資料2 私立大学 社会科学系の志願倍率・入学定員充足率等の推移 (平成24年度～令和3年度)

年度	集計 学部数	入学定員 A	志願者 B	受験者 C	合格者 D	入学者 E	志願倍率 B/A	合格率 D/C	歩留率 E/D	入学定員 充足率 E/A
平成24	511	169,027	1,133,237	1,085,402	401,711	172,146	6.70	37.01	42.85	101.85
平成25	507	167,324	1,156,547	1,110,865	405,260	171,992	6.91	36.48	42.44	102.79
平成26	506	165,717	1,147,300	1,100,551	420,370	168,757	6.92	38.20	40.14	101.83
平成27	509	165,244	1,182,405	1,134,404	436,585	173,373	7.16	38.49	39.71	104.92
平成28	510	165,013	1,264,475	1,216,547	434,008	174,262	7.66	35.68	40.15	105.61
平成29	515	168,025	1,421,465	1,367,679	422,798	179,664	8.46	30.91	42.49	106.93
平成30	513	169,282	1,558,788	1,501,463	398,509	176,914	9.21	26.54	44.39	104.51
平成31	515	169,074	1,665,089	1,598,888	407,584	175,004	9.85	25.49	42.94	103.51
令和2	520	170,182	1,576,350	1,505,607	450,552	176,402	9.26	29.92	39.15	103.65
令和3	526	171,506	1,379,159	1,317,801	490,212	174,183	8.04	37.20	35.53	101.56
平均	513	168,039	1,348,482	1,293,921	426,759	174,270	8.02	32.98	40.84	103.72

※ 日本私立学校振興・共済事業団「私立大学・短期大学等 入学志願動向」より

資料3 私立大学「経営学部」志願倍率・入学定員充足率等の推移 (平成24年度～令和3年度)

年度	集計 学部数	入学定員 A	志願者 B	入学者 C	志願倍率 B/A	入学定員 充足率 C/A
平成24	79	24,035	170,465	24,419	7.09	101.60
平成25	79	24,165	188,060	25,189	7.78	104.24
平成26	82	25,083	188,841	25,498	7.53	101.65
平成27	81	24,708	193,204	25,687	7.82	103.96
平成28	82	25,244	212,639	26,598	8.42	105.36
平成29	82	25,796	239,685	27,888	9.29	108.11
平成30	80	25,431	268,888	27,037	10.57	106.32
平成31	85	26,870	296,026	27,889	11.02	103.79
令和2	88	27,861	292,165	29,329	10.49	105.27
令和3	89	27,966	252,916	28,882	9.04	103.28
平均	83	25,716	230,289	26,842	8.96	104.38

※ 日本私立学校振興・共済事業団「私立大学・短期大学等 入学志願動向」より

資料4 競合する経営系学部の志願倍率等の推移 (平成29年度～令和3年度)

番号	所在地	大学名	学部名	平成29年度				平成30年度				平成31年度				令和2年度				令和3年度								
				入学定員	志願者数	志願倍率	合格者数	入学者数	入学定員	志願者数	志願倍率	合格者数	入学者数	入学定員	志願者数	志願倍率	合格者数	入学者数	入学定員	志願者数	志願倍率	合格者数	入学者数					
1	京都府	龍谷	経営	493	9,109	18.5	1,411	506	493	8,620	17.5	1,253	495	493	8,962	18.2	1,370	484	519	8,736	16.8	1,513	487	519	9,687	18.7	2,166	520
2		造手門学院	経営	440	3,779	8.6	1,091	480	440	4,736	10.8	949	455	443	5,122	11.6	775	455	443	8,365	18.9	1,790	467	443	10,592	23.9	2,017	477
3		大阪学院	経営	350	974	2.8	614	406	350	1,204	3.4	588	409	350	2,092	6.0	566	395	380	2,345	6.2	666	411	380	1,739	4.6	775	422
4		大阪経済	経営(第1部)	510	6,026	11.8	1,220	579	510	7,593	14.9	1,104	544	510	7,777	15.2	1,155	500	510	6,843	13.4	1,302	498	510	5,071	9.9	1,105	540
5		大阪経済法科	経営	開設前				開設前				開設前				開設前				開設前								
6		大阪産業	経営	485	1,919	4.0	1,148	561	485	2,257	4.7	770	498	485	3,183	6.6	815	522	500	3,198	6.4	1,180	556	500	4,158	8.3	2,162	492
7		大阪商業	総合経営	700	3,532	5.0	1,457	648	550	2,355	4.3	1,886	634	550	6,941	12.6	1,570	642	550	8,294	15.1	2,102	739	500	4,727	9.5	1,253	642
8	大阪府	大阪成蹊	経営 *H29-31は「マネジメント」	180	606	3.4	254	204	240	771	3.2	417	267	240	1,113	4.6	396	265	300	2,002	6.7	605	323	300	1,547	5.2	539	335
9		近畿	経営	1,180	30,067	25.5	4,574	1,193	1,180	36,226	30.7	4,487	1,157	1,340	35,265	26.3	5,045	1,148	1,180	30,399	25.8	5,644	1,163	1,180	29,199	24.7	6,459	1,256
10		四天王寺	経営	160	737	4.6	533	206	160	856	5.4	342	193	160	1,113	7.0	209	145	160	1,075	6.7	346	230	160	802	5.0	252	162
11		摂南	経営	270	5,881	21.8	1,585	302	270	8,363	31.0	1,516	334	270	10,088	37.4	1,160	248	270	6,608	24.5	1,689	284	270	6,843	25.3	1,762	270
12		阪南	経営情報	220	2,377	10.8	1,005	273	220	3,171	14.4	700	281	220	4,396	20.0	859	249	220	4,365	19.8	863	252	220	2,492	11.3	784	249
13		桃山学院	経営	280	2,363	8.4	766	334	280	3,248	11.6	695	308	295	4,762	16.1	821	303	295	4,580	15.5	1,074	291	295	3,354	11.4	1,154	325
14		関西国際	経営	開設前				開設前				開設前				開設前				開設前								
15		甲南	経営	345	3,559	10.3	851	395	345	4,055	11.8	819	423	345	4,342	12.6	766	373	345	3,780	11.0	764	378	345	2,951	8.6	947	377
16	兵庫県	神戸学院	経営	340	3,643	10.7	1,055	377	340	4,616	13.6	1,204	429	340	6,437	18.9	980	356	340	5,657	16.6	1,127	351	340	4,471	13.2	1,735	354
17		武庫川女子	経営	開設前				開設前				開設前				開設前				開設前								
18		流通科学	商	450	1,013	2.3	750	447	450	1,238	2.8	916	482	450	1,821	4.0	843	499	450	2,259	5.0	1,084	493	450	1,387	3.1	656	474
19	奈良県	香塚山 *H29は「経営」	経済経営	120	674	5.6	417	134	210	1,425	6.8	740	290	210	2,388	11.4	551	251	210	2,326	11.1	591	223	210	1,629	7.8	648	212
				6,523	76,259	11.7	18,731	7,045	6,523	90,734	13.9	18,386	7,199	7,001	113,599	16.2	19,055	7,165	7,172	108,516	15.1	24,363	7,759	7,197	96,255	13.4	26,314	7,687
				408				408				389		377										379			106.8%	
				入学定員平均(1大学) ↑				入学定員平均(1大学) ↑				入学定員平均(1大学) ↑				入学定員平均(1大学) ↑				入学定員平均(1大学) ↑								
				入学定員充足率→108.0%				入学定員充足率→110.4%				入学定員充足率→102.3%				入学定員充足率→108.2%				入学定員充足率→								

※旺文社「蛭雷時代特別編集 大学の真の実力 情報公開BOOK」(2018年度用～2023年度用)より

※志願者数には原則として在入試方式による人数を含むが、令和3年度の流通科学大学のみ一般選抜(共通テスト利用方式を含む)、総合型選抜(クラブ特別入試を除く)、学校推薦型選抜(指定校制を除く)の合計となる。

資料5 競合する経営系学部の入学定員充足率の推移 (平成29年度～令和3年度)

番号	所在地	大学名	学部名	平成29年度			平成30年度			平成31年度			令和2年度			令和3年度		
				入学定員	入学者数	入学定員充足率	入学定員	入学者数	入学定員充足率	入学定員	入学者数	入学定員充足率	入学定員	入学者数	入学定員充足率	入学定員	入学者数	入学定員充足率
1	京都府	龍谷	経営	493	506	102.6%	493	495	100.4%	493	484	98.2%	519	487	93.8%	519	520	100.2%
2		追手門学院	経営	440	480	109.1%	440	455	103.4%	443	455	102.7%	443	467	105.4%	443	477	107.7%
3		大阪学院	経営	350	406	116.0%	350	409	116.9%	350	395	112.9%	380	411	108.2%	380	422	111.1%
4		大阪経済	経営(第1部)	510	579	113.5%	510	544	106.7%	510	500	98.0%	510	498	97.6%	510	540	105.9%
5		大阪経済法科	経営				開設前			200	217	108.5%	200	246	123.0%	200	213	106.5%
6		大阪産業	経営	485	561	115.7%	485	498	102.7%	485	522	107.6%	500	556	111.2%	500	492	98.4%
7		大阪商業	総合経営	700	648	92.6%	550	634	115.3%	550	642	116.7%	550	739	134.4%	500	642	128.4%
8	大阪府	大阪成蹊	経営(H29→31は「マネジメント」)	180	204	113.3%	240	267	111.3%	240	265	110.4%	300	323	107.7%	300	335	111.7%
9		近畿	経営	1,180	1,193	101.1%	1,180	1,157	98.1%	1,340	1,148	85.7%	1,180	1,163	98.6%	1,180	1,256	106.4%
10		四天王寺	経営	160	206	128.8%	160	193	120.6%	160	145	90.6%	160	230	143.8%	160	162	101.3%
11		摂南	経営	270	302	111.9%	270	334	123.7%	270	248	91.9%	270	284	105.2%	270	270	100.0%
12		阪南	経営情報	220	273	124.1%	220	281	127.7%	220	249	113.2%	220	252	114.5%	220	249	113.2%
13		桃山学院	経営	280	334	119.3%	280	308	110.0%	295	303	102.7%	295	291	98.6%	295	325	110.2%
14		関西国際	経営				開設前			100	113	113.0%	100	109	109.0%	175	197	112.6%
15		甲南	経営	345	395	114.5%	345	423	122.6%	345	373	108.1%	345	378	109.6%	345	377	109.3%
16	兵庫県	神戸学院	経営	340	377	110.9%	340	429	126.2%	340	356	104.7%	340	351	103.2%	340	354	104.1%
17		武庫川女子	経営				開設前						200	268	129.0%	200	170	85.0%
18		流通科学	商	450	447	99.3%	450	482	107.1%	450	499	110.9%	450	493	109.6%	450	474	105.3%
19	奈良県	帝塚山	経済経営(H29は「経営」)	120	134	111.7%	210	290	138.1%	210	251	119.5%	210	223	106.2%	210	212	101.0%
				6,523	7,045	108.0%	6,523	7,199	110.4%	7,001	7,165	102.3%	7,172	7,759	108.2%	7,197	7,687	106.8%

※旺文社「蛭雪時代特別編集 大学の真の實力 情報公開BOOK」(2018年度用～2023年度用)より

## 資料6 大手前大学さくら夙川キャンパスへのアクセス

### さくら夙川キャンパス

The map shows the following features:

- 阪急 神戸線** (Hankyu Kobe Line) with **夙川駅** (Fukui Station) at the top.
- JR 神戸線** (JR Kobe Line) with **さくら夙川駅** (Sakurafukui Station) in the middle.
- 阪神 本線** (Hanshin Main Line) with **香櫨園駅** (Kashiwazono Station) at the bottom.
- 国道2号線** (National Route 2) and **国道43号線** (National Route 43) are shown as vertical lines.
- 大手前大学** (Tenma University) is marked with a red square between JR Kobe Line and Hanshin Main Line.
- Directions: **←至三宮** (to Sannomiya) and **至大阪→** (to Osaka).

〒662-8552兵庫県西宮市御茶家所町6-42  
TEL : 0798-34-6331(代)

- JRさくら夙川駅から徒歩約7分
- 阪急夙川駅から徒歩約7分
- 阪神香櫨園駅から徒歩約7分

さくら夙川キャンパス最寄り駅までの所要時間

- 大阪(梅田)から15分
- 神戸(三宮)から10分
- 京都から50分
- 宝塚から20分
- 姫路から50分
- 和歌山から100分
- 奈良から70分

※時間帯や乗り継ぎ等により異なる場合があります。

本学WEBサイトより



## 資料 7

大手前大学「経営学部 経営学科（仮称）」  
設置構想に係る学生確保の見通し調査  
(設置構想についての高校生アンケート調査)  
報告書

令和 4 年 2 月

株式会社 高等教育総合研究所

## 目次

1	高校生アンケート調査の概要	2
2	全質問項目の集計結果	4
3	集計結果のポイント	8
	<b>【参考】学生確保の見通し調査結果 クロス集計を踏まえた考察</b>	<b>13</b>
	<b>添付資料</b>	<b>14</b>

---

## 1 高校生アンケート調査の概要

調査目的	令和5（2023）年4月開設に向け、設置構想中である大手前大学「経営学部 経営学科」（仮称／入学定員170人を予定）の志願・入学意向のニーズを大学外の第三者機関によるアンケート調査を用いて、学生確保の見通しを測ることを目的とする。
調査時期	令和3（2021）年10月～12月
調査対象	令和5（2023）年3月に高校卒業予定である高校2年生（令和3（2021）年度時点）をアンケート対象とした。大手前大学が学生確保の基盤とする大阪府・兵庫県を中心とした地域および周辺県の高等学校645校にアンケートの実施を依頼し、76校の調査実施の協力を得た（大阪府31校、兵庫県29校、京都府5校、奈良県2校、和歌山県1校、岡山県2校、広島県2校、山口県1校、香川県2校、愛媛県1校）。
調査内容	全て選択肢式の8問。 回答者の基本情報（居住地、性別、希望進路、興味のある学問分野等）や大手前大学「経営学部 経営学科（仮称）」への受験・入学意思について。
回答件数	10,143件 ※回答者の在籍高校所在地別の地域内訳については4ページを参照

■回答者の在籍高校所在地別の地域内訳

	公立	私立	合計	%
滋賀県	0	0	0	0.0%
京都府	89	520	609	6.0%
大阪府	1,615	2,859	4,474	44.1%
兵庫県	2,849	922	3,771	37.2%
奈良県	35	40	75	0.7%
和歌山県	143	249	392	3.9%
鳥取県	0	0	0	0.0%
島根県	0	0	0	0.0%
岡山県	152	10	162	1.6%
広島県	75	0	75	0.7%
山口県	73	0	73	0.7%
徳島県	0	0	0	0.0%
香川県	130	308	438	4.3%
愛媛県	0	74	74	0.7%
高知県	0	0	0	0.0%
合計	5,161	4,982	10,143	100.0%
%	50.9%	49.1%	100.0%	

## 2 全質問項目の集計結果

※構成比はいずれも少数第二位を四捨五入した。したがって合計は必ずしも 100.0%とは一致しない。

調査名称	回収総件数
大手前大学 経営学部 経営学科 (仮称) 入学意向アンケート調査	10,143 件

問1 あなたの性別をお答えください。(あてはまるものにマーク)

選択項目		回答数	構成比
1	男性	4,644	45.8%
2	女性	5,377	53.0%
	無回答	122	1.2%
合計		10,143	100.0%

問2 あなたがお住まいの県・府をお答えください。(あてはまるもの1つにマーク)

選択項目		回答数	構成比
1	兵庫県	4,075	40.2%
2	大阪府	4,166	41.1%
3	京都府	549	5.4%
4	奈良県	120	1.2%
5	滋賀県	30	0.3%
6	和歌山県	308	3.0%
7	岡山県	167	1.6%
8	広島県	78	0.8%
9	山口県	72	0.7%
10	鳥取県	1	0.0%
11	島根県	0	0.0%
12	香川県	436	4.3%
13	徳島県	4	0.0%
14	愛媛県	75	0.7%
15	高知県	3	0.0%
16	その他	20	0.2%
	無回答	39	0.4%
合計		10,143	100.0%

問3 あなたの高校卒業後の希望進路をお答えください。(現時点で最もあてはまるもの1つにマーク)

選択項目		回答数	構成比
1	進学	8,079	79.7%
2	就職	900	8.9%
3	現時点では未定	1,035	10.2%
	無回答	129	1.3%
合計		10,143	100.0%

問4 あなたが関心のある学問分野をお答えください。(あてはまるものすべてにマーク)

※複数回答のため、回答数は延べ

※回答率は、アンケート回答者 10,143 人のうち、各項目を挙げた者の割合

選択項目		回答数	回答率
1	社会科学(経営学、経済学、法学・政治学、社会学など)	2,807	27.7%
2	人文科学(文学、史学、哲学、心理学、外国語学など)	2,109	20.8%
3	理学(数学、物理学、化学、生物学など)	596	5.9%
4	工学(機械工学、電気電子工学、応用化学、建築学など)	1,099	10.8%
5	農学(農学、農業経済学、林学、水産学、獣医学など)	398	3.9%
6	医学・歯学・薬学	589	5.8%
7	保健衛生学(看護学、リハビリ医学、歯科衛生学など)	1,594	15.7%
8	家政学(生活科学、食物学、住居学、被服学など)	761	7.5%
9	教育学・保育学	1,565	15.4%
10	芸術学(音楽、デザイン、美術など)	1,747	17.2%
11	その他	1,739	17.1%
	無回答	183	1.8%

問5 あなたは大手前大学「経営学部 経営学科(仮称)」を受験したいと思いますか。(あてはまるもの1つにマーク)

選択項目		回答数	構成比
1	受験したい	527	5.2%
2	受験しない	9,305	91.7%
	無回答	311	3.1%
合計		10,143	100.0%

問6、問7は問5にて「受験したい」と回答した 527 人が回答対象である。

問6 あなたは大手前大学「経営学部 経営学科（仮称）」に合格した場合、入学したいと思いますか。（あてはまるもの1つにマーク）

選択項目		回答数	構成比
1	合格した場合、入学したい	206	39.1%
2	合格した場合、併願大学等の結果によって入学したい	307	58.3%
	無回答	14	2.7%
合計		527	100.0%

問7 大手前大学「経営学部 経営学科（仮称）」は以下の 5 つの学びの領域を設け、あなたが興味のある分野・テーマを選んで経営学の専門知識を深められます。現時点であなたが最も興味のある領域をお選びください。（あてはまるもの1つにマーク）

選択項目		回答数	構成比
1	経営	237	45.0%
2	会計	39	7.4%
3	マーケティング	80	15.2%
4	デジタルビジネス	69	13.1%
5	いきいきキャリア	75	14.2%
	無回答	27	5.1%
合計		527	100.0%

問8は問5にて「受験しない」と回答した 9,305 人が回答対象である。

問8 あなたが大手前大学「経営学部 経営学科（仮称）」を「受験しない」とした理由をお答えください。（あてはまるものすべてにマーク）

※複数回答のため、回答数は延べ

※回答率は、アンケート対象者 9,305 人のうち、各項目を挙げた者の割合

	選択項目	回答数	回答率
1	大手前大学「経営学部 経営学科（仮称）」に興味・関心はあるが、詳細を知った上で検討したいから	628	6.7%
2	興味・関心のある学科ではないから	3,780	40.6%
3	国公立大学への進学を希望しているから	575	6.2%
4	他の私立大学への進学を希望しているから	2,072	22.3%
5	短期大学・専門学校への進学を希望しているから	1,467	15.8%
6	就職を希望しているから	768	8.3%
7	進路は未定だから	1,659	17.8%
8	通学に時間がかかりそうだから	575	6.2%
9	学費が高いから	458	4.9%
10	その他	229	2.5%
	無回答	171	1.8%



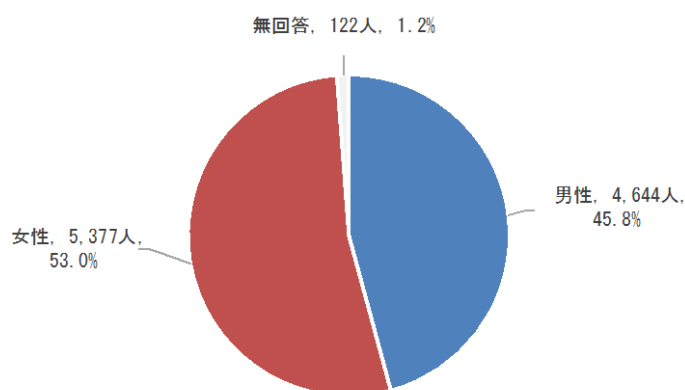
### 3 集計結果のポイント

※構成比はいずれも少数第二位を四捨五入した。したがって合計は必ずしも 100.0%とは一致しない。

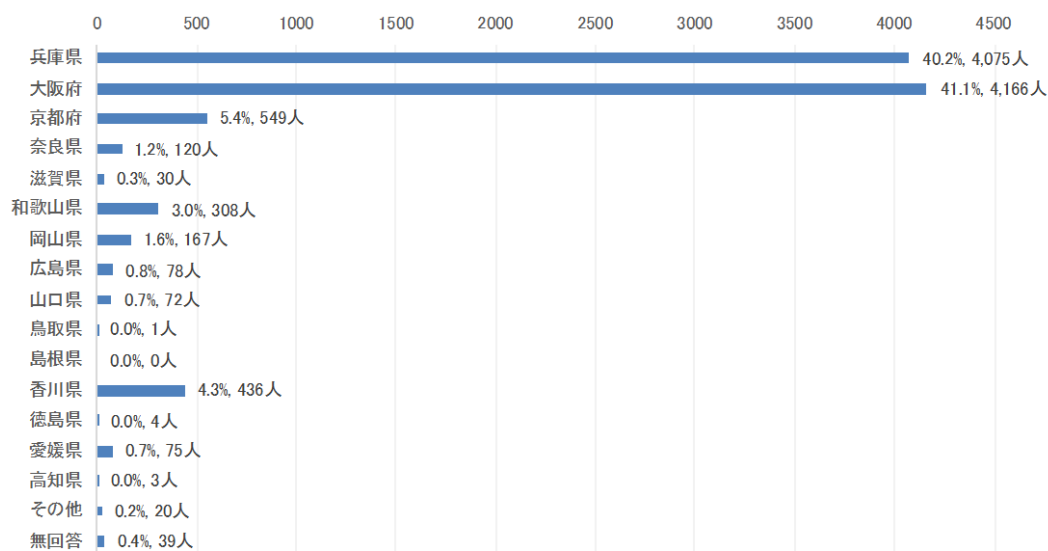
#### ① 回答者の基本情報

回答者は全員が高校2年生（令和3年度）であり、「男性」が4,644人（45.8%）で、「女性」が5,377人（53.0%）であった。また、問2の居住地を求める質問では、一番回答の多かったのが「大阪府」（41.1%）、2番目が兵庫県で4,075人（40.2%）であった。兵庫県を中心に学生を募集する予定である本学部の調査対象として適切であるといえる。

問1 性別

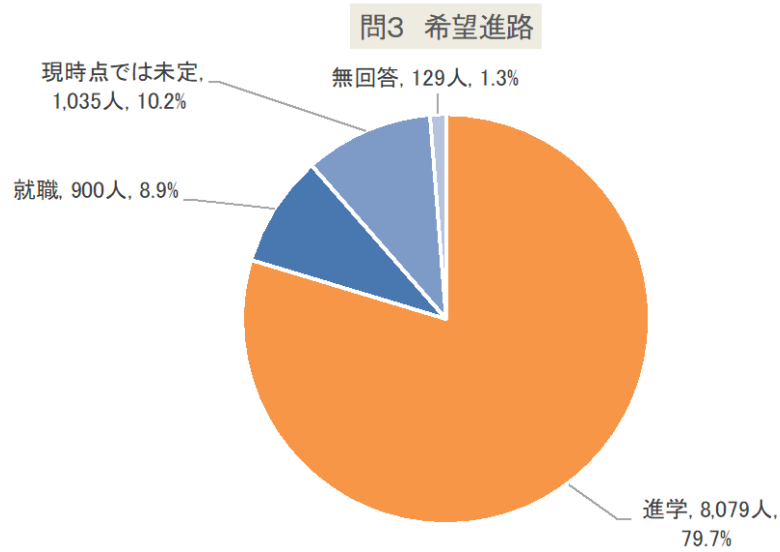


問2 居住地



## ② 回答者の希望進路は 79.7%が「進学」

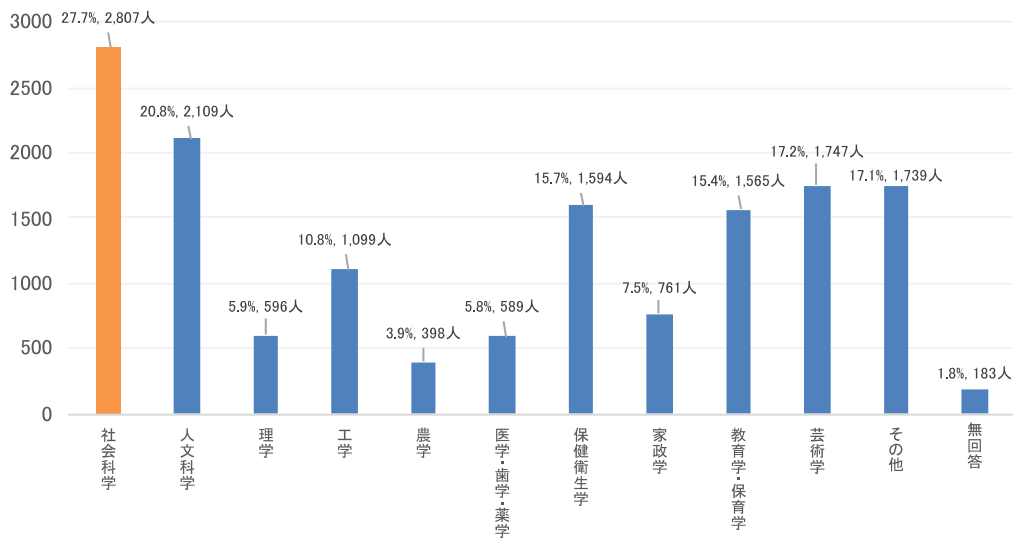
問3で高校卒業後の希望進路を質問したところ、「進学」が8,079人(79.7%)、「就職」が900人(8.9%)を希望している。「現時点では未定」と回答したのは1,035人(10.2%)であった。



### ③ 回答者の 27.7%が社会科学に関心を持つ

問4で関心のある学問分野について質問したところ、「社会科学（経営学、経済学、法学・政治学、社会学など）」が2,807人（27.7%）で1番多く、2番目が「人文科学（文学、史学、哲学、心理学、外国語学など）」が2,109人（20.8%）であった。（複数回答の結果）

問4 関心のある学問分野

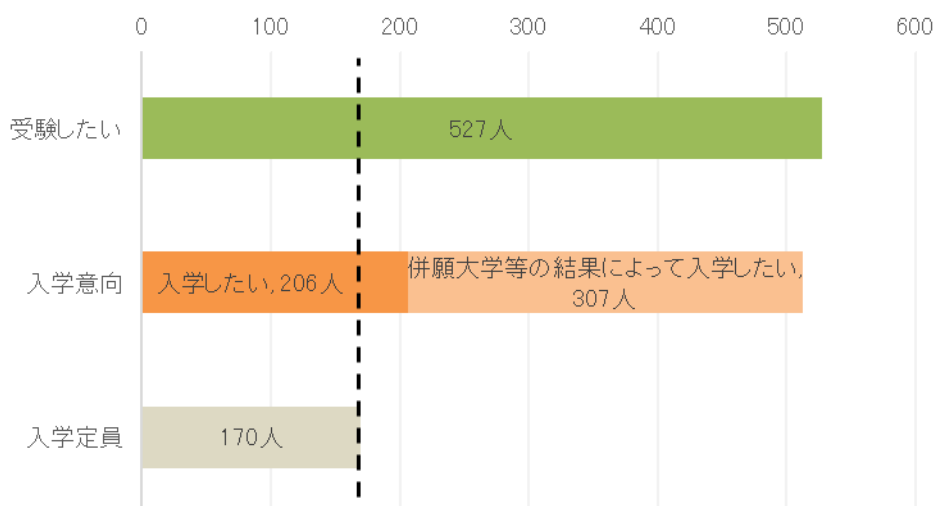
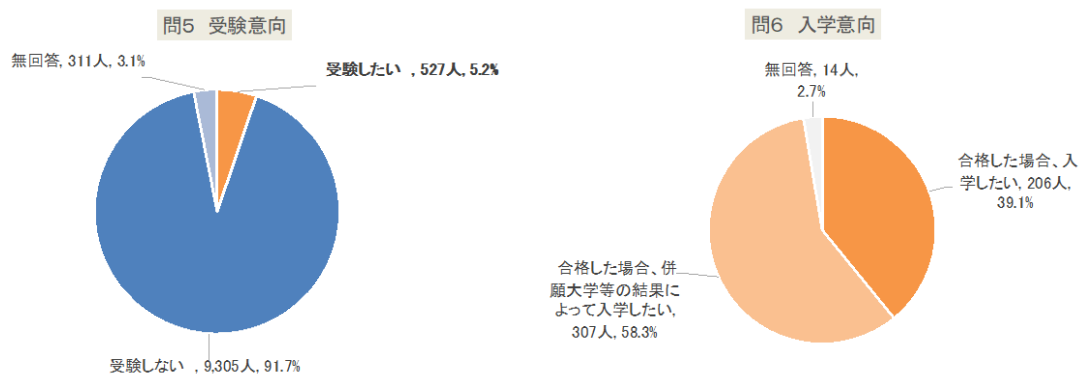


選択項目
社会科学(経営学、経済学、法学・政治学、社会学など)
人文科学(文学、史学、哲学、心理学、外国語学など)
理学(数学、物理学、化学、生物学など)
工学(機械工学、電気電子工学、応用化学、建築学など)
農学(農学、農業経済学、林学、水産学、獣医学など)
医学・歯学・薬学
保健衛生学(看護学、リハビリ医学、歯科衛生学など)
家政学(生活科学、食物学、住居学、被服学など)
教育学・保育学
芸術学(音楽、デザイン、美術など)
その他

④ 回答者 527 人が受験意欲を示し、うち 206 人が強い入学意欲を示す

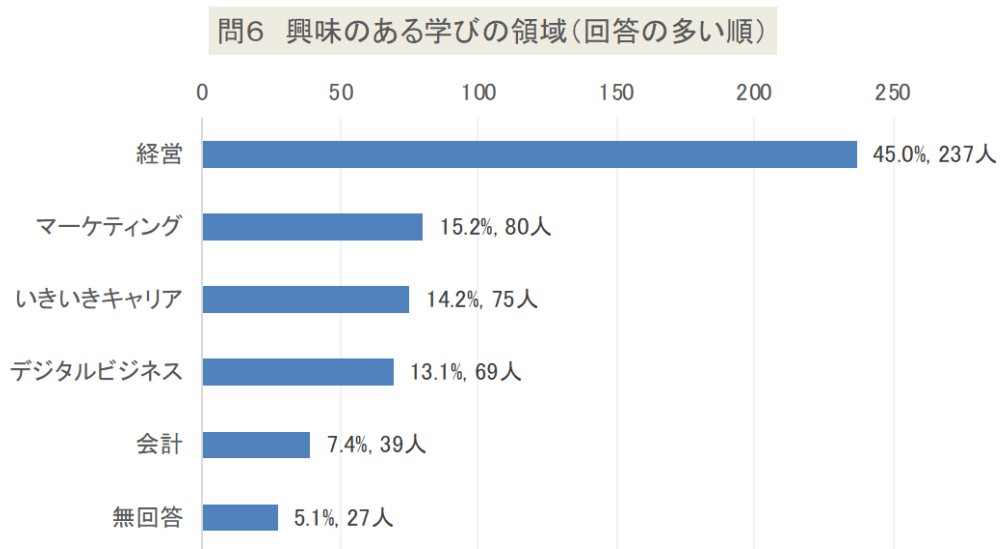
問 5 で本学部の受験意向を質問したところ、回答者 10,143 人のうち、「受験したい」と回答したのは 527 人 (5.2%) であった。

問 6 は、問 5 で「受験したい」を回答した 527 人が回答対象者であり、206 人 (39.1%) が「合格した場合、入学したい」と回答した。本学部の入学定員は 170 名であり、入学定員を上回る受験意欲、入学意欲を得た。



⑤ 受験意欲を示した 527 人のうち 45.0%が「経営」に興味を示す

問5で「受験したい」と回答した 527 人に、本学部が設ける 5 つの学びの領域に対し、最も興味のあるものを質問したところ、「経営」が 237 人（45.0%）で 1 番多く、次が「マーケティング」で 80 人（15.2%）であった。



### 【参考】学生確保の見通し調査結果 クロス集計を踏まえた考察

大手前大学「経営学部 経営学科（仮称）」の高校生アンケート調査で示された受験・入学意向（5～6 ページおよび11 ページ）について、問3（高校卒業後の希望進路）・問4（関心のある学問分野）を踏まえたクロス集計を行った。結果、問3で高校卒業後の希望進路を「進学」としたのは8,079人おり、その上で問4で関心のある学問分野について経営学が含まれる「社会科学」としたのは2,404人であった。さらにその2,404人のうち、大手前大学「経営学部 経営学科（仮称）」について、問5で「受験したい」としたのは345人おり、そのうち問6で「合格した場合、入学したい」が134人、「合格した場合、併願大学等の結果によって入学したい」が205人であった。

よって、高校卒業後は「進学」を希望した上で「社会科学」に関心を示し、大手前大学「経営学部 経営学科（仮称）」を「受験したい」としたのは、その入学定員170人を上回る345人いた。

設問	問3 高卒後の 希望進路	問4 関心ある 学問分野	問5 大手前「経営」 受験意向	問6 大手前「経営」 入学意向	大手前「経営」 入学定員
回答 選択肢	「進学」 8,079人	「社会科学」 2,404人	「受験したい」 345人	「入学したい」 134人	170人予定
				「併願大学等の結 果によって入学し たい」 205人	

なお、「進学」を希望し、「社会科学」に関心を示しながら、大手前大学「経営学部 経営学科（仮称）」を「受験しない」としたのは2,061人いたが、そのうち問8で「大手前大学「経営学部 経営学科（仮称）」に興味・関心はあるが、詳細を知った上で検討したいから」と回答した者が366人いた。

以上

## 添 付 資 料

- 資料1 大手前大学「経営学部 経営学科（仮称）」概要
- 資料2 設置構想についての高校生アンケート調査用紙

資料1 大手前大学「経営学部 経営学科(仮称)」概要

問5以降に答える前に 大手前大学「経営学部 経営学科(仮称)」の概要 をお読みください。

# 大手前大学 経営学部 経営学科 (仮称) 設置構想中

学部の概要

開設時期：2023年4月  
 開設場所：大手前大学 さくら夙川キャンパス(兵庫県西宮市御茶家所町6-42)  
 修業年限：4年  
 入学定員：170名/2年次編入2名・3年次編入7名(収容定員:700名)  
 取得学位：学士(経営学)  
 養成する人材：地域経済に貢献する有為な人材を養成します。具体的には、地域に軸足を置きつつ、企業や団体における課題解決を通じて、社会の幸福と持続可能な発展に貢献できる人材を養成します。

学びの特色

■ 5つの学びの領域を設け、時代が求める経営学の専門人材を養成

専門領域	経営	会計	マーケティング	デジタルビジネス	いきいきキャリア
養成する人材像	「変革と創造をリードできる能力」をベースに、企業等で活躍できる人材を育成。	会計の専門知識と経営のリテラシーを合わせ持ち、頼られるゼネラリスト人材を育成。	商品の開発や販売、広告などを企画できる専門知識と創造力を兼ね備えた人材を育成。	ITとデータサイエンスの知識を活かし、さまざまな場でデジタル活用をリードできる人材を育成。	好きなことを大切にしたい生き方を通して、自分も周りもいきいき働くことができる人材を育成。

■ 1年次は動機づけ&学びの土台づくり

(科目例「経営学の扉」「働くことを考える」「フィールドスタディ」「ロジカルシンキング」「ビジネスの数字を読む」等)

■ 実社会で活躍できる力を身につける豊富な演習科目

- 社会ですぐ使うスキルを磨く人間力科目  
(科目例「人間関係トレーニング」「リーダーシップと問題解決」「職場コミュニケーション」「デザイン思考」)
- 企業と連携したPBL形式で学ぶ実践演習科目  
(科目例 5つの領域ごとの「実践演習」)

■ 社会の今日的な課題を解決する力を養う科目群を配置

(科目群の例「起業系」「リモートワーク系」「データサイエンス系」等)

■ 全学共通 学部を越えて好きな科目を自由に履修できる「クロスオーバー制」

- 「豊かな教養」を土台とした専門教育を行う大手前大学独自のシステム
- 全学生が他学部より提供される専攻プログラムを履修可能

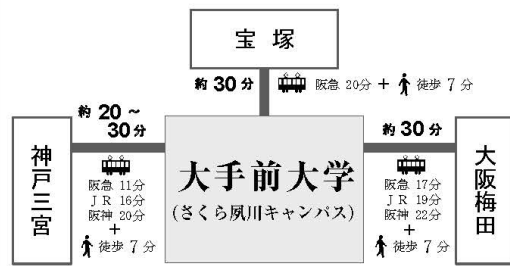
卒業後の進路

大手前大学「経営学部 経営学科(仮称)」卒業後は、地域を支える幅広い業種での活躍が見込めます。

- サービス業
- 流通業
- 観光業・旅行業
- 製造業
- 公務員
- NPOなどの各種団体 他多数

アクセス

大阪・神戸・宝塚から30分以内！ JR・阪急・阪神からの3線アクセス！



上記内容は構想中の内容であり、今後変更となる場合があります。

学費は2ページ(裏面)参照



単位:円

大学名 学部名 学科名 (所在地)	入学金	授業料 等	初年次納付金 (合計)
大手前大学 経営学部 経営学科 (仮称) (兵庫県西宮市)	240,000	1,050,000	1,290,000
近畿大学 経営学部 (大阪府東大阪市)	250,000	1,085,000	1,335,000
追手門学院大学 経営学部 経営学科 (大阪府茨木市)	160,000	1,035,000	1,195,000
神戸学院大学 経営学部 経営学科 (神戸市中央区)	300,000	940,000	1,240,000
武庫川女子大学 経営学部 経営学科 (兵庫県西宮市)	200,000	1,000,000	1,200,000

※ 大手前大学 経営学部 経営学科(仮称)の学費は予定のものです。  
 ※ 他大学の学費は各大学ホームページ掲載情報です(2021年8月時点)。  
 ※ いずれの大学も同窓会費・傷害保険料などの委託徴収金を含みません。

上記内容は構想中の内容であり、今後変更となる場合があります。

特色等は1ページ(表面)参照

## 資料2 設置構想についての高校生アンケート調査用紙



### 大手前大学 「経営学部 経営学科 (仮称)」 設置構想についての高校生アンケート調査 (対象：2021年度現在、高校2年生の皆さん)

大手前大学（兵庫県西宮市御茶家所町6-42）は2023年度、「経営学部 経営学科 (仮称)」（入学定員170名）を設置構想中です。本学ではこのアンケート調査を通して、2023年度に大学進学時期を迎える現・高校2年生の皆さんからさまざまなご意見をお聞きし、さらなる計画の充実を図っていきたくと考えています。回答いただいた皆さんから得られた情報は大手前大学「経営学部 経営学科 (仮称)」の設置構想に係る統計資料としてのみ活用いたします。

アンケート調査へのご協力を、よろしくお願いいたします。

※このアンケート調査は大手前大学から委託された第三者機関（株式会社高等教育総合研究所）が実施しています。

記入例を参考にご回答ください。



問1 あなたの性別をお答えください。（あてはまるものにマーク）

男性  女性

問2 あなたがお住まいの県・府をお答えください。（あてはまるもの1つにマーク）

兵庫県  大阪府  京都府  奈良県  滋賀県  和歌山県  岡山県  広島県  山口県  鳥取県  
 島根県  香川県  徳島県  愛媛県  高知県  その他

問3 あなたの高校卒業後の希望進路をお答えください。（現時点で最もあてはまるもの1つにマーク）

進学  就職  現時点では未定

問4 あなたが関心のある学問分野をお答えください。（あてはまるものすべてにマーク）

社会科学（経営学、経済学、法学・政治学、社会学など）  人文科学（文学、史学、哲学、心理学、外国語学など）  
 理学（数学、物理学、化学、生物学など）  工学（機械工学、電気電子工学、応用化学、建築学など）  
 農学（農学、農業経済学、林学、水産学、獣医学など）  医学・歯学・薬学  
 保健衛生学（看護学、リハビリ医学、歯科衛生学など）  家政学（生活科学、食物学、住居学、被服学など）  
 教育学・保育学  芸術学（音楽、デザイン、美術など）  
 その他





問5以降は別紙・大手前大学「経営学部 経営学科 (仮称)」概要をご覧ください、お答えください。

問5 あなたは大手前大学「経営学部 経営学科 (仮称)」を受験したいと思いますか。(あてはまるもの1つにマーク)

- 受験したい                   ⇒ 以下の問6・問7にお答えください。  
 受験しない                   ⇒ 以下の問8にお答えください。

問5で「受験したい」と回答した方は、以下の問6・問7にお答えください。

問6 あなたは大手前大学「経営学部 経営学科 (仮称)」に合格した場合、入学したいと思いますか。(あてはまるもの1つにマーク)

- 合格した場合、入学したい  
 合格した場合、併願大学等の結果によって入学したい

問7 大手前大学「経営学部 経営学科 (仮称)」は以下の5つの学びの領域を設け、あなたが興味のある分野・テーマを選んで経営学の専門知識を深められます。現時点であなたが最も興味のある領域をお選びください。(あてはまるもの1つにマーク)

- 経営            会計            マーケティング            デジタルビジネス            いきいきキャリア

問5で「受験しない」と回答した方は、以下の問8にお答えください。

問8 あなたが大手前大学「経営学部 経営学科 (仮称)」を「受験しない」とした理由をお答えください。(あてはまるものすべてにマーク)

- 大手前大学「経営学部 経営学科 (仮称)」に興味・関心はあるが、詳細を知った上で検討したいから  
 興味・関心のある学科ではないから                    国公立大学への進学を希望しているから  
 他の私立大学への進学を希望しているから                    短期大学・専門学校への進学を希望しているから  
 就職を希望しているから                    進路は未定だから  
 通学に時間がかかりそうだから                    学費が高いから  
 その他

質問は以上となります。ご協力をいただき、ありがとうございました。



資料 8 高校生アンケート調査実施府県における高校数及び高校 2 年生人数 (令和 3 年度現在)

区分	高校数	男	女	合計
京都府	97	10,665	10,931	21,596
大阪府	233	34,269	34,376	68,645
兵庫県	182	20,434	20,974	41,408
奈良県	51	5,299	5,087	10,386
和歌山県	37	3,821	3,615	7,436
岡山県	75	8,345	7,744	16,089
広島県	111	11,003	10,991	21,994
山口県	62	5,160	5,028	10,188
香川県	31	4,098	4,049	8,147
愛媛県	55	5,270	5,058	10,328
合計	934	108,364	107,853	216,217

文部科学省「学校基本調査」より  
(全日制の人数のみ)

資料9 18歳人口（大学進学対象者数）予測（令和5年度～令和15年度）

都道府県	区分	進学年度					
		令和5年度	令和7年度	令和9年度	令和11年度	令和13年度	令和15年度
全国	人数	1,121,285	1,062,870	1,092,118	1,070,466	1,049,877	1,023,963
	指数	100.0%	94.8%	97.4%	95.5%	93.6%	91.3%
京都府	人数	22,738	22,199	22,283	21,103	20,758	20,092
	指数	100.0%	97.6%	98.0%	92.8%	91.3%	88.4%
大阪府	人数	77,446	72,803	74,532	72,937	71,491	68,997
	指数	100.0%	94.0%	96.2%	94.2%	92.3%	89.1%
兵庫県	人数	49,960	47,250	48,330	48,000	47,520	45,542
	指数	100.0%	94.6%	96.7%	96.1%	95.1%	91.2%
奈良県	人数	12,847	12,025	12,289	11,477	11,120	10,746
	指数	100.0%	93.6%	95.7%	89.3%	86.6%	83.6%
和歌山県	人数	8,607	7,907	7,994	7,611	7,566	7,043
	指数	100.0%	91.9%	92.9%	88.4%	87.9%	81.8%
岡山県	人数	17,692	16,767	17,288	16,663	16,442	15,966
	指数	100.0%	94.8%	97.7%	94.2%	92.9%	90.2%
広島県	人数	25,929	24,673	25,570	25,437	25,118	24,255
	指数	100.0%	95.2%	98.6%	98.1%	96.9%	93.5%
山口県	人数	11,930	11,198	11,428	11,284	10,866	10,564
	指数	100.0%	93.9%	95.8%	94.6%	91.1%	88.5%
香川県	人数	8,936	8,491	8,547	8,448	8,343	8,079
	指数	100.0%	95.0%	95.6%	94.5%	93.4%	90.4%
愛媛県	人数	12,503	11,366	11,798	11,573	11,399	10,778
	指数	100.0%	90.9%	94.4%	92.6%	91.2%	86.2%
本学アンケート実施府県	人数	248,588	234,679	240,059	234,533	230,623	222,062
	指数	100.0%	94.4%	96.6%	94.3%	92.8%	89.3%

出典元：リクルート進学総研マーケットリポート（2021年4月号）18歳人口予測

① 18歳人口予測は、文部科学省「学校基本調査」より、以下の通り定義して算出した。

- ・18歳人口＝3年前の中学校卒業生及び中等教育学校前期課程修了者数
- ・中学校卒業生数＝高校生＋フリーター＋就職者全て含む

② 表内の「年」に属する人数は前年度に18歳だった者（前年度3月に卒業した者）を指す。

③ 表内の「指数」とは、開始年(令和4年度)の値を100とおいた際の値を示す。

資料10 短大・高専・専門学校からの大学編入学者数推移 (平成24年度～令和3年度)

出身学校種	区分	平成24	平成25	平成26	平成27	平成28	平成29	平成30	平成31	令和2	令和3
短大から	編入学者の合計	5,450	4,927	4,670	4,314	4,223	3,984	3,832	3,519	3,684	3,966
	経営学部への編入学者	267	245	225	191	193	174	148	159	173	226
高等専門学校から	編入学者の合計	2,523	2,510	2,572	2,449	2,445	2,464	2,395	2,310	2,290	2,357
	経営学部への編入学者	8	1	4	7	10	13	8	1	7	27
専門学校から	編入学者の合計	1,824	1,618	1,521	1,720	1,504	1,381	1,451	1,359	1,552	1,837
	経営学部への編入学者	51	59	47	55	65	55	63	68	80	113
上記3校種からの合計	編入学者の合計	9,797	9,055	8,763	8,483	8,172	7,829	7,678	7,188	7,526	8,160
	経営学部への編入学者	326	305	276	253	268	242	219	228	260	366
	全体に占める経営学部編入学者の割合	3.3%	3.4%	3.1%	3.0%	3.3%	3.1%	2.9%	3.2%	3.5%	4.5%

文部科学省「学校基本調査」より

## 資料 1 1

大手前大学「経営学部 経営学科（仮称）」  
設置構想に係る編入学生確保の見通し調査  
(設置構想についての編入学意向アンケート調査)  
報告書

令和 4（2022）年 2 月

株式会社 高等教育総合研究所

## 目次

1 編入学意向アンケート調査の概要	2
2 全質問項目の集計結果	3
3 集計結果のポイント	6
添 付 資 料	10

---



## 1 編入学意向アンケート調査の概要

調査目的	令和 5 (2023) 年 4 月開設に向け、設置構想中である大手前大学「経営学部 経営学科」(仮称/入学定員 170人、2 年次編入学 2 人、3 年次編入学 7 人を予定) の志願・入学意向のニーズを第三者機関によるアンケート調査を用いて、学生需要の見通しを測ることを目的とする。
調査時期	令和 3 (2021) 年 11~12 月
調査対象	大手前大学既設学部への編入学生が例年存在する大手前短期大学の他、近畿地方の短期大学・専門学校に編入学意向アンケート調査を依頼し、6 校(大阪府 4 校、兵庫県 1 校、滋賀県 1 校/短期大学 4 校、専門学校 2 校) より実施協力を得た。
調査内容	一部記述、選択肢式の 9 問。 回答者の基本情報(居住地、性別、学年)や大手前大学「経営学部 経営学科(仮称)」への受験・入学意向、編入学希望年次などについて。
回答件数	330 件(短大または専門学校 1 年生 181 人、同 2 年生 149 人)

## 2 全質問項目の集計結果

※構成比はいずれも少数第二位を四捨五入した。したがって合計は必ずしも 100.0%とは一致しない。

調査名称	回収総件数
大手前大学 経営学部 経営学科（仮称）編入学意向アンケート調査	330 件

問1 あなたの性別をお答えください。（あてはまるものにマーク）

選択項目		回答数	構成比
1	男性	73	22.1%
2	女性	256	77.6%
	無回答	1	0.3%
合計		330	100.0%

問2 あなたがお住まいの県・府をお答えください。（あてはまるもの1つにマーク）

選択項目		回答数	構成比
1	兵庫県	195	59.1%
2	大阪府	97	29.4%
3	京都府	9	2.7%
4	奈良県	6	1.8%
5	滋賀県	15	4.5%
6	和歌山県	3	0.9%
7	その他	3	0.9%
	無回答	2	0.6%
合計		330	100.0%

問3 あなたの現時点の在籍先として、最もあてはまるものをお答えください。（あてはまるもの1つにマーク）

選択項目		回答数	構成比
1	短期大学1年生	154	46.7%
2	短期大学2年生	137	41.5%
3	専門学校1年生	27	8.2%
4	専門学校2年生	12	3.6%
5	その他	0	0.0%
	無回答	0	0.0%
合計		330	100.0%

問4 あなたが現在、在籍する学科等の名称をお答えください。

ビジネスコミュニケーション学科
総合英語科 大学編入コース
キャリア創造学科産学連携キャリア創造コース
大学編入コース
ライフデザイン総合学科

問5 あなたは大手前大学「経営学部 経営学科（仮称）」に編入学入試を受験したいと思いますか。（あてはまるもの1つにマーク）

選択項目		回答数	構成比
1	受験したい	36	10.9%
2	受験しない	294	89.1%
	無回答	0	0.0%
合計		330	100.0%

問5で「受験したい」と回答した者が回答対象である。

問6 あなたは大手前大学「経営学部 経営学科（仮称）」の編入学試験に合格した場合、入学したいと思いますか。（あてはまるもの1つにマーク）

選択項目		回答数	構成比
1	合格した場合、入学したい	21	58.3%
2	合格した場合、併願先の合否結果等により入学したい	14	38.9%
	無回答	1	2.8%
合計		36	100.0%

問7 大手前大学「経営学部 経営学科（仮称）」に編入学を希望される年次として、最もあてはまるものをお答えください。  
（あてはまるもの1つにマーク）

選択項目	全体		問6で「入学したい」		問6で「併願先の合否結果等により入学したい」		
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	
1	2	2	2	2	2	2	
1	2年次編入学を希望	4	11.1%	3	14.3%	1	7.1%
2	3年次編入学を希望	17	47.2%	11	52.4%	6	42.9%
3	2年次・3年次どちらでもよい	13	36.1%	7	33.3%	6	42.9%
	無回答	2	5.6%	0	0.0%	1	7.1%
合計		36	100.0%	21	100.0%	14	100.0%

大手前大学「経営学部 経営学科（仮称）」は以下の5つの学びの領域を設け、あなたが興味のある分野・テーマを  
 問8 選んで経営学の専門知識を深められます。現時点であなたが最も興味のある領域をお選びください。（あてはまるもの1つにマーク）

選択項目		回答数	構成比
1	経営	14	38.9%
2	会計	3	8.3%
3	マーケティング	10	27.8%
4	デジタルビジネス	7	19.4%
5	いきいきキャリア	1	2.8%
	無回答	1	2.8%
合計		36	100.0%

問5で「受験しない」と回答した者が回答対象である。

問9 あなたが大手前大学「経営学部 経営学科（仮称）」の編入学試験を「受験しない」とした理由をお答えください。（あてはまるものすべてにマーク）

※複数回答項目のため、回答数は延べ

※回答率は、回答者 294 人のうち、各項目を挙げた者の割合

選択項目		回答数	回答率
1	大学への編入学に興味・関心はあるが、詳細を知った上で検討したいから	42	14.3%
2	興味・関心のある学科ではないから	80	27.2%
3	他大学への編入学を希望しているから	43	14.6%
4	卒業後は就職を希望しているから	155	52.7%
5	進路は未定だから	20	6.8%
6	通学に時間がかかりそうだから	15	5.1%
7	学費が高いから	40	13.6%
8	その他	11	3.7%

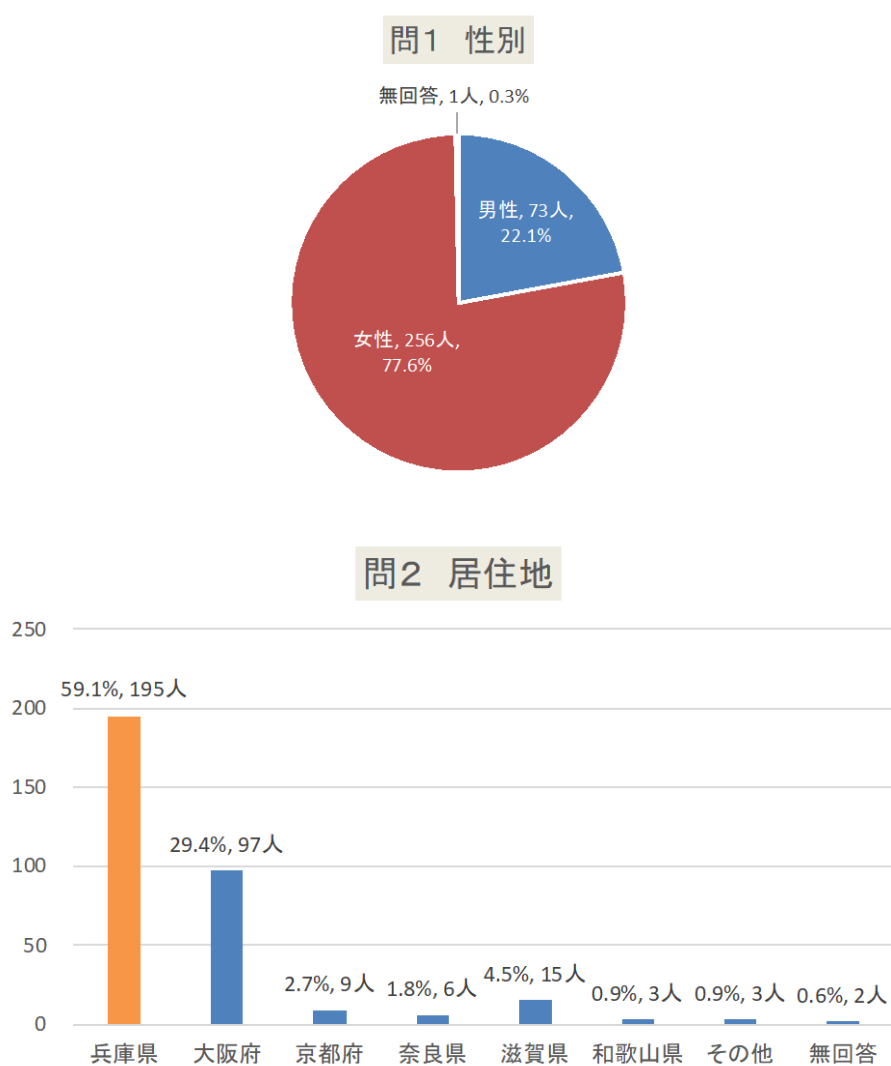
### 3 集計結果のポイント

※構成比はいずれも少数第二位を四捨五入した。したがって合計は必ずしも 100.0%とは一致しない。

#### ① 回答者の基本情報

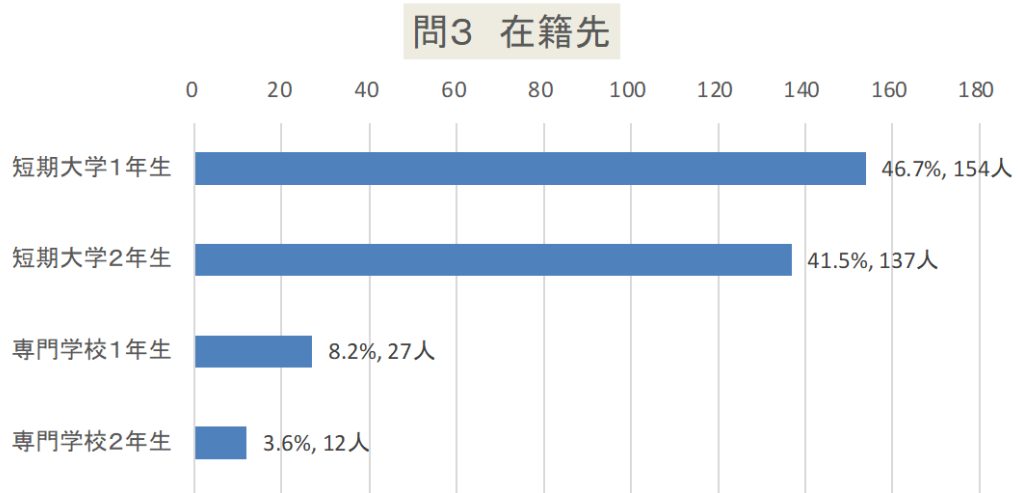
回答者は、「男性」が 73 人 (22.1%)、「女性」が 256 人 (77.6%) であった。また、問 2 で居住地を質問したところ、「兵庫県」が 195 人 (59.1%)、「大阪府」が 97 人 (29.4%)、「滋賀県」(4.5%) であった。

兵庫県を中心に学生を募集する予定である本学部の調査対象として適切であるといえる。



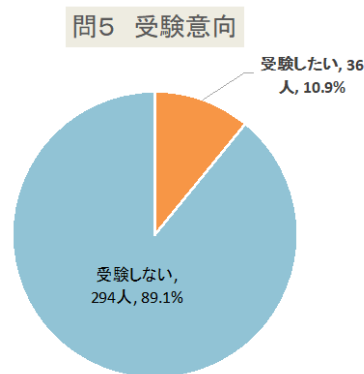
## ② 回答者の基本情報

問3で現時点の在籍先を質問したところ、「短期大学1年生」が154人(46.7%)、「短期大学2年生」が137人(41.5%)、「専門学校1年生」が27人(8.2%)、「専門学校2年生」が12人(3.6%)であった。

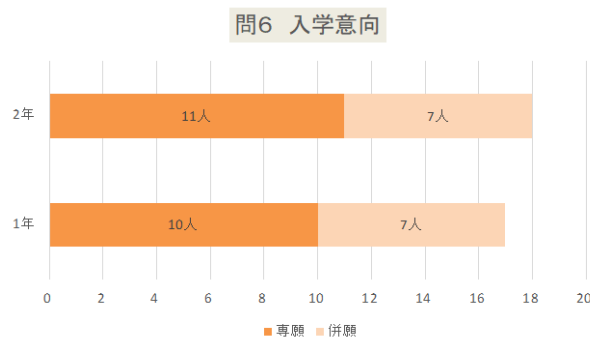


### ③ 36人が受験意欲、21人が強い入学意志を示す

問5は、本学部の受験意向を質問したところ、回答者330人のうち、「受験したい」と回答したのは36人（10.9%）であった。



問6は、問5で「受験したい」と回答した36人に本学部への入学意向を質問した。その結果、現在「短期大学」「専門学校」の第1学年に在籍する10人と「短期大学」「専門学校」の第2学年に在籍する11人が、「合格した場合、入学したい」と強い入学意志を示した。

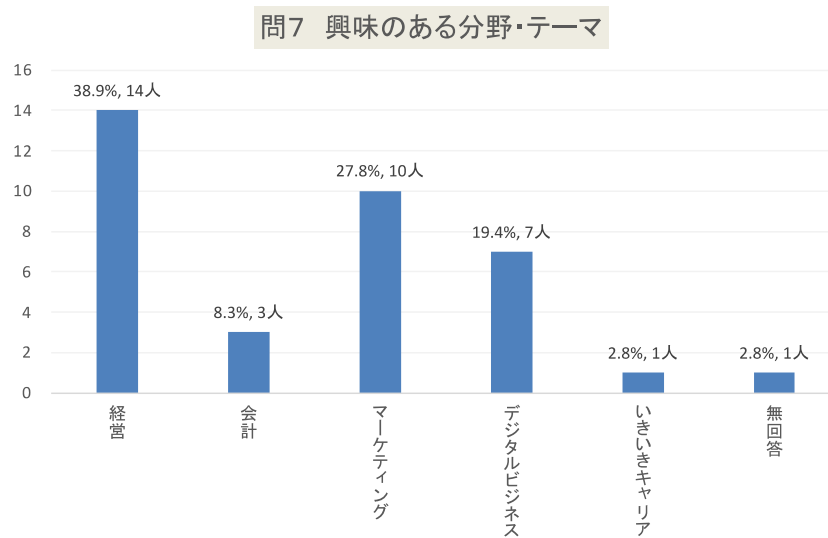


また、問7では、編入学を希望する年次を質問した。問6で「合格した場合、入学したい」と回答した21人のうち、本学部への編入学を希望したのは下記の表の通りであり、各学年ともに編入学定員（予定）である2年次（定員2名）に3人、3年次（定員7名）に11人であった。この他、「2年次・3年次どちらでもよい」が7人いた。

選択項目	問6で「入学したい」
2年次編入学を希望	3
3年次編入学を希望	11
2年次・3年次どちらでもよい	7

#### ④ 「経営」、「マーケティング」などに興味を示す

問6で「受験したい」と回答した36人に本学部の5つの学びの領域の中で、興味のある分野・テーマを質問したところ、1番多かったのは「経営」が14人(38.9%)、次いで「マーケティング」が10人(27.8%)、「デジタルビジネス」が7人(19.4%)の順であった。





## 添 付 資 料

- 資料1 大手前大学「経営学部 経営学科（仮称）」概要
- 資料2 設置構想についての編入学意向アンケート調査用紙

資料1 大手前大学「経営学部 経営学科(仮称)」概要

問5以降に答える前に 大手前大学「経営学部 経営学科(仮称)」の概要 をお読みください。

# 大手前大学 経営学部 経営学科 (仮称) 設置構想中

学部の概要

開設時期：2023年4月(編入学生受入れは2年次が2024年4月、3年次が2025年4月からを予定)  
 開設場所：大手前大学 さくら夙川キャンパス(兵庫県西宮市御茶家所町6-42)  
 修業年限：4年  
 入学定員：170名/2年次編入2名・3年次編入7名(収容定員:700名)  
 取得学位：学士(経営学)  
 養成する人材：地域経済に貢献する有為な人材を養成します。具体的には、地域に軸足を置きつつ、企業や団体における課題解決を通じて、社会の幸福と持続可能な発展に貢献できる人材を養成します。

学びの特色

■ 2年次・3年次編入制度を設け、短期大学・専門学校の既習単位等を認定

➢ 短大・専門学校+大手前の経営学部(仮称)に編入学で、効率よくステップアップが可能

■ 5つの学びの領域を設け、時代が求める経営学の専門人材を養成

専門領域	経営	会計	マーケティング	デジタルビジネス	いきいきキャリア
養成する人材像	「変革と創造をリードできる能力」をベースに、企業等で活躍できる人材を育成。	会計の専門知識と経営のリテラシーを合わせ持ち、頼られるゼネラリスト人材を育成。	商品の開発や販売、広告などを企画できる専門知識と創造力を兼ね備えた人材を育成。	ITとデータサイエンスの知識を活かし、さまざまな場でデジタル活用をリードできる人材を育成。	好きなことを大切にしたい生き方を通して、自分も周りもいきいき働くことができる人材を育成。

■ 実社会で活躍できる力を身につける豊富な演習科目

- 社会ですぐ使うスキルを磨く人間力科目  
(科目例「人間関係トレーニング」「リーダーシップと問題解決」「職場コミュニケーション」「デザイン思考」)
- 企業と連携したPBL形式で学ぶ実践演習科目  
(科目例 5つの領域ごとの「実践演習」)

■ 社会の今日的な課題を解決する力を養う科目群を配置

(科目群の例「起業系」「リモートワーク系」「データサイエンス系」等)

■ 全学共通 学部を越えて好きな科目を自由に履修できる「クロスオーバー制」

- 「豊かな教養」を土台とした専門教育を行う大手前大学独自のシステム
- 全学生が他学部より提供される専攻プログラムを履修可能

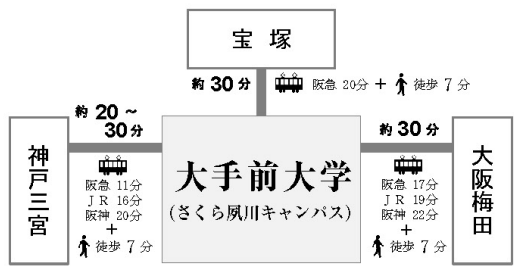
卒業後の進路

大手前大学「経営学部 経営学科(仮称)」卒業後は、地域を支える幅広い業種での活躍が見込めます。

- サービス業
- 流通業
- 観光業・旅行業
- 製造業
- 公務員
- NPOなどの各種団体 他多数

アクセス

大阪・神戸・宝塚から30分以内！ JR・阪急・阪神からの3線アクセス！



上記内容は構想中の内容であり、今後変更となる場合があります。

学費は2ページ(裏面)参照

裏面①・大手前短期大学の在学生向け

編入学初年次学費（周辺大学を主な）	単位:円			
	大学名 学部名 学科名 (所在地)	入学金	授業料 等	編入学初年次納付金 (合計)
	大手前大学 経営学部 経営学科 (仮称) (兵庫県西宮市)	240,000*	1,050,000	1,290,000
	摂南大学 経営学部 経営学科 (大阪府寝屋川市東大板市)	250,000	1,070,000	1,320,000
	追手門学院大学 経営学部 経営学科 (大阪府茨木市)	160,000	1,165,000	1,325,000
	神戸学院大学 経営学部 経営学科 (神戸市中央区)	300,000	980,000	1,280,000
関西国際大学 経営学部 経営学科 (兵庫県三木市/尼崎市)	300,000	1,159,000	1,459,000	

※ 大手前大学 経営学部 経営学科 (仮称)の編入学初年次学費は予定のものです。  
 ※ 他大学の編入学初年次学費は各大学ホームページ掲載情報です(2021年10月時点)。  
 ※ 同窓会費・傷害保険料などの委託徴収金は含まない場合があります。  
 \* 大手前短期大学からの進学者は免除します。

上記内容は構想中の内容であり、今後変更となる場合があります。 特色等は1ページ(表面)参照

裏面②・大手前短期大学以外の短期大学・専門学校の在学生向け

編入学初年次学費(周辺大学を含む)	単位:円			
	大学名 学部名 学科名 (所在地)	入学金	授業料 等	
	大手前大学 経営学部 経営学科 (仮称) (兵庫県西宮市)	240,000	1,050,000	編入学初年次納付金 (合計) 1,290,000
	摂南大学 経営学部 経営学科 (大阪府履屋川市東大阪市)	250,000	1,070,000	1,320,000
	追手門学院大学 経営学部 経営学科 (大阪府茨木市)	160,000	1,165,000	1,325,000
	神戸学院大学 経営学部 経営学科 (神戸市中央区)	300,000	980,000	1,280,000
関西国際大学 経営学部 経営学科 (兵庫県三木市/尼崎市)	300,000	1,159,000	1,459,000	

※ 大手前大学 経営学部 経営学科(仮称)の編入学初年次学費は予定のものです。  
 ※ 他大学の編入学初年次学費は各大学ホームページ掲載情報です(2021年10月時点)。  
 ※ 同意会費・傷害保険料などの委託徴収金は含まない場合があります。

上記内容は構想中の内容であり、今後変更となる場合があります。

特色等は1ページ(表面)参照

資料2 設置構想についての編入学意向アンケート調査用紙



大手前大学 「経営学部 経営学科 (仮称)」

設置構想についての編入学意向アンケート調査

(対象：2021年度現在、短期大学・専門学校に在学中の皆さん)

大手前大学（兵庫県西宮市御茶家所町6-42）は2023年度、「経営学部 経営学科 (仮称)」(入学定員170名)を設置構想中で、編入学定員を設けて2年次に2名、3年次に7名を受け入れ予定です。本学ではこのアンケート調査を通して、現在、短期大学や専門学校に在学する皆さんからさまざまなご意見をお聞きし、さらなる計画の充実を図っていきたく考えています。回答いただいた皆さんから得られた情報は大手前大学「経営学部 経営学科 (仮称)」の設置構想に係る統計資料としてのみ活用いたします。

アンケート調査へのご協力を、よろしくお願いたします。

※このアンケート調査は大手前大学から委託された第三者機関（株式会社高等教育総合研究所）が実施しています。

記入例を参考にご回答ください。



問1 あなたの性別をお答えください。（あてはまるものにマーク）

男性  女性

問2 あなたがお住まいの県・府をお答えください。（あてはまるもの1つにマーク）

兵庫県  大阪府  京都府  奈良県  滋賀県  和歌山県  その他

問3 あなたの現時点の在籍先として、最もあてはまるものをお答えください。（あてはまるもの1つにマーク）

短期大学1年生  短期大学2年生  専門学校1年生  専門学校2年生  その他

問4 あなたが現在、在籍する学科等の名称をお答えください。

問5以降は別紙・大手前大学「経営学部 経営学科 (仮称)」概要をご覧ください、お答えください。

問5 あなたは大手前大学「経営学部 経営学科 (仮称)」に編入学入試を受験したいと思いますか。（あてはまるもの1つにマーク）

受験したい ⇒ 2ページの問6・問7・問8にお答えください。

受験しない ⇒ 2ページの問9にお答えください。





問5で編入学試験を「受験したい」と回答した方は、以下の問6・問7・問8にお答えください。

問6 あなたは大手前大学「経営学部 経営学科 (仮称)」の編入学試験に合格した場合、入学したいと思いますか。(あてはまるもの1つマーク)

- 合格した場合、入学したい  
 合格した場合、併願先の可否結果等により入学したい

問7 大手前大学「経営学部 経営学科 (仮称)」に編入学を希望される年次として、最もあてはまるものをお答えください。(あてはまるもの1つにマーク)

- 2年次編入学を希望       3年次編入学を希望       2年次・3年次どちらでもよい

問8 大手前大学「経営学部 経営学科 (仮称)」は以下の5つの学びの領域を設け、あなたが興味のある分野・テーマを選んで経営学の専門知識を深められます。現時点であなたが最も興味のある領域をお選びください。(あてはまるもの1つにマーク)

- 経営       会計       マーケティング       デジタルビジネス       いきいきキャリア

問5で編入学試験を「受験しない」と回答した方は、以下の問9にお答えください。

問9 あなたが大手前大学「経営学部 経営学科 (仮称)」の編入学試験を「受験しない」とした理由をお答えください。(あてはまるものすべてにマーク)

- 大学への編入学に興味・関心はあるが、詳細を知った上で検討したいから  
 興味・関心のある学科ではないから       他大学への編入学を希望しているから  
 卒業後は就職を希望しているから       進路は未定だから  
 通学に時間がかかりそうだから       学費が高いから  
 その他

質問は以上となります。ご協力をいただき、ありがとうございました。



資料 1 2 大手前大学における編入学受入れの状況 (平成30年度～令和3年度)

■ 2 年次編入学の状況

学部	入学 定員	志願者数			受験者数			合格者数			入学者数		
		平成30	平成31	令和2	令和3	平成30	平成31	令和2	令和3	平成30	平成31	令和2	令和3
国際日本学部	4	1	3	3	2	1	3	2	1	2	1	1	1
建築 & 芸術学部	4	0	0	1	6	0	0	1	0	0	1	2	1
現代社会学部	4	1	4	5	4	1	4	5	1	4	2	3	1
健康栄養学部	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
国際看護学部	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
計	12	2	7	9	12	2	7	9	2	6	4	6	3

上記期間において2年次編入学定員に変更なし

■ 3 年次編入学の状況

学部	入学 定員	志願者数			受験者数			合格者数			入学者数		
		平成30	平成31	令和2	令和3	平成30	平成31	令和2	令和3	平成30	平成31	令和2	令和3
国際日本学部	2	7	13	25	32	7	13	25	30	7	11	13	21
建築 & 芸術学部	2	7	9	32	23	7	7	29	23	7	6	16	20
現代社会学部	2	5	15	28	25	5	15	27	25	4	11	16	24
健康栄養学部	16	13	22	16	10	13	22	15	10	9	9	11	7
国際看護学部	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
計	22	32	59	101	90	32	57	96	88	27	37	56	72

上記期間において3年次編入学定員に変更なし

### 資料 1 3 私立大学経営系学部の学納金

#### 全国の私立大学の経営学・経営情報学・商学・会計学の平均（令和3年度時点）

所在地	学問分野	入学金	授業料他	合計
全国	経営学・経営情報学・商学・会計学	228,233	1,061,558	1,289,791

※旺文社教育情報センター調べ

#### 大手前大学と競合する経営系学部の学納金

所在地	大学名	学部名	入学金	授業料他	合計
京都府	龍谷	経営	260,000	761,000	1,021,000
大阪府	追手門学院	経営	160,000	1,035,000	1,195,000
	大阪学院	経営	200,000	1,068,000	1,268,000
	大阪経済	経営	270,000	890,000	1,160,000
	大阪経済法科	経営	200,000	996,000	1,196,000
	大阪産業	経営	250,000	832,000	1,082,000
	大阪商業	総合経営	200,000	1,040,000	1,240,000
	大阪成蹊	経営	250,000	992,000	1,242,000
	近畿	経営	250,000	1,085,000	1,335,000
	四天王寺	経営	300,000	1,157,000	1,457,000
	摂南	経営	250,000	970,000	1,220,000
	阪南	経営情報	210,000	1,080,000	1,290,000
	桃山学院	経営	230,000	1,029,000	1,259,000
兵庫県	関西国際	経営	300,000	1,119,000	1,419,000
	甲南	経営	300,000	926,000	1,226,000
	神戸学院	経営	300,000	940,000	1,240,000
	武庫川女子	経営	200,000	1,000,000	1,200,000
	流通科学	商	300,000	970,000	1,270,000
奈良県	帝塚山	経済経営	180,000	1,000,000	1,180,000
				平均額	1,236,842

※各大学 公式WEBサイトにおける情報公開ページより

※いずれも1年次入学の場合

#### 大手前大学 経営学部 学納金

所在地	大学名	学部名	入学金	授業料他	合計
兵庫県	大手前	経営	240,000	1,050,000	1,290,000

※予定額



資料1 4 大手前大学 学生募集のための広報活動 (平成28年度～令和3年度入試)

年度入試	進学相談会※1	高校内説明会※2			高校訪問※3	高大連携協定校 累計校数	オープンキャンパス※4	
		模擬授業	学校説明	合計			実施回数	来場者数
平成28年度入試	51	37	100	137	1,130	32	12	3796
平成29年度入試	54	28	153	181	1,263	36	13	3823
平成30年度入試	45	22	160	182	1,143	38	12	3548
平成31年度入試	55	23	169	192	1,252	39	12	4058
令和2年度入試	48	13	162	175	1,285	41	12	5860
令和3年度入試	37	9	117	126	613	42	15	4501

※1 進学相談会 : 業者が会場を借りて行ない不特定の高校生を対象とする説明会

※2 高校内説明会 : 高校が主催して自校の生徒を対象とする説明会

※3 高校訪問 : 教員もしくは職員が高校へ訪問した延べ件数

※4 令和3年度入試のオープンキャンパスは、コロナ禍の影響により来校型とWeb [LIVE] 型で実施

資料15 大手前大学、大手前短期大学における志願倍率・入学定員充足率等の推移 (平成30年度～令和3年度)

◆ 大手前大学 (通学課程)

志願者数,受験者数,合格者数,入学者数

学部	入学定員	志願者数				受験者数				合格者数				入学者数			
		平成30	平成31	令和2	令和3	平成30	平成31	令和2	令和3	平成30	平成31	令和2	令和3	平成30	平成31	令和2	令和3
国際日本学部	190	582	1054	1028	658	545	980	979	606	350	414	388	354	197	225	196	211
建築 & 芸術学部	180	431	792	851	685	412	752	794	640	280	341	306	294	182	222	194	217
現代社会学部	220	715	1495	1680	941	668	1381	1553	867	439	502	450	307	265	268	246	230
健康栄養学部	80	405	469	227	279	388	452	217	267	151	148	130	116	88	82	54	86
国際看護学部	80	-	618	584	345	-	580	542	323	-	147	141	131	-	84	80	89
計	750	2133	4428	4370	2908	2013	4145	4085	2703	1220	1552	1415	1202	732	881	770	833

志願倍率,受験倍率,合格者倍率,入学定員充足率

学部	入学定員	志願倍率※1				受験倍率※2				合格者倍率※3				入学定員充足率※4			
		平成30	平成31	令和2	令和3	平成30	平成31	令和2	令和3	平成30	平成31	令和2	令和3	平成30	平成31	令和2	令和3
国際日本学部	190	3.06	5.54	5.41	3.46	2.86	5.15	5.15	3.18	1.55	2.36	2.52	1.71	1.03	1.18	1.03	1.11
建築 & 芸術学部	180	2.39	4.40	4.72	3.80	2.28	4.17	4.41	3.55	1.47	2.20	2.59	2.17	1.01	1.23	1.07	1.20
現代社会学部	220	3.25	6.79	7.63	4.27	3.03	6.27	7.05	3.94	1.52	2.75	3.45	2.82	1.20	1.21	1.11	1.04
健康栄養学部	80	5.06	5.86	2.83	3.48	4.85	5.65	2.71	3.33	2.56	3.05	1.66	2.30	1.10	1.02	0.67	1.07
国際看護学部	80	-	7.72	7.30	4.31	-	7.25	6.77	4.03	-	3.94	3.84	2.46	-	1.05	1.00	1.11
計	750	2.84	5.90	5.82	3.87	2.68	5.52	5.44	3.60	1.65	2.67	2.88	2.24	1.09	1.17	1.02	1.11

上記期間において入学定員に変更なし

◆ 大手前短期大学

志願者数,受験者数,合格者数,入学者数

学科	志願者数				受験者数				合格者数				入学者数			
	平成30	平成31	令和2	令和3	平成30	平成31	令和2	令和3	平成30	平成31	令和2	令和3	平成30	平成31	令和2	令和3
ライフデザイン総合学科	224	309	227	193	217	306	221	189	199	290	193	177	177	230	168	152
歯科衛生学科	-	-	139	140	-	-	135	129	-	-	82	91	-	-	77	76
計	224	309	366	333	217	306	356	318	199	290	275	268	177	230	245	228

志願倍率,受験倍率,合格者倍率,入学定員充足率

学科	志願倍率※1				受験倍率※2				合格者倍率※3				入学定員充足率※4			
	平成30	平成31	令和2	令和3	平成30	平成31	令和2	令和3	平成30	平成31	令和2	令和3	平成30	平成31	令和2	令和3
ライフデザイン総合学科	0.89	1.54	1.51	1.28	0.86	1.53	1.47	1.26	1.09	1.05	1.14	1.06	0.70	1.15	1.12	1.01
歯科衛生学科	-	-	1.98	2.00	-	-	1.92	1.84	-	-	1.64	1.41	-	-	1.10	1.08
計	0.89	1.54	1.66	1.51	0.86	1.53	1.61	1.44	1.09	1.05	1.29	1.18	0.70	1.15	1.11	1.03

学科	入学定員			
	平成30	平成31	令和2	令和3
ライフデザイン総合学科	250	200	150	150
歯科衛生学科	-	-	70	70
計	250	200	220	220

※1 志願倍率=志願者数/入学定員

※2 受験倍率=受験者数/入学定員

※3 合格者倍率=受験者数/合格者数

※4 入学定員充足率=入学者数/入学定員

(※1~※4で算出した数値は小数点第3位以下を切捨て)

資料 1 6 大手前大学通信教育課程の入学定員超過率・収容定員充足率等の推移 (平成30年度～令和3年度)

項目	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	4年間の平均
	(2018年度)	(2019年度)	(2020年度)	(2021年度)	
入学定員超過率 ※1	0.16	0.22	0.24	0.35	0.24
入学者数(正科生) ※2	81人	113人	122人	177人	123人
入学定員	500人	500人	500人	500人	500人
科目等履修生・聴講生	281人	377人	344人	390人	348人
収容定員充足率 ※3	0.56	0.63	0.69	0.75	0.65
在籍学生数(正科生) ※4	1,697人	1,916人	2,078人	2,272人	1,990人
収容定員 ※5	3,000人	3,000人	3,000人	3,000人	3,000人

※1 入学定員超過率=入学者数(正科生)/入学定員

※2 入学者数(正科生)は編入学生数を除く

※3 収容定員充足率=在籍学生数(正科生)/収容定員

※4 在籍学生数(正科生)は各年度の5月1日現在(学校基本調査)

※5 収容定員のうち、編入学(3年次)500人

(※1、※3で算出した数値は小数点第3位以下を切捨て)

通信教育課程：大手前大学 現代社会学部現代社会学科 通信教育課程

## 資料 1 7 企業が勤務する人材に求める専門的知識（年齢階層別）

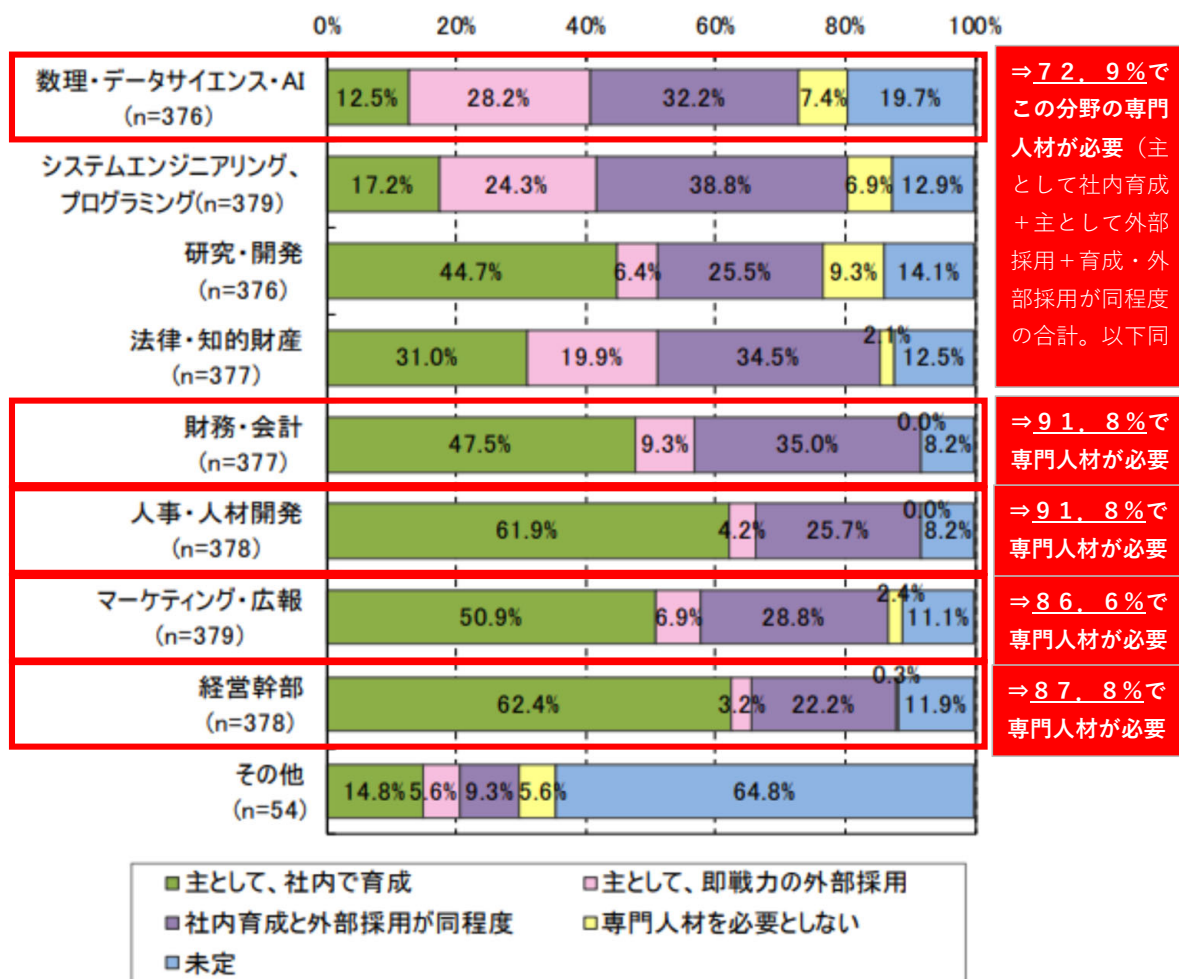
■ 専門的知識として、大学等で学ぶことを期待する専攻分野およびレベル	
*レベル：リテラシー（学士課程）、応用（修士課程）、エキスパート（博士課程）相当	
<b>&lt;全階層共通&gt;</b>	
■ IT関連および情報・数理・データサイエンス・統計を学ぶことが強く期待されている	
<b>&lt;階層別：若年層（新入社員～30歳程度）向け&gt;</b>	
■ 経済学・経営学、金融・財務・会計、法学、人事・労務、語学、広報・マーケティングではリテラシー・レベルを中心に、理系の専門分野とデータサイエンス・統計・数理、IT関連では、応用レベルまで学ぶことを期待されている	
<b>&lt;階層別：中堅層（30～40歳程度）向け&gt;</b>	
■ データサイエンス・統計・数理、経済学・経営学、金融・財務・会計、法学、IT関連、語学などでは応用レベルまでを中心に、理系の専門分野では応用レベルからエキスパート・レベルまでの学びを期待されている	
<b>&lt;階層別：ミドル・シニア管理職層（40歳以上）向け&gt;</b>	
■ 人事・労務、語学、広報・マーケティングではリテラシー・レベルから応用レベル、データサイエンス・統計・数理、経済学・経営学、金融・財務・会計、教育・人材開発では応用レベルを中心に、理系の専門分野では応用レベルからエキスパート・レベルまで学ぶことを期待されている	
<b>&lt;階層別：ミドル・シニア非管理職層（40歳以上）向け&gt;</b>	
■ 経済学・経営学、金融・財務・会計、法学、人事・労務、教育・人材開発、語学、広報・マーケティングではリテラシー・レベルから応用レベルまで、理系の専門分野では応用レベルからエキスパート・レベルまでの学びが期待されている	

※一般社団法人 日本経済団体連合会

「ポスト・コロナを見据えた新たな大学教育と産学連携の推進」

（令和3（2021）年4月19日公表資料）より

資料18 企業における分野別専門人材の採用・育成動向（今後5年程度先のトレンド）



※一般社団法人 日本経済団体連合会

「採用と大学改革への期待に関するアンケート結果」（令和4（2022）年1月18日公表資料）より

資料 19

大手前大学「経営学部 経営学科（仮称）」  
設置構想に係る人材需要の見通し調査  
(設置構想についての人材需要アンケート調査)  
報告書

令和4年2月

株式会社 高等教育総合研究所

## 目次

1 人材需要アンケート調査の概要	2
2 全質問項目の集計結果	3
3 集計結果のポイント	10
<u>人材需要の見通し調査結果 まとめ</u>	<u>14</u>
<u>添 付 資 料</u>	<u>15</u>

## 1 人材需要アンケート調査の概要

調査目的	令和5(2023)年4月開設に向け、設置構想中である大手前大学「経営学部 経営学科」(仮称/入学定員170人を予定)の人材需要のニーズを第三者機関によるアンケート調査を用いて、人材需要の見通しを測ることを目的とする。
調査時期	令和3(2021)年12月
調査対象	以下の合計2,191箇所 ■ 大手前大学既設学部に対して令和4(2022)年度採用の求人があった(令和3(2021)年5月31日時点)企業の一部(資本金額上位の企業)、合計2,055箇所。 ■ 地方自治体84箇所(兵庫県・大阪府の県府市庁・町村役場) ■ 有給職員5人以上のNPO法人52箇所(兵庫県・大阪府に所在)
調査内容	一部記述、選択肢式の8問。 回答企業・団体の基本情報(主業種、所在地、従業員、職員数)や大手前大学「経営学部 経営学科(仮称)」の社会的ニーズ、養成する人材の採用意向などについて。
回答件数	427件(回収率19.5%)



## 2 全質問項目の集計結果

※構成比はいずれも少数第二位を四捨五入した。したがって合計は必ずしも 100.0%とは一致しない。

調査名称	回収総件数
大手前大学 経営学部 経営学科 (仮称) 人材需要アンケート調査	427 件

問1 貴社、貴団体の主業種として、最もあてはまるものをお答えください。(最もあてはまるもの1つにマーク)

選択項目	回答数	構成比
1 農業、林業、漁業、鉱業	1	0.2%
2 建設業	64	15.0%
3 製造業	75	17.6%
4 電気、ガス、熱供給、水道業	4	0.9%
5 通信業、放送業	4	0.9%
6 情報サービス業	36	8.4%
7 インターネット付随サービス業	0	0.0%
8 映像・音声・文字情報制作業	1	0.2%
9 運輸業	21	4.9%
10 卸売業、小売業	97	22.7%
11 金融業、保険業	15	3.5%
12 不動産業、物品賃貸業	8	1.9%
13 宿泊業、飲食サービス業	9	2.1%
14 教育、学習支援	0	0.0%
15 医療、福祉	12	2.8%
16 学術研究、専門・技術サービス業	4	0.9%
17 複合サービス業、その他サービス	29	6.8%
18 地方自治体	33	7.7%
19 NPO	7	1.6%
20 その他	7	1.6%
無回答	0	0.0%
合計	427	100.0%

問2 貴社の本社、貴団体の主たる事業所の所在地をお答えください。(あてはまるもの1つにマーク)

※無回答であった都道府県は記載していない

選択項目		回答数	構成比
1	北海道	6	1.4%
4	宮城県	1	0.2%
6	山形県	1	0.2%
8	茨城県	1	0.2%
9	栃木県	3	0.7%
10	群馬県	3	0.7%
11	埼玉県	13	3.0%
12	千葉県	1	0.2%
13	東京都	123	28.8%
14	神奈川県	10	2.3%
15	新潟県	5	1.2%
16	富山県	4	0.9%
17	石川県	4	0.9%
18	福井県	4	0.9%
19	山梨県	1	0.2%
20	長野県	6	1.4%
21	岐阜県	6	1.4%
22	静岡県	9	2.1%
23	愛知県	34	8.0%
24	三重県	1	0.2%
25	滋賀県	3	0.7%
26	京都府	10	2.3%
27	大阪府	92	21.5%
28	兵庫県	44	10.3%
30	和歌山県	4	0.9%
33	岡山県	5	1.2%
34	広島県	6	1.4%
35	山口県	2	0.5%
36	徳島県	1	0.2%
37	香川県	2	0.5%
38	愛媛県	3	0.7%

40	福岡県	6	1.4%
41	佐賀県	1	0.2%
42	長崎県	2	0.5%
43	熊本県	1	0.2%
44	大分県	1	0.2%
48	海外	1	0.2%
	無回答	7	1.6%
合計		427	100.0%

問3 貴社の従業員数、貴団体の職員数をお答えください。(あてはまるもの1つにマーク)

選択項目		回答数	構成比
1	～99 人	24	5.6%
2	100～299 人	103	24.1%
3	300～499 人	67	15.7%
4	500～999 人	101	23.7%
5	1,000～2,999 人	80	18.7%
6	3,000～9,999 人	38	8.9%
7	10,000 人～	14	3.3%
	無回答	0	0.0%
合計		427	100.0%

問4 大手前大学が設置構想中の「経営学部 経営学科(仮称)」は社会的ニーズが高いと思われますか。(あてはまるもの1つにマーク)

選択項目		回答数	構成比
1	ニーズは極めて高い	79	18.5%
	ニーズはある程度高い	292	68.4%
	ニーズはあまり高くない	44	10.3%
	ニーズは高くない	6	1.4%
	無回答	6	1.4%
合計		427	100.0%

大手前大学が設置構想中の「経営学部 経営学科（仮称）」は以下の5つの学びの領域を設け、学生が興味のある

問5 分野・テーマを選んで経営学の専門知識を深められます。貴社、貴団体にとって関連があると思われるものをお選びください。（あてはまるものすべてにマーク）

※複数回答項目のため、回答数はのべ

※回答率は、各項目を挙げた者の割合

選択項目		回答数	回答率
1	経営	235	55.0%
2	会計	179	41.9%
3	マーケティング	239	56.0%
4	デジタルビジネス	215	50.4%
5	いきいきキャリア	110	25.8%

問6 大手前大学が設置構想中の「経営学部 経営学科(仮称)」が養成する人材を採用したいと思われませんか。（あてはまるもの1つにマーク）

選択項目		回答数	構成比
1	ぜひ採用したい	115	26.9%
2	採用を検討したい	184	43.1%
3	採用しない	11	2.6%
4	わからない	116	27.2%
	無回答	1	0.2%
合計		427	100.0%

問7は、問6で「ぜひ採用したい」「採用を検討したい」と回答した299人が回答対象である。

問7 【問7は問6で「ぜひ採用したい」「採用を検討したい」と回答いただいた場合にお答えください】大手前大学が設置構想中の「経営学部 経営学科(仮称)」で養成する人材について、採用を検討したいと思われる人数をお答えください。（あてはまるもの1つにマーク）

選択項目		回答数	人数合計
1	1名	162	162
2	2名	63	126
3	3名	30	90
4	4名	4	16
5	5名	5	25
6	6名以上	22	132
	無回答	13	-
合計		299	551

問8

大手前大学が設置構想中の「経営学部 経営学科(仮称)」について期待される点、ご要望等がありましたらご自由に記入ください。

※原文ママ

業種	内容
建設業	「働く事を考える」「人間関係トレーニング」など、社会で活躍していく必須項目であると思います。
	IT 関係の専門知識が重要
	スペシャリストとしての専門(得意)分野とゼネラリストとしての総合力を持ち合わせたハイブリッド人材の育成に期待しております。
	会社とは、経営とは、といった広い視野で物事を考えることのできる学生の指導、教育を是非ともよろしく願いいたします。
	建設業もIT 化が進んでいます。この分野の発展性は無限ですので更なる進化に期待します。
	実際に就業体験のない学生に対して、どこまで臨場感をもった学びが提供できるのかが成否の鍵を握っていると感じます。
	上場している弊社にとっては監査に対応する社員が欲しいです。そのようなプロフェッショナルを教育することを期待しております。
	真面目さ
	独自性がアピールできるとよいかと存じます。学ぶ内容は、経営、会計の業種だけでなく幅広く社会で活かせると思います。是非、就職先の幅を広げてほしいです。
	「新しいこと」を生み出す力を期待します。
	5つの学びの領域を一通り習得された方は、事務職(経理、企画、マーケティング、情報)においてご活躍いただけるものと思われます。専門スキルに加え、人間性(主体性、コミュニケーション力)が養われれば、社会人としての活躍に、更に期待が増すものと思います。IT 人材の需要は高くなっていくと思います。
	会計:経理、財務知識。デジタルビジネス:RPA や DX について
	経営学部は他大学でも多くあるため、特徴があり学生の質もある程度ないと厳しいかもしれない
	自らの興味を持った事柄を学び抜き、楽しく悔いのない学生生活を送っていただきたいです。自発的に行動できる人材を求めています。
	人口が減っている中なので、人材確保の難しさと他大学との差別化をうちだすのは、難しそうに感じます
製造業の製造職で働きたいという方は少ないかもしれませんが、その少ない人数の方々が選択肢を増やせるようにして頂きたいです。	
特色のある学部になることを期待しています。	

業種	内容
情報サービス業	「いきいきキャリア」の名称を再考した方がよいかと思います。
	<p>今後は文系の学生もデジタルビジネスに強くないと遅れをとるようになってしまう。</p> <p>使っているだけでは不十分なので、知識や多少の技術を持っていることが強みになると思います。</p>
運輸業	経営の知識だけではなく、経済についての知識をしっかり身につけていただきたいと思います。特にマクロ経済、金融政策について幅広い見識を持つと、より世間からのニーズが高まると思います。
	経営学を学ばれることで、企業で活躍できる人材を育成していただけることに魅力を感じました。
	当社においてはマーケティングの知識を持つ社員が不足しているため、マーケティングの専門知識をもつ人材育成に期待します。
	養成する人材として、「地域経済に貢献する有為な人材」とあり、弊社の事業やビジョンにマッチしている点、期待しています。
卸売業、小売業	デジタル分野の知識を持った学生さんは、特にニーズがある気がいたします。
	有能な学生さんの輩出に期待しております。
	営業活動をしていく上での視野の広さ
	価値が多様化している状況である為、マーケティングや経営等の知見が広い方は重宝されると思われます。
	あとは、大前提として人との交流やアウトプットとしてこそそのマーケティングだと思われますので、そうした機会を多く設けて頂けると助かります。
	学業に向上心を持って前向きに取り組む人材の育成に期待いたします。
	アルバイトも大切ですが、大学で学ぶべき事が社会人になった時に大きく役立つはずで。
	経営に関することについて学ぶ、また「モノ」を売る仕組みやどのようにして「モノ」を販売していくのかを学んで社会へ貢献して頂きたい
	資格があると採用側としてありがたいと思います。
	主体性を持って学び行動し、ビジネスの目標を兼ね備えた学生さんの育成を期待しています。
	商品の販売戦略やマーケティング、経営戦略の基礎知識を持った方にぜひご応募頂ければと思います。
	<p>将来的に幹部としてマネジメントが出来るような人材を多く育成される事に期待しています。</p> <p>経営学部で学ばれる会計、マーケティングなどの知識は小売業界でも活かされる大きな強みになります。</p> <p>専門的な知識の学びも大切だが、「人」として何が大事なのかを学んでほしい</p> <p>弊社と共感できる学生様なら学校問わず大歓迎です。</p>

業種	内容
金融業、 保険業	IT、データサイエンスの知識がある人材が増えていくことに期待しております。
	スペシャリストの必要性を感じています。
	縦と横の関係が重要になる会社組織で、「人間関係トレーニング」「職場コミュニケーション」という科目に期待します。また、社会に出ればいろんな問題が起こるので「リーダーシップと問題解決」も実践に基づく内容から人間力向上につながると感じます。
物品賃貸業、 不動産業	主体的に動ける学生は非常に採用したいと考えています。そのため、在学中に実社会で活躍できるスキルを身につけられる科目は魅力に感じます。
医療、 福祉	ぜひ実践的なワーク等を通じた人材育成を進めていただければと思います。
	ソーシャルベンチャーや社会人リカレントプログラム、福祉経営のプログラムを期待します。
	経営学部、経営学科の内容を拝読しましたが、どの企業様でも必要になるものと感じました
	経済構造がお金⇒想いに変わればどうなるか研究してほしい
	詳細が不明なので、卒業生を見て判断したい
複合サービス業、 その他サービス	フィールドワークなど実践的な学習を行い、学習していく上で様々な課題と向き合い成長される事を望みます。
	組織単位で思考ができる人材の育成
	他大学との差別化
	特に上司や同僚との円滑なコミュニケーションは、働く上で重要なスキルとなってくるかと思しますので、大学時代にそれらを学び、身に付けられる点が良いと感じます。
	簿記の勉強と3級の取得をお願いします。
地方自治体	地方(地域)で就職、起業することへの誇りを持つ人材育成をお願いしたい
その他	設置構想中の学部卒業生については是非選考への応募をご検討頂きたく思います。

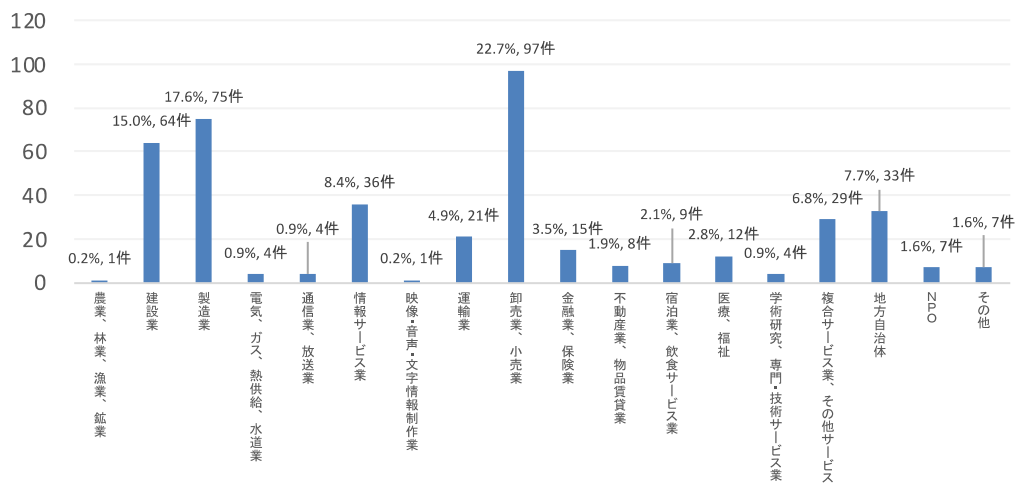
### 3 集計結果のポイント

※構成比はいずれも少数第二位を四捨五入した。したがって合計は必ずしも 100.0%とは一致しない。

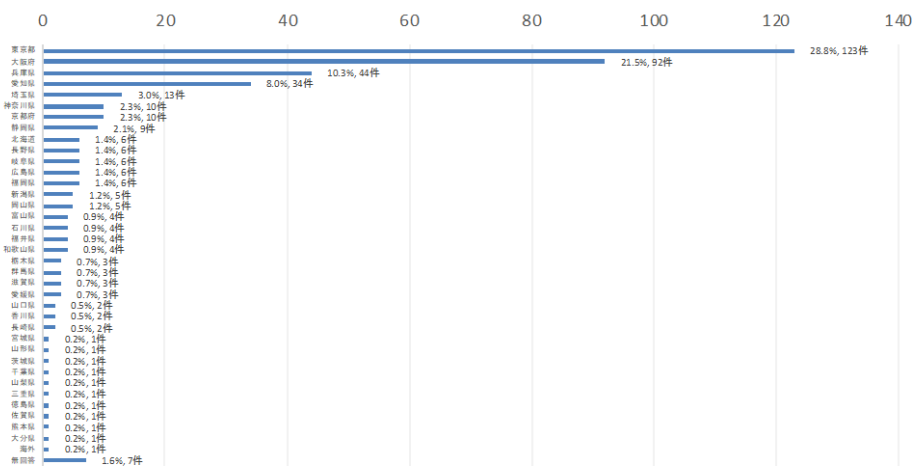
#### ① 回答企業・団体の基本情報

回答企業・団体 427 件のうち、最も回答数が多かったのは、「卸売業、小売業」で 97 件 (22.7%) であった。次いで、「製造業」が 75 件 (17.6%)、「建設業」が 64 件 (15.0%) の順であった。また、問 2 で所在地を質問したところ、「大阪府」の 92 件 (21.5%)、「兵庫県」の 44 件 (10.3%) で全体の 1/3 を占めた。

#### 問1 業種



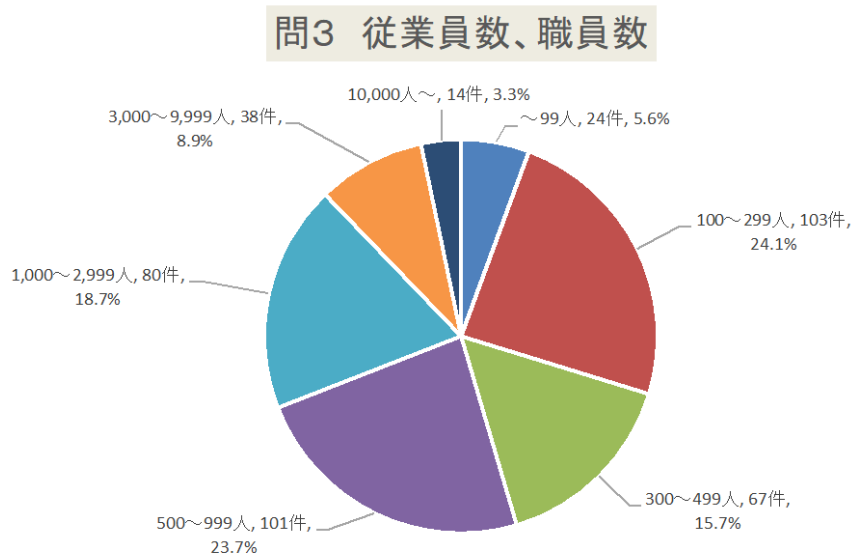
#### 問2 所在地





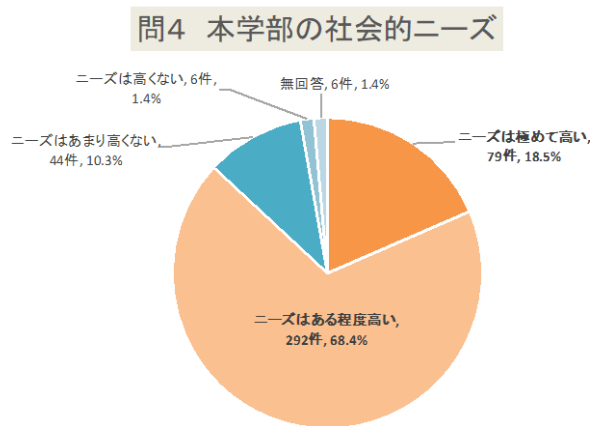
## ② 回答企業・団体の基本情報

問3で従業員数・職員数を質問したところ、最も回答が多かったのは、「100～299人」で103件（24.1%）であった。次いで、「500～999人」が101件（23.7%）、「1,000～2,999人」が80件（18.7%）の順であった。



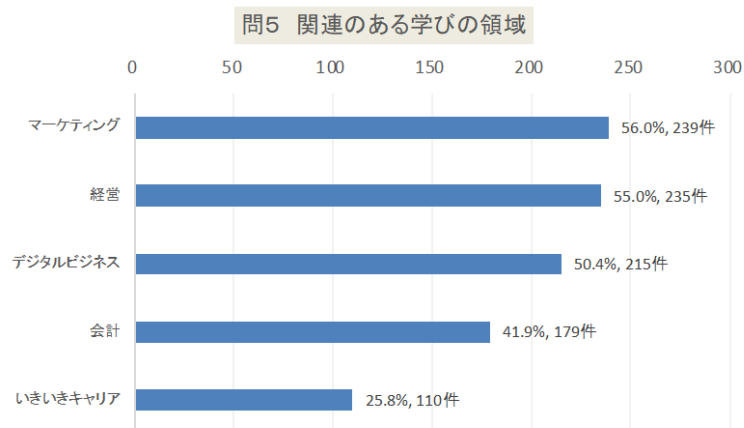
### ③ 回答企業・団体の8割以上が本学部の社会的ニーズの高さを認める

問4は本学部の社会的ニーズについて質問したところ、「ニーズは極めて高い」が79件（18.5%）、「ニーズはある程度高い」が292件（68.4%）であった。回答企業・団体427件のうち、86.9%にあたる371件が、本学部の社会的ニーズの高さを認める結果となった。



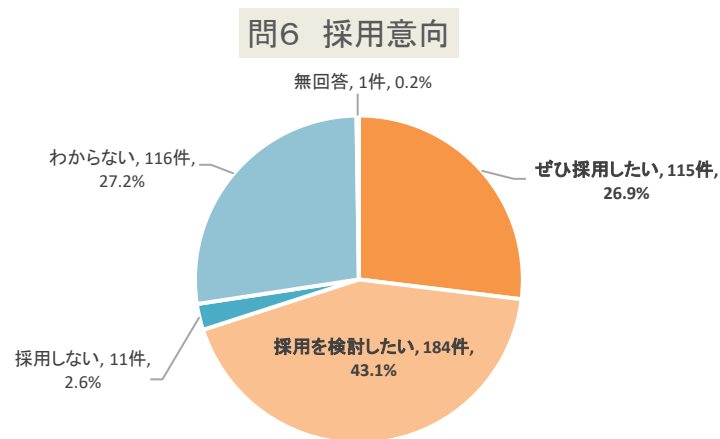
### ④ 「マーケティング」、「経営」、「デジタルビジネス」が半数以上

問5では、本学部の5つの学びの領域が、回答企業・団体にとって関連があると思われるものを質問した（複数回答）。最も回答が多かったのが、「マーケティング」で239件（56.0%）であった。次いで、「経営」が235件（55.0%）、「デジタルビジネス」が215件（50.4%）であった。上記3つの学びの領域はいずれも回答企業・団体の半数以上が、回答企業・団体にとって関連があると判断された。



### ⑤ 回答企業・団体の7割が本学部の卒業生の採用に前向きな意向を示す

問6で本学部の卒業生の採用意向を質問したところ、「ぜひ採用したい」が115件(26.9%)、「採用を検討したい」が184件(43.1%)であった。合計すると、回答企業・団体427件のうち、70.0%にあたる299件が本学部の卒業生の採用に前向きな意向を示した。



### ⑥ 本学部の卒業生が、入学定員の3.24倍の採用意志が示される

問6で本学部の卒業生を「ぜひ採用したい」または「採用を検討したい」と回答した299件に、問7で採用可能と思われる人数を質問した。下記の表が示す通り、「ぜひ採用したい」と回答した112件(※問7:3件無回答)は284人、「採用を検討したい」と回答した174件(※問7:10件無回答)は267人であった。

本学部の卒業生に対し、採用意志を示した299件は、合計で551人を採用可能と思われるという回答結果が得られた。

選択項目	採用したい		採用を検討	
	回答数	採用予定人数	回答数	採用予定人数
1名	42件	42人	120件	120人
2名	27件	54人	36件	72人
3名	20件	60人	10件	30人
4名	3件	12人	1件	4人
5名	4件	20人	1件	5人
6名以上	16件	96人	6件	36人
合計	112件	284人	174件	267人

## 人材需要の見通し調査結果 まとめ

令和5（2023）年4月に設置構想中の大手前大学「経営学部 経営学科（仮称）」の人材需要の見通しを測るため、大手前大学既設学部の採用実績先、近畿圏の地方自治体・非営利団体等にアンケート調査を依頼し、合計427件の企業・団体から回答を得た。

問6で本学部の卒業生の採用意向を質問したところ、「ぜひ採用したい」が115件（26.9%）、「採用を検討したい」が184件（43.1%）であった。合計すると、回答企業・団体427件のうち、70.0%にあたる299件が本学部の卒業生の採用に前向きな意向を示した。

さらに、問7で採用可能と思われる人数を質問し、合計すると「ぜひ採用したい」と回答した企業・団体では284人で、本学部が予定する入学定員170名の1.67倍であった。また、「採用を検討したい」と回答した企業・団体では267人であった。

よって、合計すると本学部の入学定員（予定）170人を大幅に超える551人という結果となった。

したがって、令和5（2023）年4月に設置構想中である大手前大学「経営学部 経営学科（仮称）」の人材需要の見通しについて問題がないと判断できる。

## 添 付 資 料

- 資料1 大手前大学『経営学部 経営学科（仮称）』概要
- 資料2 設置構想についての人材需要アンケート調査用紙

資料1 大手前大学「経営学部 経営学科(仮称)」概要

問4以降に答える前に 大手前大学「経営学部 経営学科(仮称)」の概要 をお読みください。

# 大手前大学 経営学部 経営学科 (仮称) 設置構想中

学部の概要

開設時期：2023年4月  
 開設場所：大手前大学 さくら夙川キャンパス(兵庫県西宮市御茶家所町6-42)  
 修業年限：4年  
 入学定員：170名/2年次編入2名・3年次編入7名(収容定員:700名)  
 取得学位：学士(経営学)  
 養成する人材：地域経済に貢献する有為な人材を養成します。具体的には、地域に軸足を置きつつ、企業や団体における課題解決を通じて、社会の幸福と持続可能な発展に貢献できる人材を養成します。

学びの特色

■ 5つの学びの領域を設け、時代が求める経営学の専門人材を養成

専門領域	経営	会計	マーケティング	デジタルビジネス	いきいきキャリア
養成する人材像	「変革と創造をリードできる能力」をベースに、企業等で活躍できる人材を育成。	会計の専門知識と経営のリテラシーを合わせ持ち、頼られるゼネラリスト人材を育成。	商品の開発や販売、広告などを企画できる専門知識と創造力を兼ね備えた人材を育成。	ITとデータサイエンスの知識を活かし、さまざまな場でデジタル活用をリードできる人材を育成。	好きなことを大切にしたい生き方を通して、自分も周りもいきいき働くことができる人材を育成。

■ 1年次は動機づけ&学びの土台づくり

(科目例「経営学の扉」「働くことを考える」「フィールドスタディ」「ロジカルシンキング」「ビジネスの数字を読む」等)

■ 実社会で活躍できる力を身につける豊富な演習科目

- 社会ですぐ使うスキルを磨く人間力科目  
(科目例「人間関係トレーニング」「リーダーシップと問題解決」「職場コミュニケーション」「デザイン思考」)
- 企業と連携したPBL形式で学ぶ実践演習科目  
(科目例 5つの領域ごとの「実践演習」)

■ 社会の今日的な課題を解決する力を養う科目群を配置

(科目群の例「起業系」「リモートワーク系」「データサイエンス系」等)

■ 全学共通 学部を越えて好きな科目を自由に履修できる「クロスオーバー制」

- 「豊かな教養」を土台とした専門教育を行う大手前大学独自のシステム
- 全学生が他学部より提供される専攻プログラムを履修可能

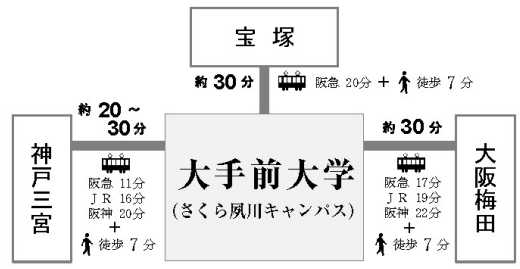
卒業後の進路

大手前大学「経営学部 経営学科(仮称)」卒業後は、地域を支える幅広い業種での活躍が見込めます。

- サービス業
- 流通業
- 観光業・旅行業
- 製造業
- 公務員
- NPOなどの各種団体 他多数

アクセス

大阪・神戸・宝塚から30分以内！ JR・阪急・阪神からの3線アクセス！



上記内容は構想中の内容であり、今後変更となる場合があります。

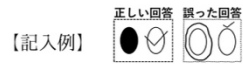
資料2 設置構想についての人材需要アンケート調査用紙



大手前大学「経営学部 経営学科(仮称)」  
設置構想についての人材需要アンケート調査  
(対象：人事・採用担当者様)

大手前大学（兵庫県西宮市御茶家所町6-42）は2023年度、「経営学部 経営学科(仮称)」（入学定員170名）を設置構想中です。本学ではこのアンケート調査を通して、将来的に卒業生の採用をご検討いただく皆様からさまざまなご意見をお聞きし、さらなる計画の充実を図っていきたくと考えています。回答いただいた皆様から得られた情報は大手前大学「経営学部 経営学科(仮称)」の設置構想に係る統計資料としてのみ活用いたします。

アンケート調査へのご協力を、謹んでお願い申し上げます。  
※このアンケート調査は大手前大学から委託された第三者機関（株式会社高等教育総合研究所）が実施しています。



- ・上の記入例を参考に、黒鉛筆またはシャープペンでご回答ください。
- ・誤って記入した回答は消しゴムでしっかりと消してください。

問1 貴社、貴団体の主業種として、最もあてはまるものをお答えください。（最もあてはまるもの1つにマーク）

- |                                       |  |  |
|---------------------------------------|--|--|
| <input type="radio"/> 農業、林業、漁業、鉱業     | <input type="radio"/> 建設業                      | <input type="radio"/> 製造業 製造品目： <input type="text"/> |
| <input type="radio"/> 電気、ガス、熱供給、水道業   | <input type="radio"/> 通信業、放送業                  | <input type="radio"/> 情報サービス業                        |
| <input type="radio"/> インターネット付随サービス業  | <input type="radio"/> 映像・音声・文字情報制作業            | <input type="radio"/> 運輸業                            |
| <input type="radio"/> 卸売業、小売業         | <input type="radio"/> 金融業、保険業                  | <input type="radio"/> 不動産業、物品賃貸業                     |
| <input type="radio"/> 宿泊業、飲食サービス業     | <input type="radio"/> 教育、学習支援                  | <input type="radio"/> 医療、福祉                          |
| <input type="radio"/> 学術研究、専門・技術サービス業 | <input type="radio"/> 複合サービス業、その他サービス          | <input type="radio"/> 地方自治体                          |
| <input type="radio"/> NPO             | <input type="radio"/> その他 <input type="text"/> |  |

問2 貴社の本社、貴団体の主たる事業所の所在地をお答えください。（あてはまるもの1つにマーク）

- |                           |                           |                           |                           |                           |                            |   |
|---------------------------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|----------------------------|---|
| <input type="radio"/> 北海道 | <input type="radio"/> 青森県 | <input type="radio"/> 岩手県 | <input type="radio"/> 宮城県 | <input type="radio"/> 秋田県 | <input type="radio"/> 山形県  | <input type="radio"/> 福島県   |
| <input type="radio"/> 茨城県 | <input type="radio"/> 栃木県 | <input type="radio"/> 群馬県 | <input type="radio"/> 埼玉県 | <input type="radio"/> 千葉県 | <input type="radio"/> 東京都  | <input type="radio"/> 神奈川県  |
| <input type="radio"/> 新潟県 | <input type="radio"/> 富山県 | <input type="radio"/> 石川県 | <input type="radio"/> 福井県 | <input type="radio"/> 山梨県 | <input type="radio"/> 長野県  |   |
| <input type="radio"/> 岐阜県 | <input type="radio"/> 静岡県 | <input type="radio"/> 愛知県 | <input type="radio"/> 三重県 |                           |                            |   |
| <input type="radio"/> 滋賀県 | <input type="radio"/> 京都府 | <input type="radio"/> 大阪府 | <input type="radio"/> 兵庫県 | <input type="radio"/> 奈良県 | <input type="radio"/> 和歌山県 |   |
| <input type="radio"/> 鳥取県 | <input type="radio"/> 島根県 | <input type="radio"/> 岡山県 | <input type="radio"/> 広島県 | <input type="radio"/> 山口県 |                            |   |
| <input type="radio"/> 徳島県 | <input type="radio"/> 香川県 | <input type="radio"/> 愛媛県 | <input type="radio"/> 高知県 |                           |                            |   |
| <input type="radio"/> 福岡県 | <input type="radio"/> 佐賀県 | <input type="radio"/> 長崎県 | <input type="radio"/> 熊本県 | <input type="radio"/> 大分県 | <input type="radio"/> 宮崎県  | <input type="radio"/> 鹿児島県 <input type="radio"/> 沖縄県 <input type="radio"/> 海外 |





問3 貴社の従業員数、貴団体の職員数をお答えください。(あてはまるもの1つにマーク)

0 ~99人  0 100~299人  0 300~499人  0 500~999人  0 1,000~2,999人  0 3,000~9,999人  0 10,000人~

問4 以降は別紙・大手前大学「経営学部 経営学科(仮称)」概要をご覧ください、お答えください。

問4 大手前大学が設置構想中の「経営学部 経営学科(仮称)」は社会的ニーズが高いと思われますか。(あてはまるもの1つにマーク)

0 ニーズは極めて高い  0 ニーズはある程度高い  0 ニーズはあまり高くない  0 ニーズは高くない

問5 大手前大学が設置構想中の「経営学部 経営学科(仮称)」は以下の5つの学びの領域を設け、学生が興味のある分野・テーマを選んで経営学の専門知識を深められます。貴社、貴団体にとって関連があると思われるものをお選びください。(あてはまるものすべてにマーク)

0 経営  0 会計  0 マーケティング  0 デジタルビジネス  0 いきいきキャリア

問6 大手前大学が設置構想中の「経営学部 経営学科(仮称)」が養成する人材を採用したいと思われますか。(あてはまるもの1つにマーク)

0 ぜひ採用したい  0 採用を検討したい  0 採用しない  0 わからない

問7 【問7は問6で「ぜひ採用したい」「採用を検討したい」と回答いただいた場合にお答えください】大手前大学が設置構想中の「経営学部 経営学科(仮称)」で養成する人材について、採用を検討したいと思われる人数をお答えください。(あてはまるもの1つにマーク)

0 1名  0 2名  0 3名  0 4名  0 5名  0 6名以上

問8 大手前大学が設置構想中の「経営学部 経営学科(仮称)」について期待される点、ご要望等がありましたら、ご自由にご記入ください。

質問は以上となります。ご協力をいただき、ありがとうございました。





## 資料 20

大手前大学「経営学部 経営学科（仮称）」  
設置に係る学生確保の見通し調査【追加調査】  
（設置構想についての高校生アンケート調査）  
報告書

令和4年7月

株式会社高等教育総合研究所

大手前大学「経営学部 経営学科(仮称)」

設置に係る学生確保の見通し調査【追加調査】

(設置構想についての高校生アンケート調査)

## 報告書 目次

1. 高校生アンケート調査(追加調査)の概要	3
2. 高校生アンケート調査(追加調査)の集計結果	4
3. 高校生アンケート調査(全体結果)のクロス集計	8
(添付資料)高校生アンケート調査【追加調査】配付内容	9

## 1. 高校生アンケート調査(追加調査)の概要

調査時期	令和4(2022)年6月25日～7月7日
調査対象	<p>令和5(2023)年3月に高校卒業予定である高校3年生(令和4(2022)年度時点)で、大手前大学が学生確保の基盤とする地域にあり、新たに調査協力が得られた高校に在学する生徒、および大手前大学経営学部への進学に興味を示した生徒をアンケート対象とした。具体的には、次のとおり。</p> <p>① 新たにアンケート調査への協力が得られた7校(兵庫県5校、京都府2校)に在学する高校3年生          ② 経営学部のオープンキャンパスに来場した高校3年生          ③ 大手前大学経営学部に関心ありとして、「大手前大学 大学案内2023」のパンフレット資料を請求した高校3年生(オープンキャンパスの来場者は除く)</p> <p>なお、2021年10月～12月実施分の高校生アンケート調査(以下、初回調査)回答者との重複を避けるため、上記回答者のうち、初回調査の協力高校76校に在学する生徒からの回答はすべて無効とし、有効回答から除外した(高校名の記載がない場合も除外)。</p>
調査方法	大手前大学「経営学部 経営学科(仮称)」概要資料を提示の上、アンケート用紙またはインターネットを用いて回答を求めた。
調査内容	初回調査と同じ(選択肢式8問) (但し、初回調査との重複を避けるため、在籍高校欄を設けた)
回答件数	1,145件 (昨年調査済の76校の高校生のデータを除いた有効回答は1,080件)

## 2. 高校生アンケート調査(追加調査)の集計結果

問1 あなたの性別をお答えください。(あてはまるものにマーク)

選択項目		追加調査	
		回答数	構成比
1	男性	503	46.6%
2	女性	564	52.2%
	無回答	13	1.2%
合計		1,080	100.0%

問2 あなたがお住まいの県・府をお答えください。(あてはまるもの1つにマーク)

選択項目		追加調査	
		回答数	構成比
1	兵庫県	790	73.1%
2	大阪府	63	5.8%
3	京都府	174	16.1%
4	奈良県	16	1.5%
5	滋賀県	16	1.5%
6	和歌山県	9	0.8%
7	岡山県	1	0.1%
8	広島県	0	0.0%
9	山口県	1	0.1%
10	鳥取県	0	0.0%
11	島根県	1	0.1%
12	香川県	1	0.1%
13	徳島県	1	0.1%
14	愛媛県	1	0.1%
15	高知県	1	0.1%
16	その他	3	0.3%
	無回答	2	0.2%
合計		1,080	100.0%

問3 あなたの高校卒業後の希望進路をお答えください。(現時点で最もあてはまるもの1つにマーク)

選択項目		追加調査	
		回答数	構成比
1	進学	975	90.3%
2	就職	77	7.1%
3	現時点では未定	23	2.1%
	無回答	5	0.5%
合計		1,080	100.0%

問4 あなたが関心のある学問分野をお答えください。(あてはまるものすべてにマーク)

※複数回答のため、回答数は延べ

※回答率は、アンケート回答者のうち、各項目を挙げた者の割合

選択項目		追加調査	
		回答数	構成比
1	社会科学(経営学、経済学、法学・政治学、社会学など)	382	35.4%
2	人文科学(文学、史学、哲学、心理学、外国語学など)	175	16.2%
3	理学(数学、物理学、化学、生物学など)	30	2.8%
4	工学(機械工学、電気電子工学、応用化学、建築学など)	99	9.2%
5	農学(農学、農業経済学、林学、水産学、獣医学など)	25	2.3%
6	医学・歯学・薬学	62	5.7%
7	保健衛生学(看護学、リハビリ医学、歯科衛生学など)	136	12.6%
8	家政学(生活科学、食物学、住居学、被服学など)	33	3.1%
9	教育学・保育学	101	9.4%
10	芸術学(音楽、デザイン、美術など)	128	11.9%
11	その他	100	9.3%

問5 あなたは大手前大学「経営学部 経営学科 (仮称)」を受験したいと思いますか。(あてはまるもの1つにマーク)

選択項目		追加調査	
		回答数	構成比
1	受験したい	290	26.9%
2	受験しない	780	72.2%
	無回答	10	0.9%
合計		1,080	100.0%

問6・問7は、問5にて「受験したい」と回答した高校生が対象である。

問6 あなたは大手前大学「経営学部 経営学科 (仮称)」に合格した場合、入学したいと思いますか。(あてはまるもの1つにマーク)

選択項目		追加調査	
		回答数	構成比
1	合格した場合、入学したい	195	67.2%
2	合格した場合、併願大学等の結果によって入学したい	91	31.4%
	無回答	4	1.4%
合計		290	100.0%

問7 大手前大学「経営学部 経営学科 (仮称)」は以下の5つの学びの領域を設け、あなたが興味のある分野・テーマを選んで経営学の専門知識を深められます。現時点であなたが最も興味のある領域をお選びください。(あてはまるもの1つにマーク)

選択項目		追加調査	
		回答数	構成比
1	経営	134	46.2%
2	会計	34	11.7%
3	マーケティング	56	19.3%
4	デジタルビジネス	30	10.3%
5	いきいきキャリア	29	10.0%
	無回答	7	2.4%
合計		290	100.0%

問8は問5にて「受験しない」と回答した高校生が対象である。

問8 あなたが大手前大学「経営学部 経営学科（仮称）」を「受験しない」とした理由をお答えください。（あてはまるものすべてにマ

※複数回答のため、回答数は延べ

※回答率は、アンケート対象者のうち、各項目を挙げた者の割合

選択項目		追加調査	
		回答数	構成比
1	大手前大学「経営学部 経営学科（仮称）」に興味・関心はあるが、詳細を知った上で検討したいから	34	4.4%
2	興味・関心のある学科ではないから	283	36.3%
3	国公立大学への進学を希望しているから	59	7.6%
4	他の私立大学への進学を希望しているから	331	42.4%
5	短期大学・専門学校への進学を希望しているから	90	11.5%
6	就職を希望しているから	44	5.6%
7	進路は未定だから	30	3.8%
8	通学に時間がかかりそうだから	39	5.0%
9	学費が高いから	25	3.2%
10	その他	23	2.9%

### 3. 高校生アンケート調査(全体結果)のクロス集計

初回調査と追加調査を統合した上で、大手前大学「経営学部 経営学科(仮称)」の高校生アンケート調査(全体結果)で示された受験・入学意向について、問3(高校卒業後の希望進路)、問4(関心のある学問分野)を踏まえたクロス集計を行った。

結果、問3で高校卒業後の希望進路を「進学」としたのは9,054人おり、その上で問4で関心のある学問分野について「社会科学」としたのは2,764人であった。そのうち、大手前大学「経営学部 経営学科(仮称)」について、問5で「受験したい」としたのは465人おり、そのうち問6で「合格した場合、入学したい」が201人、「合格したい場合、併願大学等の結果によって入学したい」が257人であった。

以上のことから高校卒業後は「進学」希望で「社会科学」に関心を示し、大手前大学「経営学部 経営学科(仮称)」を「受験したい」とした上で「合格した場合、入学したい」とした高校生は入学定員170人を上回る201人いることが明らかとなった。

設問	問3 高卒後の 希望進路	問4 関心ある 学問分野	問5 大手前「経営」 受験意向	問6 大手前「経営」 入学意向	大手前 「経営」 入学定員
回答 選択 肢	「進学」  9,054人  追加調査 975人 初回調査 8,079人	「社会科学」  2,764人  追加調査 360人 初回調査 2,404人	「受験したい」  465人  追加調査 120人 初回調査 345人	「入学したい」 201人 追加調査 67人 初回調査 134人	170人予定
				「併願大学等の結果によって入学したい」 257人 追加調査 52人 初回調査 205人	



(添付資料)

高校生アンケート調査【追加調査】

配付内容

## 高校生アンケート調査【追加調査】用紙（紙）



### 大手前大学「経営学部 経営学科 (仮称)」 設置構想についての高校生アンケート調査 (対象：2022年度現在、高校3年生の皆さん)

大手前大学（兵庫県西宮市御茶家所町6-12）は2023年度に「経営学部 経営学科 (仮称)」(入学定員170名)を設置構想中です。本学ではこのアンケート調査を通して、来春、大学進学時期を迎える現・高校3年生の皆さんからさまざまなご意見をお聞きし、さらなる計画の充実を図っていきたくと考えています。回答いただいた皆さんから得られた情報は大手前大学「経営学部 経営学科 (仮称)」の設置構想に係る統計資料としてのみ活用いたします。  
アンケート調査へのご協力を、よろしくお願いいたします。

※このアンケート調査は、個人の回答を特定するものではありません。回収したデータは、第三者機関（株式会社高等教育総合研究所）に委託し、統計的に処理します。

記入例を参考にご回答ください。



あなたの在籍する高等学校名をお答えください： \_\_\_\_\_

問1 あなたの性別をお答えください。（あてはまるものにマーク）

男性  女性

問2 あなたがお住まいの県・府をお答えください。（あてはまるもの1つにマーク）

兵庫県  大阪府  京都府  奈良県  滋賀県  和歌山県  岡山県  広島県  山口県  鳥取県  
 島根県  香川県  徳島県  愛媛県  高知県  その他

問3 あなたの高校卒業後の希望進路をお答えください。（現時点で最もあてはまるもの1つにマーク）

進学  就職  現時点では未定

問4 あなたが関心のある学問分野をお答えください。（あてはまるものすべてにマーク）

社会科学（経営学、経済学、法学・政治学、社会学など）  人文科学（文学、史学、哲学、心理学、外国語学など）  
 理学（数学、物理学、化学、生物学など）  工学（機械工学、電気電子工学、応用化学、建築学など）  
 農学（農学、農業経済学、林学、水産学、獣医学など）  医学・歯学・薬学  
 保健衛生学（看護学、リハビリ医学、歯科衛生学など）  家政学（生活科学、食物学、住居学、被服学など）  
 教育学・保育学  芸術学（音楽、デザイン、美術など）  
 その他



1

本アンケート調査用紙に印刷されている  
QRコードは集計時に使用するものです。  
個人の特定を目的とするものではありません。



問5以降は別紙・大手前大学「経営学部 経営学科 (仮称)」概要をご覧ください、お答えください。

問5 あなたは大手前大学「経営学部 経営学科 (仮称)」を受験したいと思いますか。(あてはまるもの1つにマーク)

- 受験したい                   ⇒ 以下の問6・問7にお答えください。  
 受験しない                   ⇒ 以下の問8にお答えください。

問5で「受験したい」と回答した方は、以下の問6・問7にお答えください。

問6 あなたは大手前大学「経営学部 経営学科 (仮称)」に合格した場合、入学したいと思いますか。(あてはまるもの1つにマーク)

- 合格した場合、入学したい  
 合格した場合、併願大学等の結果によって入学したい

問7 大手前大学「経営学部 経営学科 (仮称)」は以下の5つの学びの領域を設け、あなたが興味のある分野・テーマを選んで経営学の専門知識を深められます。現時点であなたが最も興味のある領域をお選びください。(あてはまるもの1つにマーク)

- 経営            会計            マーケティング    デジタルビジネス    いきいきキャリア

問5で「受験しない」と回答した方は、以下の問8にお答えください。

問8 あなたが大手前大学「経営学部 経営学科 (仮称)」を「受験しない」とした理由をお答えください。(あてはまるものすべてにマーク)

- 大手前大学「経営学部 経営学科 (仮称)」に興味・関心はあるが、詳細を知った上で検討したいから  
 興味・関心のある学科ではないから                    国公立大学への進学を希望しているから  
 他の私立大学への進学を希望しているから            短期大学・専門学校への進学を希望しているから  
 就職を希望しているから                                進路は未定だから  
 通学に時間がかかりそうだから                        学費が高いから  
 その他

質問は以上となります。ご協力をいただき、ありがとうございました。



問5以降に答える前に 大手前大学「経営学部 経営学科 (仮称)」の概要 をお読みください。

# 大手前大学 経営学部 経営学科 (仮称) 設置構想中

学部の概要

開設時期：2023年4月  
 開設場所：大手前大学 さくら夙川キャンパス(兵庫県西宮市御茶家所町6-42)  
 修業年限：4年  
 入学定員：170名/2年次編入2名・3年次編入7名(収容定員:700名)  
 取得学位：学士(経営学)  
 養成する人材：地域経済に貢献する有為な人材を養成します。具体的には、地域に軸足を置きつつ、企業や団体における課題解決を通じて、社会の幸福と持続可能な発展に貢献できる人材を養成します。

学びの特色

## ■ 5つの学びの領域を設け、時代が求める経営学の専門人材を養成

専門領域	経営	会計	マーケティング	デジタルビジネス	いきいきキャリア
養成する人材像	「変革と創造をリードできる能力」をベースに、企業等で活躍できる人材を育成。	会計の専門知識と経営のリテラシーを合わせ持ち、頼られるゼネラリスト人材を育成。	商品の開発や販売、広告などを企画できる専門知識と創造力を兼ね備えた人材を育成。	ITとデータサイエンスの知識を活かし、さまざまな場でデジタル活用をリードできる人材を育成。	好きなことを大切にしたい生き方を通して、自分も周りもいきいき働くことができる人材を育成。

## ■ 1年次は動機づけ&学びの土台づくり

(科目例「経営学の扉」「働くことを考える」「フィールドスタディ」「ロジカルシンキング」「ビジネスの数字を読む」等)

## ■ 実社会で活躍できる力を身につける豊富な演習科目

- 社会ですぐ使うスキルを磨く人間力科目  
(科目例「人間関係トレーニング」「リーダーシップと問題解決」「職場コミュニケーション」「デザイン思考」)
- 企業と連携したPBL形式で学ぶ実践演習科目  
(科目例 5つの領域ごとの「実践演習」)

## ■ 社会の今日的な課題を解決する力を養う科目群を配置

(科目群の例「起業系」「リモートワーク系」「データサイエンス系」等)

## ■ 全学共通 学部を越えて好きな科目を自由に履修できる「クロスオーバー制」

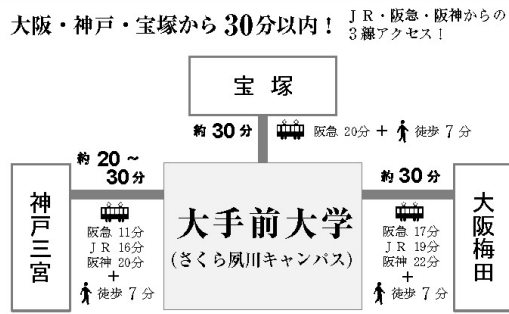
- 「豊かな教養」を土台とした専門教育を行う大手前大学独自のシステム
- 全学生が他学部より提供される専攻プログラムを履修可能

卒業後の進路

大手前大学「経営学部 経営学科 (仮称)」卒業後は、地域を支える幅広い業種での活躍が見込まれます。

- サービス業
- 流通業
- 観光業・旅行業
- 製造業
- 公務員
- NPOなどの各種団体 他多数

アクセス



上記内容は構想中の内容であり、今後変更となる場合があります。

学費は2ページ(裏面)参照

1

単位:円

大学名 学部名 学科名 (所在地)	入学金	授業料 等	初年次納付金 (合計)
大手前大学 経営学部 経営学科 (仮称) (兵庫県西宮市)	240,000	1,050,000	1,290,000
近畿大学 経営学部 (大阪府東大阪市)	250,000	1,085,000	1,335,000
追手門学院大学 経営学部 経営学科 (大阪府茨木市)	160,000	1,035,000	1,195,000
神戸学院大学 経営学部 経営学科 (神戸市中央区)	300,000	940,000	1,240,000
武庫川女子大学 経営学部 経営学科 (兵庫県西宮市)	200,000	1,000,000	1,200,000

※ 大手前大学 経営学部 経営学科(仮称)の学費は予定のものです。  
 ※ 他大学の学費は各大学ホームページ掲載情報です(2021年8月時点)。  
 ※ いずれの大学も同窓会費・傷害保険料などの委託徴収金を含みません。

上記内容は構想中の内容であり、今後変更となる場合があります。

特色等は1ページ(表面)参照

2

# 資料 2 1 大手前大学 経営学部パンフレット

(「人材育成構想会議」、「大手前方式」の産学連携PBL)について)

POINT 01

教職員と学生の距離が近く、面談見が良い大学。

POINT 02

学部を超えて自由に科目を組み合わせさせて学べる。

POINT 03

芸術系学部の学びと組み合わせ、クリエイティブな感性も磨ける。

POINT 04

文教の街にある「さくら夙川」と都心にある「大阪大手前」の2つのキャンパス。

## OPEN 2022 CAMPUS

### 好奇心を刺激する 1 日になる。

オープンキャンパスで経営学部の学びを体験してみよう！

経営学部 / 現代社会学部  
国際日本学部 / 建築と芸術学部  
※2023年4月開設予定 (設置届出予定)

会場：さくら夙川キャンパス

来校型オープンキャンパス日程

3/21 (水)	4/17 (月)	5/22 (日)	6/12 (日)	7/23 (土)
7/24 (日)	8/6 (土)	8/7 (日)	8/20 (土)	9/25 (日)

※開催日は変更になる場合があります。詳しくはWebサイトをご確認ください。 ※二次カードは、Webサイトによっては読み取れない場合があります。

## 2022年度 大学体験授業

体験して見えてくる、自分の学び、自分の未来。

7月開催	30日[土] 9:10-16:20 [申し込み期間] 4月17日(日)~7月28日(木)	13:10-16:20 9:10-12:20
8月開催	18日[木] 9:10-16:20 [申し込み期間] 4月17日(日)~8月16日(火)	13:10-16:20 9:10-12:20

※開催日・時間は変更になる場合があります。詳しくはWebサイトをご確認ください。 ※本学体験授業は定員制です。

## 交通の便がよく、「駅チカ」で通学しやすいのが魅力！

最寄り駅まで大阪梅田から約15分、神戸三宮から約10分的好アクセス。

3路線3駅からアクセス可能

JRさくら夙川駅  
阪急夙川駅  
阪神香櫨園駅

徒歩約7分

主要駅から最寄り駅までの所要時間

- ・三田から約50分
- ・神戸三宮から約10分
- ・宝塚から約20分
- ・京橋から約70分

※別期前や乗り換えにより異なる場合があります。

※主要な路線、駅名を掲載しています。 ※地図内の所要時間は最寄り駅までの所要時間です。

## 大手前大学

お問い合わせ先

アドミッションズ オフィス  
TEL 0798-36-2532

大阪大手前キャンパス

〒540-0008  
大阪府中央区大手前2-1-88

【経営学部】(2023年4月 開設予定 (設置届出予定)) / 現代社会学部 / 国際日本学部 / 建築と芸術学部 / さくら夙川キャンパス  
【健康栄養学部 / 国際看護学部 / 国際看護学部】(大阪大手前キャンパス)

※記載の内容は、届出予定であり変更の可能性があります。

# 本気の「産学連携PBL」

## 人材育成構想会議

100年キャリアを生き抜く力  
学部を超えたクロスオーバーの学び リフレクシオン

# 一人ひとりを手塩にかける

# 経営学部

# はじまる。

BUSINESS ADMINISTRATION

経営 | 会計 | マーケティング

デジタルビジネス | いきいきキャリア

# 5つの専門分野

RESEARCH REALITY REFLECTION

## 2023年4月開設予定

※ (設置届出予定)

# 大手前大学

※記載の内容は、届出予定であり変更の可能性があります。

変化し続けるこれからの人生を自分らしく働き、生きて欲しい。

# 一人ひとりを手塩にかける 経営学部が2023年4月 大手前大学で始動。

## 変化の時代を生き抜く100年キャリアの土台を 身につける5つの専門分野。



変化が当たり前の時代を迎えています。そのような時代に求められるのは常に自己変革できる人材です。社会に出てからも成長を続け、変化の時代を生き抜く100年キャリアの土台を築く。それが大手前大学の経営学部です。本学部は学生一人ひとりの顔と名前が一致するほどの少人数教育を実現。教員はすべての学生に向き合い、あなたの未来に寄り添います。「手塩にかける」という言葉がふさわしい教育を通して、学生個々の自信と可能性を育てていきます。

経営学は1つのスキルや特定の知識だけでは成り立ちません。そのため本学部では、5つの分野を横断して学びます。1年次に5分野の基礎すべてを全員が学修。その後も学生の関心に応じて、複数の専門分野を組み合わせて履修し、実社会で通用する能力を磨いていきます。



### ▶ デジタルビジネス



**AIやデータサイエンスの時代に活躍するための能力や視点を身につける。**

近未来の経営においてAI・データサイエンスは欠かせない技術となりま。本学部ではこれらを生ビジネスにかかせない能力と位置づけて学修。AI技術やビッグデータの実践的な活用法や、デジタル技術によって仕事をスマートに進めるノウハウを修得します。また、今後リモートワークやクラウドを利用した業態が増えていくなか、インターネットの技術やセキュリティの知識も学んで、新しい働き方への対応も万全にします。

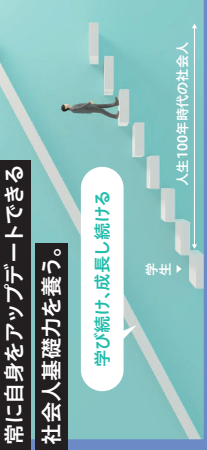
大手前  
ならでは!

### ▶ いきいきキャリア

**人生100年時代に必要な常に自身をアップデートできる**

**社会人基礎力を養う。**

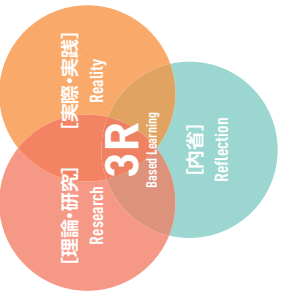
学び続け、成長し続ける



大手前  
ならでは!

本学部では生涯にわたるキャリア形成を支援。長い人生に幾度もなく訪れる転機に適切に対応できる「キャリア・アドバンテージ」を学ぶのもそのためです。また、すべての学修において「学び方を学ぶ」という考え方を取り入れ、自己成長の土台を形成。常に自身をアップデートできる社会人基礎力を兼ね、時代が変化しても自分らしく成長を続けられる人材として人生100年時代を生き抜く力を自分のものにもします。

理論、実践、内省が一体となった  
「産学連携PBL」



# 約20社の企業と共同開発した、 本気の「産学連携PBL」。

大手前大学の「産学連携PBL (Project Based Learning)」は約20社もの企業と共同開発した本学だけのカリキュラムです。企業が実際に抱える様々な課題を知り、その解決法を提案するという実社会さながらの学びを通じて、ビジネスの現場を体感します。現実社会の課題は複雑なものです。その複雑な課題の解決に挑むのは意義深いこと。多くの課題に取り組むことで、幅広い気づきや知識を得られるからです。本気でやり逃げたのちには大きく成長し、学修意欲も向上することでしょう。

## 人育成構想会議

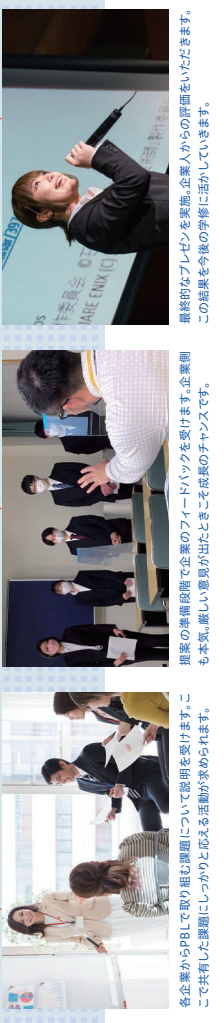
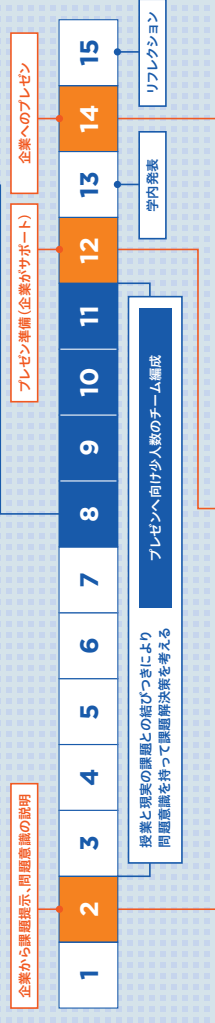
### 1年生からのPBL

「産学連携PBL」や講義に参加しても、「やりっぱなし」では人としての成長につながりません。全科目の最終回に、学んだ経験を内省(リフレクション)し、自分自身の強みや大切にしたいことに気づき、自分らしい人生の目標を見出します。

## 「産学連携PBL」の流れ

### 中半年間15回の授業で深く理解できる

学内での講義と企業から提示される課題を組み合わせた、全15回の授業です。早い段階で企業からの課題提示を受けることで、その後は受身ではなく、最終のプレゼンをゴールにした学習に取り組むことができます。そのため学生は、常に課題解決の当事者という意識で学ぶこととなります。



各企業からPBLに取り組む課題について説明を受けます。ここで共有した課題にしっかりと応える活動が求められます。

授業の準備段階で企業のフィードバックを受けます。企業側も本気、厳しい意見が出たときこそ成長のチャンスです。

最終的なプレゼンを実施。企業人からの評価をいただきます。この結果を今後の学習に活かしていきます。

## 本気の「産学連携PBL」授業 | 共同開発企業 (50社)

大林組 Obayashi	Kawasaki Powering your potential	コクミン 株式会社コクミン	サクラリバス 株式会社サクラリバス	SUZETTE 株式会社 Suzette
1000 1000 株式会社大林組	川崎重工株式会社	WDB WDB株式会社	古本市場 株式会社古本市場	DENSOTEN 株式会社デンソー
白鹿 HAKUSHIKA 株式会社白鹿	阪急阪神不動産 金でつなぐ、人と繋ぐ。 Ayou	阪急阪神不動産株式会社	広瀬化学薬品株式会社	株式会社プロアスト
NAKAJIMA Beyond the Impossible	ハワズ食品株式会社	maruho	ROCK FIELD The Mirai Salad Company	WACOAL 株式会社ワコール
中興工業株式会社	マルパ株式会社	三井物産人材開発株式会社	株式会社ワコールド	

## 企業からのメッセージ

### ハワズ食品株式会社

食を通じて幸せを提供することを学生さんと共有したい。

お客様相談課 部長 神宮宇 慎 氏

このPBLは、大学の早い時期に学生さん自身が社会に貢献するイメージを持つとともに、その中で自分がやりたいこと、できることについて考察できる貴重な機会だと捉えています。自分の可能性を広げたり、人間力を高めるという意志を持ってチャレンジしていただくと、当社のPBLでは「食」という身近かつ深いテーマに取り組みたいという人の幸せにつながる部分も共有しながら進めていきたいと考えています。当社としても大学生との触れ合いは貴重な機会。学生さんから学ぶ姿勢で参加したいと思っています。

### WDB株式会社

目的意識をもって主体的に取り組む姿勢を身につけてほしい。

専務取締役 大家 美樹 氏

当社は、皆さんの働く人々と接している人材サービス会社です。会社が人に何を求め、人が会社に何を求めているのか、それを知る会社として、「働くことの意味」をお伝えできるとはなかないかと考えています。このPBLで学生さんに身につけてほしいのは、目的意識をもって主体的に取り組む姿勢です。そこで必要なのは他者の価値観ではなく自分の価値観。小さな目的でも「自分は何を得る」という何かを追求してみてください。大学はそれができる貴重な期間です。ぜひ大学生活を価値ある期間にできる過ごし方をしていたいただきたいと思うと同時に、当社がその一助になれたら嬉しい限りです。

## SDGs

## リーダーシップ教育

### 「大学生が取り組める食品ロス削減」を課題にリーダーシップを身につける。

【ウィンタースクールでの実践事例】  
食品会社が推進するカレーを通じた食品ロス削減の活動を学び、「大学生でも取り組める食品ロス削減策と大学生を巻き込む方法」を提案するプロジェクトです。この課題にグループで取り組み、メンバーの一人ひとりが自分の特性を活かしてチームに貢献するシェアード・リーダーシップ(shared leadership)や自分らしいリーダーシップを身につけます。



※大手前大学は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。



# MESSAGE [ 教員からのメッセージ ]

## 「学生一人ひとりの成長に責任を負う」教育を実現させます。

**経営**

北村雅昭 教授  
博士(経営管理)  
【学部長兼任予定】

本学部が第一に期けるのは「学生一人ひとりの成長に責任を負う」ということ。学生が成長を実感でき、社会に出てからも成長を続けるためのあらゆる支援を行います。そのために「行動力」「コミュニケーション力」が自然と備わるカリキュラムを整備。学生が成長を遂げる「しくみ」を用意しました。学生一人ひとりの顔が見える少人数制で、すべての教員が「しくみ」を活用し、実習する新しい経営学部がスタートします。

**マーケティング**

伊藤宗彦 教授  
博士(商学)

専門知識の修得だけに留まらず、社会に出て働くことの意味を見出すことができ、自信のある人材の育成を目指します。

**経営**

大森信 教授  
博士(経営学)

経営学は、真面目に生きていくことの大切さを教えられる時間です。日々の教育を通じて次世代にも伝えていきたいと考えています。

**幅広いキャリア**

坂本理郎 教授  
博士(社会学)

社会が激しく多様化が進む現代において、創造的に自身の進路を切り拓く勇氣や能力を身につけてほしいと思っています。

**経営**

平野光俊 教授  
博士(経営学)

理論と実践を往還しながら、人生の糧となる経営学を一緒に学んでいきましょう。

**いきいきキャリア**

三宅麻未 講師  
博士(商学)

大学での学びは、一人ひとりが活躍できる場所、機会としてつなぐのを見出すためにあります。そのために「働くとは?」「好きなことは?」「誰に憧れる?」など自己への問いが不可欠。私の授業では、これら早い段階で見つける手がかりとして、ロールモデルとなる女性起業家や若手経営者を授業に招くなど、多様な価値観に触れる機会があります。大切なは興味を持ったものに向かって一歩踏み出す勇氣。「この分野を究めるといふ目標を持って4年間を過ごすための支援をしていきたい」と思います。

**専門共通**

大沼 龍 教授  
経済学修士(国際貿易学)

「冷静な頭で臨む心(ケインズの師マーシャルの言葉)」で世の中を探求して参りましょう。

**会計**

久保田 浩文 教授  
学士/公認会計士

電卓を使えば、会計は誰でも学べます。理論と実務を融合させ、実践的な会計学を提供いたします。会計の知識は、一生役立つ宝物になります。

**デジタルビジネス**

畑耕治郎 教授  
博士(工学)

新入社員でも取り組める小さなDXを確実に実行できる人材を育成していきたいです。

**デジタルビジネス**

伊勢智彦 准教授  
博士(工学)

現代はデジタル社会です。情報技術の利活用は必須です。デジタルビジネスを学んで経営に活かしましょう。

**専門共通**

マーガレット・キム 准教授  
修士(教育学)

"The world is your oyster". It is an idiom that means that you can achieve anything you wish in life because you have the opportunity and ability to do so.

**マーケティング**

正岡 幹之 准教授  
修士(商学)

論理的かつ創造性豊かにマーケティングを企画・実行できるビジネスパーソンを輩出したいと考えています。

**経営**

森元 伸枝 准教授  
修士(経営学)

地域資源(地域の文化的要素を含む)にこそ産業が活性化される「糧」が隠されています。一緒に探ってみましょう。

## 早期にキャリアを考え、自分の軸を持った4年間を過ごす。

## 大手前独自の学び

# 「経営学+好きなこと」で自分だけの学びが実現する。

## [ 学部を超えたクロスオーバーの学び ] CROSSOVER LEARNING

学部内の分野を自在に横断できることに加え、人文・心理学・社会学・芸術学にまたがる他学部の科目を履修できるのが大手前大学の大きな特色です。経営学と他学部の授業を組み合わせて、独自の「いきいきキャリア」といった自分だけの学びをつくることができます。例えば心理学の知識を営業に活用し、デザインから創造力のヒントを得て企画に反映する。英語力を身につけ国際ビジネスをめざすなどの多様な学びが可能です。一人ひとりが独自のキャリア、強みを築くことができます。



たとえば  
こんな学び方  
こんな未来

**#01** 世界を舞台にビジネスで活躍したい。

【経営学部】 英語 + 【国際日本学部】 英語圏コミュニケーション

**#02** 消費者心理を理解して新しいサービスを開発したい。

【経営学部】 マーケティング + 【現代社会学部】 心理学

**#03** 日本のアニメの素晴らしさをWEBで世界に伝えたい。

【経営学部】 デジタルビジネス + 【現代社会学部】 映像コミュニケーション

**#04** 生まれ育った街を、ビジネスの力で活性化したい。

【経営学部】 経営+いきいきキャリア + 【現代社会学部】 観光地域マネジメント

# 生涯にわたって役立つヒューマンスキルを養う。

## [ 人間力教育 ] LEARNING PEOPLE SKILLS

実社会が必要となるヒューマンスキル開発をコンセプトにした科目群です。人間関係づくり、職場コミュニケーション、リーダーシップといった「インターパーソナルスキル」を演習形式で修得。ビジネスパーソンの士気ともいえる思いやりと感謝の気持ちを持ち、それを適切に表現できる力を養います。

- 人間力教育科目
- 人間関係トレーニング ● リーダーシップと問題解決
  - 職場コミュニケーション ● デザイン思考 など



## Instagramで随時公開中!

## 教えて“ひらにゃん” 大手前大学の経営学

大手前大学で学べる経営学をわかりやすい漫画で解説! アンタリング効果、フットインザドアなど、実は私達にとっても身近な経営学についてInstagramで詳しく紹介しています。



二次元ハニーコードは複製によって取り扱えない場合があります。

https://www.instagram.com/otemae\_univ/

**アンタリング効果(マーケティング)**

先に自ら学習や経験を基礎にすることで、その後の理解が容易になり、学習の進捗が速くなる効果です。例えば、英語の勉強をする際、英検5級の単語を先に覚えることで、英検2級の単語が自然と覚えられるように、先に基礎的な知識を身につけておくことで、学習の進捗が速くなる効果が期待されています。

キャラクター/大手前大学 マネジメント学部

## 教 員 名 簿

学 長 の 氏 名 等						
調書 番号	役職名	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額基本給 (千円)	現 職 (就任年月)
16	学長	ヒラノ ミットシ 平野 光俊 <令和4年4月>		博士 (経営)		大手前大学 学長 (令和4.4~令和8.3)

## 審査意見への対応を記載した書類（7月）

### （目次） 経営学部 経営学科

1. 学生確保の見通しについて、高校生アンケート調査において 206 人が「合格した場合、入学したい」と答えており、増加後の入学定員を上回るとの説明がされているが、合わせて説明されているクロス集計において示されているとおり、希望進路を「進学」、関心のある学問分野を「社会科学」、本学部を「受験したい」かつ「合格した場合、入学したい」と選択した者は 134 人となっており、本学部の入学定員 170 人を長期的かつ安定的に満たす十分な根拠があるとは判断できない。また、関心のある学問分野について、「社会科学」の内訳は、「経営学、経済学、法学・政治学、社会学など」となっており、本学部の学問分野と整合性のある対象分野であるか判然としない上に、当該調査項目は他分野との複数回答可となっていることから、これらのクロス集計をもって本学部に係る学生確保の見通しが十分にあるとは判断し難い。

また、今後の少子化の影響を考慮した学生確保の見通しに関する説明において、18 歳人口の予測減少率を乗じる対象が、前述の 134 名ではなく、クロス集計で「合格した場合、入学したい」を除いた 345 名とするなど、分析方法の妥当性にも疑義がある。このため、改めて客観的な根拠を示した上で、本学部に係る長期的かつ安定的な学生確保の見通しがあることを明確に説明すること。（是正事項）・・・・・・2

(是正事項) 経営学部 経営学科

1. 学生確保の見通しについて、高校生アンケート調査において 206 人が「合格した場合、入学したい」と答えており、増加後の入学定員を上回るとの説明がされているが、合わせて説明されているクロス集計において示されているとおり、希望進路を「進学」、関心のある学問分野を「社会科学」、本学部を「受験したい」かつ「合格した場合、入学したい」と選択した者は 134 人となっており、本学部の入学定員 170 人を長期的かつ安定的に満たす十分な根拠があるとは判断できない。また、関心のある学問分野について、「社会科学」の内訳は、「経営学、経済学、法学・政治学、社会学など」となっており、本学部の学問分野と整合性のある対象分野であるか判然としない上に、当該調査項目は他分野との複数回答可となっていることから、これらのクロス集計をもって本学部に係る学生確保の見通しが十分にあるとは判断し難い。

また、今後の少子化の影響を考慮した学生確保の見通しに関する説明において、18 歳人口の予測減少率を乗じる対象が、前述の 134 名ではなく、クロス集計で「合格した場合、入学したい」を除いた 345 名とするなど、分析方法の妥当性にも疑義がある。このため、改めて客観的な根拠を示した上で、本学部に係る長期的かつ安定的な学生確保の見通しがあることを明確に説明すること。

(対応)

審査意見の指摘を踏まえて、下記のと通りの対応を行った上で、学生募集の見通しについて、総合的に考察することとした。

#### 1. 追加の高校生アンケート調査の実施

是正意見においては、「本学部を「受験したい」かつ「合格した場合、入学したい」と選択した者は 134 人となっており、本学部の入学定員 170 人を長期的かつ安定的に満たす十分な根拠があるとは判断できない」と指摘されている。

昨年 10～12 月に行った高校生アンケート調査では、調査協力校が 76 校に留まったため、初回調査と同じ第三者機関（株式会社高等教育総合研究所）が、本年 6 月 25 日～7 月 7 日の間に、2023 年 4 月に大学進学時期を迎える高校 3 年生に追加のアンケート調査を実施した。

追加調査の対象は、①新たにアンケート調査への協力が得られた 7 校（兵庫県 5 校、京都府 2 校）に在学する高校生、②経営学部のオープンキャンパスに来場した高校生、③本学経営学部に関心ありとして「大手前大学 大学案内 2023」のパンフレット資料を請求した高校生（オープンキャンパスの来場者は除く）とし、昨年の初回調査と同じアンケートの質問項目・

学部概要資料を用いて、アンケート用紙もしくはインターネットを通じて回答を求めた。得られた回答から、昨年調査済の 76 校に在学する高校生のデータを除き、重複を避けて集計したところ、入学意向について「合格した場合、入学したい」と回答した者が新たに 195 人おり、初回調査と統合すると計 401 人にのぼることが確認できた（表 1）。

表 1 本学経営学部高校生アンケート調査の集計結果

(単位：人)

回答数	有効回答数 (追加調査は初回調査の 76 校を除く)	問 5 受験意向 「受験したい」	問 6 入学意向	
			「合格した場合、 入学したい」	「併願大学等の 結果によって」
11,288	11,223	817	<u>401</u>	398

さらに、追加調査のデータを初回調査のデータに統合した上で、再度、高校卒業後の希望進路は「進学」、関心のある学問分野は「社会科学」である者に絞ったクロス集計を行ったところ「合格した場合、入学したい」と回答した者は 201 人となり、大手前大学経営学部の定員 170 人を上回ることが確認できた（図 1）。

新					旧				
設問	問 3 高卒後の 希望進路	問 4 関心ある 学問分野	問 5 大手前「経営」 受験意向	問 6 大手前「経営」 入学意向	設問	問 3 高卒後の 希望進路	問 4 関心ある 学問分野	問 5 大手前「経営」 受験意向	問 6 大手前「経営」 入学意向
回答選択肢	「進学」 9,054人	「社会科学」 2,764人	「受験したい」 465人	「入学したい」 201人 「併願大学等の 結果によって 入学したい」 257人	回答選択肢	「進学」 8,079人	「社会科学」 2,404人	「受験したい」 345人	「入学したい」 134人 「併願大学等の 結果によって 入学したい」 205人
学生確保の見通し等を記載した書類（資料）【資料20】					学生確保の見通し等を記載した書類（資料）【資料7】				

図 1 追加アンケート調査を反映したクロス集計結果

なお、大手前大学経営学部は、ゼロベースで新たに立ち上げるものではなく、既設の現代社会学部の企業経営分野を移管する形で改組するものである。過去 4 年間において、現代社

会学部において企業経営分野を主専攻とするゼミで学ぶ学生数の平均は76人である(表2)。つまり、本学は毎年70~80人の経営学を学びたいとする学生を確保できる潜在能力を持っている。

経営学部は、こうした現代社会学部において築いた企業経営に関する学びの信頼と実績を土台に、学生募集活動を行うため、長期的かつ安定的な学生確保を実現できる。

表2 本学現代社会学部の企業経営分野を主専攻とするゼミの在籍者数

(単位：人)

2017年度入学 (2020年度卒)	2018年度入学 (2021年度卒)	2019年度入学 (現4年生)	2020年度入学 (現3年生)	平均
41	67	109	87	76

## 2. クロス集計における絞り込み方法の妥当性に関する検討

是正意見においては、「関心のある学問分野について、「社会科学」の内訳は、「経営学、経済学、法学・政治学、社会学など」となっており、本学部の学問分野と整合性のある対象分野であるか判然としない上に、当該調査項目は他分野との複数回答可となっていることから、これらのクロス集計をもって、本学部に係る学生募集の見通しが十分にあるとは判断し難い」と指摘されている。

今回のクロス集計においては、問5で本学経営学部を「受験したい」と回答した層を十分に精査した上で、その中に「合格した場合、入学したい」という者が何人いるかに注目することとした。具体的には、本学経営学部を「受験したい」とした回答について、問3の高校卒業後の希望進路で「進学」を選び、かつ問4の関心ある学問分野で「社会科学」を選んでいるという条件で絞り込みをかけた。

なお、「社会科学」という学問分野で絞り込みをかけた理由は次のとおりである。まず、経済、経営、商学の分野は、大学設置基準において経済学関係と括られるように、学問分野として一体のものと扱われており、進学情報誌等においても経済、経営、商学系と記載されることが多いことから、受験生にもひとつの学問分野として認識されていると考えられる。また、そもそも経営とは、よい社会を実現するための営みであり、様々な角度からよい社会の実現に貢献したいと考える学生が経営学部を志望するものと思われる。別紙1の「学問分野間の進路希望状況分析」(株式会社リクルート調べ)は、高校生に希望する進路の系統を第1位から最大第3位まで選択させ、第1位を縦軸に第2位、第3位を横軸にとってその関係を分析したものだが、これを見ても経済、経営、商学の分野を志望する学生は、法律・政治や社会・メディアといった幅広い社会科学分野を志望している。こうしたことから、併願を含めて本学を「受験したい」という層を絞り込むにあたっては、「社会科学」の学問分野を用いることが適切だと判断した。

本学部の学問分野との整合性という観点で見ても、経営学は、経済学、法学・政治学、社会学など、社会科学における幅広い学問分野に基礎を置く応用的な学問分野であり、本学部におけるカリキュラムにおいても、経済学に関連する「経営戦略論」「ミクロ経済学」「証券投資論」、法学に関連する「ビジネス法の基礎」「税務会計論」、社会学に関連する「経営組織論」「キャリア形成と社会」、政治学に関連する「環境経営論」などの科目を提供することから、社会科学における幅広い分野への関心と本学部の入学意向とは矛盾せず、むしろ好ましいことである。

また、人文科学、理学、工学、教育学、芸術学といった他の学問分野との複数回答となっているデータを分析に用いる点については、経営学は、ひとの生き方から社会のあり方までを幅広く扱う学問であり、学びの前提として、人間、社会、技術等についての深い教養が必要である。とりわけ、これからの経営を考えるには、持続可能性、ダイバーシティ&インクルージョン、ウェルビーイング、カーボンニュートラル、Society 5.0 といった社会の大きな変化を捉える必要があり、そのためには、歴史、哲学、文化、科学、芸術といった幅広い学問分野に対する関心も求められる。そのため、本学では「総合科目」として、幅広い教養科目を置くほか、他学部の科目を学生自身の選択にもとづき自由に履修できる「クロスオーバー制」を導入している。

このように、幅広い社会科学分野に加えて、社会科学以外の分野にも興味を持つことは本学部の学びを進める上で大変有意義であり、今回のクロス集計と本学経営学部の学問分野とは十分整合している。以上のことから、クロス集計の結果を、本学部に係る学生募集の見通しの根拠とすることは妥当であると考えられる。

### 3. 追加データを踏まえた少子化影響についての考察

是正意見においては、今後の少子化の影響を考慮した学生確保の見通しについて、改めて客観的な根拠を示した上で、本学部に係る長期的かつ安定的な学生確保の見通しがあることを明確に説明すること、と指摘されている。

すでに述べたとおり、追加アンケートを加味したクロス集計では「合格した場合、入学したい」との回答は 201 人であった。高校生アンケート調査を実施した 10 府県における 2033 年度 18 歳年齢人口予測の 2023 年度比 89.3%をこの数字に乗じると 179 人となり、経営学部の定員 170 人を満たす水準となる。

また、クロス集計を経ても「合格した場合、併願大学等の結果によって入学したい」と回答した者が 257 人いる。今後、大手前大学経営学部が着実に実績を積み重ね、カリキュラムの魅力を訴求することにより、併願者の一定数を入学者として確保できると考える。

ちなみに、経営学部の基礎となった現代社会学部では、併願可能な入試種別（一般入試、共通テスト利用入試）の合格者数に対する入学者数の比率（歩留まり率）は、過去 4 年の実績で、3 割程度である（表 3）。「合格した場合、併願大学等の結果によって入学したい」と

回答した 257 人に、歩留まり率の 3 割を乗じると 77 人となる。

表 3 本学現代社会学部の併願可能な入試種別の歩留まり率(2019~2022 年度)

(単位：人)

合格者数 (A)				入学者数 (B)				歩留まり率 (B/A)			
2019	2020	2021	2022	2019	2020	2021	2022	2019	2020	2021	2022
251	153	81	117	108	46	27	42	43.0%	30.1%	33.3%	35.9%

また、18 歳年齢人口の減少は、時間をかけて段階的に進むのであり、ただちに現在の 9 割程度の水準になる訳ではない。毎年、教育面、研究面で実績を着実に積み重ね、その成果通じて、本学経営学部の学びの魅力を訴求することで、将来の少子化によるマイナスの影響を克服し、長期的かつ安定的な学生確保ができるものと考えている。

こうした方面での強化策として、すでに約 20 社の企業と共同で取り組む「人材育成構想会議」を設置し、「“大手前方式” の産学連携 PBL」についての準備を始めている。前者は、これからの産業社会に求められる人材育成のあり方について、企業の人材育成の最前線の方々からの意見を直接聴取する仕組みである。実社会の人材ニーズをタイムリーに汲み取ることで、変化の激しい時代において、常に魅力ある教育を提供することが可能になると考える。また、後者は、企業が現実に抱える様々な課題を理解した上で、経営学の理論を学び、理論をもとに課題の解決策を検討し、そのプロセスを内省することで、成長につなげるという本学経営学部ならではの教育方法である。こうした産業界との連携を通じた理論と実践を往還する学びの提供は、今後の社会が求める人材育成の実現につながり、そのような取り組みを高校生、保護者、高校教員を含め幅広く社会に発信することが、本学経営学部の長期的かつ安定的な学生確保に大きく寄与するものと考えている。

#### 4. まとめ

これまで述べた分析結果を総合すると、図 2 のとおりとなる。

まず、追加アンケート調査の結果を統合した後に、より厳密に対象者を絞り込むクロス集計を施した結果を見ても「合格した場合、入学したい」と回答した者は、入学定員の 170 人を上回る 201 人となった。これは、開設 10 年後における少子化の影響を考慮しても入学定員 170 人を確保できる水準である。

なお、本学の経営学部は、既設の現代社会学部の企業経営分野を移管する形で改組するものだが、これまで現代社会学部において企業経営分野を主専攻とする学生を約 70~80 人確保しており、こうした土台の上に長期的かつ安定的な学生確保を実現できると考える。

また、クロス集計の結果、「合格した場合、併願大学等の結果によって入学したい」と回答した者が 257 人存在することから、この併願者について、現代社会学部の併願可能入試



における歩留まり率3割に相当する77人の入学確保に努める。さらに、カリキュラムの充実を図るために、すでに約20社の企業と連携し「人材育成構想会議」を設置し、「“大手前方式”の産学連携PBL」についての準備を始めている。こうした活動により、学びの魅力を高め、それを幅広く訴求し続けることで、毎年着実に入学希望者の上積みを図り続けることができると思う。

以上のことから、大手前大学経営学部経営学科の入学定員170人については、将来の少子化の影響を考慮しても、長期的かつ安定的な学生確保が可能である。

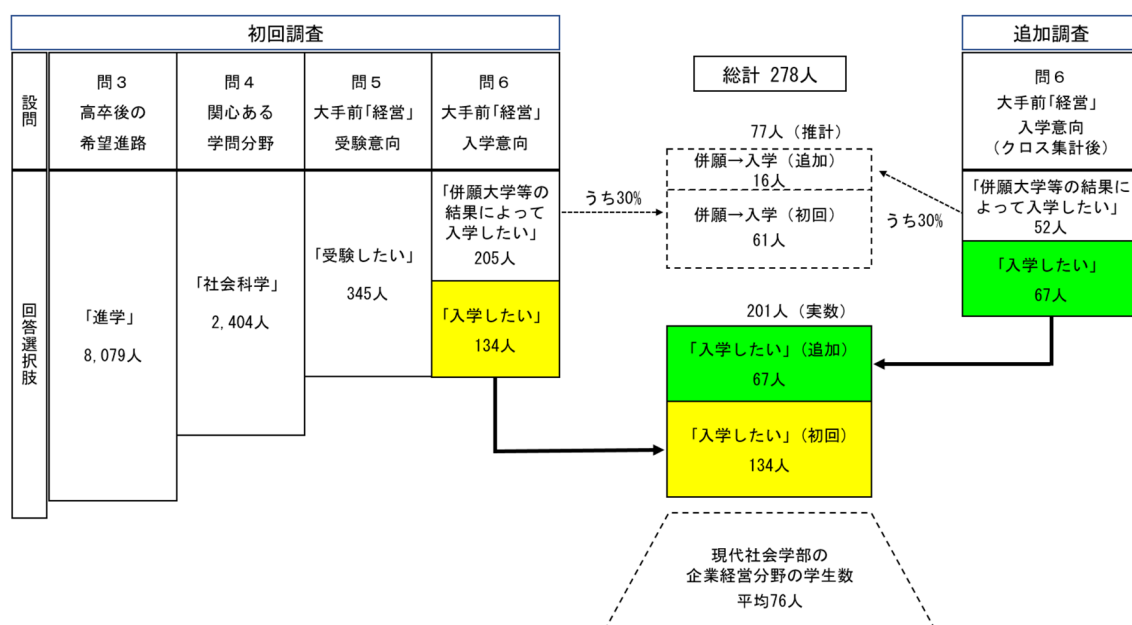


図2 審査意見への対応における考察のまとめ

# ■ 学問分野間の進路希望状況分析

- ・スタディサプリ適性診断進路希望アンケート結果に基づく
- ・主となる希望分野を第一位とし、3系統まで複数回答可

②主となる分野以外の希望分野 ※①の各分野を志望した学生数を100%とした時の、横軸②の各分野を希望している学生の割合

	法律・政治	経済・経営・商学	社会・メディア	国際関係	文学・人文・人間・心理	外国語	教育・福祉	家政・生活	芸術・表現	健康・スポーツ	教養・総合	理工	農・獣・畜産・水産	医・歯・薬	看護・保健・衛生
①主となる希望分野	100.0	35.6	16.6	11.5	21.3	9.4	12.3	1.6	7.4	11.5	1.3	12.7	3.5	11.3	5.5
経済・経営・商学	17.1	100.0	17.2	9.7	15.0	9.5	10.6	4.5	10.6	16.0	1.5	15.3	4.7	7.0	5.4
社会・メディア	13.2	28.4	100.0	10.3	21.1	9.3	11.7	4.8	17.0	16.1	1.8	10.0	3.9	3.5	5.0
国際関係	10.3	18.0	11.6	100.0	13.8	47.0	12.0	2.8	11.5	12.2	1.6	6.2	3.8	6.5	8.2
文学・人文・人間・心理	11.0	16.1	13.7	8.0	100.0	12.2	19.2	5.2	24.0	10.9	2.8	9.7	5.6	7.1	9.1
外国語	6.0	12.4	7.4	33.4	15.0	100.0	14.2	4.6	16.9	13.7	1.4	6.2	3.9	7.1	9.2
教育・福祉	4.4	7.9	5.3	4.9	13.4	8.1	100.0	7.7	12.2	20.7	4.3	6.0	4.5	8.0	22.0
家政・生活	1.6	9.4	6.1	3.2	10.3	7.4	21.7	100.0	24.9	16.2	3.3	4.0	7.2	4.3	13.8
芸術・表現	3.2	9.4	9.2	5.5	19.9	11.5	14.5	10.5	100.0	10.1	1.5	10.3	7.0	4.9	7.9
健康・スポーツ	4.1	11.9	7.3	4.9	7.5	7.7	20.5	5.7	8.4	100.0	2.5	9.4	6.3	5.6	12.7
教養・総合	3.9	9.8	7.1	5.8	17.0	7.1	37.4	10.3	11.0	22.0	100.0	8.5	3.9	5.0	13.3
理工	6.6	16.5	6.5	3.6	9.7	5.1	8.6	2.1	12.4	13.7	1.4	100.0	10.6	16.0	4.2
農・獣・畜産・水産	3.3	9.3	4.6	4.0	10.4	5.9	11.9	6.7	15.5	16.6	1.2	19.5	100.0	11.5	10.8
医・歯・薬	7.3	9.5	2.8	4.7	8.9	7.2	14.4	2.8	7.5	10.1	1.0	20.0	7.9	100.0	36.3
看護・保健・衛生	2.6	5.2	2.9	4.3	8.1	6.7	28.2	6.3	8.6	16.5	2.0	3.7	5.3	25.9	100.0

株式会社リクルート独自調査(2021年度実施)